

波志江西宿遺跡 I

(古墳時代・中近世編)

伊勢山遺跡

北関東自動車道(高崎～伊勢崎)地域
埋蔵文化財発掘調査報告書第16集

2002

日 本 道 路 公 団
伊 勢 崎 市
財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

波志江西宿遺跡 I

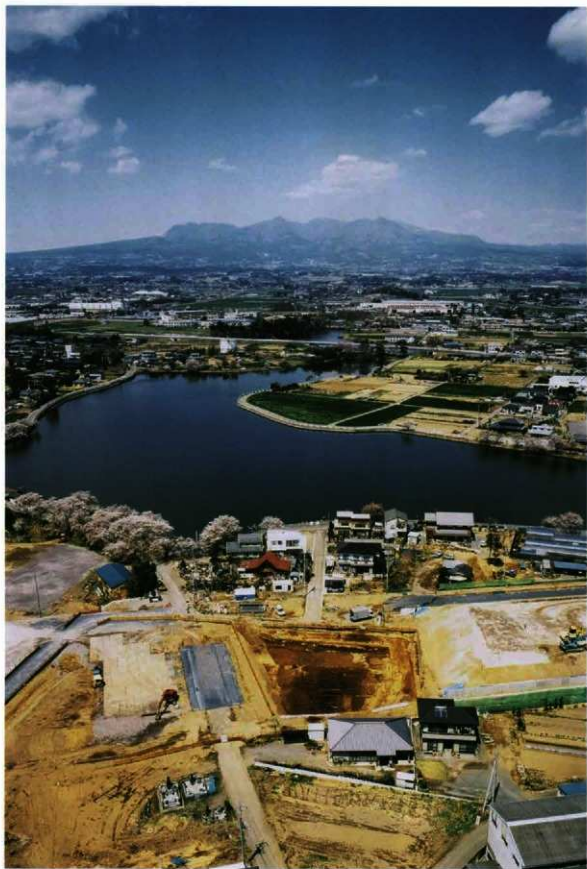
(古墳時代・中近世編)

伊勢山遺跡

北関東自動車道(高崎～伊勢崎)地域
埋蔵文化財発掘調査報告書第16集

2002

日 本 道 路 公 団
伊 勢 崎 市
財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団



波志江西留遺跡・伊勢山遺跡



波志江西宿道跡C区2号住居出土遺物



波志江西宿道跡出土中近世陶磁器類

序

北関東自動車道は、本県高崎市において関越自動車道から分岐し、茨城県ひたちなか市にいたる延長約150キロメートルの高速自動車国道であります。その間、群馬・栃木・茨城各県の主要都市および東北自動車道・常磐自動車道を結び、地域社会の発展に大きな役割を果たすものと期待されております。

この北関東自動車道の高崎、伊勢崎間約15キロメートルの建設に先立って、平成7年6月から36の遺跡で発掘調査が行われましたが、当事業団ではそのうち、31の遺跡の発掘調査を担当しました。また、それらの遺跡の整理事業は平成10年度から実施しており、本書『波志江西宿遺跡Ⅰ（古墳時代・中近世編） 伊勢山遺跡』は、その発掘調査報告書第16集として刊行するものです。

本遺跡は、伊勢崎市波志江町内に所存し、発掘調査は平成10年度から12年度にかけて実施されました。その結果、旧石器時代、縄文時代、古墳時代、中世、近世にわたる各時代の遺構や遺物が発見された遺跡です。

整理作業は平成13年度から14年度にわたって実施され、上梓のはこびとなりました。

この中で注目されるのは、波志江西宿遺跡の古墳時代前期の竪穴住居から斧形石製模造品の未製品が検出されたことで、古墳の副葬品を制作する集団の存在が推定されることです。それらを含めて今回調査された遺構と遺物は、群馬の中毛地域の古代の歴史を考える上で貴重な資料となっています。

本書は、考古学研究者はもちろん、郷土の歴史に関心をお持ちの県民の皆様の研究にも大いに役立つものと確信しております。

最後になりますが、日本道路公団東京建設局、同高崎工事事務所、群馬県教育委員会文化課、伊勢崎市教育委員会、地元関係者の皆様には、発掘調査から本報告書刊行まで終始ご協力を賜り、心から感謝の意を表すとともに、発掘調査に携わった担当者、作業の方々の労をねぎらい序といたします。

平成14年12月

財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
理事長 小野 宇三郎

例 言

- 1 本書は北関東自動車道建設工事に伴う、波志江西宿遺跡・伊勢山遺跡の発掘調査報告書である。本遺跡は旧石器時代から中近世までの複合遺跡である。報告書は全2分冊で構成した。第1分冊である本書は波志江西宿遺跡の古墳時代・中近世の遺構・遺物と伊勢山遺跡について報告する。今後、第2分冊で波志江西宿遺跡の旧石器・縄文時代の遺構・遺物を報告する予定である。
- 2 本遺跡は群馬県伊勢崎市波志江町3646-2、3648-1、3648-2、3649、3651、3653-1、3653-2、3655-1、3658-10、3658-11、3658-21、3660-5、3660-6、3664番地に所在する。
- 3 波志江西宿遺跡の遺跡名は小字名の西宿の前に大字名にあたる波志江町の町名を付し、伊勢山遺跡は小字名にあたる伊勢山を付して遺跡名としている。
- 4 発掘調査は、日本道路公団から財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団・伊勢崎市教育委員会が委託を受け実施し、整理事業は日本道路公団から財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団が委託を受け実施したものである。
- 5 調査主体 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団・伊勢崎市教育委員会
- 6 調査期間 平成10年9月1日～平成11年3月31日(平成10年度)
平成11年4月1日～平成12年3月31日(平成11年度)
平成12年4月1日～平成12年6月30日(平成12年度)
- 7 調査組織 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
事務担当 菅野 清 小野宇三郎 赤山容造 渡辺 健 神保侑史 能登 健 坂本敏夫
中東耕志 相京建史 國定 均 笠原秀樹 須田朋子 小山建夫 吉田有光
柳岡良宏 宮崎忠司 岡嶋伸昌 森下弘美 片岡徳雄 大澤友治 吉田恵子
並木綾子 内山佳子 若田 誠 佐藤美佐子 本間久美子 北原かおり
狩野真子 松下次男 浅見宣記 吉田 茂 蘇原正義
調査担当 石塚久則 岩崎泰一 小林利夫 間庭 稔 関口美枝 渡辺弘幸 石川雅俊
内田敬久 熊谷 健 長沼孝則 勢藤暎美 杉田茂俊 小林大悟 前田和昭
伊勢崎市教育委員会
事務担当 田島國明 細谷清三 中澤貞治 村田喜久夫
調査担当 矢島克彦 出浦 崇
- 8 整理主体 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
- 9 整理期間 平成13年4月1日～平成14年9月30日
- 10 整理組織 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
事務担当 小野宇三郎 吉田 豊 赤山容造 神保侑史 住谷 進 萩原利通 能登 健 中 隆之
大島信夫 植原恒夫 西田健彦 國定 均 笠原秀樹 須田朋子 小山建夫 高橋房雄
吉田有光 森下弘美 片岡徳雄 田中賢一 並木綾子 内山佳子 若田 誠 佐藤美佐子
本間久美子 北原かおり 狩野真子 松下次男 吉田 茂 蘇原正義
整理担当 杉田茂俊 桜井美枝
整理班員 黒沢はるみ(囑託) 岩淵節子 戸神晴美 小林恵美子 馬場信子 高橋優子 渡辺八千代
星野春子 市田武子 牧野裕美 安藤美奈子 船津博子 高橋美穂子 高橋初美

- 10 本書作成の担当者は次の通りである。

編集 杉田茂俊 桜井美枝 黒沢はるみ

執筆 第1章1 中束耕志

第1章2・3、第2章1・2・3-I 杉田茂俊

第2章3-II、第3章 桜井美枝

伊勢山観察表(縄文土器) 橋本 淳

その他については文頭に文責を記してある。

遺構・遺物観察指導、助言

石塚久則 大木紳一郎 女屋和志雄 徳江秀夫 大西雅広 橋本 淳

遺構写真 各発掘担当者

遺物写真 佐藤元彦

保存処理・木器実測 関 邦一 土橋まり子 小村浩一 高橋初美 横倉知子 藤井文江

遺構・遺物図面整理、図面作成等

黒沢はるみ 岩淵節子 戸神晴美 小林恵美子 馬場信子 高橋優子 渡辺八千代

星野春子 市田武子 牧野裕美 安藤美奈子 船津博子 高橋美穂子 高橋初美

機械実測 佐藤美代子 矢島三枝子 田中富子 富沢スミ江 伊東博子 岸 弘子

- 11 委託関係

石材鑑定 飯島静男(群馬地質研究会)

炭化材・樹種同定 株式会社 パレオ・ラボ

火山灰分析 株式会社 古環境研究所

- 12 波志江西宿遺跡の出土遺物と記録資料の一切は、財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団で管理し、群馬県埋蔵文化財調査センターに保管している。伊勢山遺跡の出土遺物と記録資料は、伊勢崎市教育委員会で保管している。

- 13 本書の作成にあたっては次の方々に指導と助言を賜った。記して感謝の意を申し上げる次第である。

群馬県教育委員会 伊勢崎市教育委員会 南雲芳昭 加部二生 須永泰一 矢島克彦 出前 崇(順不同。敬称略)

凡 例

- 調査区域には、国家座標に基づいてグリッドを設定した。国家座標は平成14年4月改正以前の日本測地系を用いた。波志江西宿遺跡では国家座標の5mごとにグリッドを設定、南東隅の基準点の数値をもってグリッド名とした。伊勢山遺跡では国家座標の10mごとにグリッドを設定し、東西軸にアルファベット、南北軸に数値を付す。北西隅の基準点のアルファベットと数値をもってグリッド名とした。
- 本書の遺構名は、原則として発掘調査時に付したものをそのまま使用している。波志江西宿遺跡では発掘調査時に、近代以降の遺構や近年の掘乱に遺構番号を付したものが多数あったため、整理作業時に所属時期を検討し、中近世以前の遺構のみ取り上げた。従って、土坑、溝に関しては欠番が多数生じる結果となった。また、遺構番号の重複するものや遺構種類の変更を行ったものについては、遺構番号を変更している。番号を変更した遺構は下記の一覧表のとおりである。ただし、遺物注記や写真、図面などの記録類は遺構番号の変更は行っていない。

掲載遺構名	変更前遺構名
A区2号住居	A-2区1号住居 (遺構番号重複)
A区3号井戸	A-65号土坑 (遺構種類の変更)
A区4号井戸	A-362号土坑 (#)
A区5号井戸	A-2区1号井戸 (遺構番号重複)
A区6号井戸	A-2区2号井戸 (#)
A区7号井戸	A-2区3号井戸 (#)
A区8号井戸	A-2区4号井戸 (#)
A区9号井戸	A-2区5号井戸 (#)
C区11号井戸	C-25号土坑 (遺構種類の変更)
C区12号井戸	C-37号土坑 (#)
C区13号井戸	C-401号土坑 (#)

- 本書におけるテフラ（火山砕屑物）の呼称として、以下の略称を用いている。

略 称	テフラの名称	噴 出 年 代
As-A	浅間A軽石	天明3年 (1783)
As-B	浅間B軽石	天仁元年 (1108)
As-C	浅間C軽石	4世紀初頭
As-YP	浅間板鼻黄色軽石	1.3~1.4万年前
As-OK2	浅間大窪沢第2軽石	1.6万年前
As-OK1	浅間大窪沢第1軽石	1.7万年前
As-BP	浅間板鼻褐色軽石群	1.9~2.4万年前
AT	蛤良丹沢火山灰	2.4~2.5万年前
Hr-HP	榛名八崎軽石	4.1~4.4万年前

- 4 竪穴住居の方位は、住居の長軸線以北を基準とした傾きを計測した。掘立柱建物の方位は梁行方向で同様に北を基準とした傾きを計測した。東に傾く場合をN-○°-E、西に傾く場合をN-○°-Wと表した。この角度は90°を越えない。
- 5 竪穴住居の面積は、1/20・1/40図上で住居確認面の掘り込みから内側をプランメーターを用い3回計測した平均値を採った。
- 6 遺物観察表の記載方法は次の通り。
- (1) 遺物の出土位置は、遺構の床面から遺物までの垂直距離を示した。
 - (2) 欠損のある遺物の法量は、推定値・残存高を()で、計測不可をーで示した。
 - (3) 石製品の法量のうち、長さ・幅・厚さは最大値を示す。
 - (4) 胎土中の砂粒の大きさは、土壌物理研究会の基準に従い、細砂粒 (<0.5mm)・粗砂粒 (0.5~2.0mm)・細礫 (2.0~5.0mm)・中礫 (5.0mm>)と分類した。
 - (5) 色調は、農林水産省農林水産技術会議事務局監修・財団法人日本色彩研究所監修『新版標準土色帖』に従った。

- 7 遺物実測図の縮尺は原則として次の通りであるが、統一できなかった部分もあり、各図の縮尺を参考されたい。

土師器1/3 左記のうち大型の器種(壺)1/6 石器・石製品1/1 1/2 1/3 1/6 埴輪1/4 陶磁器1/3
1/4 近世土器1/3 1/4 1/6 木製品1/2 1/4 1/8 金属製品1/2 1/3 古銭1/1

- 8 遺物写真の縮尺は、原則として実測図とほぼ同じである。遺構写真の縮尺は不統一である。
- 9 遺構実測図の縮尺は次の通りであるが、一部統一できなかった部分もあり、各図の縮尺を参考されたい。
- 原則として遺構の土層断面図は遺構の縮尺に準ずる。

竪穴住居跡 1/60 掘立柱建物跡 1/60 土坑 1/40 井戸 1/60 溝 1/100

- 10 本書で使用するスクリーントーンの意味は原則として次の通り。



- 11 住居平面図中の茶色の線は、床面の硬化範囲を示している。
- 12 遺物番号は、遺構ごとに登録した。図中の出土遺物●は土器を、○は石器・石製品を、▲は炭を、■は古銭を表す。
- 13 遺物の注記は、波志江西宿遺跡については遺跡略号(KT-260)に続いて区、遺構名、遺物ナンバーの順に記載してある。伊勢山遺跡については、遺跡の事業名称である「西宿」に続いて区、遺構名、遺物ナンバーの順に記載してある。

目次

巻頭図版

序

例言

凡例

目次

挿図目次

表目次

写真図版目次

付図目次

第1章 発掘調査の概要

- 1 発掘調査に至る経過……………1
- 2 遺跡の位置と地形……………2
- 3 周辺の遺跡……………5

第2章 波志江西宿遺跡

- 1 調査の経過と方法……………9
- 2 遺跡の基本土層……………12
- 3 検出された遺構と遺物……………13
 - I 古墳時代の遺構と遺物……………13
 - (1)古墳時代遺物の器種について……………16
 - (2)概要……………17
 - (3)住居跡……………17
 - (4)掘立柱建物跡……………76
 - (5)土坑・ピット……………79
 - (6)遺構外出土遺物……………95
 - II 中近世の遺構と遺物……………99
 - (1)概要……………99
 - (2)掘立柱建物跡・建物跡……………100
 - (3)井戸……………103
 - (4)土坑……………112
 - (5)溝……………163
 - (6)遺構外出土遺物……………221

第3章 伊勢山遺跡

- 1 調査の経過と方法……………229
- 2 遺跡の基本土層……………231
- 3 検出された遺構と遺物……………232

I	旧石器時代	232
	(1)概要	232
	(2)出土した石器	233
II	中近世の遺構と遺物	234
	(1)概要	234
	(2)土墳墓	234
	(3)土坑	242
	(4)溝	244
	(5)遺構外出土遺物	251
III	遺構外出土遺物	255
第4章	まとめ	
1	波志江西宿遺跡	
	I 古墳時代遺構・遺物について	258
	II 波志江西宿遺跡出土のS字状口縁台付甕について	260
	III 波志江地域の特殊性(一斧形石製模造品を中心として)	265
	IV 中近世遺構・遺物について	275
2	伊勢山遺跡	
	I 検出された遺構と遺物について	277
第5章	自然科学分析	
1	波志江西宿遺跡古墳時代住居跡出土の炭化材樹種同定分析	279
2	波志江西宿遺跡中近世木器の樹種同定分析	282
3	伊勢山遺跡の自然科学分析	286

遺物観察表

波志江西宿遺跡	294
伊勢山遺跡	332

抄録

写真図版

挿図目次

第1図	波志江西宿・伊勢山遺跡位置図	1	第15図	B区1号住居(1)	23
第2図	伊勢崎地域地質図	3	第16図	B区1号住居(2)	24
第3図	波志江西宿遺跡・伊勢山遺跡位置図	4	第17図	B区1号住居、出土遺物	25
第4図	周辺遺跡分布図	6	第18図	B区1号住居出土遺物(1)	26
第5図	波志江西宿遺跡調査区位置図	11	第19図	B区1号住居出土遺物(2)	27
第6図	波志江西宿遺跡基本土層図	12	第20図	B区1号住居出土遺物(3)	28
第7図	A区古墳時代遺構全体図	13	第21図	B区1号住居出土遺物(4)	29
第8図	B区古墳時代遺構全体図	14	第22図	B区1号住居出土遺物(5)	30
第9図	C区古墳時代遺構全体図	15	第23図	B区2号住居(1)	30
第10図	A区1号住居(1)	18	第24図	B区2号住居(2)	31
第11図	A区1号住居(2)	19	第25図	B区2号住居出土遺物	32
第12図	A区1号住居出土遺物	20	第26図	B区3号住居	33
第13図	A区2号住居	21	第27図	B区3号住居、出土遺物	34
第14図	A区2号住居、出土遺物	22	第28図	B区4号住居	35

第29回	B区4号住居、出土遺物	36	第91回	中近世遺構全体図	99
第30回	B区4号住居出土遺物	37	第92回	B区1号掘立柱建物	101
第31回	B区5号住居(1)	38	第93回	C区1号建物(1)	102
第32回	B区5号住居(2)	39	第94回	C区1号建物(2)	103
第33回	B区5号住居、出土遺物	40	第95回	A区1~3号井戸	104
第34回	B区5号住居出土遺物(1)	41	第96回	A区4~7号井戸	105
第35回	B区5号住居出土遺物(2)	42	第97回	A区8・9号井戸	106
第36回	B区6号住居	42	第98回	C区1~3号井戸	107
第37回	B区6号住居、出土遺物	43	第99回	C区4~9号井戸	109
第38回	B区6号住居出土遺物	44	第100回	C区10~13号井戸	110
第39回	B区7号住居	45	第101回	D区1・2号井戸	111
第40回	B区7号住居、出土遺物	46	第102回	A区66・82・83・85・86・291号土坑	113
第41回	B区7号住居出土遺物	47	第103回	A区112~114・160~162・274・275・277~279・298号土坑	115
第42回	B区8号住居(1)	47	第104回	A区302・304・361・363~365号土坑	117
第43回	B区8号住居(2)	48	第105回	A区366・368・369・371~373・375号土坑	119
第44回	B区8号住居、出土遺物	49	第106回	A区374・376~379・381・382号土坑	121
第45回	B区9号住居	50	第107回	A区383・386・388・389・392~394号土坑	123
第46回	B区9号住居、出土遺物	51	第108回	A区395~403号土坑	125
第47回	B区9号住居出土遺物(1)	52	第109回	A区405~408・411・412・415・417・433・436・438号土坑	127
第48回	B区9号住居出土遺物(2)	53	第110回	A区413・414・416・420~425号土坑	129
第49回	B区10号住居(1)	53	第111回	A区426~431・435・440~442号土坑	133
第50回	B区10号住居(2)	54	第112回	A区443・449・452~454・456・461号土坑	135
第51回	C区1号住居(1)	54	第113回	B区31・35・42~47号土坑	137
第52回	C区1号住居(2)	55	第114回	B区48・49・54・56・58・59・61号土坑	139
第53回	C区1号住居(3)	56	第115回	B区57・60・62・63・66・79・80号土坑	141
第54回	C区1号住居、出土遺物	57	第116回	B区90~93・97・117・118号土坑	143
第55回	C区1号住居出土遺物	58	第117回	B区119・124・127・133・148・153・154・156号土坑	145
第56回	C区2号住居(1)	58	第118回	B区167・209・221・C区39・49・74・79・99号土坑	147
第57回	C区2号住居(2)	58	第119回	C区120・146・228・256・284・297・1120号土坑	149
第58回	C区2号住居(3)	61	第120回	C区405・739・751・785・817・833・921号土坑	151
第59回	C区2号住居出土遺物(1)	62	第121回	C区927・952~954・990~992号土坑	153
第60回	C区2号住居出土遺物(2)	63	第122回	C区995・996・1000・1005・1011・1012号土坑	155
第61回	C区2号住居出土遺物(3)	64	第123回	C区1013~1017・1056号土坑	157
第62回	C区2号住居出土遺物(4)	65	第124回	C区1018・1019・1021・1039・1059号土坑	159
第63回	C区2号住居出土遺物(5)	66	第125回	C区1065・1067・1076・1081・1087・1094号土坑	161
第64回	C区3号住居	66	第126回	C区1096・1109・1115・1116・1119号土坑	162
第65回	C区3号住居、出土遺物	67	第127回	D区1・2号土坑	163
第66回	C区3号住居出土遺物(1)	68	第128回	A区15号溝	164
第67回	C区3号住居出土遺物(2)	69	第129回	A区16・17号溝	165
第68回	C区4号住居、出土遺物	70	第130回	A区18~20号溝	166
第69回	C区4号住居	71	第131回	A区21・32号溝	167
第70回	C区5号住居(1)	71	第132回	A区23・25~28号溝	169
第71回	C区5号住居(2)	72	第133回	A区29号溝	171
第72回	C区5号住居出土遺物	73	第134回	A区36~39・42号溝(1)	172
第73回	C区6号住居(1)	73	第135回	A区36~39・42号溝(2)	173
第74回	C区6号住居(2)	74	第136回	B区1・2・69号溝(1)	174
第75回	C区6号住居出土遺物	75	第137回	B区1・2・69号溝(2)	175
第76回	C区7号住居	75	第138回	B区16・17号溝	176
第77回	C区7号住居、出土遺物	76	第139回	B区21号溝	177
第78回	A区1号掘立柱建物	77			
第79回	C区1号掘立柱建物	78			
第80回	A区145~181号土坑	86			
第81回	A区182~210号土坑	87			
第82回	A区212~255号土坑	88			
第83回	B区68~73号土坑	91			
第84回	B区74~199号土坑	92			
第85回	B区194号土坑、出土遺物	93			
第86回	C区549号土坑、27~31号ピット	94			
第87回	遺構外出土遺物(1)	95			
第88回	遺構外出土遺物(2)	96			
第89回	遺構外出土遺物(3)	97			
第90回	遺構外出土遺物(4)	98			

第140回	B区61、C区12~14号溝	179	第179回	遺構外出土遺物(2)	222
第141回	C区10・15号溝	180	第180回	遺構外出土遺物(3)	223
第142回	C区17・18号溝	折込	第181回	遺構外出土遺物(4)	224
第143回	C区26号溝	184	第182回	遺構外出土遺物(5)	225
第144回	C区23・27・30号溝	185	第183回	遺構外出土遺物(6)	226
第145回	C区33号溝	187	第184回	遺構外出土遺物(7)	227
第146回	C区35・37・38・42号溝	188	第185回	遺構外出土遺物(8)	228
第147回	D区1~3号溝	折込	第186回	伊勢山遺跡調査区全体図	230
第148回	B区1号孤立柱建物、C区1号建物、 A区2号井戸出土遺物	191	第187回	伊勢山遺跡基本土層	231
第149回	A区2・3号井戸出土遺物	192	第188回	旧石礫試験トレンチ位置図	232
第150回	A区3号井戸出土遺物(1)	193	第189回	旧石礫分布状況、出土遺物	233
第151回	A区3号井戸出土遺物(2)	194	第190回	1~9号土壌基	235
第152回	A区3・4号井戸出土遺物	195	第191回	10~15・17号土壌基	237
第153回	A区4号井戸出土遺物	196	第192回	16・18~22号土壌基	239
第154回	A区4~7号井戸出土遺物	197	第193回	23~28号土壌基	241
第155回	A区7~9、C区1号井戸出土遺物	198	第194回	1~8号土坑	243
第156回	C区1~4号井戸出土遺物	199	第195回	1・2号溝	245
第157回	C区7号井戸出土遺物	200	第196回	1~3号土壌基出土遺物	246
第158回	C区7~9号井戸出土遺物	201	第197回	3~6号土壌基出土遺物	247
第159回	C区9、D区1号井戸出土遺物	202	第198回	8~10号土壌基出土遺物	248
第160回	D区1号井戸出土遺物(1)	203	第199回	12・13・15・16号土壌基出土遺物	249
第161回	D区1号井戸出土遺物(2)	204	第200回	16~18・20・21・23号土壌基出土遺物	250
第162回	D区1号井戸、A区386・389・405、 B区57・90、C区49・284・ 927・1017号土坑出土遺物	205	第201回	23・24・26・27号土壌基、1号溝出土遺物	251
第163回	C区1018・1019・1039・1067・ 1076・1096号土坑出土遺物	206	第202回	遺構外出土遺物(1)	251
第164回	C区1109、D区1・2号土坑、 A区15・23・29号溝出土遺物	207	第203回	遺構外出土遺物(2)	252
第165回	A区29・36・37号溝出土遺物	208	第204回	遺構外出土遺物(3)	253
第166回	A区37~39、B区1・ 17号溝出土遺物	209	第205回	遺構外出土遺物(4)	254
第167回	B区17・21、C区17・18・ 26号溝出土遺物	210	第206回	遺構外出土遺物(5)	255
第168回	C区26号溝出土遺物(1)	211	第207回	遺構外出土遺物(6)	256
第169回	C区26号溝出土遺物(2)	212	第208回	遺構外出土遺物(7)	257
第170回	C区26号溝出土遺物(3)	213	第209回	波志江西首遺跡出土の古墳時代遺物	259
第171回	C区26号溝出土遺物(4)	214	第210回	胸部法量比較図	263
第172回	C区26・27・33、D区2号溝出土遺物	215	第211回	波志江西首・波志江中前遺跡出土 S字状口縁古付壺	264
第173回	D区2号溝出土遺物(1)	216	第212回	波志江西首遺跡B区1号住居出土遺物	265
第174回	D区2号溝出土遺物(2)	217	第213回	群馬県内出土埴形石製模造品(1)	267
第175回	D区2号溝出土遺物(3)	218	第214回	群馬県内出土埴形石製模造品(2)	268
第176回	D区2号溝出土遺物(4)	219	第215回	群馬県内出土埴形石製模造品(3)	269
第177回	D区2号溝出土遺物(5)	220	第216回	群馬県内出土埴形石製模造品(4)	270
第178回	遺構外出土遺物(1)	221	第217回	群馬県内における 埴形石製模造品の出土地分布図	271
			第218回	灰化材出土状況、 火山ガラス比分析結果	281
			第219回	各試料採取地点の土層柱状図と 火山ガラス比ダイヤグラム	289
			第220回	各トレンチにおける植物体分析結果	293

表目次

表1	波志江西首遺跡土坑一覧	276
表2	伊勢山遺跡基石年号一覧	278
表3	波志江西首遺跡住居跡出土灰化材 種類同定結果	281

表4	波志江西首遺跡出土木器種同定結果	285
表5	伊勢山遺跡における火山ガラス比分析結果	289
表6	伊勢山遺跡における組折半測定結果	289
表7	伊勢山遺跡における植物体分析結果	292

写真図版目次

P L 1	波志江西首調査区透景
P L 2	＃ A区1・2号住居
P L 3	＃ A区2号住居
P L 4	＃ B区古墳時代前期住居全堂、1号住居

P L 5	波志江西首B区1・2号住居
P L 6	＃ B区2・3号住居
P L 7	＃ B区4・5号住居
P L 8	＃ B区5・6・10号住居

P.L.9	波志江西留B区7~10号住居
P.L.10	# C区東側古墳時代前期住居全景、1号住居
P.L.11	# C区1号住居
P.L.12	# C区2・3号住居
P.L.13	# C区3~5号住居
P.L.14	# C区6・7号住居
P.L.15	# A区1号住居出土遺物
P.L.16	# A区1・2、B区1号住居出土遺物
P.L.17	# B区1号住居出土遺物
P.L.18	# B区1号住居出土遺物
P.L.19	# B区1号住居出土遺物
P.L.20	# B区1号住居出土遺物
P.L.21	# B区2・3号住居出土遺物
P.L.22	# B区3・4号住居出土遺物
P.L.23	# B区4号住居出土遺物
P.L.24	# B区4・5号住居出土遺物
P.L.25	# B区5号住居出土遺物
P.L.26	# B区5号住居出土遺物
P.L.27	# B区6号住居出土遺物
P.L.28	# B区6号住居出土遺物
P.L.29	# B区7号住居出土遺物
P.L.30	# B区7~9号住居出土遺物
P.L.31	# B区9号住居出土遺物
P.L.32	# B区9号住居出土遺物
P.L.33	# B区9号住居出土遺物
P.L.34	# B区9、C区1・2号住居出土遺物
P.L.35	# C区2号住居出土遺物
P.L.36	# C区2号住居出土遺物
P.L.37	# C区2号住居出土遺物
P.L.38	# C区2号住居出土遺物
P.L.39	# C区2・3号住居出土遺物
P.L.40	# C区3号住居出土遺物
P.L.41	# C区3号住居出土遺物
P.L.42	# C区3~5号住居出土遺物
P.L.43	# C区6・7号住居、B区194号土坑、 遺構外出土遺物
P.L.44	# 遺構外出土遺物
P.L.45	# A区中近世面
P.L.46	# A区4~9号井戸、366号土坑
P.L.47	# A区374・405~408・422・425・ 429号土坑、29・36~39・42号溝
P.L.48	# B区中近世面
P.L.49	# B区中近世面、1号掘立柱建物、 1・2号溝、C区中近世面
P.L.50	# C区中近世面
P.L.51	# C区中近世面、1号建物、1・2号井戸
P.L.52	# C区3~10号井戸
P.L.53	# C区49・927・952~954・990・996・1005・ 1011・1012・1014・1015号土坑
P.L.54	# C区1017~1019・1059・1065・1067・1076・ 1081号土坑
P.L.55	# C区1087・1094・1109・1115・1116号土坑、 12~15・18・26号溝
P.L.56	# C区33・42号溝、D区中近世面、1号井戸、 2・3号溝

付図目次

付図1 波志江西留遺跡古墳時代全体図
付図2 # A・B区中近世全体図

P.L.57	波志江西留B区1号掘立柱建物、C区1号建物、 A区2・3号井戸出土遺物
P.L.58	# A区3・4号井戸出土遺物
P.L.59	# A区4号井戸出土遺物
P.L.60	# A区4~9、C区1号井戸出土遺物
P.L.61	# C区1~4号井戸出土遺物
P.L.62	# C区4・7号井戸出土遺物
P.L.63	# C区7~9号井戸出土遺物
P.L.64	# C区9、D区1号井戸出土遺物
P.L.65	# D区1号井戸出土遺物
P.L.66	# D区1号井戸出土遺物
P.L.67	# D区1号井戸、A区386・389・405、 B区57・90、C区49・284・ 927号土坑出土遺物
P.L.68	# C区1017~1019・1039・1067・1076・1096・ 1109号土坑出土遺物
P.L.69	# D区1・2号土坑、A区15・23・29号溝 出土遺物
P.L.70	# A区29・36~39、 B区1・17号溝出土遺物
P.L.71	# B区17・21、C区17・18・26号溝出土遺物
P.L.72	# C区26号溝出土遺物
P.L.73	# C区26号溝出土遺物
P.L.74	# C区26・27・33号溝出土遺物
P.L.75	# C区33、D区2号溝出土遺物
P.L.76	# D区2号溝出土遺物
P.L.77	# D区2号溝出土遺物
P.L.78	# D区2号溝出土遺物
P.L.79	# D区2号溝、遺構外出土遺物
P.L.80	# 遺構外出土遺物
P.L.81	# 遺構外出土遺物
P.L.82	# 遺構外出土遺物
P.L.83	# 遺構外出土遺物
P.L.84	# 遺構外出土遺物
P.L.85	# 遺構外出土遺物
P.L.86	伊勢山A区、B区全景、7・8号土塚墓
P.L.87	# 10・16~19・23・24号土塚墓、1・3号土坑
P.L.88	# 4~6・8号土坑、1・2号溝、旧石器セクション、 旧石器出土状況
P.L.89	# 旧石器、1~3号土塚墓出土遺物
P.L.90	# 3~5号土塚墓出土遺物
P.L.91	# 6・8~10号土塚墓出土遺物
P.L.92	# 10・12・13・15・16号土塚墓出土遺物
P.L.93	# 17・18・20・21・23・24号土塚墓出土遺物
P.L.94	# 26・27号土塚墓、1号溝、遺構外出土遺物
P.L.95	# 遺構外出土遺物
P.L.96	# 遺構外出土遺物
P.L.97	# 遺構外出土遺物
P.L.98	# 遺構外出土遺物
P.L.99	# 遺構外出土遺物
P.L.100	波志江西留遺跡住居跡出土炭化植物種
P.L.101	# 出土木製品樹種
P.L.102	伊勢山遺跡植物性炭体の顕微鏡写真

付図3 波志江西留遺跡C・D区中近世全体図
付図4 伊勢山遺跡全体図

第1章 発掘調査の概要

1 発掘調査に至る経過

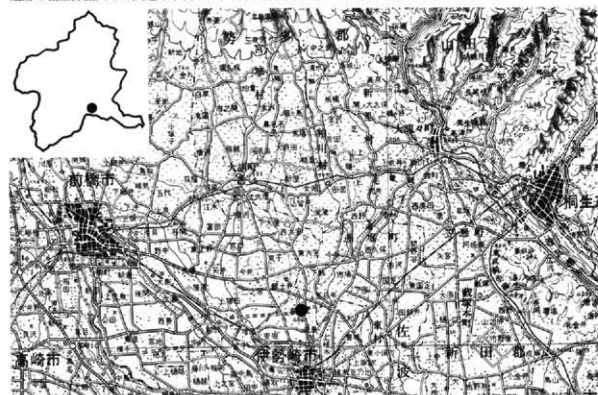
本遺跡の発掘調査は、平成10年4月1日付け県教育委員会と本事業団の間で締結された、「北関東自動車道（高崎～伊勢崎）地域埋蔵文化財発掘調査」についての委託契約に基づいて、高崎起点 STA120+60 から STA122+90 付近、約230mの調査対象地として実施することになった。

発掘調査開始以前の同年9月の日本道路公団高崎工事局と群馬県教育委員会文化財保護課、本事業団の三者定例会議に於いて、同年10月からの調査開始が協議され、同年10月17日から、既に用地買収が終了していた STA121+10 から STA121+60 付近（調査区A・B区の一部）に着手した。

本遺跡の発掘調査対象表面積は10,366㎡であり、旧石器時代から縄文時代の包含層、古墳時代及び平安時代の集落と畠、中世の屋敷跡等、3面から4面の文化層が推定され、延べ面積としておよそ、17,000㎡の事業量が想定された。

なお、発掘調査は平成10年10月から着手されたのであるが、本遺跡に関しては家屋等の用地取去状況の遅れがあり、平成12年5月で本遺跡に関する調査は全て終了した。用地解決状況の関係もあり、調査区はA区からD区に4区分して調査をおこなった。さらに、水道本管埋設等の付帯工事の関連もあり、A区は1と2区、B区は3と4区（1と2区は後日の確認調査で調査対象地から除外した）、C区は1から5区に細分した。

なお、平成11年7月10日波志江中宿遺跡と合同の現地説明会を開催した。本遺跡に関しては、波志江中宿遺跡の粘土探掘穴との関連も予測され、古墳時代前期における集落の調査成果を公開した。



第1図 波志江西宿・伊勢山遺跡位置図
(国土地理院20万分の1「宇都宮」使用)

0 10,000 20,000
1 : 200,000

2 遺跡の位置と地形

波志江西宿遺跡・伊勢山遺跡は、群馬県南部の伊勢崎市波志江町に所在する。伊勢崎市街地より北へ約5 kmに位置し、伊勢崎市の北部にあたる。遺跡の北方は佐波郡赤堀町に接し、国道17号バイパスの上武道路が東西に走る。遺跡の北側に隣接して波志江下沼が立地する。

波志江西宿遺跡・伊勢山遺跡は、赤城山南麓の神沢川、広瀬川、粕川に囲まれた伊勢崎台地が広がる中の赤城火山斜面上に立地し、標高は約87mである。赤城山は裾野を長く、緩やかに伸ばし、南麓の地域では多くの小河川が南方に台地を刻んでいる。これらの小河川により開析された低地は樹枝状に発達し、山麓ではローム台地と低地が入り組んだ地形を形成している。

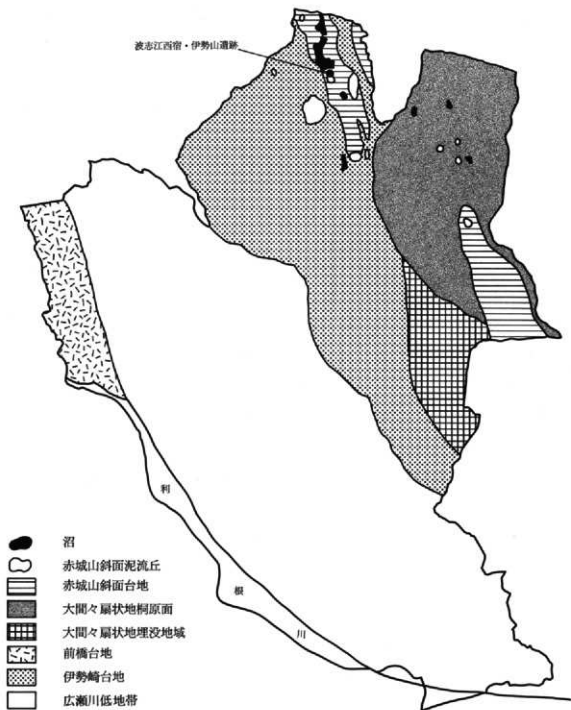
波志江西宿遺跡・伊勢山遺跡が立地する赤城火山斜面は、波志江沼から華蔵寺公園に至る北部地域、豊城町から日乃出町に至る南部地域に二分される。この地域の火山斜面は、泥流丘（流れ山）と古期成層凝灰亜角礫層から成る台地とで構成されている。泥流丘は、火山泥流の流末地域に形成される泥流堆積物の小丘で流れ山とも呼ばれ、一般に孤立的に散在する。波志江町の稲岡、華蔵寺公園の小丘、八寸の権現山は代表的なものである。波志江沼から華蔵寺にかけての泥流丘周囲の台地は泥流丘と前後する時代に形成された古い裾野で、波志江沼周辺の台地では、厚さ2～3mの関東ローム層下に砂やシルト、粘土が堆積する。本遺跡は古い時代の裾野の台地上に位置する。

波志江西宿遺跡・伊勢山遺跡の位置する台地の東西は伊勢崎台地で、神沢川と広瀬川を西限、粕川を東限とする。安堀町から伊勢崎市街地へかけて広瀬川左岸が比高6～8mの浸食崖となっていることから、広瀬川低地帯よりも一段高い台地であることが認められる。この崖は伊勢崎市南東部の羽黒団地の北から佐波郡境町保泉西部へ続いていく。伊勢崎台地は、伊勢崎砂層という特徴的な粗角礫質粗砂、凝灰質泥で形成され、台地上には初生的な関東ローム層が堆積していないので、伊勢崎砂層は洪積世最末期から沖積世初頭に堆積した地層と考えられ、等高線を見ると台地は北から南へ傾斜しており、扇状地的な配列を呈する。

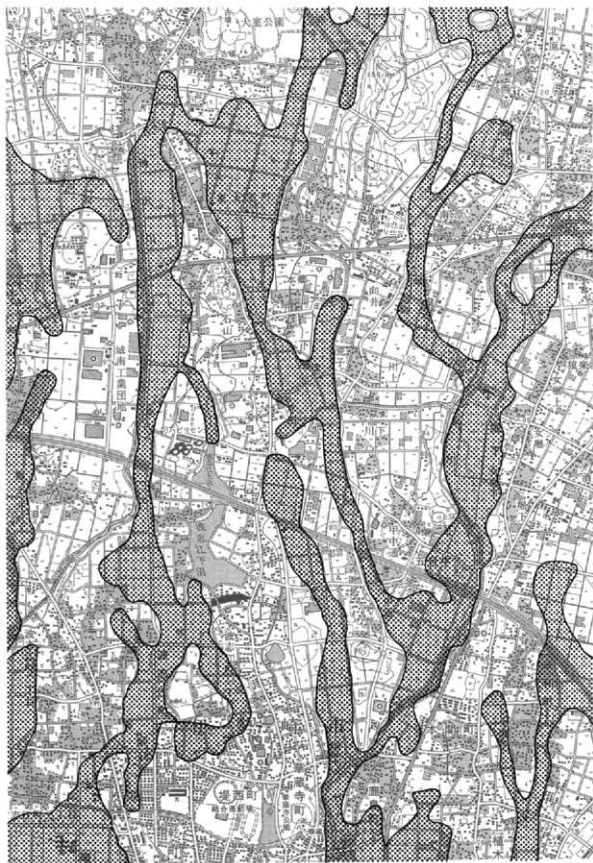
前述の通り、波志江西宿遺跡・伊勢山遺跡が位置する台地には関東ローム層が堆積している。伊勢崎市内の関東ローム層は、上部ローム層、中部ローム層、下部ローム層の3つに分けられる。上部ローム層は、厚さ0.5～1m程度のローム層が見られるが、下半部に浅間板鼻褐色軽石がまばらに含まれる。中部ローム層は暗色帯以下、湯之口軽石層基底面までであるが、伊勢崎市地域には湯之口軽石層は降下していない。下部ローム層は泥流丘の斜面だけに認められる。波志江の権現山では、上部ローム層下にチョコレート色の粘土質ロームがある。本遺跡のローム層は上部が軟質なソフトローム、中・下部は硬質なハードロームである。上・中層より浅間板鼻黄色軽石（約1.3～1.4万年前）、浅間大窪沢第1軽石（約1.7万年前）、浅間白糸軽石（約1.8万年前）、下層からは浅間板鼻褐色軽石群（約1.9～2.4万年前）、始良丹沢火山灰（約2.4～2.5万年前）などを検出することができた。現在、この周辺は低地部は水田として、ローム台地は畑・集落として土地利用がなされている。

波志江西宿遺跡・伊勢山遺跡周辺には、近世期の新田開発で造成された溜め池が点在している。伊勢崎北部では、波志江沼・蟹沼・華蔵寺沼・鯉沼・新沼などがある。波志江町内には、波志江沼と蟹沼がある。本遺跡のすぐ北側にある波志江沼は、上沼（うわぬま）と下沼（したぬま）に分かれている。沼の築造年代は不明であるが、寛政二年（1790年）の『伊勢崎風土記』に「大沼ニツ 上ノ沼 下ノ沼」とある。周辺の沼の築造年代から考えて、近世期のものであろうか。上沼は上沼用水といい灌漑面積は6ヘクタールで桂川から取水する。下沼は波志江水利組合の溜め池で約61ヘクタールを灌漑し、桂川と神沢川から取水する。下沼

には、「沼の中に七井ありて洵涌（きょうゆう）せり。是の故に七社の祠を沼の上に建てきと云う。今その井亡（な）し。」という記述があり、もともとは潮水があったと思われる。また、下沼の堤が明治時代に決壊したようで、『群馬の湖沼』（上毛新聞社 1960）には、「明治42年6月に堤が決壊し、魚が全部流れてしまった。」とある。現在は、両沼とも養鰻を行っており、下沼の養鰻は古くから有名で、現在でも冬場の水揚げの際は、鰻が伊勢崎市民や一般に売り出され、大変な賑わいを見せている。



第2図 伊勢崎地域地質図(伊勢崎市史より)



第3圖 波志江西碧遺跡・伊勢山遺跡位置圖
 (国土地理院2万5千分の1「大胡」使用)

0 1 : 25,000 1km

3 周辺の遺跡

波志江西宿遺跡・伊勢山遺跡が所在する周辺遺跡の時代ごとの概要は次の通りである。

旧石器時代の遺跡は堀下八幡遺跡、波志江六反田遺跡、飯土井二本松遺跡、飯土井中央遺跡、下触牛伏遺跡、波志江中宿遺跡などがあり多くの旧石器が出土している。

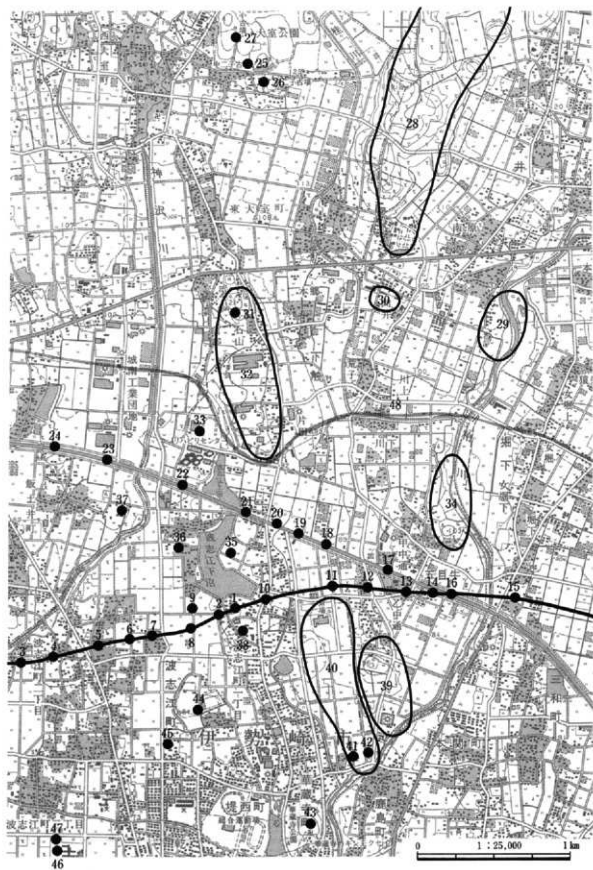
縄文時代の遺跡は扇状地や伊勢崎台地上に分布している。草創期では、土器片が発見されている間之山遺跡、竪穴住居跡が検出された五日牛新田遺跡があげられる。早期の遺跡は小丘陵上やその裾部に立地する。波志江中屋敷遺跡では稲荷台式期の竪穴住居跡が検出され、包含層からも押形文土器（楕円文と山形文）が出土している。前期は花積下層式期の竪穴住居跡が検出された五日牛清水田遺跡（上武道路）、五日牛南組遺跡などがあげられる。前期から中期の遺跡は湧水に近い台地の縁辺部や小河川を臨む広い台地上に占地するようになる。荒砥二之堰遺跡では前期から後期前半の集落跡が検出されている。波志江中野面遺跡では、中期、加曾利E式期の竪穴住居跡等が検出されている。後期から晩期になると、中期に比べて遺跡数が減少し、立地は平坦な微高地へと移動する。

弥生時代の遺跡は、赤城南麓及び大間々扇状地では希少な状況である。低地をひかえた山麓の末端地域では徐々にその事例が増加しているが、集落遺跡としての展開を見せるに至っていない。伊勢崎市域での弥生時代遺跡は、広瀬川の北側微高地上に立地している。中組遺跡では、中期の土器が出土している。間之山遺跡では後期の竪穴住居跡が検出されている。

古墳時代の遺跡は、赤城南麓の扇状地を侵食する小河川の縁辺に立地している遺跡が多い。前期の遺跡として竪穴住居跡、方形周溝墓が検出された間之山遺跡、方形周溝墓が検出されている中組遺跡、竪穴住居跡、方形周溝墓が検出された波志江中野面遺跡、粘土探掘坑が検出されS字状口縁台付甕・木器等が出土した波志江中宿遺跡、竪穴住居跡が検出されている大沼下遺跡、五日牛新田遺跡、本遺跡の南東約1.5kmに所在する華藏寺裏山古墳、南東約1kmに所在する地蔵山古墳などがあげられる。中期の遺跡は、本遺跡の南西約2.5kmのところこの地域最大の墳丘を有する前方後円墳の御富士山古墳が所在する。本遺跡のすぐ南にも伊勢山古墳が所在していた。波志江沼西側の波志江今宮遺跡では、帆立貝形古墳や円墳が検出されている。後期の遺跡は多数の竪穴住居跡が検出された岡屋敷遺跡がある。粕川以西地域を地形的に見ると、赤城山斜面台地、赤城山斜面泥流丘、伊勢崎台地に区分されるが、集落遺跡は赤城山斜面台地の縁辺部に立地する。これらの遺跡はいずれも広大な水田耕作が可能で、これらを背景に集落が成立したことが考えられる。古墳時代の水田遺構が検出された遺跡としては、波志江中屋敷西遺跡、波志江中屋敷遺跡、波志江中屋敷東遺跡などがある。波志江中屋敷東遺跡では、畦畔の中から建築部材や木器が大量に出土している。

奈良・平安時代の遺跡は、竪穴住居跡が検出された波志江今宮遺跡（1軒）・波志江六反田遺跡（3軒）、波志江中野面遺跡（52軒）・波志江西屋敷遺跡（28軒）・岡屋敷遺跡（11軒）・波志江中屋敷西遺跡（5軒）・波志江中屋敷東遺跡（2軒）などがあげられる。平安時代の水田遺構が検出された遺跡としては、波志江中峰岸遺跡、波志江今宮遺跡、波志江六反田遺跡、波志江中野面遺跡などがあげられる。いずれもAs-B下の水田である。

中近世の遺跡は、環濠屋敷が検出された岡屋敷遺跡、波志江中屋敷西遺跡、波志江中屋敷遺跡、未完の農業用水路として著名な女堀などがあげられる。



第4図 周辺遺跡分布図（国土地理院2万5千分の1「大胡」使用）

周辺遺跡一覧表

番号	遺跡名	所在地	遺跡の概要	調査年次・報告書等
1	波志江西宿遺跡	伊勢崎市波志江町	本報告書遺跡。	本書
2	伊勢山遺跡	伊勢崎市波志江町	本報告書遺跡。	本書
3	波志江中野面遺跡	伊勢崎市波志江町	縄文時代中期の住居10軒・土坑8基・埋蔵1基。古墳時代の集落（住居28軒・独立柱建物2棟）・方形周溝墓18基・前方後方形周溝墓1基。奈良・平安時代集落（住居5軒・独立柱建物6棟）。As・B下水田・畠。	図：調査1997～99 報告2001・2002
4	波志江西屋敷遺跡	伊勢崎市波志江町	古墳時代の独立柱建物1棟。奈良・平安時代の集落（住居28軒・独立柱建物10棟）。	図：調査1998～99 年報18
5	阿屋敷遺跡	伊勢崎市波志江町	古墳時代後期の集落（住居91軒）。奈良平安時代の集落（住居11軒）。近世の屋敷。	図：調査1998～99 年報18
6	波志江中屋敷西遺跡	伊勢崎市波志江町	As・C混土を耕作土とする小区圃水田。奈良・平安時代の住居5軒・畠。中世の館・As・B混土が耕作土の水田。	図：調査1998～99 年報18
7	波志江中屋敷東遺跡	伊勢崎市波志江町	縄文時代早～後期の遺物包含層。早期弥生文の住居1軒。As・C混土下水田。平安時代住居2軒。中近世の屋敷跡。	図：調査1998～99 年報18・19
8	波志江中屋敷東遺跡	伊勢崎市波志江町	縄文時代前期土坑3基。古墳時代前期水田。建築部材出土。平安時代水田。	図：調査1998～99 報告2002
9	大沼下遺跡	伊勢崎市波志江町	古墳時代前期の住居・奈良平安時代の住居19軒。溝・井戸・土坑等。	伊：調査1977 報告1977
10	波志江中宿遺跡	伊勢崎市波志江町	旧石器時代の2枚の文化層確認。奈良・平安時代の集落。古墳時代前期の粘土探掘坑と粘土探掘坑より出土の本製品。Hr-FAとAs・C混土を耕作土とする水田。中近世は井戸・独立柱建物。	図：調査1997～99 報告2001
11	五日牛新田遺跡	佐波郡赤堀町五日牛	縄文時代草創期の住居2軒。弥生時代～古墳時代の集落（32軒）。平安時代の住居2軒。溝・土坑。	赤：調査1997～99 図：年報17・18
12	五日牛南組遺跡（北園東）	佐波郡赤堀町五日牛	縄文時代住居2軒。古墳1基。近世屋敷。	赤：調査1998～99 図：年報18
13	稲荷山古墳	佐波郡赤堀町五日牛	古墳1基。古墳時代の畠。古代の水田・畠。	赤：調査1997～00 図：年報17・19
14	五日牛清水田遺跡（北園東）	佐波郡赤堀町五日牛	縄文時代包含層・前期住居2軒。古墳時代住居4軒・古墳1基。水田。	赤：調査1998～99 図：年報17・18
15	光仙房遺跡	伊勢崎市三和町	旧石器時代の文化層2枚。古墳3基・古墳時代粘土探掘坑。平安時代住居・須置器室跡。中近世土坑墓・溝。	図：調査1997～99 図：年報17・18
16	五日牛清水田遺跡（上武道路）	佐波郡赤堀町五日牛	縄文時代前～後期の遺物包含層。住居（花積下層）6軒・土坑15基・集石土坑22基・配石8基。古墳～奈良時代の集落（住居47軒・独立柱建物17棟）。As・B下水田以下9部の相川の忍敷層下水田を確認。	図：調査1984～86 報告1993
17	五日牛南組遺跡（上武道路）	佐波郡赤堀町五日牛	縄文時代前期（花積下層）住居4軒・陥穴。弥生時代再葬墓1基。古墳時代後期古墳（円墳）6基。	図：調査1984～85 報告1992
18	堀下八幡遺跡	佐波郡赤堀町堀下	旧石器時代の石器集中地点20ヶ所（総計998点）。縄文時代早～後期の遺物包含層。前期諸儀b式期の住居1軒・土坑。平安時代集落（住居9軒）。	図：調査1984～85 報告1990
19	波志江中峰岸遺跡	伊勢崎市波志江町	平安時代の溝3条・As・B下水田。	図：調査1985 報告1995
20	波志江六反田遺跡	伊勢崎市波志江町	旧石器時代の石器6点出土。縄文時代の遺物包含層から弥生土器が出土。平安時代の住居3軒。As・B下水田。	図：調査1985 報告1992
21	波志江天神山遺跡	伊勢崎市波志江町	縄文時代の前期の遺物包含層（新儀b）・陥穴5基。近世の土坑・溝。	図：調査1985 報告1992
22	波志江今宮遺跡	伊勢崎市波志江町	古墳8基。形象埴輪・円筒埴輪・太刀・馬具等出土。奈良時代住居1軒。As・B下水田。	図：調査1980～81・85 報告1994
23	飯土井二本松遺跡	前橋市飯土井町	旧石器時代の石器出土。縄文時代早～後期の遺物包含層。陥穴。古墳時代前期の住居1軒。奈良・平安時代集落（23軒）。中・近世の方形区画の溝。	図：調査1985～86 報告1991
24	飯土井中央遺跡	前橋市飯土井町	旧石器時代の石器集中地点5ヶ所（総計170点）。縄文時代遺物包含層より創前期の爪形文・押印文出土。陥穴13基。古墳時代後期住居1軒。平安時代住居1軒。	図：調査1986 報告1991
25	中二子古墳	前橋市西大室町	全長85mの前方後円墳。男堀を有し。一部は二重。	前：調査1993～94報1995
26	前二子古墳	前橋市西大室町	全長95mの前方後円墳。袖無型横穴石室。6世紀前半の築造。	前：調査1992報告1993

番号	遺跡名	所在地	遺跡の概要	調査年次・報告書等
27	後二子古墳	前橋市西大室町	全長76mの前方後円墳。横穴式両袖型石室。6世紀中～後半の築造。	前：調査1991報告1992
28	多田山田向井古墳群	佐波郡赤堀町今井	多田山丘陵の東南斜面で古墳時代後期の円墳が集中する。「上毛古墳総覧」によると20基以上となる。9基の古墳が調査されている。	群大調査1990 赤：調査1966・67
29	南原古墳群	佐波郡赤堀町今井	粕川の右岸の台地上で、「上毛古墳総覧」に愛宕山古墳を中心に28基の古墳が記載されている。50年に4基、66年に3基、67年に1基が調査。	調査1952
30	向井古墳群	佐波郡赤堀町	桂川の左岸で、下触向井遺跡の西側にあたる。横穴石室を有する古墳1基が調査されている。	相沢忠洋氏調査1967報告1967
31	石山遺跡	佐波郡赤堀町下触	旧石器時代末の尖頭器104点・棒器4点・剥片2,477点出土。「考古学ジャーナル」1967年6月号	赤：調査1989報告1990
32	石山片田古墳群	佐波郡赤堀町下触	石山・夷塚・片田にかけての低い丘陵が南北につながる。「上毛古墳総覧」によると約70基の古墳が記載されている。「上毛古墳総覧」に記載されている赤堀村59号墳が発掘調査された。下触牛伏遺跡の古墳もこの古墳群に含まれる。	団：調査1982～84報告1986
33	下触牛伏遺跡	佐波郡赤堀町下触	旧石器時代の文化層を2枚確認。約3,000点の遺物が出土。縄文時代の住居3軒・陥穴25基・土坑18基・築石3基。古墳時代の住居13軒・古墳10基。	群大：調査1950
34	洞山古墳群(洞山古墳)	佐波郡赤堀町五日午	粕川の右岸で南北150m、東西170mの小丘で、洞山古墳をはじめ21基の古墳が確認されている。洞山古墳は全長22mの前方後円墳で6世紀前半から中葉の築造である。1982年2基の円墳が発掘調査されている。	赤：調査1982報告1983
35	大沼上遺跡	伊勢崎市波志江町	土師器使用の住居1軒、溝1条確認。	伊：調査1981報告1982
36	宮貝戸下遺跡	伊勢崎市波志江町	奈良時代の住居2軒、中近世の井戸・基。井戸から板碑が出土。	伊：調査1977～78報告1978
37	瓦庭二之塚遺跡	前橋市飯土井町	縄文時代前期8軒・中期18軒・後期9軒の住居。後期9軒は納納器。古墳時代前期の住居13軒・方形周溝墓9基・円形周溝伏遺構1基。古墳時代の住居9軒・古墳21基。	団：調査1980報告1985
38	波志江伊勢山古墳	伊勢崎市波志江町	田三村711号墳。横穴式両袖型石室の円墳。	群大：調査1951
39	地蔵山古墳群	佐波郡赤堀町五日午	地蔵山と呼ばれる南北に細長い丘陵で、頂上に全長60mの地蔵山古墳をはじめ、55基の古墳が確認され、43基の古墳が発掘調査されている。	赤：調査1977～79報告1978・1979
40	蟹沼東古墳群	伊勢崎市波志江町	蟹沼の東の東西100m、南北400mの細長い台地上に約70基の古墳が存在する。発掘調査で25基の円墳を調査。7世紀前半の古墳が主体。縄文時代の陥穴5基、方形周溝墓6基が調査されている。	伊：調査1977～78・1986報告1978・79・88
41	間之山遺跡	伊勢崎市波志江町	蟹沼東古墳群として発掘調査された一部分で間之山丘陵にかかると遺構を遺跡名の変更で間之山遺跡とした。縄文草創期土器片、弥生時代後期の住居1軒、古墳時代前期の住居1軒、方形周溝墓。	伊：調査1977～78・86報告1978・79・88
42	上西根遺跡	伊勢崎市鹿島町	古墳時代～奈良時代の住居26軒、方形周溝墓5基、溝15条、井戸3基が発掘調査された。住居の主体は古墳時代中後期である。	伊：調査1983～84報告1985
43	草蔵寺萬山古墳	伊勢崎市草蔵寺町	4世紀後半と推定される墳丘40mの前方後円墳である。出土遺物は複合口縁造形土器や壺形土器である。出土遺物等から前方後円墳の可能性が考えられる。	発掘調査は行われていない。
44	波志江柳現山遺跡	伊勢崎市波志江町	縄文時代早期糸痕文土器・黒糸文土器・押形文土器・スタンプ形石器等が採取されている。	伊：調査1976報告1977
45	西福岡遺跡	伊勢崎市波志江町	古墳時代の溝2条、時期不明の溝1条が発掘調査された。	伊：調査1997～98報告2001
46	中組遺跡	伊勢崎市波志江町(単立伊勢崎南)	古墳時代前期1軒・中期4軒、奈良時代9軒の住居。土坑、井戸が発掘調査された。	伊：調査1981報告1982
47	中組遺跡	伊勢崎市波志江町(北部機伏塚)	弥生時代中期土器出土。奈良・平安時代の住居7軒、方形周溝墓1基が発掘調査された。	伊：調査1981報告1982
48	女堀	前橋市東大室町	前橋市上京町の藤沢川から佐波郡東村国定までの12.75kmの終末点送水を目的とした農業用水である。8地点で発掘調査が行われ、梯形に掘削し、中段を設け、中央に湧き水を掘る。未完成で放棄されている。	団：調査1979～82報告1984

● 県：群馬県教育委員会 前：前橋市教育委員会
 ● 伊：伊勢崎市教育委員会 赤：赤堀町(村)教育委員会 団：財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

<参考文献>

【伊勢崎市史通史編原始古代中世】 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団『三和工業団地1遺跡(2)』 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団『波志江中野遺跡(1)』 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団『波志江中宿遺跡』 上毛新聞社『群馬の掘り』

第2章 波志江西宿遺跡

1 調査の経過と方法

調査の経過

本遺跡の調査は、平成10年9月1日から調査準備に入った。10月から波志江下沼の北側に借地をしてプレハブを建て、A区・B区の一部を表土掘削して本調査に備えた。発掘調査は12月1日より担当2名1班体制で開始し、A区・B区の一部から着手した。用地買収の関係で着手できる部分から調査を進めていくこととなった。調査は中近世の土坑・溝群、古墳時代住居、旧石器試掘・本調査という順序で行った。

平成10年12月上旬、A区・B区の一部の中近世の土坑・溝調査。年内でほぼ終了し、平成11年1月よりC区西側の中近世の土坑・溝の調査に着手した。土坑・溝の数が多く、調査は難航した。1月19日よりC区西側の古墳時代住居の調査に着手し、中近世の土坑・溝調査と同時並行させ、効率化を図った。住居は4世紀末から5世紀初頭のもので、土師器・鉄製品・ミニチュア土器等が出土した。1月下旬にC区北西部分の高所作業車による写真撮影を実施した。2月1日より担当1名・作業員を増員し、2班体制の調査となった。C区の中近世面を中心として調査を進めた。1月上旬よりA区の一部の旧石器試掘調査を開始し、石器が多数出土したため、2月から本調査を行った。同時にB区東側の表土掘削を進めた。

平成11年度は、担当5名2班体制で調査を行った。前年度の調査の継続でA区の旧石器本調査、C・D区の旧石器試掘調査より開始した。5月上旬にB区東側の中近世面調査に着手した。5月中旬よりB区西側も表土掘削し着手するものの、上部からの削削がひどく遺構は検出できず、写真・図面等の記録を行い、終了した。A区東側の調査も終了した。5月下旬よりB区東側の古墳時代住居、C区南東側の調査を開始した。C区西側では旧石器時代の石器が多数出土し、本調査を開始した。6月上旬、B区東側、高所作業車による中近世面の写真撮影を実施。6月中旬、C区南東側、中近世面写真撮影実施、旧石器試掘調査開始。7月1日より担当2名1班を増員し、担当7名3班体制での調査となった。7月10日に波志江中宿遺跡と合同で現地説明会を開催し、524名の見学者が訪れた。7月下旬よりC区東側の表土掘削を開始し、調査に着手した。B区東側の古墳時代住居10軒の空中写真撮影を実施した。この時点で調査未着手はA区西側の用地が解決しない部分のみとなった。この時期の旧石器調査は、深く掘り下げた部分が水没するため、水中ポンプを稼働させながらの調査となり、非常に難行した。また、夕方のにわか雨や集中豪雨が連日のように続き、発掘区全体が水没することもしばしばあった。9月1日から担当2名1班が大井戸遺跡へ移動したため、担当5名2班体制での調査となった。9月上旬、B区東側、旧石器試掘調査を開始。9月下旬にC区東側の中近世面の空中写真撮影を実施し、古墳時代住居の調査を開始する。A・B区間の現道下の調査も実施した。10月中旬、A・B区間現道下の中近世面、C区東側の古墳時代住居の高所作業車による写真撮影を実施。11月上旬、C区東側の旧石器試掘調査開始。C区東側で石器が多数出土したため、旧石器本調査を開始した。11月下旬、B区東側調査終了。A区西側の未解決地を除く、198㎡の調査を開始した。12月中旬、C区東側調査終了。用地が解決するまでの間（1～2月の間）、遺物・図面の基礎整理を行った。1月より担当1名が舞台遺跡へ移動し、担当4名での調査となった。1月下旬、A区西側198㎡の調査終了。3月1日より担当2名作業員15名程合流する。同日、A区西側の用地が解決し、産業廃棄物の処理、表土掘削を開始し、中近世面の調査に着手した。調査区部分引き渡しの都合、伊勢山遺跡との境の部分、波志江西宿遺跡の最西端の調査を優先させ、3月下旬に旧石器調査まで終了した。

平成12年度は担当4名2班体制で前年度からの調査の継続で開始し、A区西側の中近世面調査、古墳時代

平成12年度は担当4名2班体制で前年度からの調査の継続で開始し、A区西側の中近世面調査、古墳時代住居1軒の調査、旧石器試掘調査・本調査を行った。4月下旬に中近世面の写真撮影を実施し、古墳時代住居、旧石器試掘調査を開始した。5月上旬、石器が多数出土したため、土止めの安全対策工事を行い、旧石器本調査を開始した。5月下旬に終了し、埋め戻しの後、引き渡しを行った。6月1日から6月30日までの間は、遺物・図面の整理、機材の撤収等を行い、プレハブを撤去して全調査を終了した。

調査の方法

調査においては、調査方法や排土方法、さらに安全対策等に配慮しながら進めた。以下は調査に伴った主な留意点である。

【調査区の設定】

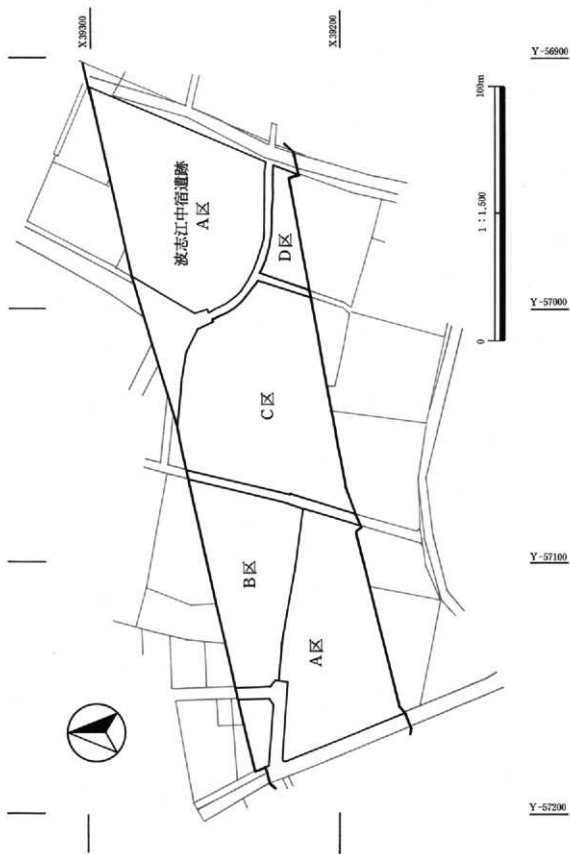
発掘調査区は、伊勢崎市波志江町に所在し、東西250m・南北幅50mの範囲である。西側から現道の区画にあわせてA・B・C・D区に区分した。

【グリッドの設定】

グリッドの設定は、日本平面直角座標（国家座標）を基準に5m方眼を設定し、遺構・遺物の図化を行った。南東隅基準点の下3桁の数値をもってグリッド名とした。グリッド杭・水準点杭の測量・打設は測量会社へ委託した。基準点は2002年4月改正以前の日本測地系を用いている。

【調査手順】

1. 表土等の除去は、調査の効率化を図るために大型掘削機で行い、排土の運搬についてはダンプを使用した。排土は調査区内及び調査区近接地に借地をして処理することにした。
2. 遺構名称は調査区ごと遺構の種別ごとに通し番号を付した。
3. 遺物の取り上げは、遺構単位、グリッド単位を基本とし、現位置をとどめる物については、その都度番号を付し、図面上に記録した。
4. 遺物の注記は、遺跡略号（KT260）、調査区名、遺構名またはグリッド名を記入した。
5. 測量については、発掘作業員にセクション・平面図作成を指示し、1/10、1/20、1/100縮尺図を作成し、一部を業者に委託した。
6. 作成した遺構実測図には、遺構名・実測図名・縮尺・実測者名・レベル高・ベンチマークの高さ・作成年月日を記入し、1枚ごとに通し番号を付し、台帳を作成した。
7. 写真撮影には、35mm版と6×7インチ版カメラのモノクロとリバーサルフィルムを使用した。調査区の全景写真撮影は、高所作業車を使用し、必要に応じて気球による空中写真撮影も実施した。
8. 撮影したフィルムは現像処理し、モノクロはベタ焼きを行った。ベタ焼きはネガ検査台紙に調査区、遺構ごとに貼り付け、撮影対象・撮影方向・撮影日を記入し、通し番号を付し、台帳を作成した。



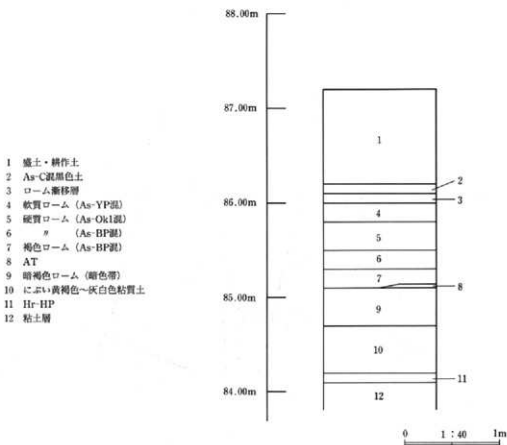
第5圖 波志江西宿遺跡調査区位置図

2 遺跡の基本土層

波志江西宿遺跡は、赤城山南麓のローム台地上に立地する。遺跡全体に関東ローム層の安定した堆積がある。ローム層の上には表土がのっているが、その中間にAs-Cを含む黒色土の残存している地点が部分的にあった。この黒色土は赤城山南麓に一般的に見られるもので、古墳時代の竪穴住居跡、掘立柱建物跡、土坑はほとんどこの土で埋没している。古墳時代の遺構はローム層上面を掘り込んでいるため、ローム漸移層(3層)上面が遺構の確認面となった。

4層はやや軟質なロームで、As-YP(浅間板鼻黄色軽石)を含む。この層は土層の様子から再堆積をしたものと思われる。5層は硬質なローム層で、再堆積のAs-Ok1(浅間大窪沢第1軽石)を含む。6層は下部にAs-BP(浅間板鼻褐色軽石群)を含み、一部軽石がブロック状に確認できる地点もあった。7層もAs-BPを含むが、6層に比べより細粒で、弱い粘性を持つ。A区の西端では上位にAs-BPブロックが密集する部分が見られた。8層はAT(始良丹沢火山灰)である。A区の西端では2~4cm程度の厚さで堆積していたが、その他の地区では一次堆積の状態では確認できず、7層の下位に含まれるようである。9層は「暗色帯」である。粘性の強弱や色調の違いから2~3に分層できた地点もあった。10層は黄褐色から灰白色の粘質土層、11層はHr-HP(榛名八崎軽石)の一次堆積層、12層は暗褐色から灰白、青灰色の粘土層である。

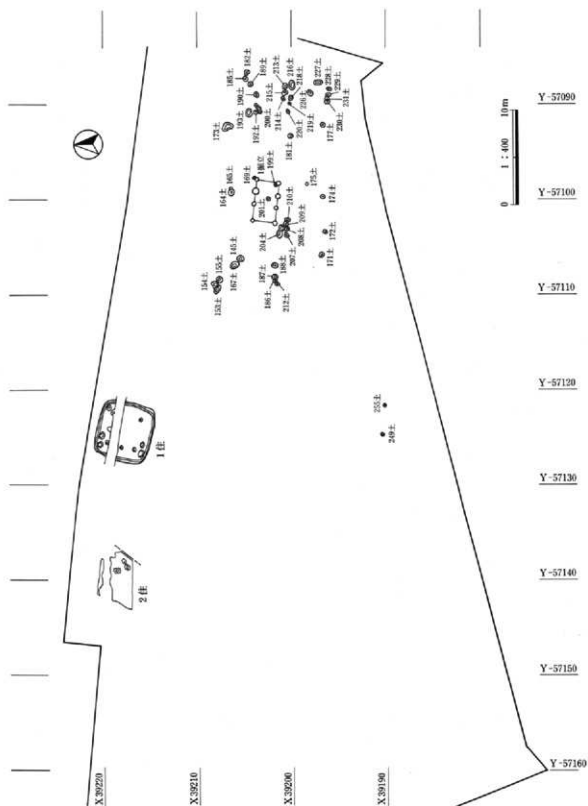
以上が本遺跡の基本土層の概略である。赤城山南麓のローム台地に見られる一般的な土層堆積といえる。



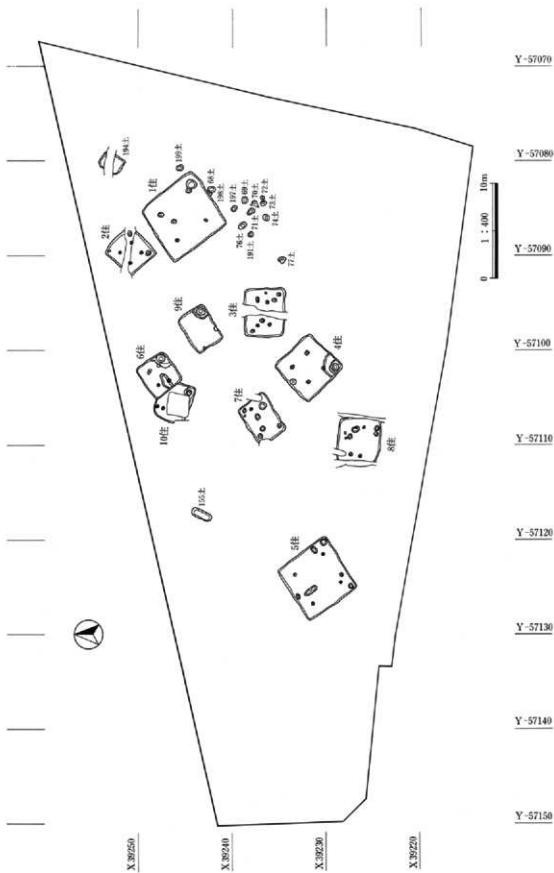
第6図 波志江西宿遺跡基本土層図

3 検出された遺構と遺物

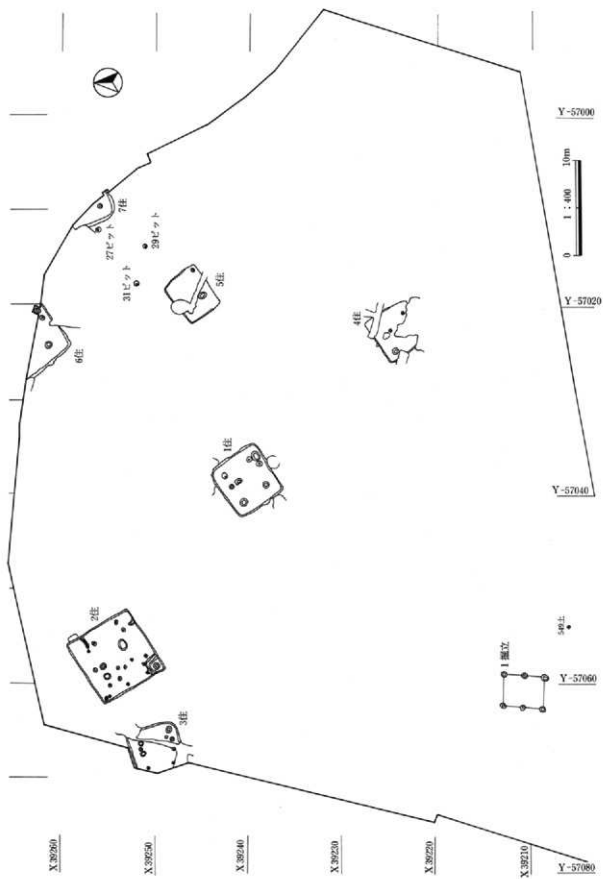
I 古墳時代の遺構と遺物



第7図 A区古墳時代遺構全体図



第 8 图 B区古墳時代遺構全体图



第9図 C区古墳時代遺構全体図

(1) 古墳時代遺物の器種について

本遺跡の古墳時代遺物のうち甕、壺については以下の通りに分類した。ものによっては、分類の基準が微妙なものもあるが、本報告書での分類ということでご容赦願いたい。なお、表中の胴高、胴径は本遺跡出土の遺物の胴部の高さ、胴部の最大径の最小～最大値、() に平均値を記載し、分類の基準とした。

台付甕	
	<ul style="list-style-type: none"> ・口縁はS字状で胴部は器壁が薄く、わずかに肩が張り、斜位のハケメを施し、脚をもつもの。 ・口縁は単口縁で胴部は球形ないし長胴。脚をもつもの。
甕	小型甕
<p>・丸底、平底で口縁は真っ直ぐないしやや外反する。胴部は球形ないし長胴。脚をもたない甕。胴高14～26cm(平均値20.8cm)、胴径14～29cm(平均値21.7cm)のもの。</p>	<p>・丸底、平底で口縁は真っ直ぐないし外反する。胴部は球形ないし長胴。脚をもたない甕。胴高10cm未満(平均値9.6cm)、胴径15cm未満(平均値13.6cm)のもの。</p>
壺	小型壺
<p>・丸底、平底で口縁は単口縁、二重口縁。胴部は球形ないし長胴。胴高11.8～30.0cm(平均値17.2cm)、胴径15.8～29.0cm(平均値20.4cm)のもの。</p>	<p>・丸底、平底で口縁は短かいもの、長いものがある。胴部はほぼ球形ないしそろばん形。胴高5.2～10.6cm(平均値7.4cm)、胴径6.9～13.4cm(平均値10.1cm)のもの。(増もこの中に含む。)</p>
<p>0 1 : 6 20cm</p>	

(2) 概要

古墳時代の遺構は、A区では竪穴住居2軒、掘立柱建物1棟、土坑46基、B区では竪穴住居10軒、土坑15基、C区では竪穴住居7軒、掘立柱建物1棟、土坑1基、ピット3個を検出した。

竪穴住居は、19軒全てが古墳時代前期に属し、ローム台地頂部付近に多く分布している。遺物はS字状口縁台付甕や単口縁の甕、複合口縁を意識した壺、小型壺、高坏、手捏土器等が出土している。特徴的なのは、S字状口縁台付甕よりも単口縁の甕の方が量的な割合が多い。また、高坏と小型壺が多く出土している。高坏はほとんどのものが長脚化する。小型壺は胴部下半部をケズリ、ナデを入れ、口縁部内面にハケメを施すものが多い。また、B区1号住居からは、滑石質蛇紋岩製の斧形石製模造品が出土している。一部欠損しており未製品と思われる。また、C区2号住居では、剣形の石製模造品が出土している。C区3号住居からは、鉄製の鎌の刃の部分が出土している。古墳時代前期のものとしては出土例は少ない。竪穴住居の覆土中には、As-Cを含む黒褐色土が検出されている。本遺跡で検出された古墳時代の遺構は、全てこの土が覆土で確認されている。形状からみた竪穴住居は、全面を確認できなかったものを除き、平面形がほぼ正方形のものが7軒、長方形のものが8軒であった。掘り込みも深いもので80cmまで掘り込んだものも数軒ある。ローム台地頂部付近は、上部からの攪乱が特にひどく、床面直上まで削平されている竪穴住居もあった。掘り込んだ構築面から10~20cm程度ロームブロック混じりの土を埋め込んで床面としているものが多い。貼床を施す住居も見られる。

掘立柱建物は、A区で1棟、C区で1棟、1間×3間・主軸方位は東西方向のものと1間×2間・南北方向のものをそれぞれ検出した。竪穴住居と主軸方向は違うものの、覆土中にはAs-Cを含む黒褐色土が検出されていることから古墳時代の遺構と考える。出土遺物等は検出することができなかった。

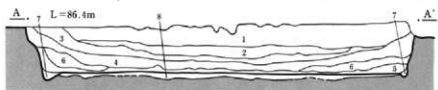
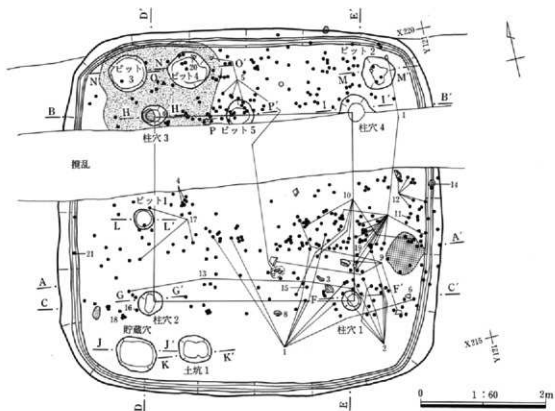
土坑はA区で46基、B区で15基、C区で1基検出した。覆土中にはいずれもAs-Cを含む黒褐色土が検出されている。中には完形のS字状口縁台付甕を出土する土坑もある。

ピットはC区で3個検出した。掘立柱建物や柵列のように特に列をなすこともなく、柱穴と考えることはできなかった。覆土の黒褐色土中からS字状口縁台付甕の破片が出土するものもあり、古墳時代のピットと考えられる。

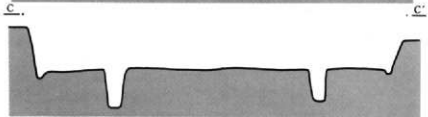
(3) 住居跡

A区1号住居 (P L - 2・15・16)

位置 X=39215、Y=-57120グリッド付近 主軸方位 N-79°-W 規模と形状 短辺5.82m・長辺6.13mの長方形を呈する。床面 基盤のローム層を70~80cm掘り込んで構築面とする。その上にロームブロック混じりの褐色土を10cm程度埋めて生活面とする。構築面は住居北寄りの部分が島状に少し高くなるほかは、ほぼ同じ高さで掘り込まれている。柱穴 住居のほぼ対角線上に4つ確認した。直径は30~45cm、深さ45~65cmの単純円形の掘方を呈する。炉 不明。住居中央付近を東西方向に攪乱が入るため削平されている可能性有り。周溝 有り。住居を全周する幅10cm程度の溝を確認した。貯蔵穴 南西隅に確認。短辺59cm・長辺62cm、深さ76cmの楕円形を呈する。遺物 甕・台付甕・壺・高坏・器台・小型甕・有孔鉢が出土。重複 無し。単独で占地。面積 31.74㎡ 所見 出土遺物から4世紀末から5世紀初頭と考える。



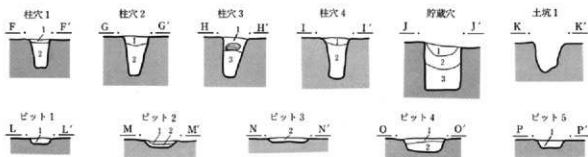
- 1 5 Y 4/1 灰色土。軽石が多くセラザラしている。下部粘性強い。As-Cを含む。
- 2 10 Y R 5/2 灰黄褐色ローム土。軽石を含む。
- 3 10 Y R 7/4 におい黄褐色ローム土。軽石を含む。
- 4 10 Y R 6/3 におい黄褐色土。軽石を含む。
- 5 10 Y R 6/3 におい黄褐色土。少量の黄褐色ローム土を含む。
- 6 10 Y R 6/2 灰黄褐色ローム土。
- 7 10 Y R 6/2 灰黄褐色土。ロームブロックを含む。
- 8 10 Y R 4/1 褐灰色粘質土。ロームブロックを含む。



第10図 A区1号住居(1)

D. L=86.4m

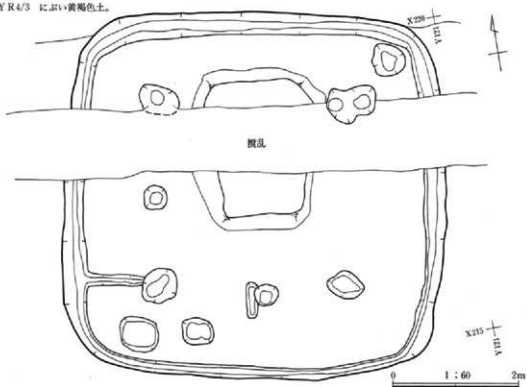
. D'



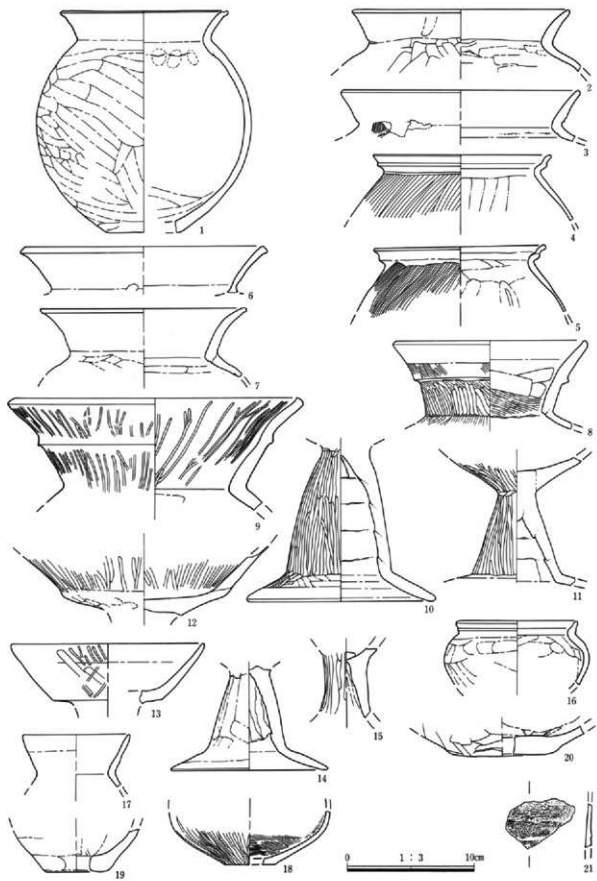
柱穴・貯蔵穴・土坑・ビット

- 1 10Y R3/1 黒褐色土。
- 2 10Y R4/1 褐色土。
- 3 10Y R4/3 におい黄褐色土。

L=85.6m



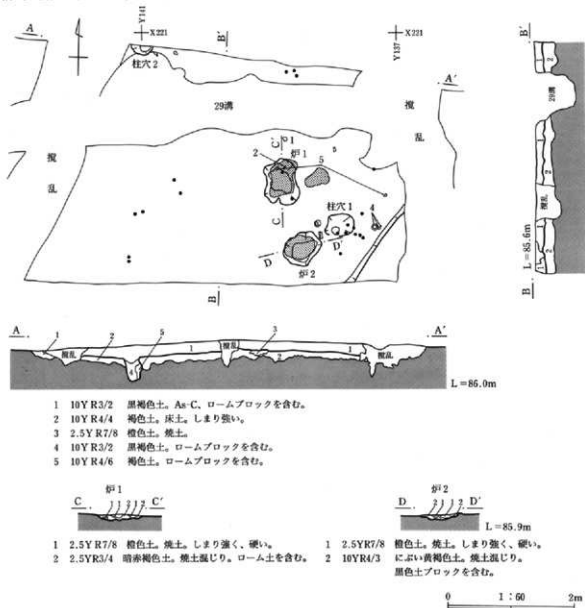
第11図 A区1号住居(2)



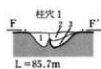
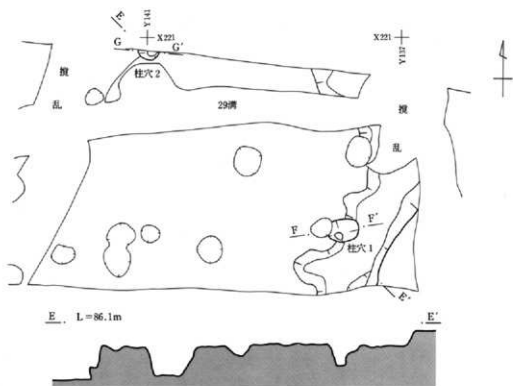
第12图 A区1号住居出土遺物

A区2号住居 (PL-2・3・16)

位置 X=39215、Y=57135グリッド付近 **主軸方位** 測定不能 **規模と形状** 規模については、削平がひどく測定不能。形状については、方形と思われる。上部並びに周辺の削平がひどく、住居の全面を確認することができなかった。住居の壁も東壁の一部を確認しただけで、北壁・南壁・西壁は確認できなかった。
床面 基盤のローム層を20~40cm程度掘り込んで構築面とする。構築面に15cm程度の褐色土を埋めて生活面とする。床面は硬く締まる。構築面は東壁際より80cm~100cmの幅で中央部よりやや深く掘り込まれる。
柱穴 構築面にてピットを9つ確認しているが、柱穴と思われるものは、2つである。直径は35~50cm、深さ25~40cmの単純円形の掘方を呈する。
炉 中央部から東壁寄りに2つ確認した。炉1：短辺55cm・長辺70cm、深さ8cm、炉2：短辺55cm・長辺62cm、深さ10cm。
周溝 無し **貯蔵穴** 不明。上部からの削平がひどく、確認することができなかった。
遺物 S字状口縁台付壺片・東関東系土器片が出土。
重複 近世の溝(29溝)に切られる。
面積 測定不能 **所見** 出土遺物から4世紀末から5世紀初頭と考える。

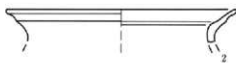
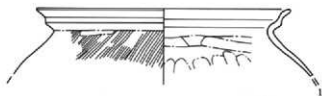


第13図 A区2号住居



- 1 10Y R3/2 黒褐色土。ロームブロックを含む。
- 2 10Y R4/3 赤い黄褐色土。砂質。ロームブロックを含む。
- 3 10Y R4/6 褐色土。ロームブロックを含む。

0 1 : 60 2m

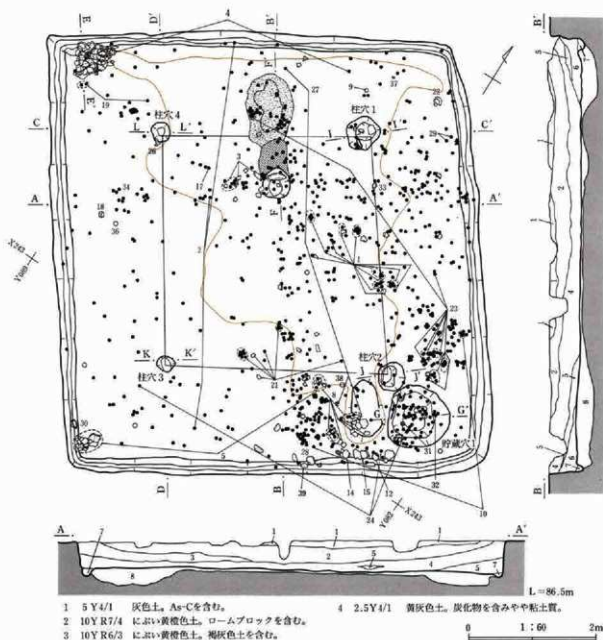


0 1 : 3 10cm

第14図 A区2号住居、出土遺物

B区1号住居 (PL-4・5・16~20)

位置 X=39240, Y=-57080グリッド付近 主軸方位 N-33°W 規模と形状 短辺6.70m・長辺6.99mのほぼ正方形。床面 基盤のローム層を50~70cm掘り込んで構築面とする。その上にロームブロックを含む褐色土を5~25cm程度埋めて生活面とする。床面は、北西壁から住居中央部にかけて特に硬く締まる。構築面は各壁際の幅100cm程の範囲が住居中央部よりやや深く掘り込まれる。柱穴 住居のほぼ対角線上に4つ確認。直径30~50cm、深さ25~60cmの楕円形の掘方を呈する。炉 中央部からやや北西寄りに確認。短径71cm・長径191cm。焼土部分、灰床部分を確認。周溝 幅20cm程度の溝を確認。貯蔵穴 生活面の東隅と掘方の北隅で各1基確認。貯蔵穴1は直径96cm、深さ80cmの円形。貯蔵穴2は一辺約55cmの隅門方形で、深さ40cm。遺物 甕・壺・小型壺・高坏・鉢・石製模造品等が出土。重複 無し。単独で占地。面積 43.80㎡ 所見 出土遺物から4世紀末から5世紀初頭と考える。



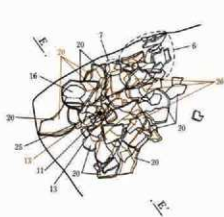
第15図 B区1号住居(1)

- 5 2.5Y4/1 黄灰色土。炭化物を多量に含む。
- 6 2.5Y5/2 明灰黄色土。ローム土に炭化物を含む。
- 7 2.5Y5/2 明灰黄色土。軟質ローム土に硬質ロームブロックを含む。
- 8 10Y R7/8 黄橙ロームブロックと10Y R5/1褐灰色土をつまかためた埴土。

C. L=86.5m



0 1:60 2m



X1/60
Y1/60



0 1:20 50cm

F. L=86.1m F'



- 貯
- 1 2.5YR5/1 赤灰色土。埴土。

G. L=86.1m G'

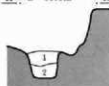


貯蔵穴1

- 1 5Y4/1 灰土。炭化物を含む。
- 2 5Y6/2 灰オリーブ色土。粘質土。
- 3 5Y6/2 灰オリーブ色土。黄褐色ロームブロックを含む。

貯蔵穴2

H. L=86.5m H'



貯蔵穴2

- 1 10Y R7/4 におい黄橙色土。10Y R8/6黄橙ロームブロックを含む。
- 2 10Y R4/1 褐灰色土。

柱穴1

I. L=86.1m I'



柱穴1

- 1 2.5Y4/1 黄灰色土。黒色強い。炭化材を含む。
- 2 2.5Y6/2 灰黄色ローム土。
- 3 2.5Y7/4 浅黄色ローム土。

0 1:60 2m

第16図 B区1号住居(2)



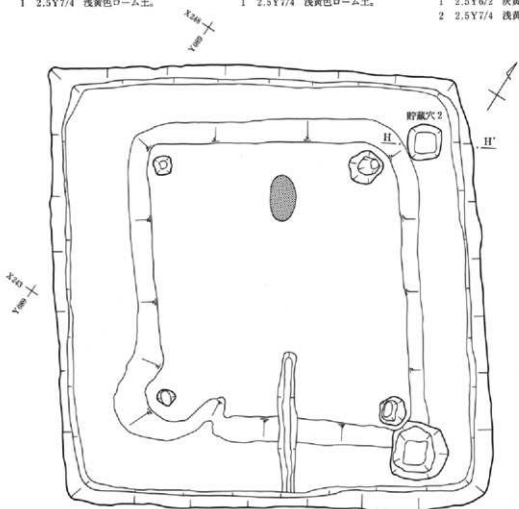
柱穴 2
1 2.5Y7/4 浅黄色ローム土。



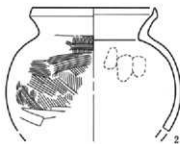
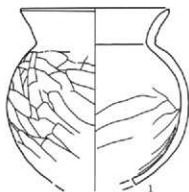
柱穴 3
1 2.5Y7/4 浅黄色ローム土。



柱穴 4
1 2.5Y6/2 灰黄色ローム土。
2 2.5Y7/4 浅黄色ローム土。

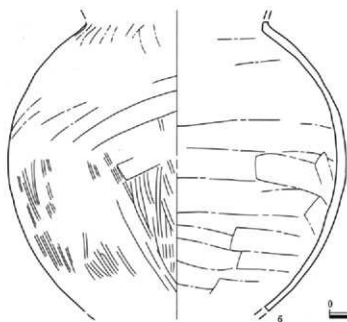
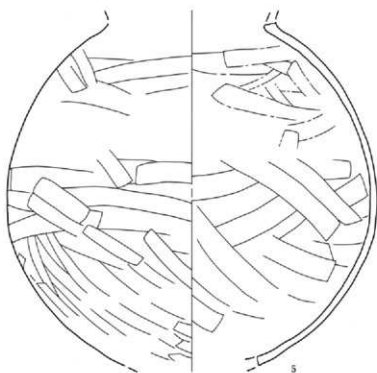
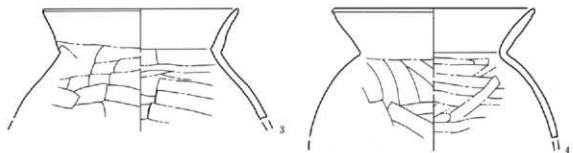


0 1 : 60 2m

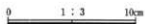
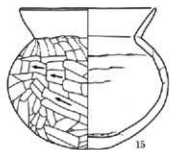
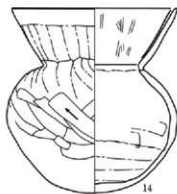
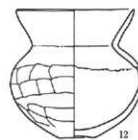
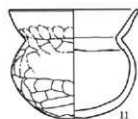
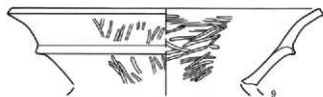
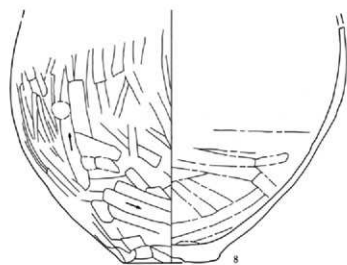
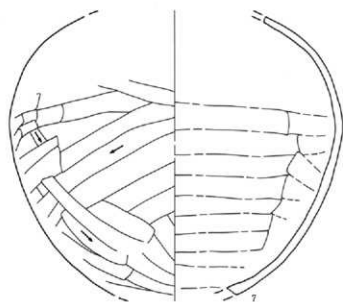


0 1 : 3 10cm

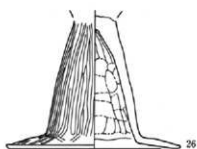
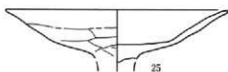
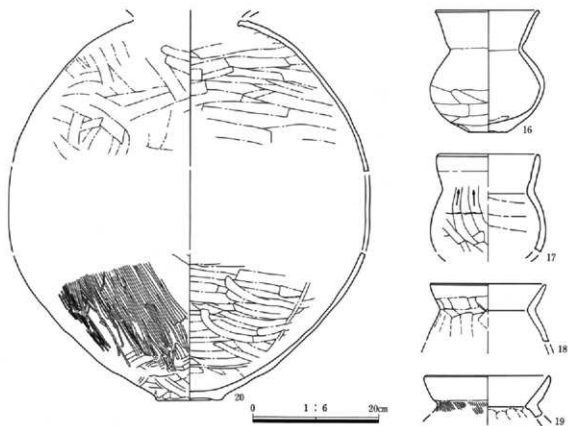
第17图 B区1号住居、出土遺物



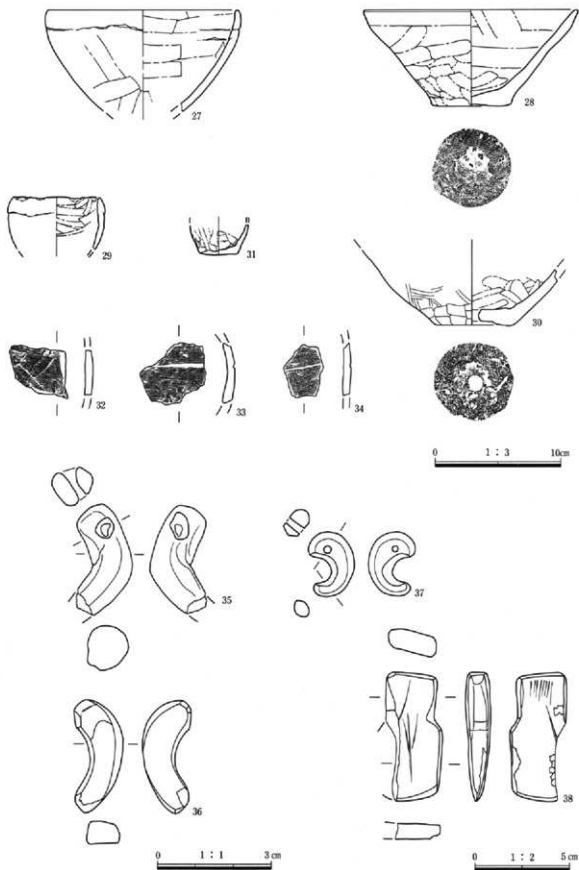
第18图 B区1号住居出土遗物(1)



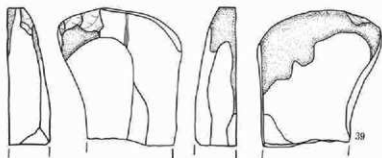
第19圖 B区1号住居出土遺物(2)



第20图 B区1号住居出土物(3)



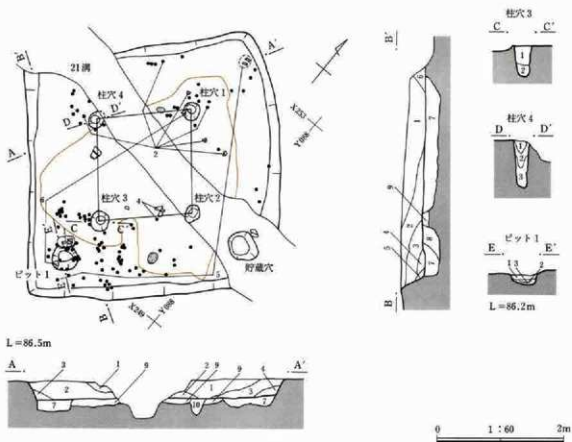
第21图 B区1号住居出土遺物(4)



第22図 B区1号住居出土遺物(5)

B区2号住居 (PL-5・6・21)

位置 X=39250、Y=-57085グリッド付近 **主軸方位** N-44'-E **規模と形状** 短辺3.93m・長辺4.08mのほぼ正方形を呈する。**床面** 基盤のローム層を50cm程度掘り込んで構築面とする。その上にロームブロック混じりの褐灰色土を10cm程度埋め込んで生活面とする。床面は住居中央部が特に硬化している。**構築面**は各壁際の幅50~80cm程の範囲が住居の中央部よりやや深く掘り込まれている。**柱穴** 住居のほぼ対角線上に4つ確認した。直径20~30cm、深さ15~70cmの単純円形の掘方を呈する。**炉** 不明。住居の中央付近を東西方向に21溝によって削平されるため、確認できなかった。**貯蔵穴** 東隅に確認。短辺41cm・長辺51cmの楕円形を呈する。**遺物** 甕・壺・高坏・小型壺が出土する。**重複** 中近世の溝(21溝)に切られる。**面積** 12.80㎡ **所見** 出土遺物から5世紀初頭と考える。



第23図 B区2号住居(1)

- 1 10Y R5/2 灰黄褐色ローム土。
- 2 10Y R5/1 褐色ローム土。ロームブロックの小さな粒子含む。
- 3 10Y R4/1 褐色ローム土。
- 4 10Y R4/1 褐色粘質土。
- 5 10Y R6/2 灰黄褐色ローム土。
- 6 2.5Y 7/4 浅黄色ローム土。
- 7 10Y R4/1 褐色土。掘方覆土。
- 8 10Y R5/1 褐色ローム土。掘方覆土。
- 9 10Y R7/6 明黄褐色ローム土。ロームブロックを含む。
- 10 10Y R5/2 灰黄褐色ローム土。

柱穴 3

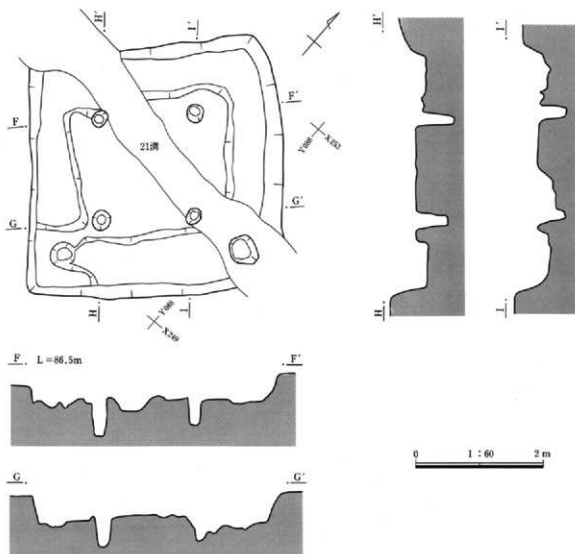
- 1 10Y R5/2 灰黄褐色ローム土。やや硬質。
- 2 10Y R5/2 灰黄褐色ローム土。軟質。

柱穴 4

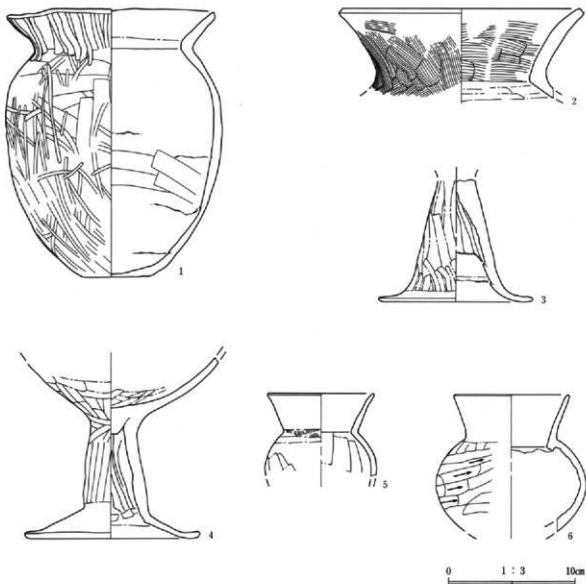
- 1 10Y R5/1 褐色土。粘性有り。
- 2 10Y R5/2 灰黄褐色ローム土。ロームブロックを含む。
- 3 10Y R5/2 灰黄褐色ローム土。

ピット 1

- 1 2.5Y 6/2 灰黄色ローム土。
- 2 10Y 6/1 灰色粘土。
- 3 2.5Y 6/1 黄灰色ローム土。



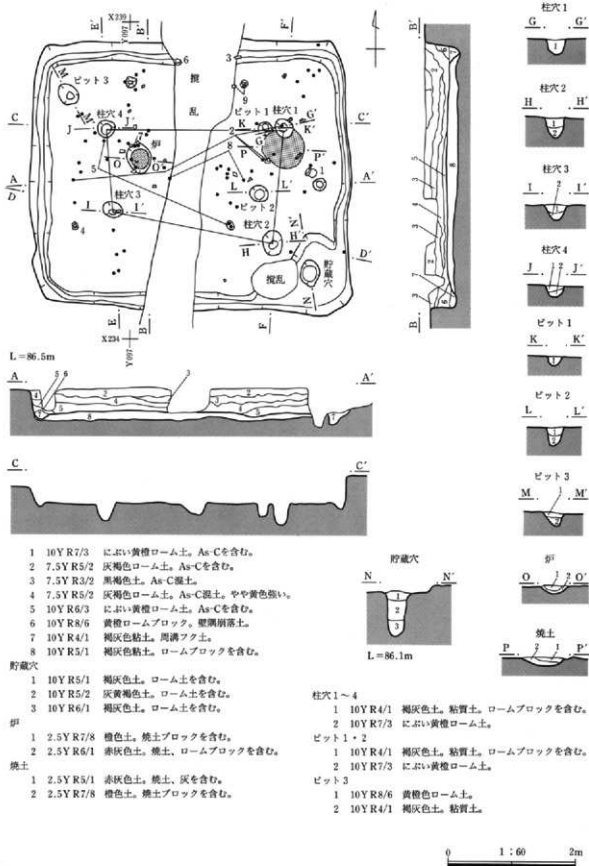
第24図 B区2号住居(2)



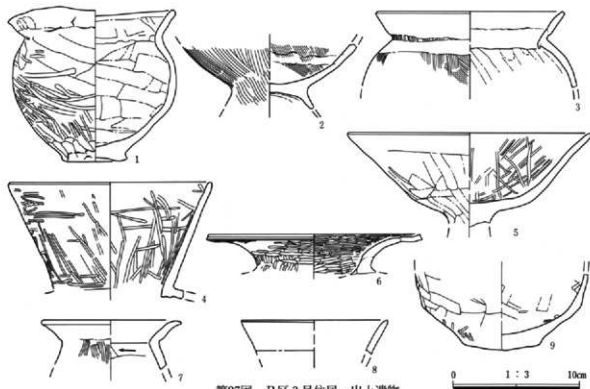
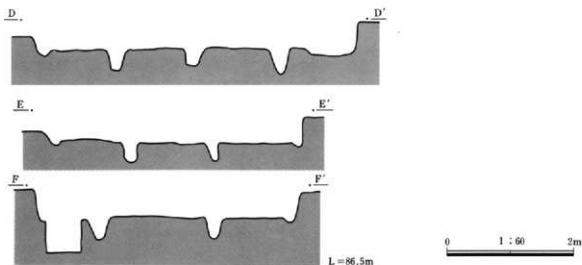
第25図 B区2号住居出土遺物

B区3号住居 (PL-6・21・22)

位置 X=39235、Y=-57095グリッド付近 **主軸方位** N-90°-E **規模と形状** 短辺4.30m・長辺5.09mの長方形を呈する。 **床面** 基盤のローム層を48cm掘り込んで構築面とする。その上にロームブロック混じりの褐色粘土を埋め込んで生活面とする。 **柱穴** 住居のほぼ対角線上に4つ確認した。その中の柱穴1つがやや対角線上から外れる。直径20~30cm、深さ18~30cmの単純円形の掘方を呈する。 **炉** 中央部よりやや西寄りで確認した。規模は短径38cm・長径51cm、深さ10cm程度である。 **周溝** 有り。幅8~20cm程度の溝を確認した。溝は住居を全周する。 **貯蔵穴** 有り。南東隅に確認した。 **遺物** 甕・台付壺・壺・高坏・器台・小型壺が出土する。 **重構** 無し。単独で占地。 **面積** 18.49㎡ **所見** 出土遺物から4世紀末から5世紀初頭と考える。



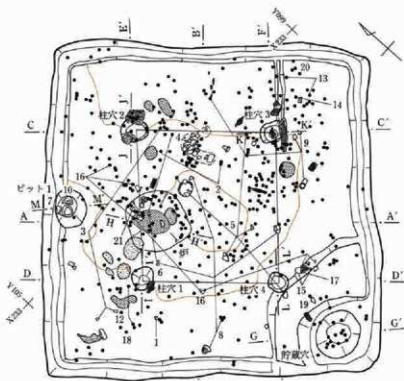
第26図 B区3号住居



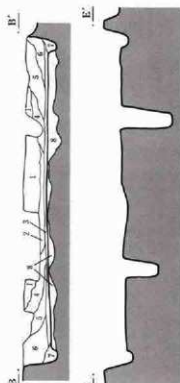
第27図 B区3号住居、出土遺物

B区4号住居 (PL-7・22~24)

位置 X=39230, Y=-57100グリッド付近 **主軸方位** N-44°-W **規模と形状** 短辺5.16m・長辺5.28mのほぼ正方形を呈する。 **床面** 基盤のローム層を53cm掘り込んで構築面とする。その上にロームブロックとにぶい黄褐色土の混土を埋め込んで生活面とする。床面は中央部が特に硬化。構築面は各壁際の幅100~200cmの範囲を住居中央部よりやや深く掘り込む。 **柱穴** 住居のほぼ対角線上4つ確認。直径28~44cm、深さ55~83cmの楕円形の掘方を呈する。 **炉** 中央部よりやや北西寄りで確認。規模は短径95cm・長径105cmである。 **周溝** 幅20cm程度の溝を確認。 **貯蔵穴** 南隅に確認。直径70cm、深さ63cmで楕円形を呈する。 **覆土** 中より炭化物が出土。 **遺物** 壺・壺・高坏・器台・小型壺・手捏・石製品が出土。 **重複** 無し。単独で占地。 **面積** 24.40㎡ **所見** 出土遺物から4世紀末から5世紀初頭と考える。



- 1 10Y R6/2 灰黄褐色土。As-C、ローム土を含む。
- 2 10Y R5/2 灰黄褐色土。As-Cを含む。
- 3 7.5Y R4/1 褐灰色土。焼土、炭化物を少量含む。床土。
- 4 7.5Y R5/1 褐灰色土。黒色土ブロックを含む。
- 5 10Y R4/1 褐灰色土。黒色土とロームブロックを含む。
- 6 10Y R5/2 灰黄褐色土。
- 7 10Y R4/1 褐灰色土。黒色土ブロックを少量含む。
- 8 10Y R6/6 黄褐色。ロームブロックと10Y R4/3に多い黄褐色土の混土。
- 9 2.5Y R7/8 棕色土。焼土。



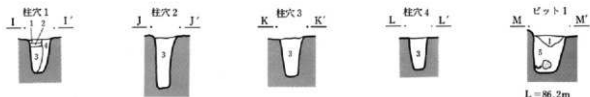
- 1 2.5Y7/3 浅黄色土。炭化物、ロームブロックを含む。
- 2 2.5Y6/2 灰黄色土。炭化物、ロームブロックを含む。
- 3 2.5Y6/1 黄灰色土。粘質。ローム土を含む。
- 4 2.5Y8/6 黄色土。ロームブロック、黄灰色土を含む。
- 5 2.5Y4/1 黄灰色土。軟質。



- 1 2.5Y R7/8 棕色土。焼土。硬く焼けている面。

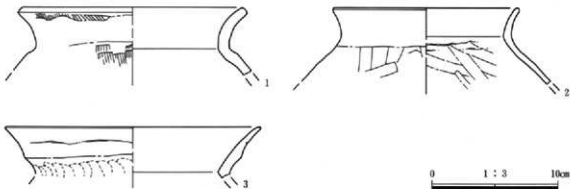
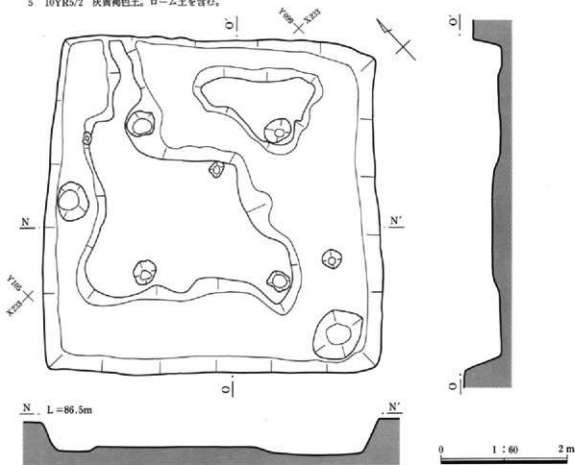
0 1:60 2m

第28図 B区4号住居

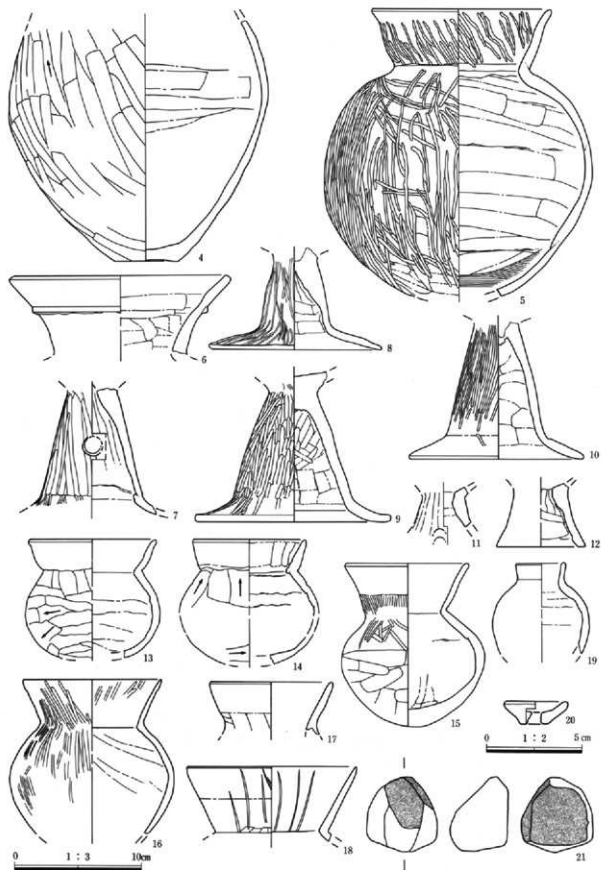


柱穴・ピット

- 1 10YR4/1 褐色土。炭化物を多量に含む。
- 2 10YR8/6 黄褐色土。ロームブロックを含む。
- 3 10YR5/1 褐色ローム土。
- 4 10YR8/4 淡黄褐色土。ロームブロックを含む。
- 5 10YR5/2 灰黄褐色土。ローム土を含む。



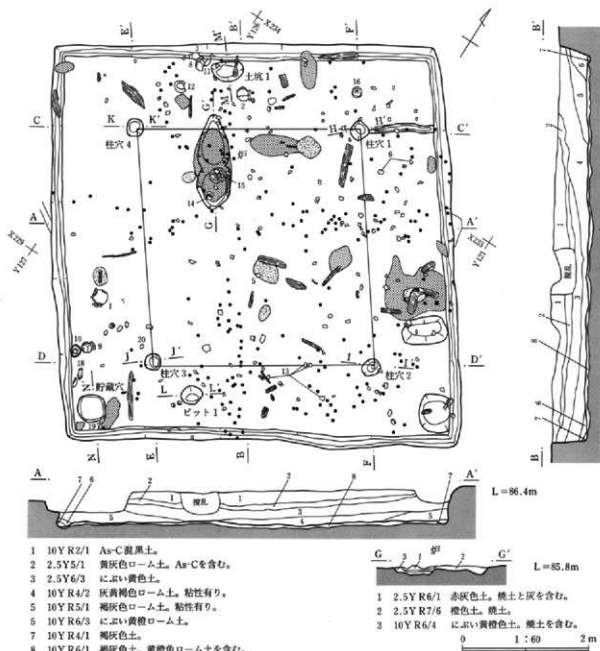
第29図 B区4号住居、出土遺物



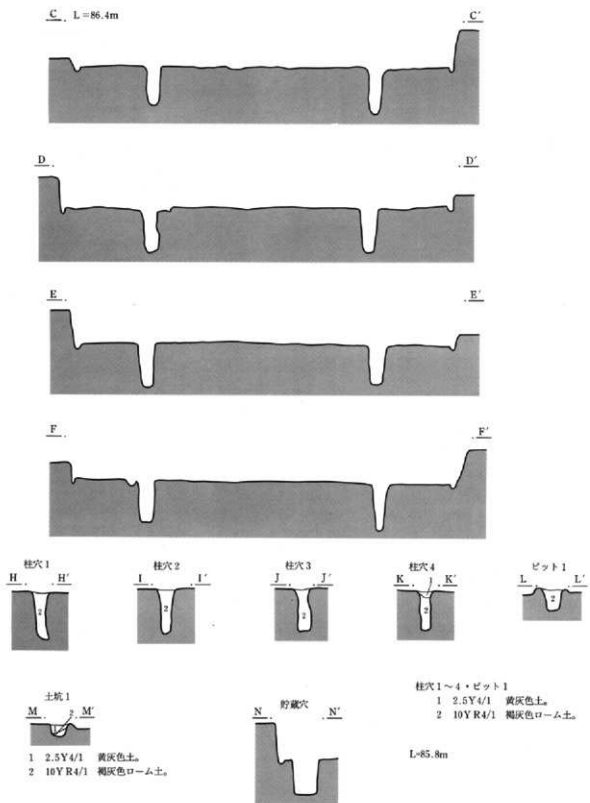
第30图 B区4号住居出土遗物

B区5号住居 (PL-7・8・24~28)

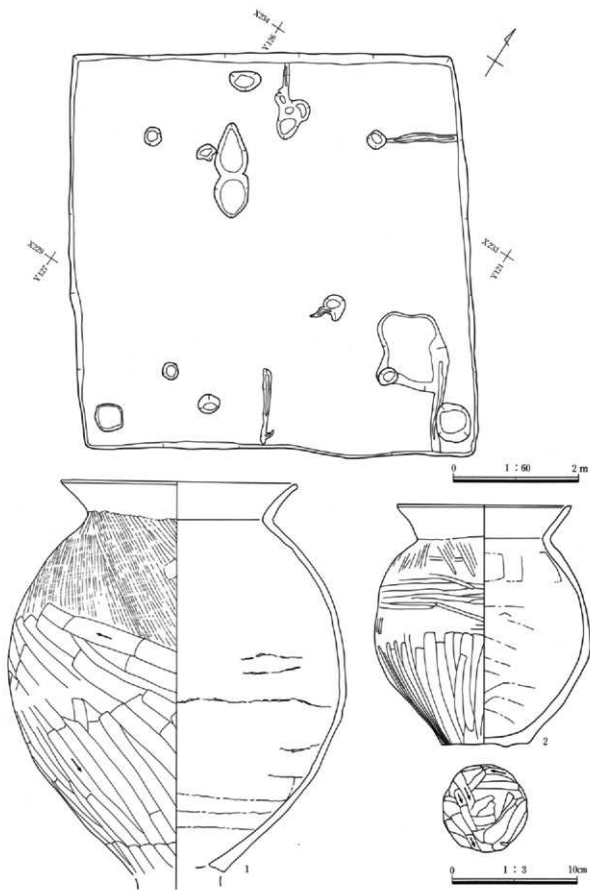
位置 X=39230、Y=-57120グリッド付近 主軸方位 N-35°-W 規模と形状 短辺6.20m・長辺6.31mのほぼ正方形を呈する。床面 基盤のローム層を50~60cm掘り込んで構築面とする。構築面より5cm程度の厚さの貼り床をほどこして生活面とする。構築面はほぼ全面を同じ高さで掘り込んでいる。柱穴 住居のほぼ対角線上に4つ確認した。直径24~30cm、深さ60~75cmの単独円形の掘方を呈する。炉 中央部よりやや北西寄りで確認した。規模は短径55cm・長径150cmである。周溝 有り。幅10cm程度の溝を確認した。溝は住居を全周する。貯蔵穴 有り。南隅に確認した。直径42cm、深さ50cmで楕円形を呈する。遺物 台付甕・甕・壺・高坏・器台・小型壺・蓋・石製品が出土する。重複 無し。単独で占地する。面積 36.26㎡ 所見 出土遺物から4世紀末から5世紀初頭と考える。



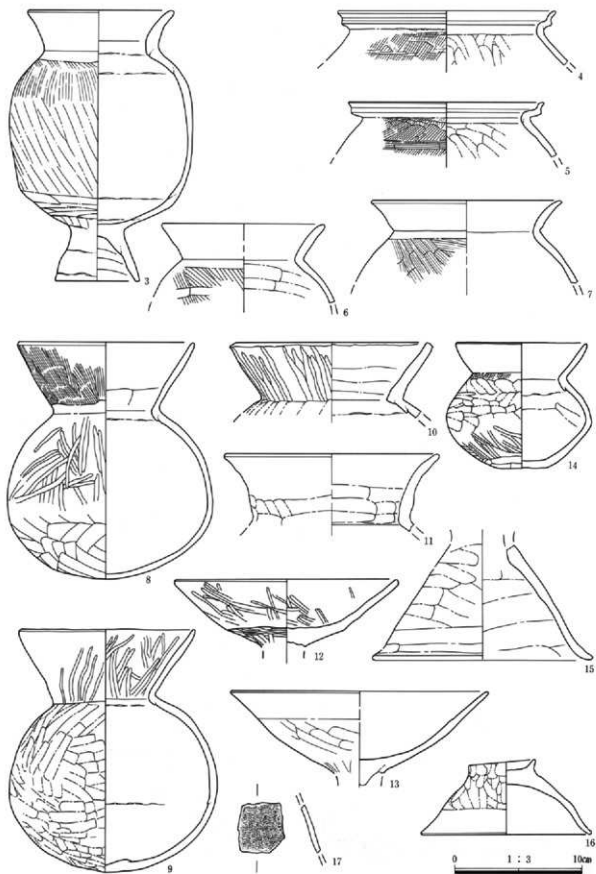
第31図 B区5号住居(1)



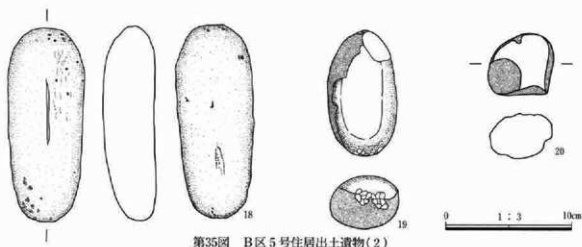
第32図 B区5号住居(2)



第33图 B区5号住居、出土遺物



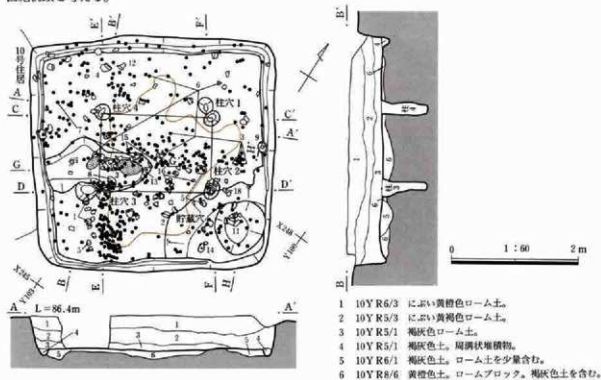
第34图 B区5号住居出土遺物(1)



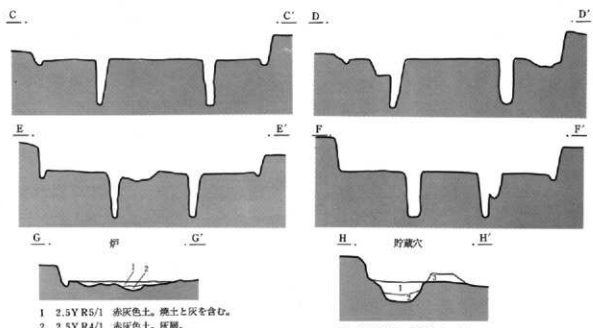
第35図 B区5号住居出土遺物(2)

B区6号住居 (PL-8・27・28)

位置 X=39245、Y=-57100グリッド付近 **主軸方位** N-53°-E **規模と形状** 短辺3.72m・長辺3.90mのほぼ正方形を呈する。**床面** 基盤のローム層を60~70cm掘り込んで構築面とする。その上にロームブロック混じりの褐灰色・黄橙色土を埋め込んで生活面とする。床面は中央部が特に硬化していた。**柱穴** 住居のほぼ対角線上で4つ確認した。直径20~31cm、深さ70cmの単純円形の掘方を呈する。**炉** 中央部よりやや南西寄りで確認した。規模は短径70cm・長径170cmである。**周溝** 有り。幅20cm程度の溝を確認した。溝は住居を全周する。**貯蔵穴** 有り。南東隅に確認した。短径79cm・長径86cm、深さ35cmで楕円形を呈する。**遺物** 甕・壺・高坏・小型壺・土製品が出土する。**重複** 10号住居と重複する。6号住居が10号住居を切って構築することが土層断面より確認できた。**面積** 11.49㎡ **所見** 出土遺物から4世紀末から5世紀初頭と考える。

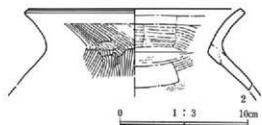
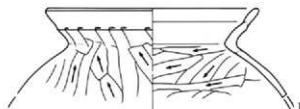
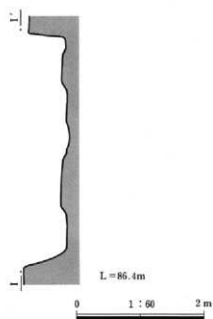
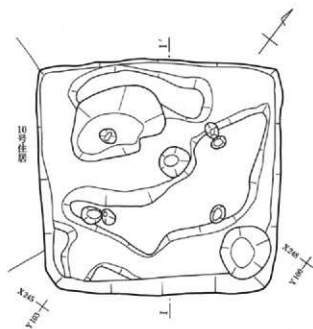


第36図 B区6号住居

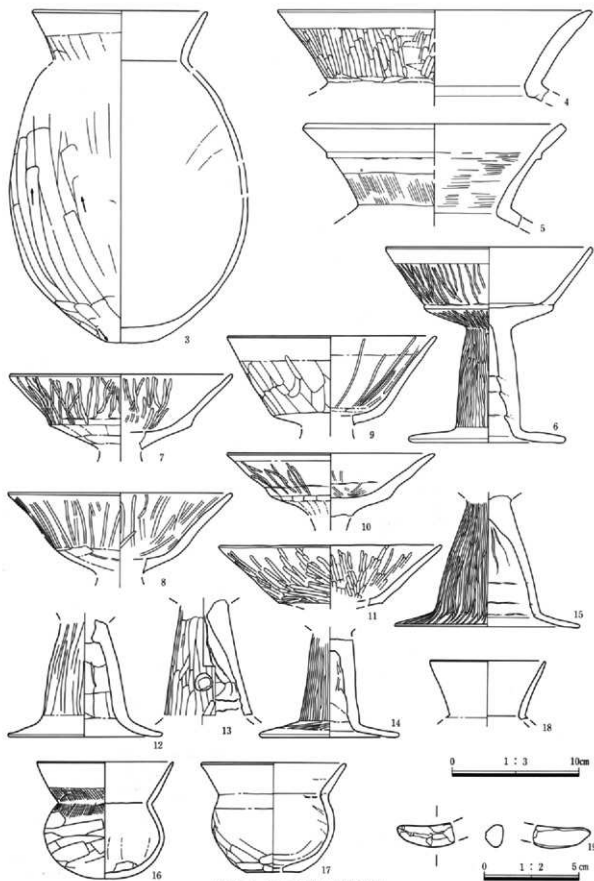


- 1 2.5Y R5/1 赤灰色土。焼土と灰を含む。
 2 2.5Y R4/1 赤灰色土。灰層。

- 1 10Y R4/1 褐灰色ローム土。
 2 10Y R6/1 褐灰色ローム土。
 3 2.5Y5/2 暗灰黄ローム土。ロームブロックを含む。



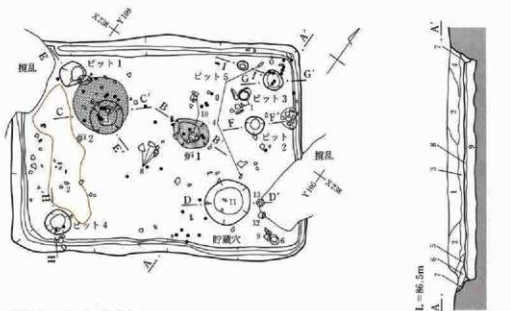
第37図 B区6号住居、出土遺物



第38图 B区6号住居出土遗物

B区 7号住居 (PL-9・29・30)

位置 X=39235, Y=-57105グリッド付近 主軸方位 N-56°-E 規模と形状 短辺3.43m・長辺4.62mの長方形を呈する。床面 基盤のローム層を40~50cm掘り込んで構築面とする。その上にローム含む黄褐色土を埋め込み、さらに5cm程の厚さのふい黄褐色土を貼って生活面とする。床面は南西壁際が特に硬化。構築面はほぼ同じ高さで掘り込まれる。柱穴 北、南、西隅付近で柱穴と思われるピットを確認。炉 2ヶ所確認した。炉1:短径50cm・長径60cm。炉2:短径87cm・長径90cmでどちらも楕円形を呈する。周溝 有り。住居を全周する幅20cm程度の溝を確認した。貯蔵穴 有り。南東隅に確認した。直径70cm、深さ23cmで単純円形を呈する。遺物 台付甕・甕・壺・高坏・盥台・小型壺が出土。重複 無し。単独で占地。面積 13.70㎡ 所見 出土遺物から4世紀末から5世紀初頭と考える。



- 1 2.5Y6/2 灰黄色ローム土。As-Cを含む。
- 2 2.5Y5/1 黄灰色土。As-Cを含む。粘性有り。
- 3 2.5Y4/1 黄灰色土。炭化物を含む。床面上層。
- 4 2.5Y6/3 におい黄色ローム土。
- 5 7.5Y R5/1 褐灰色土。As-Cを含む。棕色土を多量に含む。
- 6 10Y R5/1 褐灰色土。
- 7 10Y R7/2 におい黄褐色ローム土。崩落土。
- 8 10Y R4/3 におい黄褐色土。ローム土を含む。
- 9 10Y R5/6 黄褐色土。ローム土、少量のにおい黄褐色土を含む。



- 1 2.5Y R5/1 赤灰色土。灰層。
- 2 2.5Y R7/8 棕色土。焼土。



- 1 2.5Y4/1 黄灰色土。しまり弱い。
- 2 2.5Y4/1 黄灰色土。粘性強く、黒色味がある。



L=86.2m

0 1:60 2 m

第39図 B区 7号住居

ピット1

- 1 2.5YR5/1 赤灰色土、灰層。
- 2 2.5YR7/8 橙棕色土。灰を多く含む。
- 3 2.5YR7/8 橙棕色土。雑土。

ピット2

- 1 2.5Y5/2 暗灰黄色土。粘質。
- 2 2.5Y5/2 暗灰黄色土。ロームブロックを含む。

ピット3

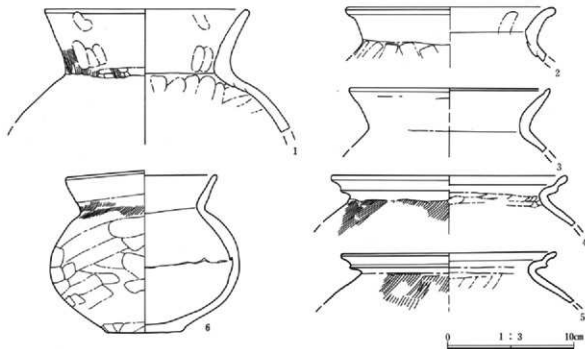
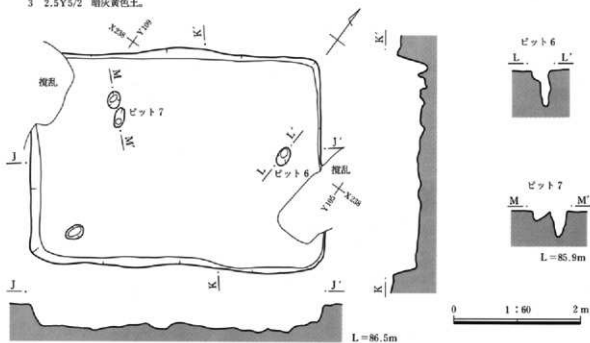
- 1 2.5Y2/1 黒色土。しまり強い。
- 2 2.5Y5/2 暗灰黄色土。粘質。ロームブロックを含む。
- 3 2.5Y5/2 暗灰黄色土。

ピット4

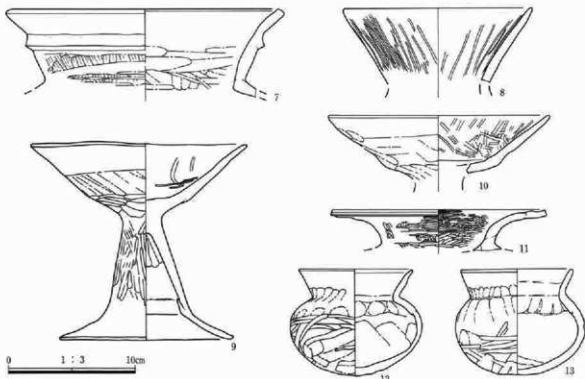
- 1 2.5Y5/2 暗灰黄色土。粘質。
- 2 2.5Y5/2 暗灰黄色土。ロームブロックを含む。

ピット5

- 1 2.5Y5/2 暗灰黄色土。粘質。



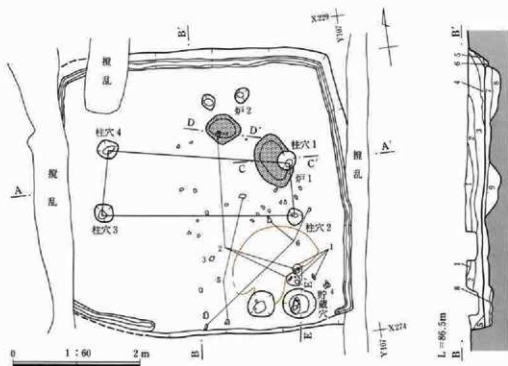
第40図 B区7号住居、出土遺物



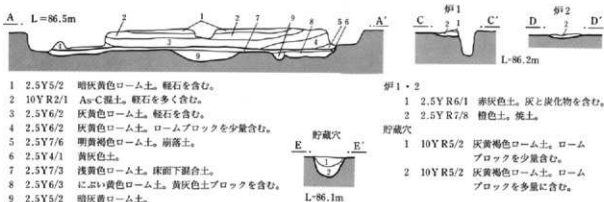
第41図 B区7号住居出土遺物

B区8号住居 (PL-9・30)

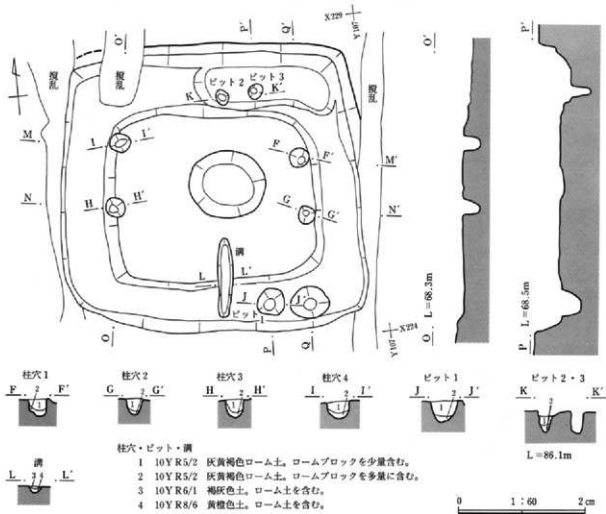
位置 X=39225、Y=-57105グリッド付近 主軸方位 N-85°-W 規模と形状 短辺4.55m・長辺4.70m (推定)の長方形を呈する。床面 基盤のローム層を30~35cm掘り込んで構築面とする。その上にローム主体の浅黄色~暗灰黄色土を25~10cm程度埋め込んで生活面とする。床面は南東隅が特に硬化。



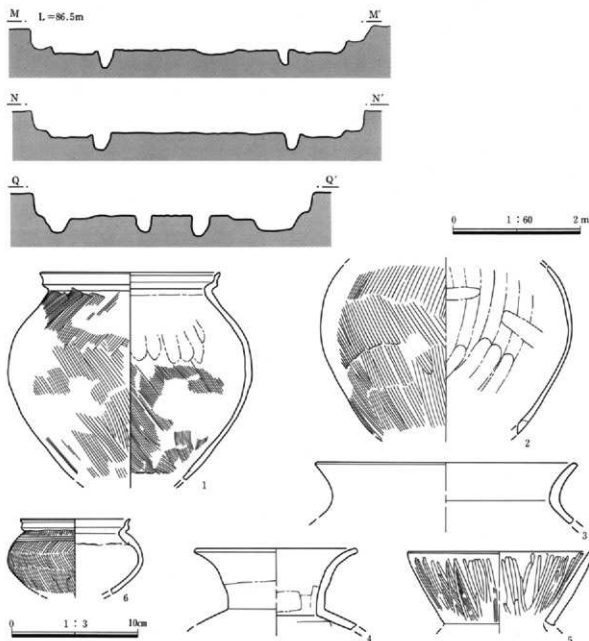
第42図 B区8号住居(1)



構築面は各壁際の70～80cmの範囲が住居の中央部よりやや深く掘り込まれる。柱穴 住居の対角線上ではなく、中央寄りて4つ確認。直径28～35cm、深さ30cm程度の単純円形の掘方を呈する。炉 中央部よりやや北東寄りて2ヶ所確認。炉1：短径57cm・長径86cm。炉2：短径47cm・長径56cmでどちらも楕円形を呈する。周溝 有り。幅10cm程度の溝を確認。南壁の一部では確認できなかった。貯蔵穴 南東隅に確認。短径45cm、長径55cmの楕円形で深さ30cm。遺物 台付壺・壺・壺・小型壺が出土する。重複 無し。単独で占地する。面積 18.40㎡ 所見 出土遺物から4世紀末から5世紀初頭と考える。



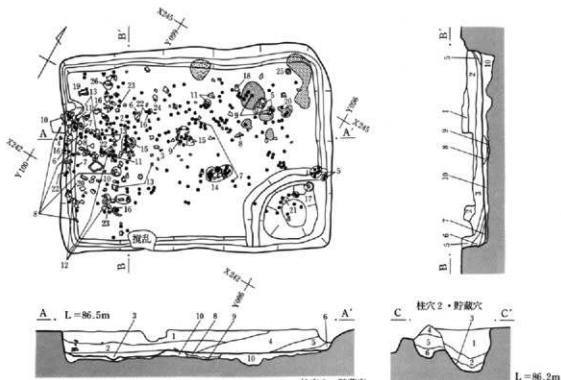
第43図 B区8号住居(2)



第44図 B区8号住居、出土遺物

B区9号住居 (PL-9・30~34)

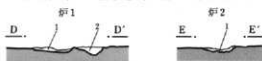
位置 X=39240、Y=-57095グリッド付近 主軸方位 N-57°-E 規模と形状 短辺3.15m・長辺4.27mの長方形を呈する。床面 基盤のローム層を45cm掘り込んで構築面とする。その上にローム土を10cm程度埋め込んで生活面とする。構築面は不規則な形状を呈する。柱穴 生活面では確認することができなかったが、構築面で4つ確認した。直径36~56cm、深さ20~37cmの楕円形の掘方を呈する。炉 中央部よりやや北寄りですら2ヶ所確認した。炉1：短径54cm・長径116cmで瓢箪型を呈する。炉2：短径62cm・長径80cmで楕円形を呈する。周溝 有り。幅15cm程度の溝を確認した。貯蔵穴 南東隅に有り。短径86cm・長径102cm、深さ68cmで楕円形を呈する。遺物 台付甕・甕・壺・高坏・小型壺・鉢が出土する。重複 無し。単独で占地する。面積 11.21㎡ 所見 出土遺物から4世紀末から5世紀初頭と考える。



- 1 10Y R6/3 にぶい黄褐色ローム土。
- 2 10Y R5/2 灰黄褐色ローム土。
- 3 10Y R4/1 褐灰色土。粘性有り。炭化物、焼土を含む。
- 4 10Y R5/2 灰黄褐色ローム土。上層ほど黄色強い。
- 5 10Y R5/1 褐灰色土。粘性有り。
- 6 10Y R5/2 灰黄褐色ローム土。
- 7 10Y R7/3 にぶい黄褐色ローム土。
- 8 2.5Y R5/1 赤灰色土。灰層。
- 9 2.5Y R7/8 橙色土。焼土ブロックを含む。
- 10 2.5Y7/3 残黄色ローム土。たたきしめられている。

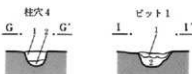
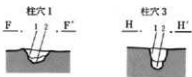
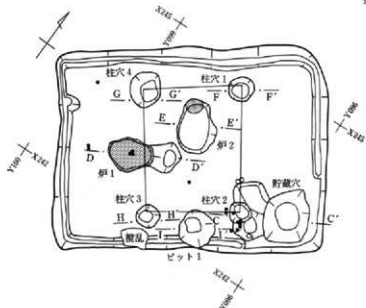
柱穴2・貯蔵穴

- 1 7.5Y R4/1 褐灰色土。
- 2 10Y R5/1 褐灰色土。粘性有り。
- 3 10Y R5/4 にぶい黄褐色ローム土。粘性有り。
- 4 2.5Y 8/8 黄色土。ローム土を含む。
- 5 2.5Y 5/2 暗灰黄色土。
- 6 2.5Y 5/2 暗灰黄色土。6層より黄色味強い。



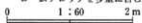
貯1・2

- 1 2.5Y R7/8 橙色土。焼土。
- 2 2.5Y R4/1 赤灰色土。灰だまり。

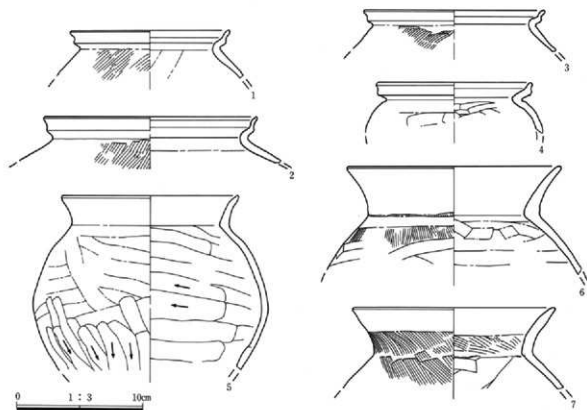
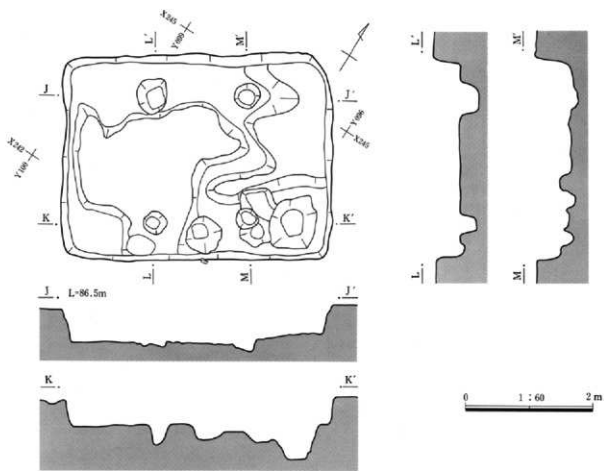


柱穴1・3・4・ビット1

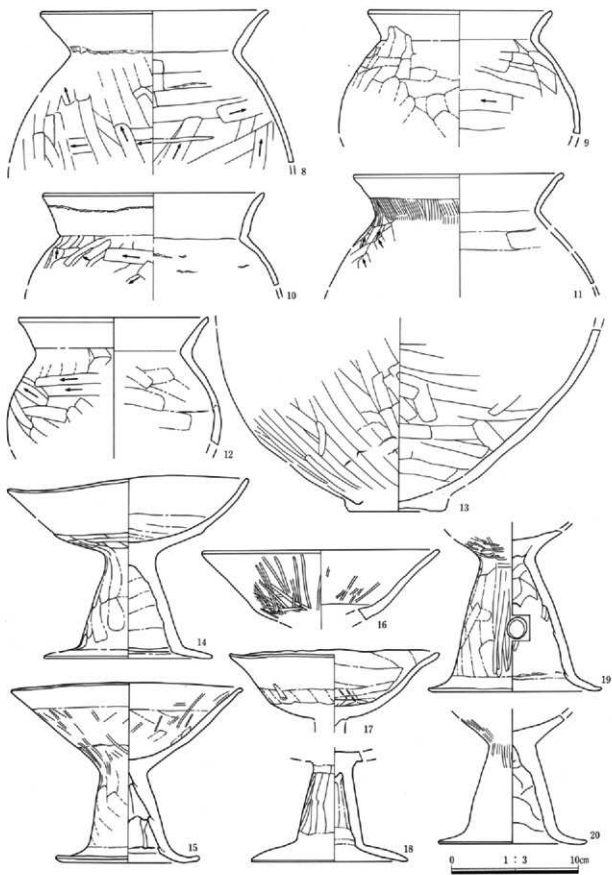
- 1 2.5Y 5/2 暗灰黄色ローム土。ロームブロックを少量含む。
- 2 2.5Y 5/2 暗灰黄色ローム土。ロームブロックを多量に含む。



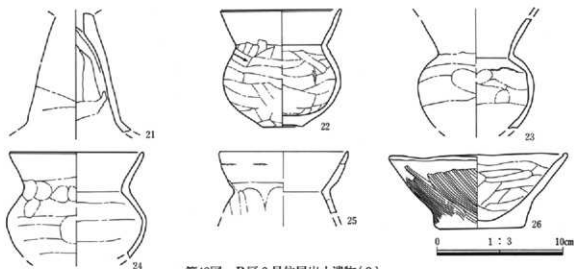
第45図 B区9号住居



第46图 B区9号住居、出土遗物



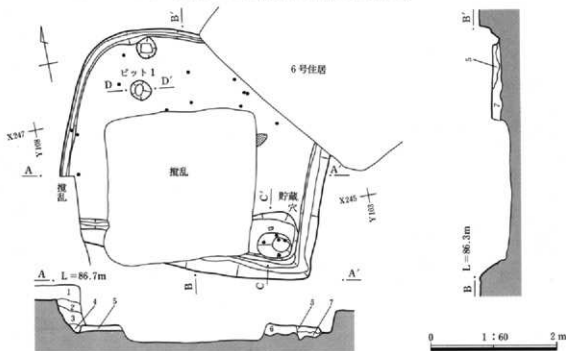
第47图 B区9号住居出土遗物(1)



第48図 B区9号住居出土遺物(2)

B区10号住居 (PL-8・9)

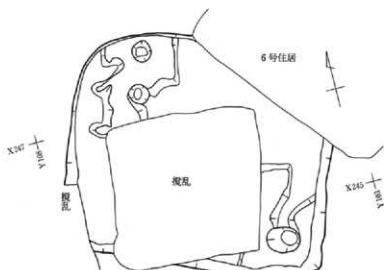
位置 X=39245、Y=-57105グリッド付近 **主軸方位** N-75°-W **規模と形状** 短辺3.72m・長辺4.18mの長方形を呈すると思われる。現代の攪乱、6号住居に切られるため住居の全面を確認することはできなかった。 **床面** 上部からの削平のため、掘り込みがどの程度かは不明。その上にローム混じりの褐灰色土を10~20cm程度埋め込んで生活面としている。構築面は削平により明瞭ではないが、ほぼ全面を掘り込んでいる。 **柱穴** ビットを2つ確認したが、現代の攪乱等の削平がひどく不明である。 **炉** 不明。 **周溝** 有り。残存部分で幅10cm程度の溝を確認した。 **貯蔵穴** 有り。南東隅に確認した。長径80cmで楕円形を呈すると思われるが、現代の攪乱により一部削平されている。 **遺物** 土器小片が出土する。 **重複** 土層断面より6号住居よりも古いことが確認できた。 **面積** 測定不能 **所見** 6号住居に切られることと、覆土にAs-C混黒色土を含むことから、4世紀末から5世紀初頭に相当すると考える。



第49図 B区10号住居(1)

- 1 表土 褐色土。
- 2 10Y R5/2 灰黄褐色土。As-Cを含む。
- 3 10Y R7/2 におい黄褐色土。

- 4 10Y R6/1 褐色土。ローム土。間溝覆土。
- 5 10Y R5/1 褐色土。ロームブロックを含む。
- 6 土坑覆土。
- 7 10Y R4/3 におい黄褐色土。ローム土を少量含む。



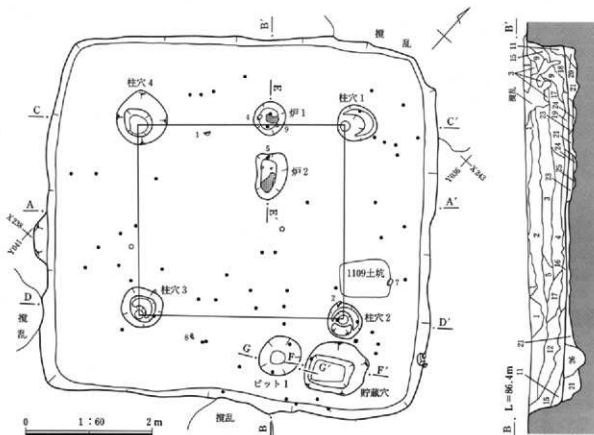
L=86.1m

貯蔵穴・ピット1

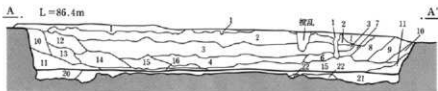
- 1 10Y R4/1 褐色土。しまり強く、粘性有り。
- 2 10Y R5/2 灰黄褐色土。ソフトローム土。

0 1:60 2m

第50図 B区10号住居(2)



第51図 C区1号住居(1)



- 1 10Y R4/2 灰黄褐色土。近世以降の土と考える。
- 2 10Y R2/1 黒色土。As-C混黒色土。
- 3 10Y R2/2 黒褐色土。As-C、褐色粘質土を含む。
- 4 10Y R2/1 黒色土。As-C混黒色土。粒の粗いAs-Cを多量に含む。
- 5 10Y R3/2 黒褐色土。As-Cを含む。
- 6 10Y R2/2 黒褐色土。As-Cを含む。
- 7 10Y R3/1 黒褐色土。As-Cを少量含む。
- 8 10Y R3/3 暗褐色土。As-Cを少量含む。
- 9 10Y R4/3 にぶい黄褐色土。As-Cを含む。
- 10 10Y R4/4 褐色土。As-C、ローム土を含む。
- 11 10Y R4/4 褐色土。ロームブロックを多量に含む。
- 12 10Y R2/3 黒褐色土。As-C、褐色土を含む。
- 13 10Y R3/3 暗褐色土。As-C、ローム粒、黒褐色土を少量含む。
- 14 10Y R4/2 灰黄褐色土。As-C、黒褐色土をごく少量含む。
- 15 10Y R4/3 にぶい黄褐色土。As-C、ローム土、黒褐色土をごく少量含む。
- 16 10Y R4/6 褐色土。ロームブロックを多量に含む。
- 17 10Y R2/1 黒色土。As-C混黒色土。2層よりもAs-Cを密に含む。
- 18 10Y R4/4 褐色土。ローム土を含む。崩落土と考えられる。
- 19 10Y R3/2 黒褐色土。As-C、ローム粒をごく少量含む。
- 20 10Y R4/3 にぶい黄褐色土。ロームブロックを多量に含む。川砂のようなものも含む。
- 21 10Y R3/2 黒褐色土。ロームブロックを多量に含む。床土。
- 22 10Y R4/6 褐色土。ロームブロック、黒褐色土を少量含む。
- 23 10Y R3/3 暗褐色土。As-C、ローム土、焼土粒を少量含む。
- 24 10Y R3/4 暗褐色土。ロームブロック、焼土粒、炭化物を少量含む。
- 25 2.5Y R6/8 褐色土。焼土。焼けて固くする。
- 26 10Y R4/4 褐色土。粘質。ハードローム土を含む。

0 1:60 2m

C区1号住居 (P-L-10・11・34)

位置 X=39240、Y=-57035グリッド付近 **主軸方位** N-56°-E **規模と形状** 短辺5.66m・長辺6.23mの長方形を呈する。 **床面** 基盤のローム層を70cm程度掘り込んで構築面とする。その上にローム混じりの土を5~20cm程度埋め込んで生活面とする。構築面は、壁際が住居の中央部よりやや深く掘り込まれる。 **柱穴** 住居のほぼ対角線上に4つ確認した。直径52~80cm、深さ61~80cm程度の楕円形の掘方を呈する。炉中央部よりやや北西寄りでも2ヶ所確認した。炉1：短径48cm・長径55cm。炉2：短径46cm・長径71cmでどちらも楕円形を呈する。 **周溝** 構築面で幅20cm程度の溝を一部分確認した。溝は全周はしない。 **貯蔵穴** 東隅に確認した。短径83cm・長径95cm、深さ78cmで楕円形を呈する。 **遺物** 台付壺・高坏・小型壺・有孔鉢が出土する。 **重複** 無し。単独で占地する。 **面積** 31.03m² **所見** 出土遺物から4世紀末から5世紀初頭と考える。



第52図 C区1号住居(2)

0 1:60 2m



柱穴1

- 1 10Y R3/2 黒褐色土。As-C層土。ロームブロック、ローム粒を多量に含む。
- 2 10Y R3/2 黒褐色土。ロームブロックを多量に含む。
- 3 10Y R4/4 褐色土。粘質。ハードローム土を含む。
- 4 10Y R4/4 褐色ローム土。
- 5 10Y R4/6 褐色土。4層より粘性強い。ローム土を含む。

柱穴2

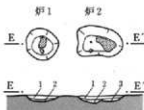
- 1 10Y R3/2 黒褐色土。As-C層土。ロームブロック、ローム粒を多量に含む。
- 2 10Y R4/4 褐色土。粘質。ハードローム土を含む。

柱穴3

- 1 10Y R3/2 黒褐色土。As-C層土。ロームブロック、ローム粒を多量に含む。
- 2 10Y R4/4 褐色土。粘質。ハードローム土を含む。
- 3 10Y R4/3 におい黄褐色土。ローム土、黒褐色土を含む。
- 4 10Y R4/6 褐色土。粘性強い。ローム土を含む。

柱穴4

- 1 10Y R2/1 黒色土。As-C層土。ロームブロック、ローム粒を含む。
- 2 10Y R4/3 におい黄褐色土。ローム土、黒褐色土を含む。
- 3 10Y R4/4 褐色土。粘質。ハードローム土を含む。
- 4 10Y R4/6 褐色土。粘性強い。ローム土を含む。

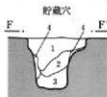


貯1

- 1 10Y R3/3 暗褐色土。As-C。ローム土、焼土粒を少量含む。
- 2 10Y R3/4 暗褐色土。ロームブロック、焼土粒、炭化物を少量含む。

貯2

- 1 10Y R3/3 暗褐色土。As-C。ローム土、焼土粒、炭化物を少量含む。
- 2 10Y R3/4 暗褐色土。ロームブロック、焼土粒、炭化物を少量含む。
- 3 2.5Y R6/8 橙色土。焼土。焼けて硬くなる。

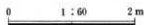


貯蔵穴

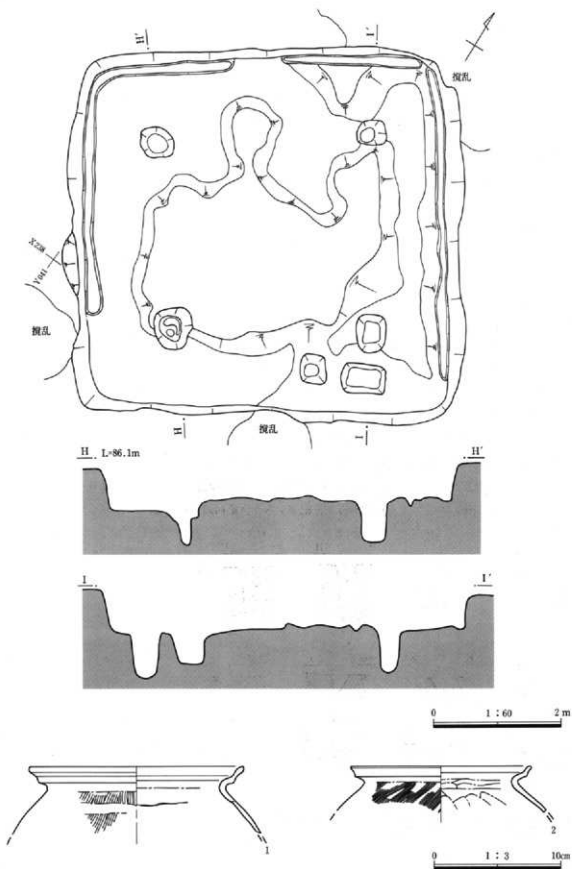
- 1 10Y R3/3 暗褐色土。ローム粒、炭化物を少量含む。
- 2 10Y R3/4 暗褐色土。1層よりも黄色味強い。ローム粒を多量に含む。
- 3 10Y R4/3 におい黄褐色土。弱い粘性有り。ロームブロックを少量含む。
- 4 10Y R5/4 におい黄褐色土。ロームブロックを多量に含む。壁面落土。



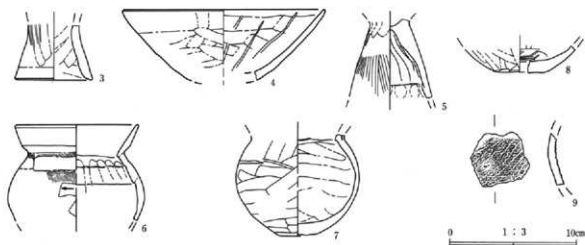
L=85.6m



第53図 C区1号住居(3)



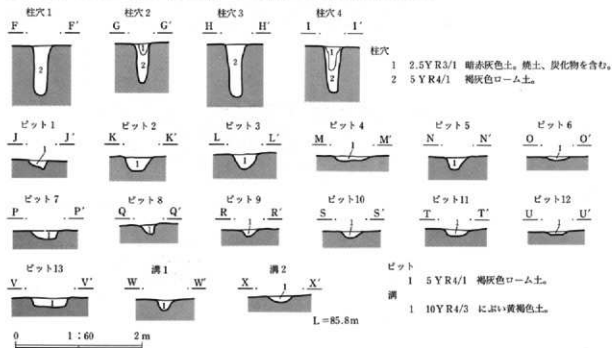
第54图 C区1号住居、出土遗物



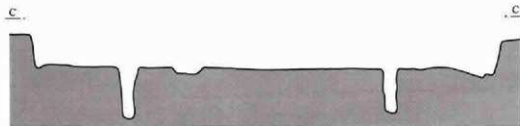
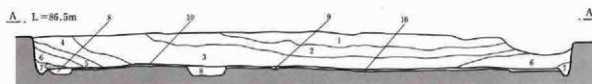
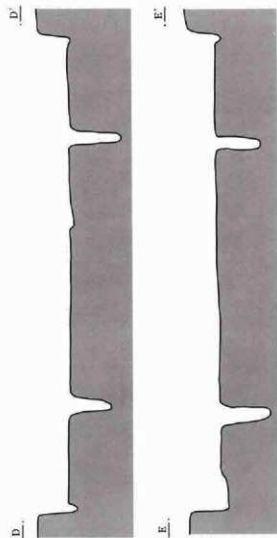
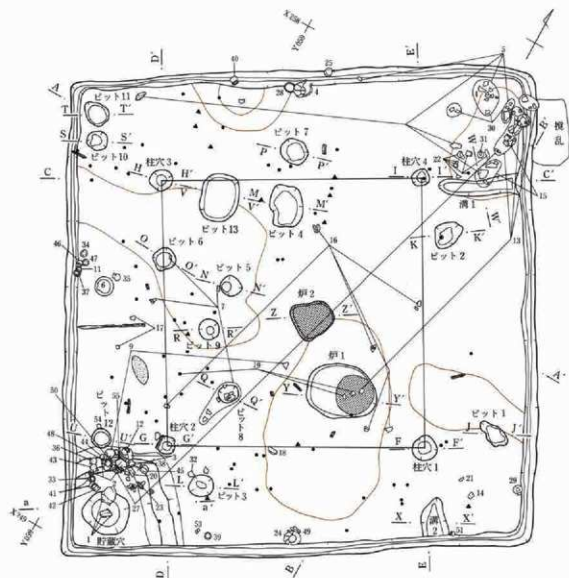
第55図 C区1号住居出土遺物

C区2号住居 (PL-12・34~39)

位置 X=39250、Y=-57055グリッド付近 **主軸方位** N-32'-W **規模と形状** 短辺7.48m・長辺7.65mのほぼ正方形を呈する。**床面** 基盤のローム層を55cm程度掘り込んで構築面とする。構築面にわずかな厚さの貼り床をほどこして生活面とする。床面は部分的により硬化した範囲が認められた。構築面は壁際より幅60~80cmの範囲が住居中央部よりやや深く掘り込まれる。**柱穴** 住居のほぼ対角線上に4つ確認。直径29~40cm、深さ61~82cmの楕円形の掘方を呈する。**炉** 中央部とやや南東寄りて2基確認。炉1：短径84cm・長径112cmで楕円形を呈する。炉2：短径62cm・長径64cmである。**周溝** 有り。全周する幅15cm程度の溝を確認。**貯蔵穴** 南西隅に確認。短径69cm・長径75cm、深さ81cmで楕円形を呈する。**遺物** 多量の遺物が出土。台付甕・甕・壺・高坏・小型壺・有孔鉢・鉢・石製模造品等が出土。**重複** 無し。単独で占地。**面積** 54.00㎡ **所見** 出土遺物から4世紀末から5世紀初頭と考える。



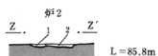
第56図 C区2号住居(1)



- 1 10Y R6/2 灰黄褐色ローム土。
- 2 N3/ 暗灰色土。As=Cを含む。
- 3 10Y R5/2 灰黄褐色ローム土。
- 4 10Y R6/2 灰黄褐色ローム土。
- 5 10Y R5/1 褐灰色ローム土。炭化物を含む。
- 6 10Y R7/3 濃い黄褐色ローム土。
- 7 10Y R8/1 褐灰色土。周溝裏土。
- 8 10Y R5/1 褐灰色土。ローム土を含む。
- 9 10Y R3/1 黒褐色土。
- 10 10Y R4/3 濃い黄褐色土。ロームプロットを含む。

0 1:60 2m

第57図 C区2号住居(2)



剖面1・2

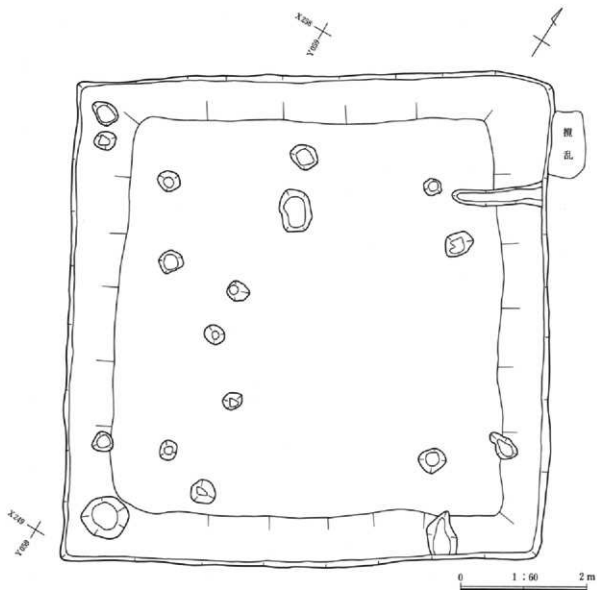
- 1 2.5Y R3/1 暗赤灰色土。焼土、炭化物を含む。
- 2 2.5Y R3/1 暗赤灰色土。焼土、炭化物を含む。硬化している。

a, L=86.5m 貯蔵穴 a'

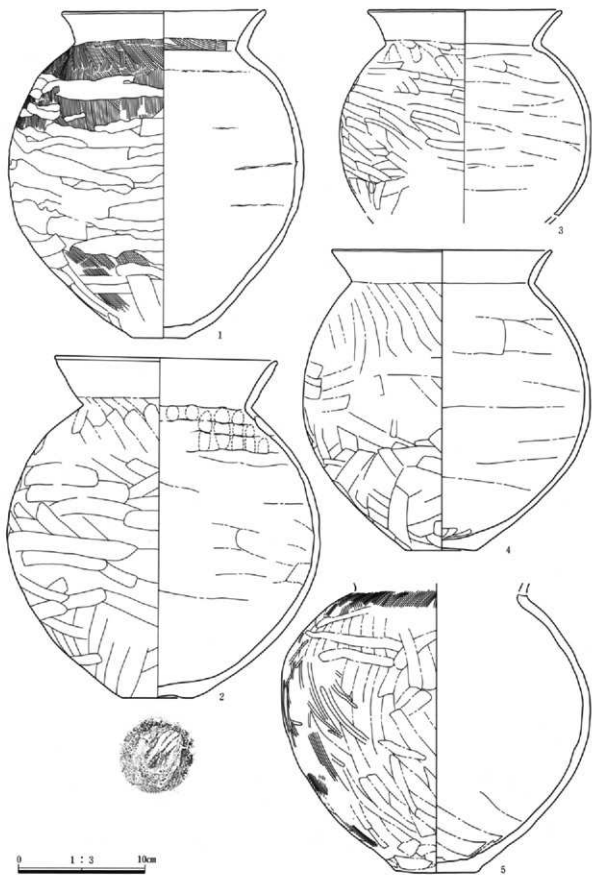


貯蔵穴

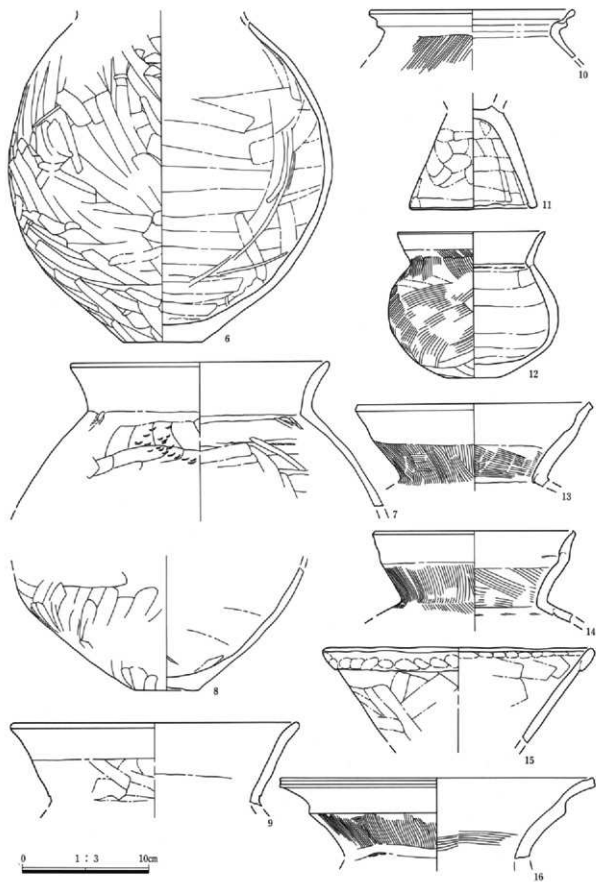
- 1 10Y R6/2 灰黄褐色ローム土。
- 2 10Y R3/1 黒褐色土。
- 3 10Y R5/1 褐灰色土。
- 4 10Y R4/1 褐灰色土。粘土ブロックを含む。



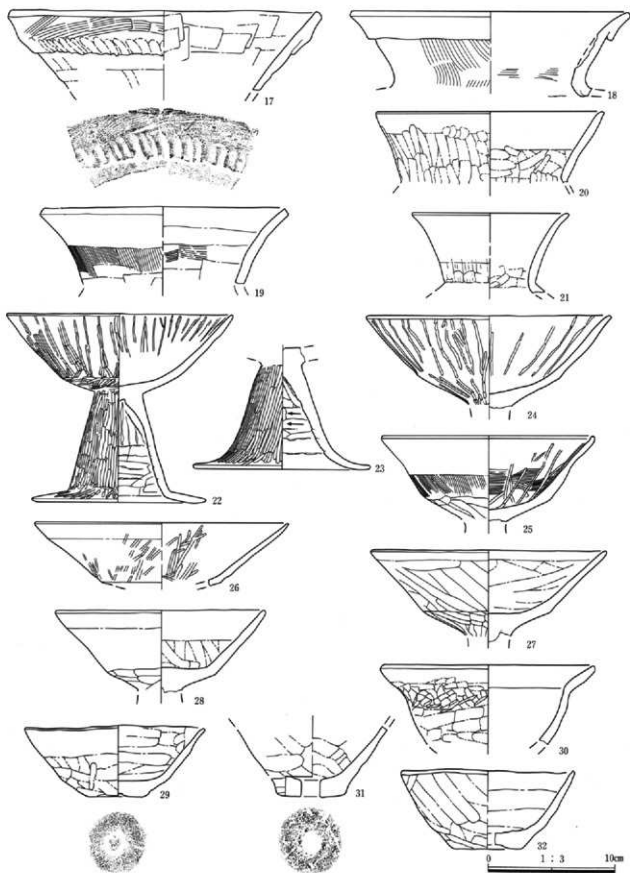
第58図 C区2号住居(3)



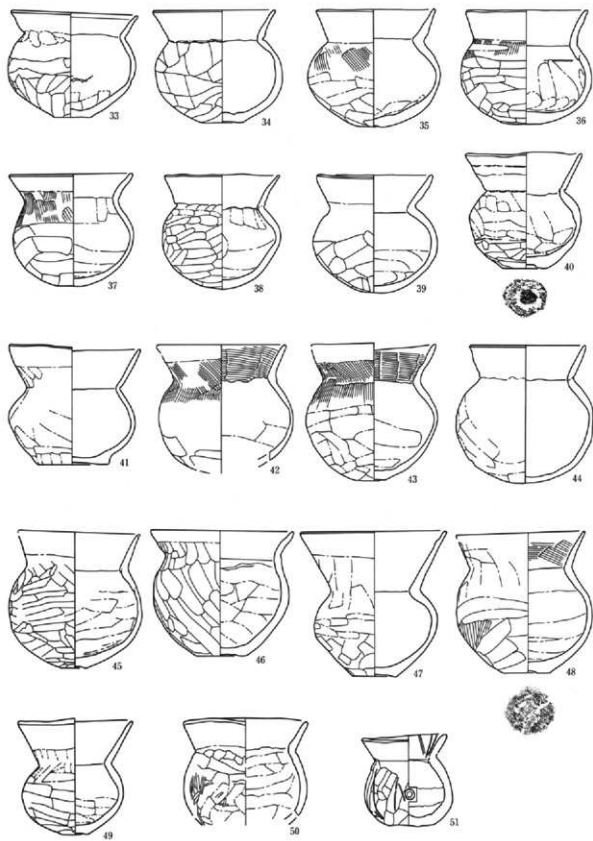
第59图 C区2号住居出土物(1)



第60图 C区2号住居出土遺物(2)

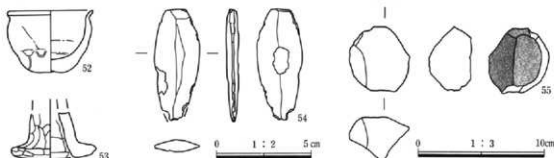


第61图 C区2号住居出土遗物(3)



第62图 C区2号住居出土遗物(4)

0 1 : 3 10cm



第63図 C区2号住居出土遺物(5)

C区3号住居 (PL-12・13・39~42)

位置 X=39245、Y=-57065グリッド付近 **主軸方位** 測定不能 **規模と形状** 住居の西側が調査区域外のため、全面を確認することができない。南北方向5.37mである。 **床面** 基盤のローム層を50cm程度掘り込んで構築面とする。構築面より10cm程度の厚さの貼り床をほどこして生活面とする。 **柱穴** 直径25~56cm、深さ55~74cmの楕円形の掘方を呈する。 **炉** 中央部よりやや北西寄りで確認した。短径72cm・長径85cmで楕円形を呈する。 **周溝** 有り。幅27cm程度の溝を調査範囲内で確認した。 **貯蔵穴** 有り。南東隅に確認した。短径65cm・長径70cm、深さ58cmで楕円形を呈する。内部および周辺から完形かそれに近い土器が多数出土した。 **遺物** 台付壺・壺・壺・器台・小型壺・有孔鉢・鉄製鎌が出土する。 **重複** 無し。単独で占地。 **面積** 測定不能 **所見** 出土遺物から4世紀末から5世紀初頭と考える。



第64図 C区3号住居

- 1 2.5Y5/3 黄褐色土。表土。
- 2 2.5Y6/2 灰黄色土。砂質。
- 3 2.5Y5/2 暗灰黄色ローム土。
- 4 10YR4/1 褐灰色土。炭化物を含む。
- 5 10YR5/1 褐灰色土。粘質。
- 6 5YR7/8 棕色土。焼土。
- 7 2.5Y3/1 黒褐色土。粘質。炭化物、焼土を多量を含む。



貯蔵穴

- 1 10YR7/4 にぶい黄棕色ローム土。
- 2 10YR4/1 褐灰色土。粘質。
- 3 10YR6/1 褐灰色土。粘質。
- 4 10YR4/1 褐灰色土。上部に炭化物を含む。



柱穴1



柱穴2

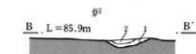


柱穴3



柱穴4

- 柱穴1
 - 1 10YR4/1 褐灰色土。粘質。
 - 2 10YR8/6 黄棕色ローム土。灰黄褐色土を含む。
- 柱穴2
 - 1 10YR8/6 黄棕色ローム土。灰黄褐色土を含む。
- 柱穴3
 - 1 2.5Y5/3 黄褐色土。ローム土を含む。
- 柱穴4
 - 1 10YR4/1 褐灰色土。粘質。柱痕。
 - 2 2.5Y7/4 浅黄色土。ロームブロックを含む。柱の周囲をつき固めた層。



貯蔵穴

- 1 10R4/1 暗赤灰色土。灰・焼土を含む。
- 2 10R6/8 赤褐色土。焼土ブロックを含む。



ピット1



ピット2

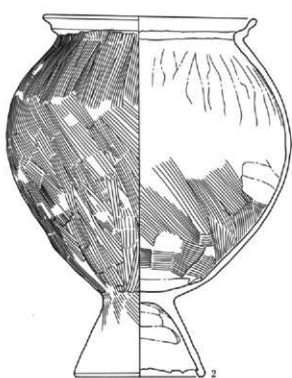
ピット1

- 1 2.5Y3/1 黒褐色土。粘質。炭化物・焼土を多量を含む。

ピット2

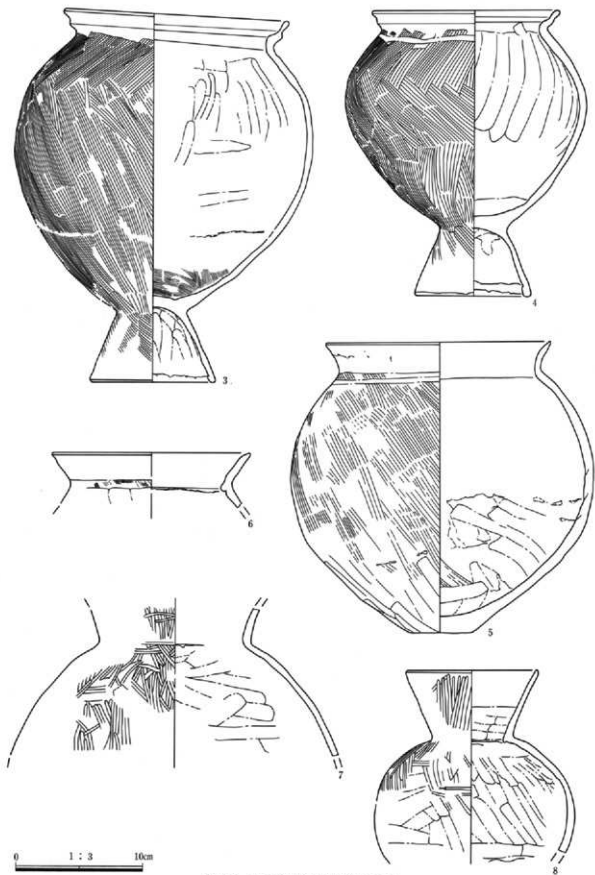
- 1 10YR4/1 褐灰色土。粘質。

0 1 : 60 2m

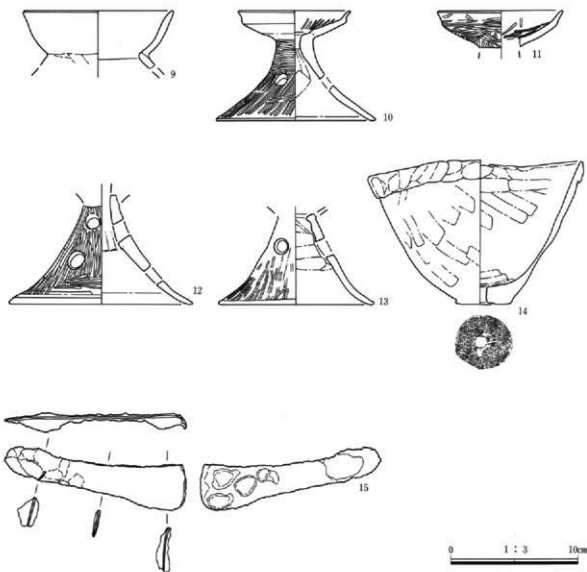


0 1 : 3 10cm

第65図 C区3号住居、出土遺物



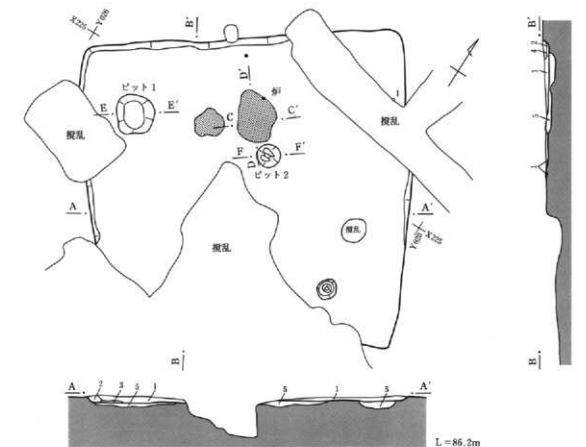
第66图 C区3号住居出土物(1)



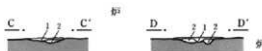
第67図 C区3号住居出土遺物(2)

C区4号住居 (PL-13・42)

位置 X=39225、Y=-57020グリッド付近 **主軸方位** N-56°-E **規模と形状** 短辺5.00m・長辺5.11mのほぼ正方形を呈する。住居の周辺は上部からの削平がひどく、残存状態は良好でない。 **床面** 基盤のローム層を15cm程度掘り込んで構築面とする。構築面より5cm程度の厚さの貼り床をほどこして生活面とする。構築面は北西壁・北東壁際より幅60~70cmの範囲が住居の中央部よりやや深く掘り込まれる。 **柱穴** 住居内でピットを2つ確認したが、柱穴のようなものは確認できなかった。 **炉** 中央部よりやや北西寄りで確認した。短径62cm・長径86cmで楕円形を呈する。炉の周辺にも焼土のまとまりを確認した。 **周溝** 無し。 **貯蔵穴** 不明。上部からの削平がひどく、確認することができなかった。 **遺物** 珪質粘板岩製の砥石が1点出土。 **重複** 無し。単独で占地する。 **面積** 17.64m²(残存部分で計測) **所見** 覆土にAs-Cを含むこと、甕を持たないことなどから、4世紀末から5世紀初頭に相当すると考える。



- 1 10Y R3/3 暗褐色土。As-C、ローム土をわずかに含む。
- 2 10Y R3/4 暗褐色土。壁の崩落土。ローム土を多量に含む。
- 3 10Y R4/3 にぶい黄褐色土。ロームブロックを含む。貼り床部分と思われる。
- 4 10Y R3/4 暗褐色土。As-C、ロームブロックを含む。壁の崩落土と思われる。
- 5 10Y R4/3 にぶい黄褐色土。



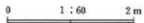
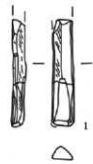
- 1 10Y R3/3 暗褐色土。As-C混黒色土ブロック、焼土粒を含む。
- 2 2.5Y R7/8 橙色土。焼土。暗褐色土ブロックを含む。



- ピット1
- 1 10Y R3/4 暗褐色土。ローム土を含む。
 - 2 10Y R3/2 黒褐色土。ローム粒を含む。
 - 3 10Y R3/3 暗褐色土。ロームブロックを含む。

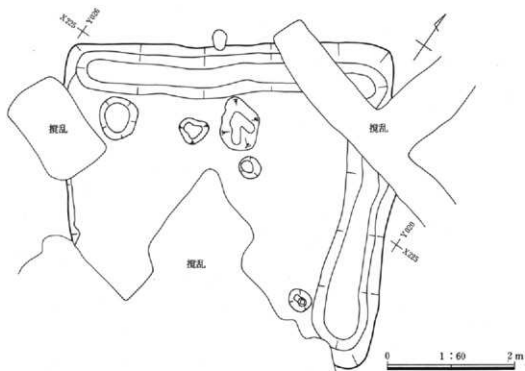


- ピット2
- 1 10Y R3/3 暗褐色土。As-Cをわずかに含む。
 - 2 10Y R3/3 暗褐色土。ロームブロックを含む。

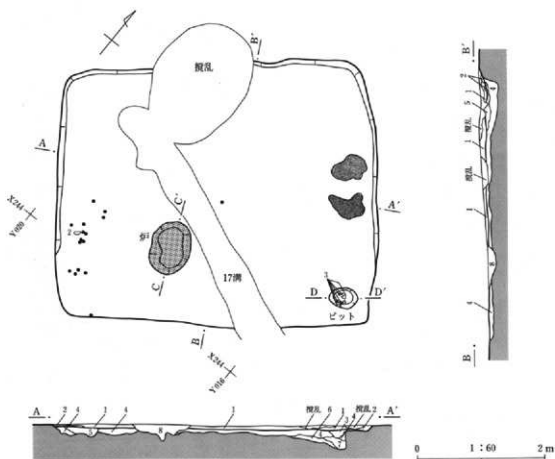


第68図 C区4号住居、出土遺物





第69図 C区4号住居



第70図 C区5号住居(1)

- 1 10Y R3/2 黒褐色土。少量のAs-C、ロームブロックを含む。
- 2 2.5Y3/3 暗オリーブ褐色土。As-Cを少量含む。
- 3 2.5Y3/3 暗オリーブ褐色土。灰白色の粘土を少量含む。
- 4 10Y R4/3 濃い黄褐色土。ローム土を多量に含む。掘方覆土。
- 5 10Y R3/1 黒褐色土。As-C混土。ロームブロックを含む。
- 6 10Y R4/2 灰黄褐色土。As-Cを含む。
- 7 10Y R4/6 褐色土。ロームブロックを含む。
- 8 10Y R4/3 濃い黄褐色土。ロームブロックを多量に含む。17号溝覆土。

C区5号住居 (P L-13・42)

位置 X=39240~39245、Y=57015~57020グリッド付近 **軸方位** N-52°-E **規模と形状** 短辺4.20m・長辺5.01mの長方形を呈する。床面 上部の削平がひどく、残存壁高はほとんど無い。その上にローム混じりの土を埋め込んで生活面とする。床面上に灰白色の粘土の塊を2つ確認した。構築面は北西・北東・南西それぞれの壁際幅50~100cm程の範囲が住居の中央部よりやや深く掘り込まれる。**柱穴** 生活面でピットを1つ確認したが、柱穴のようなものは確認できなかった。**炉** 中央部よりやや南寄りで確認した。短径55cm・長径86cmで楕円形を呈する。**周溝** 無し。**貯蔵穴** 無し。**遺物** 台付壺・鉢・器台が出土する。**重複** 無し。単独で占地する。**面積** 18.31㎡(残存部分で計測) **所見** 出土遺物から4世紀末から5世紀初頭と考える。

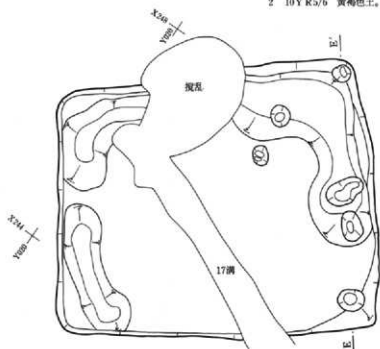


炉

- 1 7.5Y R4/3 褐色土。やや砂質。焼土を含む。
- 2 2.5Y R7/8 褐色土。焼土層。褐色土ブロックを含む。

ピット

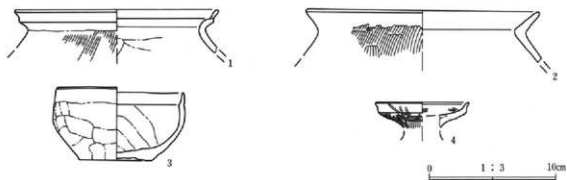
- 1 10Y R3/3 暗褐色土。やや砂質。ローム粒をわずかに含む。
- 2 10Y R5/6 黄褐色土。やや砂質。炭化物、ロームブロックを含む。



- 1 2.5Y3/3 暗オリーブ褐色土。灰白色の粘土を少量含む。
- 2 10Y R4/3 濃い黄褐色土。ローム土を多量に含む。掘方覆土。
- 3 10Y R3/1 黒褐色土。As-C混土。ロームブロックを含む。
- 4 10Y R4/6 褐色土。ロームブロックを含む。

0 1:60 2m

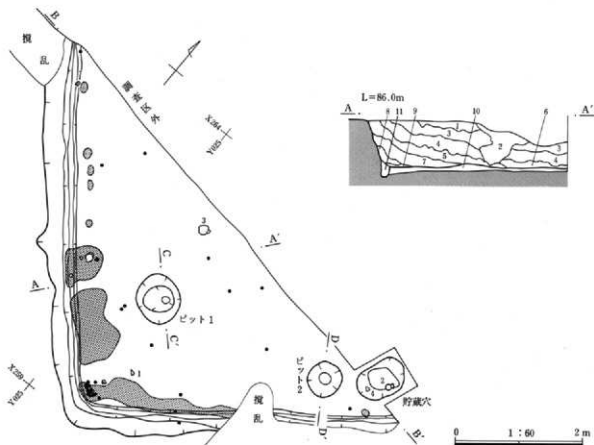
第71図 C区5号住居(2)



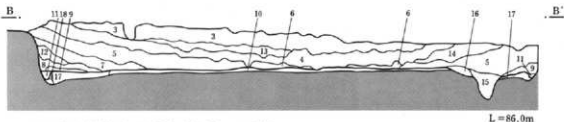
第72図 C区5号住居出土遺物

C区6号住居 (PL-14・43)

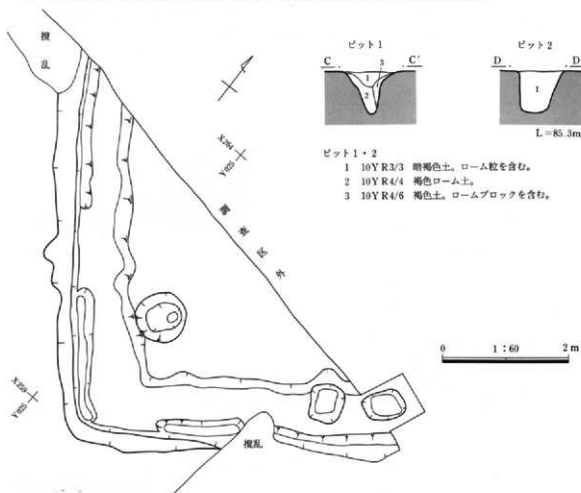
位置 X=39260、Y=-57020グリッド付近 **主軸方位** 測定不能。 **規模と形状** 住居の北側が調査区域外のため、全面を確認することができなかった。 **床面** 基盤のローム層を60~80cm程度掘り込んで構築面とする。構築面より5cm程度の厚さの貼り床をほどこして生活面とする。構築面は壁際より幅100cm程の範囲が住居の中央部よりやや深く掘り込まれる。 **柱穴** ピットを2つ確認したが、柱穴と思われるものは1つであった。直径71~79cm程度、深さ70cmの楕円形の掘方を呈する。 **炉** 不明。 **周溝** 有り。調査範囲内で幅20cm程度の溝を確認した。 **貯蔵穴** 有り。北東隅、調査区境で確認した。短径55cm・長径80cm、深さ48cmで楕円形を呈する。 **遺物** 甕・壺・高坏・小型壺が出土する。 **重複** 無し。単独で占地する。 **面積** 測定不能 **所見** 出土遺物から4世紀末から5世紀初頭と考える。



第73図 C区6号住居(1)



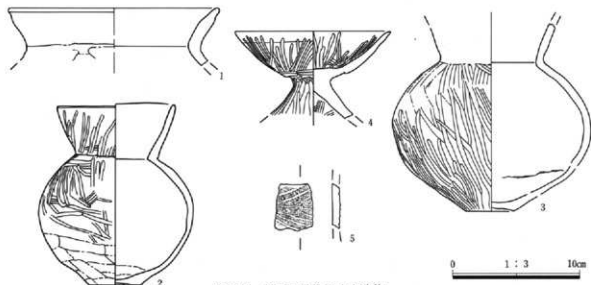
- 1 10Y R4/2 灰黄褐色土。やや粘質。黒色土ブロックを含む。
- 2 10Y R4/1 褐色土。やや粘質。黒色土ブロックを含む。上部からの影響があると思われる。
- 3 10Y R2/1 黒色土。やや粘質。As-C混濁色土。As-Cの割合は少ない。
- 4 10Y R3/2 黒褐色土。やや粘質。As-Cを少量含む。
- 5 10Y R4/3 におい黄褐色土。やや砂質。黒色土ブロックを含む。
- 6 10Y R4/2 灰黄褐色土。やや砂質。黒色土ブロックを含む。
- 7 10Y R3/2 黒褐色土。やや粘質。崩落土と考えられる。
- 8 10Y R4/4 褐色土。やや粘質。ロームブロックを含む。崩落土と考えられる。
- 9 10Y R3/2 黒褐色土。やや粘質。炭化物、雑土ブロックを多量に含む。
- 10 10Y R4/6 褐色土。粘質。住居床土。
- 11 10Y R3/2 黒褐色土。粘質。黒色土ブロックを含む。周溝覆土。
- 12 10Y R3/3 暗褐色土。やや砂質。ローム粒を少量含む。
- 13 10Y R2/2 黒褐色土。やや砂質。As-Cを少量含む。
- 14 10Y R3/3 暗褐色土。やや砂質。As-Cを少量含む。
- 15 10Y R4/3 におい黄褐色土。やや砂質。ローム粒、焼土粒を少量含む。貯蔵穴覆土。
- 16 10Y R4/4 褐色土。砂質。貯蔵穴の掘方覆土と考えられる。
- 17 10Y R4/3 におい黄褐色土。砂質。ロームブロックを多量に含む。掘方覆土。
- 18 10Y R4/3 におい黄褐色土。17層に類似するが、ローム土の割合少ない。周溝の掘方覆土と考えられる。



ピット 1・2

- 1 10Y R3/3 暗褐色土。ローム粒を含む。
- 2 10Y R4/4 褐色ローム土。
- 3 10Y R4/6 褐色土。ロームブロックを含む。

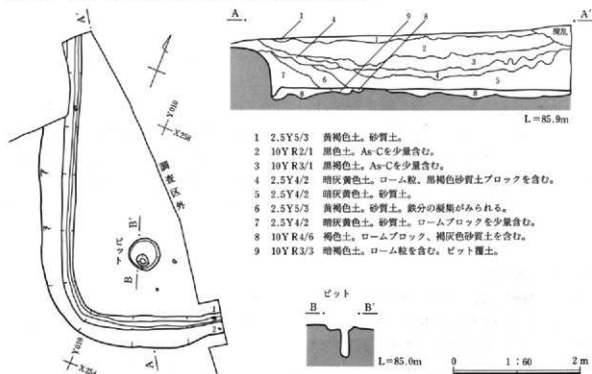
第74図 C区6号住居(2)



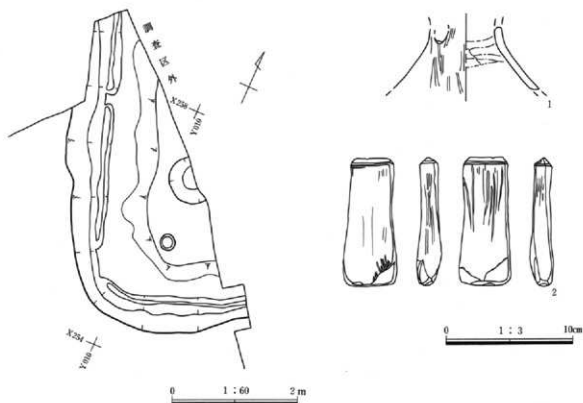
第75図 C区6号住居出土遺物

C区7号住居 (PL-14・43)

位置 X=39255、Y=-57010グリッド付近 **主軸方位** 測定不能。 **規模と形状** 住居の北側が調査区域外、構造物があるため、全面を確認することができなかった。 **床面** 基盤のローム層を90cm程度掘り込んで構築面とする。その上にローム混じりの土を15cm程度埋め込んで生活面とする。構築面は壁際より幅100cm程の範囲が住居の中央部よりやや深く掘り込まれる。 **柱穴** 柱穴と思われるピットを1つ確認した。直径50cm程度、深さ51cmで単純円形の掘方を呈する。 **炉** 不明。 **周溝** 有り。調査範囲内で幅25cm程度の溝を確認した。 **貯蔵穴** 不明。 **遺物** 器台・砥石が出土する。 **重複** 無し。単独で占地する。 **面積** 測定不能。 **所見** 出土遺物から4世紀末から5世紀初頭と考える。



第76図 C区7号住居



第77図 C区7号住居、出土遺物

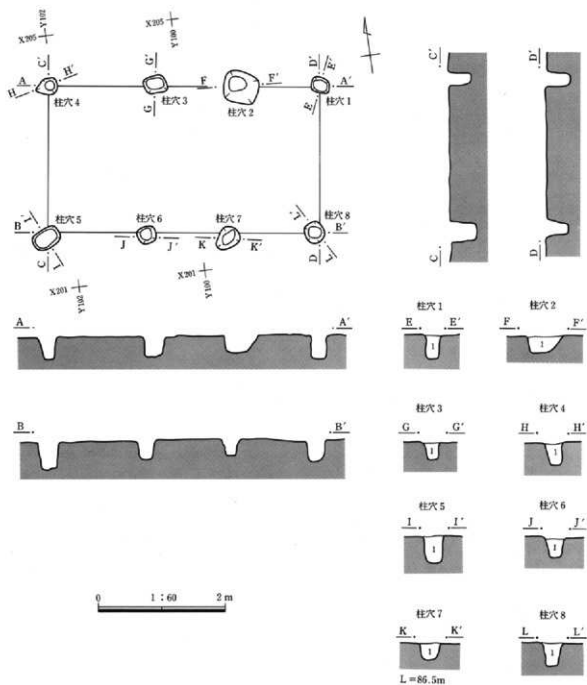
(4) 掘立柱建物跡

A区1号掘立柱建物

位置 X=39200、Y=-57095～-57100グリッド。主軸方位 N-86.5°-W 形状と規模 柱間は1間×3間で、短辺2.3m・長辺4.35mの長方形を呈する。柱穴 径25～55cmの楕円形の掘方を呈し、確認面からの深さは26～43cm程度である。柱痕は検出することができなかった。覆土 黒褐色土でその中にAs-Cを含む。遺物 出土遺物無し。重複 無し。単独で占地する。所見 覆土の状況から古墳時代の遺構と考える。

C区1号掘立柱建物

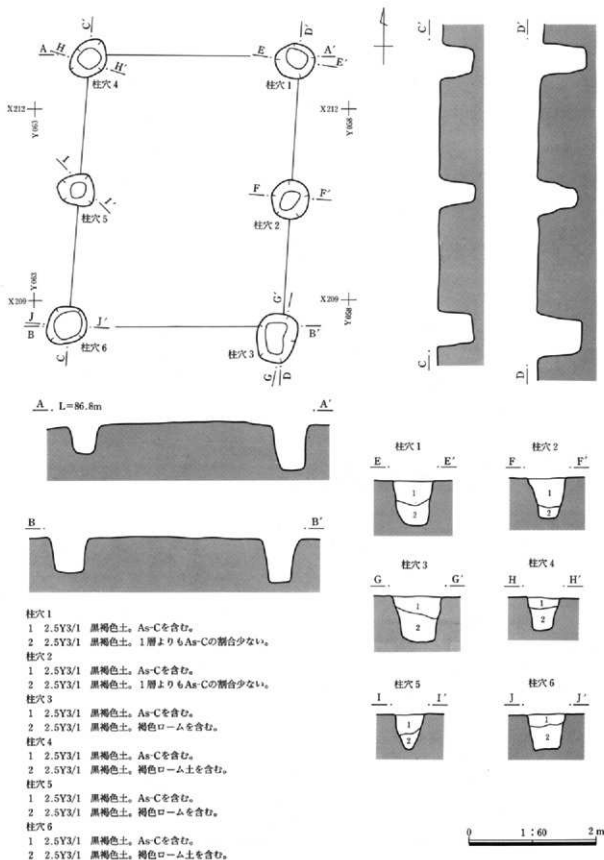
位置 X=39205～39210、Y=-57060グリッド付近。主軸方位 磁北の方向。形状と規模 柱間は1間×2間で、短辺3.4m・長辺4.3mの長方形を呈する。柱穴 径50～75cmの楕円形の掘方を呈し、確認面からの深さは45～71cm程度である。柱痕は検出することができなかった。覆土 黒褐色土でその中にAs-Cを含む。遺物 出土遺物無し。重複 無し。単独で占地する。所見 覆土の状況から古墳時代の遺構と考える。



- 柱穴1
1 2.5Y3/1 黒褐色土。As-Cを含む。
柱穴2
1 2.5Y3/1 黒褐色土。As-Cを含む。
柱穴3
1 10YR5/2 灰黄褐色土。ローム土を含む。
柱穴4
1 2.5Y3/1 黒褐色土。As-Cを含む。

- 柱穴5
1 2.5Y3/1 黒褐色土。As-Cを含む。
柱穴6
1 2.5Y3/1 黒褐色土。As-Cを含む。
柱穴7
1 2.5Y3/1 黒褐色土。As-Cを含む。
柱穴8
1 2.5Y3/1 黒褐色土。As-Cを含む。

第78図 A区1号掘立柱建物



第79図 C区1号掘立柱建物

(5)土坑・ピット

A区土坑

A区145号土坑

位置 X=39205、Y=-57105グリッド付近に位置する。

規模 径56cmほどの円形を呈し、底面までの深さは20cmを測る。

概要 覆土には黒褐色土中にAs-Cと思われる軽石を含む。

遺物 出土遺物無し。

A区153号土坑

位置 X=39205、Y=-57105グリッド付近に位置する。

規模 短軸37cm、長軸82cmを測る不整な楕円形を呈し、長軸は北西・南東方向にもつ。底面までの深さは13cm～18cmを測る。

概要 覆土には黒褐色土中にAs-Cと思われる軽石を含む。

遺物 出土遺物無し。

A区154号土坑

位置 X=39205、Y=-57105グリッド付近に位置する。

規模 短軸36cm、長軸47cmを測る不整な楕円形を呈し、長軸は北東・南西方向にもつ。底面までの深さは26cmを測る。

概要 覆土には黒褐色土中にAs-Cと思われる軽石を含む。

遺物 出土遺物無し。

A区155号土坑

位置 X=39205、Y=-57105グリッド付近に位置する。

規模 短軸51cm、長軸58cmを測る不整な楕円形を呈し、長軸は北西・南東方向にもつ。底面までの深さは16～19cmを測る。

概要 覆土には黒褐色土中にAs-Cと思われる軽石を含む。

遺物 出土遺物無し。

A区164号土坑

位置 X=39205、Y=-57095グリッド付近に位置する。

規模 短軸41cm、長軸50cmを測る楕円形を呈し、長軸は東西方向にもつ。底面までの深さは28cmを測る。

概要 覆土には黒褐色土中にAs-Cと思われる軽石を含む。165号土坑と重複する。新旧関係は明らかでない。

遺物 出土遺物無し。

A区165号土坑

位置 X=39205、Y=-57095グリッド付近に位置する。

規模 短軸26cm、長軸33cmを測る楕円形を呈し、長軸は南北方向にもつ。底面までの深さは12cmを測る。

概要 覆土には黒褐色土中にAs-Cと思われる軽石を含む。164号土坑と重複する。新旧関係は明らかでない。

遺物 出土遺物無し。

A区167号土坑

位置 X=39205、Y=-57105グリッド付近に位置する。

規模 短軸59cm、長軸82cmを測る楕円形を呈し、長軸は北東・南西方向にもつ。底面までの深さは28cmを測る。土坑中央に中段のような高まりある。

概要 覆土には黒褐色土中にAs-Cと思われる軽石を含む。

遺物 出土遺物無し。

A区169号土坑

位置 X=39200、Y=-57095グリッド付近に位置する。

規模 短軸24cm、長軸32cmを測る楕円形を呈し、長軸は北東・南西方向にもつ。底面までの深さは8cmを測る。

概要 覆土には黒褐色土中にAs-Cと思われる軽石を含む。

遺物 出土遺物無し。

A区171号土坑

位置 X=39195、Y=-57105グリッド付近に位置する。

規模 短軸34cm、長軸43cmを測る楕円形を呈し、長軸は北西・南東方向にもつ。底面までの深さは24cmを測る。

概要 覆土には黒褐色土中にAs-Cと思われる軽石を含む。

遺物 出土遺物無し。

A区172号土坑

位置 X=39195、Y=-57100グリッド付近に位置する。

規模 径30cmほどの円形を呈し、底面までの深さは30cmを測る。

概要 覆土には黒褐色土中にAs-Cと思われる軽石を含む。

遺物 出土遺物無し。

A区173号土坑

位置 X=39205、Y=-57090グリッド付近に位置する。

規模 短軸58cm、長軸114cmを測る。形状はアメーバ状の掘方を呈する。底面までの深さは14~25cmを測る。

概要 覆土には黒褐色土中にAs-Cと思われる軽石を含む。

遺物 出土遺物無し。

A区174号土坑

位置 X=39195、Y=-57095グリッド付近に位置する。

規模 短軸27cm、長軸36cmを測る楕円形を呈し、長軸は南北方向にもつ。底面までの深さは24cmを測る。

概要 覆土には黒褐色土中にAs-Cと思われる軽石を含む。

遺物 出土遺物無し。

A区175号土坑

位置 X=39195、Y=-57095グリッド付近に位置する。

規模 径22cmほどの円形を呈し、底面までの深さは12cmを測る。

概要 覆土には黒褐色土中にAs-Cと思われる軽石を含む。

遺物 出土遺物無し。

A区177号土坑

位置 X=39195、Y=-57090グリッド付近に位置する。

規模 短軸33cm、長軸45cmを測る楕円形を呈し、長軸は東西方向にもつ。底面までの深さは27cmを測る。

概要 覆土には黒褐色土中にAs-Cと思われる軽石を含む。

遺物 出土遺物無し。

A区181号土坑

位置 X=39200、Y=-57090グリッド付近に位置する。

規模 短軸36cm、長軸41cmを測る楕円形を呈し、長軸は北西・南東方向にもつ。底面までの深さは8cmを測る。

概要 覆土には黒褐色土中にAs-Cと思われる軽石を含む。

遺物 出土遺物無し。

A区182号土坑

位置 X=39205、Y=-57085グリッド付近に位置する。

規模 短軸30cm、長軸50cmを測る楕円形を呈し、長軸は北西・南東方向にもつ。底面までの深さは23cmを測る。

概要 覆土には黒褐色土中にAs-Cと思われる軽石を含む。

遺物 出土遺物無し。

A区185号土坑

位置 X=39205、Y=-57085グリッド付近に位置する。

規模 短軸37cm、長軸41cmを測る楕円形を呈し、長軸は北東・南西方向にもつ。底面までの深さは9cmを測る。

概要 覆土には黒褐色土中にAs-Cと思われる軽石を含む。

遺物 出土遺物無し。

A区186号土坑

位置 X=39200、Y=-57105グリッド付近に位置する。

規模 短軸35cm、長軸38cmを測る楕円形を呈し、長軸は南北方向にもつ。底面までの深さは21cmを測る。

概要 覆土には黒褐色土中にAs-Cと思われる軽石を含む。187号土坑と重複する。

遺物 出土遺物無し。

A区187号土坑

位置 X=39200、Y=-57105グリッド付近に位置する。

規模 短軸45cm、長軸47cmを測る楕円形を呈し、長軸は東西方向にもつ。底面までの深さは28cmを測る。

概要 覆土には黒褐色土中にAs-Cと思われる軽石を含む。186号土坑と重複する。

遺物 出土遺物無し。

A区188号土坑

位置 X=39200、Y=-57105グリッド付近に位置する。

規模 短軸42cm、長軸48cmを測る楕円形を呈し、長軸は北東・南西方向にもつ。底面までの深さは26cmを測る。

概要 覆土には黒褐色土中にAs-Cと思われる軽石を含む。

遺物 出土遺物無し。

A区189号土坑

位置 X=39205、Y=-57085グリッド付近に位置する。

規模 短軸37cm、長軸41cmを測る楕円形を呈し、長軸は北西・南東方向にもつ。底面までの深さは9cmを測る。

概要 覆土には黒褐色土中にAs-Cと思われる軽石を含む。

遺物 出土遺物無し。

A区190号土坑

位置 X=39200、Y=-57085グリッド付近に位置する。

規模 短軸34cm、長軸43cmを測る隅円方形を呈し、長軸は東西方向にもつ。底面までの深さは30cmを測る。

概要 覆土には黒褐色土中にAs-Cと思われる軽石を含む。

遺物 出土遺物無し。

A区192号土坑

位置 X=39200、Y=-57090グリッド付近に位置する。

規模 径30cmほどの円形を呈し、底面までの深さは9cmを測る。

概要 覆土には黒褐色土中にAs-Cと思われる軽石を含む。

遺物 出土遺物無し。

A区193号土坑

位置 X=39205、Y=-57090グリッド付近に位置する。

規模 短軸47cm、長軸75cmを測る楕円形を呈し、長軸は東西方向にもつ。底面までの深さは21cmを測る。

概要 覆土には黒褐色土中にAs-Cと思われる軽石を含む。1号掘立柱建物柱穴と重複する。

遺物 出土遺物無し。

A区189号土坑

位置 X=39200、Y=-57095グリッド付近に位置する。

規模 短軸28cm、長軸35cmを測る楕円形を呈し、長軸は東西方向にもつ。底面までの深さは26cmを測る。

概要 覆土には黒褐色土中にAs-Cと思われる軽石を含む。

遺物 出土遺物無し。

A区200号土坑

位置 X=39200、Y=-57090グリッド付近に位置する。

規模 短軸30cm、長軸104cmを測る不整な溝状の長方形を呈し、長軸は北東・南西方向にもつ。底面までの深さは17cmを測る。

概要 覆土には黒褐色土中にAs-Cと思われる軽石を含む。

遺物 出土遺物無し。

A区201号土坑

位置 X=39200、Y=-57095グリッド付近に位置する。

規模 短軸26cm、長軸29cmを測る楕円形を呈し、長軸は南北方向にもつ。底面までの深さは9cmを測る。

概要 覆土には黒褐色土中にAs-Cと思われる軽石を含む。

遺物 出土遺物無し。

A区207号土坑

位置 X=39200、Y=-57100グリッド付近に位置する。

規模 短軸25cm、長軸41cmを測る楕円形を呈し、長軸は東西方向にもつ。底面までの深さは7cmを測る。

概要 覆土には黒褐色土中にAs-Cと思われる軽石を含む。

遺物 出土遺物無し。

A区208号土坑

位置 X=39200、Y=-57100グリッド付近に位置する。

規模 短軸27cm、長軸38cmを測る楕円形を呈し、長軸は北西・南東方向にもつ。底面までの深さは12cmを測る。

概要 覆土には黒褐色土中にAs-Cと思われる軽石を含む。

遺物 出土遺物無し。

A区209号土坑

位置 X=39200、Y=-57100グリッド付近に位置する。

規模 短軸33cm、長軸45cmを測る楕円形を呈し、長軸は東西方向にもつ。底面までの深さは5cmを測る。

概要 覆土には黒褐色土中にAs-Cと思われる軽石を含む。

遺物 出土遺物無し。

A区210号土坑

位置 X=39200、Y=-57100グリッド付近に位置する。

規模 短軸29cm、長軸40cmを測る楕円形を呈し、長軸は南北方向にもつ。底面までの深さは3cmを測る。

概要 覆土には黒褐色土中にAs-Cと思われる軽石を含む。

遺物 出土遺物無し。

A区212号土坑

位置 X=39200、Y=-57105グリッド付近に位置する。

規模 短軸21cm、長軸29cmを測る楕円形を呈し、長軸は南北方向にもつ。底面までの深さは8cmを測る。

概要 覆土には黒褐色土中にAs-Cと思われる軽石を含む。

遺物 出土遺物無し。

A区213号土坑

位置 X=39200、Y=-57085グリッド付近に位置する。

規模 短軸33cm、長軸55cmを測る楕円形を呈し、長軸は東西方向にもつ。底面までの深さは23cmを測る。

概要 覆土には暗褐色土中にAs-Cと思われる軽石を含む。

遺物 出土遺物無し。

A区214号土坑

位置 X=39200、Y=-57085グリッド付近に位置する。

規模 短軸20cm、長軸36cmを測る隅形長方形を呈し、長軸は東西方向にもつ。底面までの深さは13cmを測る。

概要 覆土には暗褐色土中にAs-Cと思われる軽石を含む。

遺物 出土遺物無し。

A区215号土坑

位置 X=39200、Y=-57085グリッド付近に位置する。

規模 短軸36cm、長軸61cmを測る不整なL字形の掘方を呈し、長軸は北西・南東方向にもつ。底面までの深さは25cmを測る。

概要 覆土には暗褐色土中にAs-Cと思われる軽石を含む。

遺物 出土遺物無し。

A区216号土坑

位置 X=39200、Y=-57085グリッド付近に位置する。

規模 短軸41cm、長軸80cmを測る楕円形を呈し、長軸は東西方向にもつ。底面までの深さは9～16cmを測る。

概要 覆土には暗褐色土中にAs-Cと思われる軽石を含む。

遺物 出土遺物無し。

A区218号土坑

位置 X=39200、Y=-57085グリッド付近に位置する。

規模 短軸25cm、長軸41cmを測る楕円形を呈し、長軸は東西方向にもつ。底面までの深さは19cmを測る。

概要 覆土には暗褐色土中にAs-Cと思われる軽石を含む。

遺物 出土遺物無し。

A区220号土坑

位置 X=39200、Y=-57090グリッド付近に位置する。

規模 短軸21cm、長軸36cmを測る楕円形を呈し、長軸は東西方向にもつ。底面までの深さは8cmを測る。

概要 覆土には暗褐色土中にAs-Cと思われる軽石を含む。

遺物 出土遺物無し。

A区226号土坑

位置 X=39195、Y=-57085グリッド付近に位置する。

規模 短軸37cm、長軸52cmを測る楕円形を呈し、長軸は北東・南西方向にもつ。底面までの深さは12cmを測る。

概要 覆土には黒褐色土中にAs-Cと思われる軽石を含む。

遺物 出土遺物無し。

A区227号土坑

位置 X=39195、Y=-57085グリッド付近に位置する。

規模 短軸39cm、長軸77cmを測る楕円形を呈し、長軸は南北方向にもつ。底面までの深さは11cmを測る。

概要 覆土には黒褐色土中にAs-Cと思われる軽石を含む。

遺物 出土遺物無し。

A区228号土坑

位置 X=39195、Y=-57085グリッド付近に位置する。

規模 短軸28cm、長軸39cmを測る楕円形を呈し、長軸は南北方向にもつ。底面までの深さは10cmを測る。

概要 覆土には黒褐色土中にAs-Cと思われる軽石を含む。

遺物 出土遺物無し。

A区229号土坑

位置 X=39195、Y=-57085グリッド付近に位置する。

規模 短軸40cm、長軸48cmを測る楕円形を呈し、長軸は北西・南東方向にもつ。底面までの深さは20cmを測る。

概要 覆土には黒褐色土中にAs-Cと思われる軽石を含む。

遺物 出土遺物無し。

A区230号土坑

位置 X=39195、Y=-57085グリッド付近に位置する。

規模 短軸35cm、長軸36cmを測る隅円方形を呈し、長軸は東西方向にもつ。底面までの深さは15cmを測る。

概要 覆土には黒褐色土中にAs-Cと思われる軽石を含む。231号土坑と重複する。

遺物 出土遺物無し。

A区231号土坑

位置 X=39195、Y=-57085グリッド付近に位置する。

規模 短軸24cm、長軸26cmを測る隅円方形を呈し、長軸は南北方向にもつ。底面までの深さは7cmを測る。

概要 覆土には黒褐色土中にAs-Cと思われる軽石を含む。230号土坑と重複する。

遺物 出土遺物無し。

A区249号土坑

位置 X=39190、Y=-57120グリッド付近に位置する。

規模 短軸20cm、長軸26cmを測る楕円形を呈し、長軸は南北方向にもつ。底面までの深さは18cmを測る。

概要 覆土には黒褐色土中にAs-Cと思われる軽石を含む。

遺物 出土遺物無し。

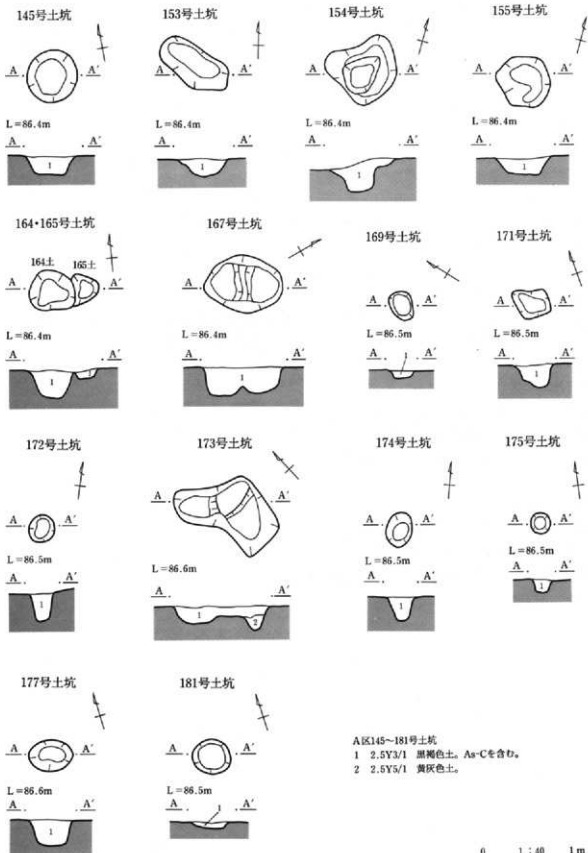
A区255号土坑

位置 X=39190、Y=-57120グリッド付近に位置する。

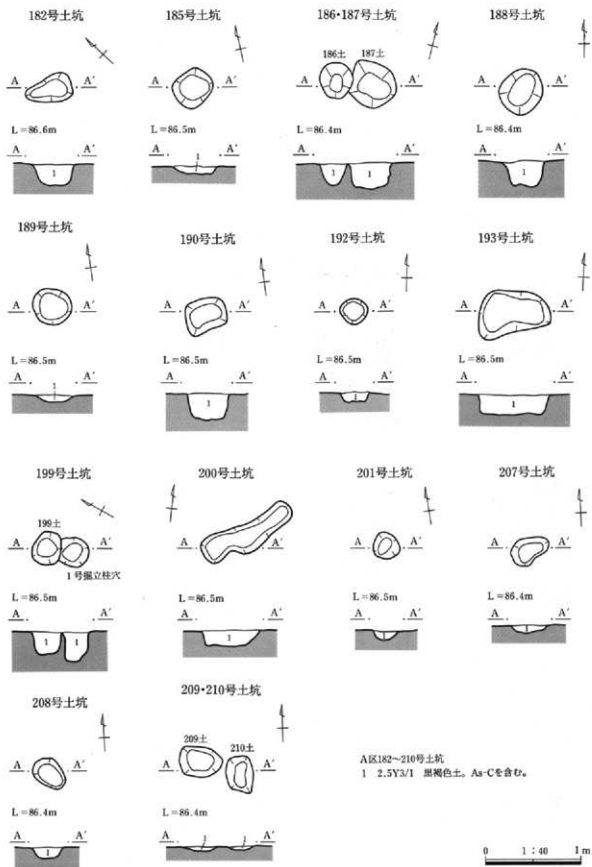
規模 短軸19cm、長軸24cmを測る楕円形を呈し、長軸は東西方向にもつ。底面までの深さは5cmを測る。

概要 覆土には黒褐色土中にAs-Cと思われる軽石を含む。

遺物 出土遺物無し。

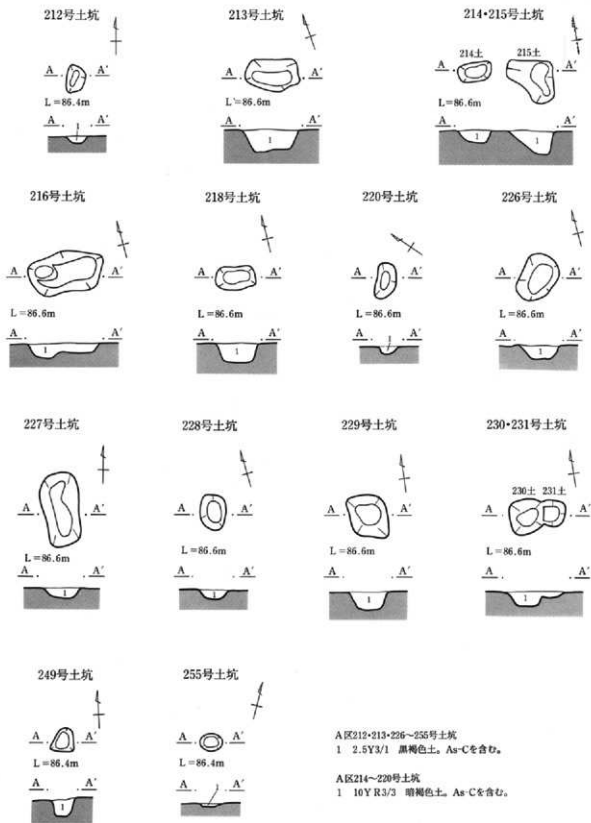


第80图 A区145~181号土坑



0 1 : 40 1m

第81图 A区182~210号土坑



第82图 A区212~255号土坑

0 1 : 40 1 m

B区土坑

B区68号土坑

位置 X=39240、Y=-57080グリッド付近に位置する。

規模 短軸51cm、長軸69cmを測る楕円形を呈し、長軸は北西・南東方向にもつ。底面までの深さは24cmを測る。

概要 覆土にはAs-Cと思われる軽石を含む。

遺物 出土遺物無し。

B区69号土坑

位置 X=39235、Y=-57080グリッド付近に位置する。

規模 短軸56cm、長軸70cmを測る楕円形を呈し、長軸は北西・南東方向にもつ。底面までの深さは18cmを測る。

概要 覆土にはAs-Cと思われる軽石を含む。

遺物 出土遺物無し。

B区70号土坑

位置 X=39235、Y=-57080グリッド付近に位置する。

規模 西側が近現代の耕作痕によって切られるため全面を検出することはできなかった。南北方向は65cm、深さ43cmで楕円形の形状を呈すると思われる。

概要 覆土にはAs-Cと思われる軽石を含む。

遺物 出土遺物無し。

B区71号土坑

位置 X=39235、Y=-57085グリッド付近に位置する。

規模 短軸42cm、長軸81cmを測る楕円形を呈し、長軸は北西・南東方向にもつ。底面までの深さは10~13cmを測る。

概要 覆土にはAs-Cと思われる軽石を含む。

遺物 出土遺物無し。

B区72号土坑

位置 X=39235、Y=-57080グリッド付近に位置する。

規模 短軸35cm、長軸40cmを測る楕円形を呈し、長軸は東西方向にもつ。底面までの深さは23cmを測る。

概要 覆土にはAs-Cと思われる軽石を含む。

遺物 出土遺物無し。

B区73号土坑

位置 X=39235、Y=-57080グリッド付近に位置する。

規模 短軸47cm、長軸52cmを測る楕円形を呈し、長軸は北西・南東方向にもつ。底面までの深さは10~15cmを測る。

概要 覆土にはAs-Cと思われる軽石を含む。

遺物 出土遺物無し。

日区74号土坑

位置 X=39235、Y=-57085グリッド付近に位置する。

規模 短軸59cm、長軸66cmを測る楕円形を呈し、長軸は南北方向にもつ。底面までの深さは49cmを測る。

概要 覆土にはAs-Cと思われる軽石を含む。

遺物 出土遺物無し。

A区76号土坑

位置 X=39235、Y=-57085グリッド付近に位置する。

規模 短軸54cm、長軸86cmを測る楕円形を呈し、長軸は北西・南東方向にもつ。底面までの深さは23~28cmを測る。

概要 覆土にはAs-Cと思われる軽石を含む。

遺物 出土遺物無し。

日区77号土坑

位置 X=39230、Y=-57090グリッド付近に位置する。

規模 短軸66cm、長軸74cmを測る楕円形を呈し、長軸は南北方向にもつ。底面までの深さは44cmを測る。

概要 覆土にはAs-Cと思われる軽石を含む。

遺物 出土遺物無し。

日区155号土坑

位置 X=39240、Y=-57115グリッド付近に位置する。

規模 短軸82cm、長軸230cmを測る不整な長方形を呈し、長軸は北東・南西方向にもつ。底面までの深さは83cmを測る。

概要 覆土にはAs-Cと思われる軽石を含む。

遺物 出土遺物無し。

B区181号土坑

位置 X=39235、Y=-57085グリッド付近に位置する。

規模 径27cmほどの不整な円形を呈し、底面までの深さは17cmを測る。

概要 覆土にはAs-Cと思われる軽石を含む。

遺物 出土遺物無し。

日区184号土坑 (PL-43)

位置 X=39250、Y=-57075~-57080グリッド付近に位置する。

規模 短軸185cm、長軸241cmを測る長方形を呈し、長軸は北東・南西方向にもつ。底面までの深さは14~23cmを測る。

概要 16号溝に中央部を東西方向に切られる。

遺物 S字状口縁台付甕が出土している。

日区187号土坑

位置 X=39235、Y=-57080~-57085グリッド付近に位置する。

規模 短軸41cm、長軸65cmを測る隅丸長方形を呈し、長軸は北西・南東方向にもつ。底面までの深さは15cmを測る。

測る。

概要 覆土にはAs-Cと思われる軽石を含む。

遺物 出土遺物無し。

B区198号土坑

位置 X=39240、Y=-57080グリッド付近に位置する。

規模 1号住居と重複するため全面を検出することはできなかった。北東・南西方向49cm、深さ30cmを測る。
形状は楕円形を呈すると思われる。

概要 覆土にはAs-Cと思われる軽石を含む。1号住居との新旧関係は不明である。

遺物 出土遺物無し。

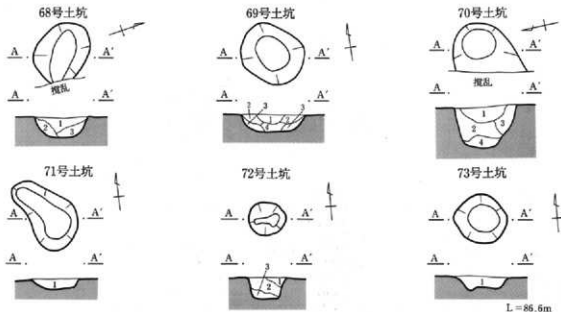
B区199号土坑

位置 X=39245、Y=-57080グリッド付近に位置する。

規模 短軸48cm、長軸69cmを測る楕円形を呈し、長軸は南北方向にもつ。底面までの深さは24cmを測る。

概要 覆土にはAs-Cと思われる軽石を含む。

遺物 出土遺物無し。



B区68号土坑

- 1 10Y R4/3 におい黄褐色土。As-C、黒色土ブロックを含む。
- 2 10Y R4/4 褐色土。黒色土ブロックを含む。
- 3 10Y R4/3 におい黄褐色土。黒色土を含む。

B区69号土坑

- 1 10Y R4/4 褐色土。As-C、黒色土を含む。
- 2 10Y R4/3 におい黄褐色土。As-C、黒色土をわずかに含む。
- 3 10Y R3/4 暗褐色土。黒色土を含む。
- 4 10Y R5/4 におい黄褐色土。ブロック状の土。1層より粘性有り。

B区70号土坑

- 1 10Y R4/3 におい黄褐色土。As-C、黒色土ブロックを含む。
- 2 10Y R3/2 黒褐色土。As-C、ロームブロック10~15cm次のもの、褐色土を含む。
- 3 10Y R4/4 褐色土。As-C、ロームブロックをわずかに含む。
- 4 10Y R4/6 褐色土。ロームブロック土。

B区71号土坑

- 1 10Y R4/3 におい黄褐色土。As-C、黒色土ブロックを含む。

B区72号土坑

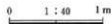
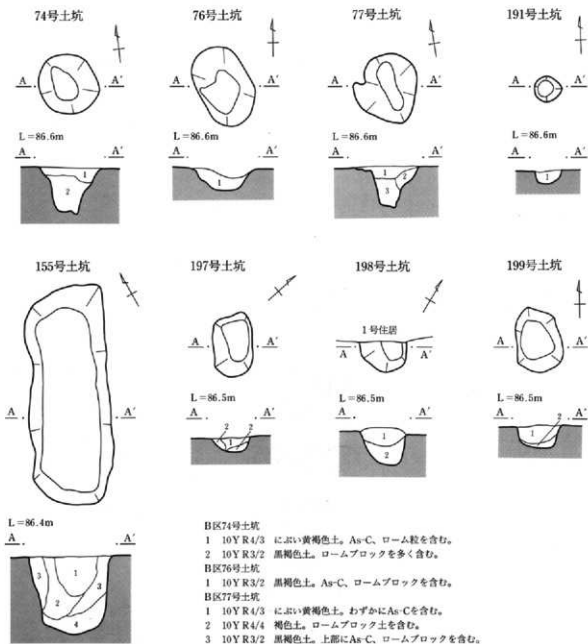
- 1 10Y R5/4 におい黄褐色土。わずかにAs-Cを含む。
- 2 10Y R3/1 黒褐色土。As-Cを含む。
- 3 10Y R4/3 におい黄褐色土。As-C、黒色土ブロックを含む。

B区73号土坑

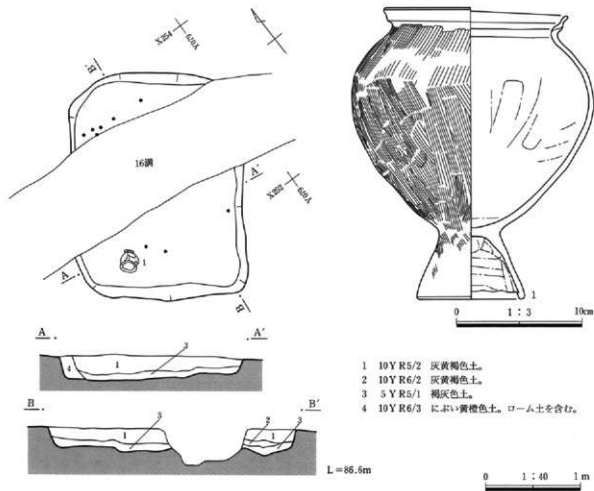
- 1 10Y R4/3 におい黄褐色土。As-C、黒色土ブロックを含む。

0 1:40 1m

第83図 B区68~73号土坑



第84図 B区74～199号土坑



第85図 B区194号土坑、出土遺物

C区土坑

C区549号土坑

位置 X=39205、Y=-57050グリッド付近に位置する。

規模 短軸18cm、長軸25cmを測る楕円形を呈し、長軸は南北方向にもつ。底面までの深さは24cmを測る。

概要 覆土にはAs-Cと思われる軽石を含む。

遺物 出土遺物無し。

C区ピット

C区27号ピット

位置 X=39255、Y=-57010グリッド付近に位置する。

規模 短軸36cm、長軸40cmを測る楕円形を呈し、長軸は南北方向にもつ。底面までの深さは50cmを測る。

概要 覆土にはAs-Cと思われる軽石を含む。

遺物 出土遺物無し。

C区29号ビット

位置 X=39250、Y=-57010グリッド付近に位置する。

規模 短軸25cm、長軸28cmを測る楕円形を呈し、長軸は南北方向にもつ。底面までの深さは42cmを測る。

概要 覆土にはAs-Cと思われる軽石を含む。

遺物 出土遺物無し。

C区31号ビット

位置 X=39250、Y=-57015グリッド付近に位置する。

規模 短軸34cm、長軸40cmを測る楕円形を呈し、長軸は東西方向にもつ。底面までの深さは55cmを測る。

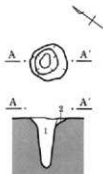
概要 覆土にはAs-Cと思われる軽石を含む。

遺物 S字状口縁台付甕の小片が出土。

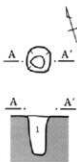
549号土坑



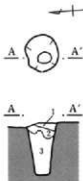
27号ビット



29号ビット



31号ビット



C区549号土坑

1 2.5Y3/1 黒褐色土、As-Cを含む。

C区27号ビット

1 10Y R2/1 黒色土。やや砂質。わずかにロームブロックを含む。

2 10Y R4/3 におい黄褐色土。やや砂質。ロームブロックを含む。

C区29号ビット

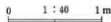
1 10Y R2/1 黒色土。やや砂質。わずかにロームブロックを含む。

C区31号ビット

1 10Y R3/3 暗褐色土。やや砂質。褐色砂をわずかに含む。

2 10Y R4/4 褐色土。やや砂質。ローム土、黒色土ブロックを含む。

3 10Y R2/1 黒色土。やや砂質。わずかにロームブロックを含む。



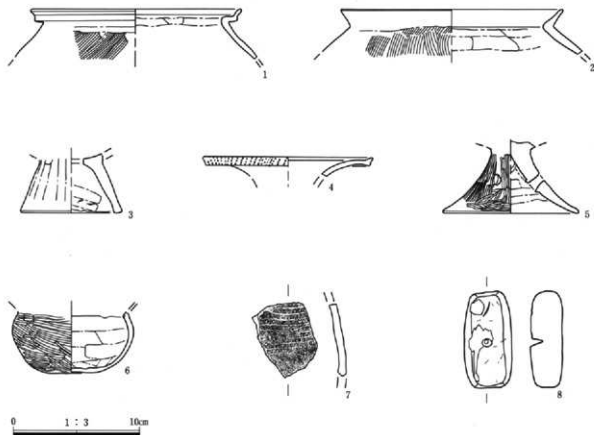
第86図 C区549号土坑、27～31号ビット

(6) 遺構外出土遺物

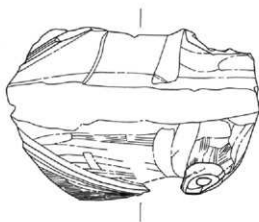
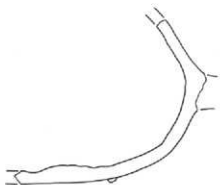
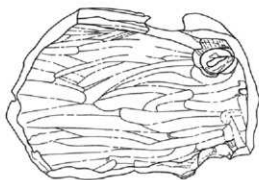
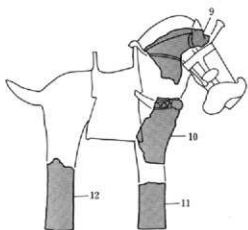
ここで掲載する遺物は、表土掘削時や遺構確認時に出土したもの、中近世の遺構より出土したもので、古墳時代の遺構には伴わない遺物である。

1～7は土師器、8は砥石である。1はS字状口縁台付甕の口縁部破片。2は単口縁甕の口縁部破片である。底部はないので不明であるが、平底と思われる。3は台付甕の脚部破片である。脚部内側に折り返しがないことから、単口縁台付甕の脚部と思われる。4は壺の口縁部破片。口唇部に縄目と思われる文様を施している。5は高坏の脚部で外面にミガキ、内面にナデが施されている。6は鉢である。外面には横位のミガキ、内面にナデが施される。7は東関東系土器の破片である。8は手持ちの砥石と思われる。砥石の中央部に穿孔が一つある。この穿孔は貫通していない。

9～16は馬形埴輪の破片である。C、D区を表土掘削する際、地表面に転がっていたものを表採した。12の脚部の内側にコンクリートが詰まっていたことから、調査区内に建っていた住宅の庭先にあったものと思われる。9は馬形埴輪の頭部破片である。耳がごくわずかに残存するだけで、たてがみや顔は不明である。10は馬形埴輪の胸から腹部の破片である。鈴と胸繫が認められる。鈴には切り込みと裝飾がある。胸繫は赤色と白色で塗られている。穿孔が一ヶ所認められる。11、12は馬形埴輪の脚部である。外面はハケメ、内面はナデを施す。後部には、切り込みがそれぞれ認められる。13～16は馬形埴輪の脚部破片である。外面はハケメ、内面にはナデ・ハケメを施している。14は後部に切り込みが認められる。



第87図 遺構外出土遺物(1)

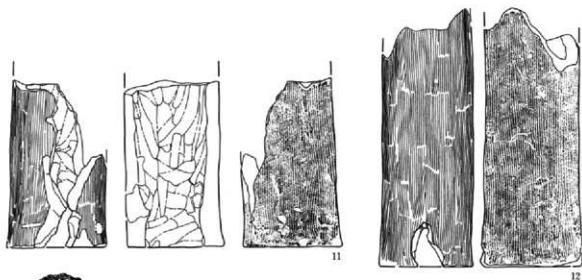
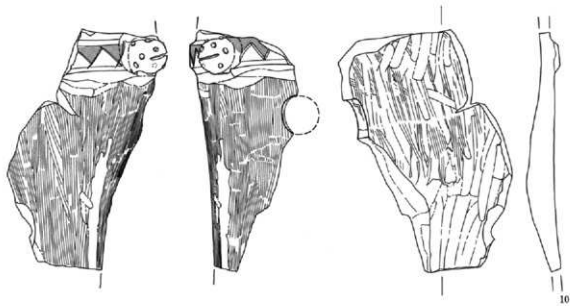


埴輪模式図は、塚廻り4号墳出土の馬形埴輪を参考に作成した。スケールは1/16。

本遺跡出土の埴輪は全てのものが同一個体ではない。脚については、前脚、後脚かは不明のため推定で模式図に当て込んだ。

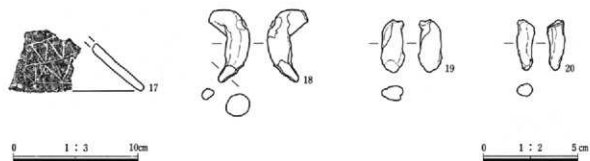
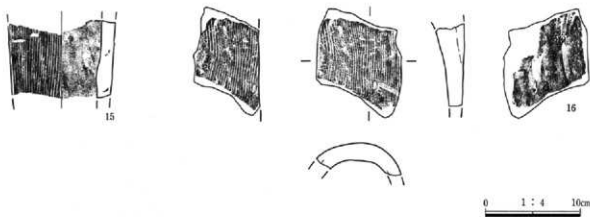
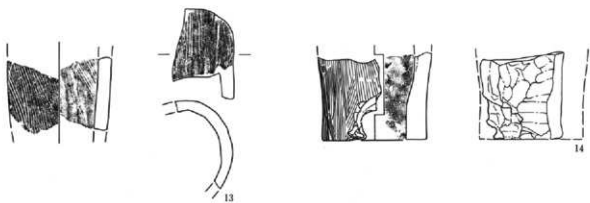


第88図 遺構外出土遺物(2)



0 1 : 4 20cm

第89圖 遺構外出土遺物(3)



第90回 遺構外出土遺物(4)

II 中近世の遺構と遺物

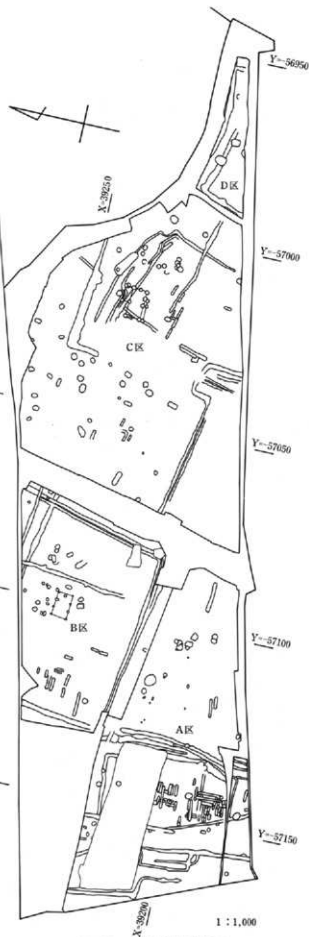
(1) 概要

波志江西宿遺跡では、中近世以降居住域として継続して利用され続けていたため、近代以降に構築された土坑や溝などが多数残されていた。また、近年の耕作や、調査区内の樹木や構築物を移動する際の掘削によって破壊された遺構も多い。加えて、これらの遺構や擾乱は多くが人為的に埋められており、調査時点で時期の特定ができず、調査終了後に出土遺物などから近代以降と判断したものが多数あった。そのため、調査時の遺構数と報告書作成時の遺構数が大幅に異なっている。遺構番号の振替も検討したが、調査時の記録や遺物注記との齟齬が生じるため、そのままの番号を使用している。ただし、井戸の中には調査時に土坑とされていたものや、番号の重複があったため、新たに番号を付け直したものがあつた。番号を変更した遺構については、凡例に一覧表を示してある。また溝の中には、覆土の堆積状況から、複数回掘り直されるなどして長期間使用されていたものがあつた。それらの遺構からは近現代の遺物が出土しているが、掘削段階はより古く、近世までさかのぼるものと判断し、遺構として取り上げてある。本書で取り上げた遺構の中には、このように近現代の遺物を含むものがあるが、いずれも覆土上位からの出土であつたり、後世の混入と考えられるものである。

中近世の遺構として取り上げたものは、建物1棟、掘立柱建物1棟、土坑188基、井戸24基、溝45条である(付図2・3)。このうち中世に属する遺構はごく少数で、大半が近世の遺構である。

建物はC区の東寄りで見出された。柱穴内に礫を埋め込んで建物の基礎としている。基礎の中から肥前系の磁器等が出土している。掘立柱建物はB区の東寄りで見出された。上部からの耕作による削平がひどく残存状態は良好でない。柱穴内より瀬戸美濃の陶器で甍皿が出土している。

井戸はA・C・D区で見出されている。深さは様



第91図 中近世遺構全体図

々で深いものは4mを超える。大半が、ローム層下位の暗色帯付近が湧水層となる。内部より肥前や瀬戸美濃の陶磁器や、漆器椀・刀鞘・桶などの木製品が出土した。

土坑は、幾つかの種類に分類できた。1つは円形で土坑内壁に粘土を貼り、桶のようなものを埋め込んだと推測される土坑である。桶を設置するために、周囲が溝状にくぼむ掘方を呈する。桶の底板が残っていたものも1基あった。A区で3基、C区で10基検出されており、近接して作られているものが多い。トイレや肥桶としての機能が想定される。2つ目は隅円長方形で掘方はしっかりしており、壁は上位がわずかに開いて立ち上がる土坑である。長軸は130～160cm程度である。古銭を伴うものがあり、土壇墓と考えられる。10基検出され、全てC区の北西部分に分布する。3つ目は細長い長方形を呈する土坑で、規模は様々であるが、長いものになると8mに達するものもある。複数の土坑が隣接して構築される場合が多く、主にA区の西側とB区の西端、C区の南東部分に集中する。長軸の方向は、周辺を廻る溝の走行に並行、もしくは直交するものが大半である。A区で60基、B区で15基、C区で24基、D区で1基確認された。この他に大小の円形のものや楕円形状のもの、不定形のものがあった。

溝は地境を区画すると思われるものが多いが、上部からの削平のため残存状態があまり良好でない。また、区画の内側でも近年の耕作などによる削平が激しく、掘立柱建物などは2棟しか見つからなかった。出土遺物はA・B区よりもC・D区に多く、特にD区の2号溝からは、肥前系・瀬戸美濃系の碗・皿などの陶磁器、在地系の火もらい・火鉢・十能・焙烙などの土器が大量に出土する。

中近世の遺構や遺物は、A・B区よりもC・D区に多い。本遺跡の東側に街道が南北に走っているため、この時期の生活の中心は街道に近い所にあったと思われる。

(2) 掘立柱建物跡・建物跡

B区1号掘立柱建物(第92・148図、P.L.49・57)

位置 X=39235～39240、Y=-57095～-57100グリッド付近。 桁行方位 N-84'-W

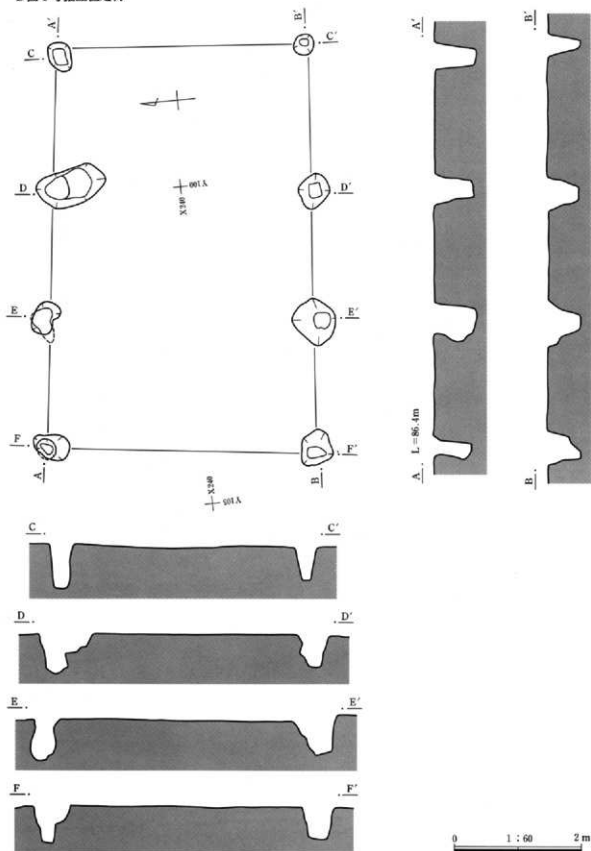
形状と規模 東西3間、南北1間の東西棟。桁行全長は北側で6.25m、柱間寸法は西より2.05m・2.1m・2.1m。南側で全長6.5m、柱間寸法は西より2.1m・2.1m・2.3m。梁行は西側4.3m、東側3.9mである。柱穴 直径34～110cmの楕円形の掘方を呈し、確認面からの深さは46～70cm。柱痕は検出できなかった。覆土 明黄褐色土中にローム土含む。遺物 志野ひだ皿破片が出土。重複 古墳時代住居と重複。所見 出土遺物や覆土にAs-C軽石を含まないことから、古墳時代住居より新しく、中近世の遺構と考える。

C区1号建物(第93・94・148図、P.L.51・57)

位置 X=39230～39240、Y=-57010～-57020グリッド付近。 桁行方位 N-88'-E

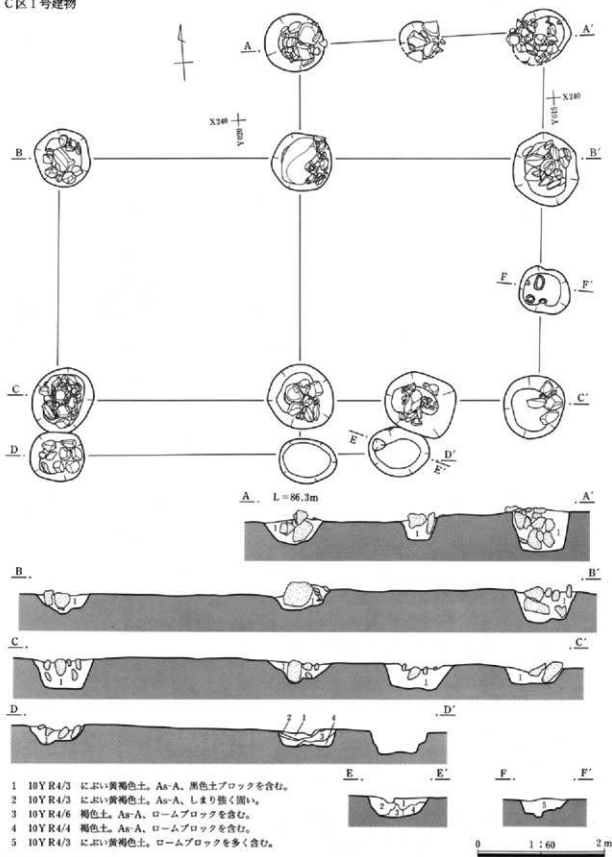
形状と規模 東西2間、南北1間の東西棟と思われる。桁行き全長は南北ともに7.7m、柱間寸法は北側で西より3.7m・4.0m、南側では1穴多く、西より3.8m・1.9m・2.0m。梁行きは東西ともに3.8mで、東側のみ柱間のほぼ中央に柱穴1基あり。北側の東半に張り出し、柱間はほぼ2.0mで揃う。南側にも張り出し。庇か。柱穴 直径80～115cmの楕円形の掘方を呈し、確認面からの深さは24～50cm。礫を埋め込む。礫は30～50cm程の角礫が多く、馬見阿産と思われる凝灰岩も1点含まれていた。覆土 褐色土中にAs-Aを含む。遺物 磁器碗、灯明皿の破片が出土する。重複 8号井戸、1021号土坑、23・27・37・38号溝と重複、いづれよりも新しい。所見 本来は東に向かって緩やかに傾斜する地形であったが、客土を施して平坦にした後に構築している。覆土中にAs-A混土を含むことから、近世の遺構と考える。

B区1号掘立柱建物



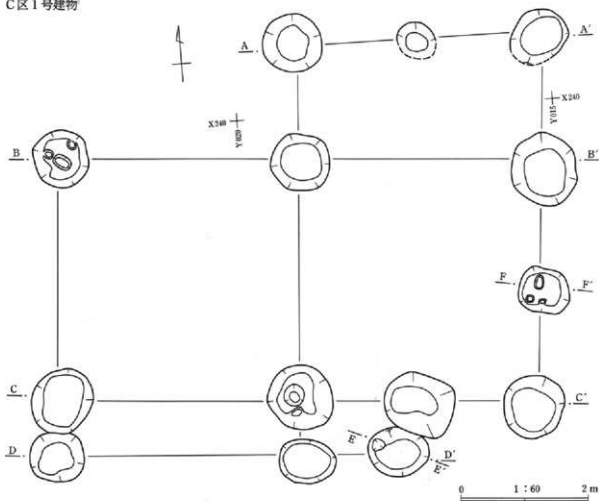
第92图 B区1号掘立柱建物

C区1号建物



第93図 C区1号建物(1)

C区1号建物



第94図 C区1号建物(2)

(3) 井戸

A区井戸

A区1号井戸(第95図)

位置 X=39185, Y=-57120グリッド付近に位置する。

規模 短軸1.04m、長軸1.18mを測る不整な楕円形を呈し、底面までの深さは2.30mを測る。

概要 確認面より0.4m程下までがラップ状に開き、そこから下は、底面までほぼまっすぐな掘方を呈する。

遺物 礎が出土する。

A区2号井戸(第95・148・149図、PL57)

位置 X=39210, Y=-57115グリッドに位置する。

規模 短軸1.22m、長軸1.46mを測る楕円形を呈し、底面までの深さは3.62mを測る。

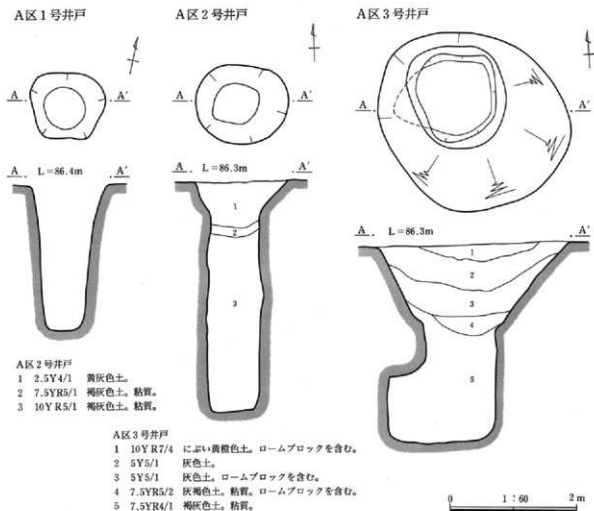
概要 確認面より0.53m程下がったところからやや袋状の形を呈する。

遺物 土器片、木製の礎、桶の底板と側板が出土する。

A区3号井戸(第95・149～152図、PL57・58)

位置 X=39210, Y=-57115グリッド付近に位置する。

規模 短軸2.80m、長軸3.06mを測る楕円形を呈し、底面までの深さは3.11mを測る。



第95図 A区1～3号井戸

概要 確認面より1.2m程下までがラッパ状に開く。底面は片側のみ0.5m程、オーバーハングする。確認面より2m付近の深さのところで桶が出土する。

遺物 磁器皿・段重、陶器片口鉢・壺、カマド、瓦、砥石、桶などが出土する。

A区4号井戸 (第98・152～154図、PL46・58～60)

位置 X=39180、Y=-57145グリッド付近に位置する。

規模 短軸1.72m、長軸1.98mの楕円形を呈し、底面までの深さは3.10mを測る。

概要 確認面より1m程下までがラッパ状に開き、2.5m付近のところで石が多く出土。16号溝を切る。

遺物 磁器碗・水滴・花瓶、陶器碗・徳利・香炉、土人形、焙烙、五輪塔の水輪、桶の底板などが出土。

A区5号井戸 (第98・154、PL46・60)

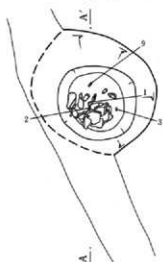
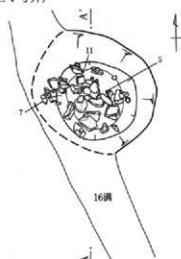
位置 X=39215、Y=-57145グリッド付近に位置する。

規模 短軸1.08m、長軸1.24mを測る楕円形を呈し、底面までの深さは2.58mを測る。

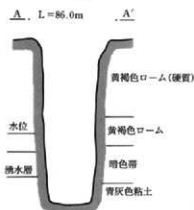
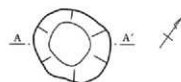
概要 覆土は黒褐色から黒色でロームブロックを多量に含む。上部から底面まで、ほぼまっすぐな掘方をする。暗色帯下部に湧水層がある。

遺物 焙烙が出土する。

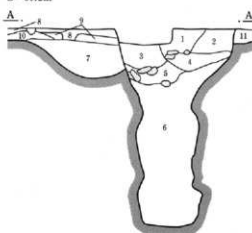
A区4号井戸



A区5号井戸



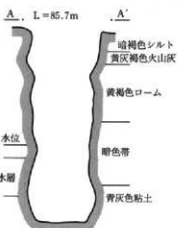
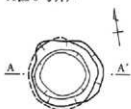
L=86.2m



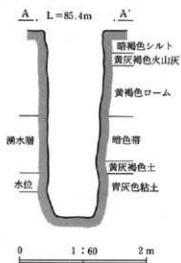
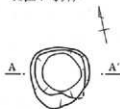
A区4号井戸

- | | | |
|----|-----------|--------------------------------|
| 1 | 2.5Y5/2 | 暗灰黄色土。黄灰色粘土ブロックを含む。 |
| 2 | 2.5Y5/2 | 暗灰黄色土。砂質感あり。 |
| 3 | 2.5Y5/1 | 暗灰色土。 |
| 4 | 2.5Y6/2 | 灰黄色土。粘土ブロックを含む。 |
| 5 | 2.5Y5/2 | 暗灰黄色土。As-Aと思われる軽石を含む。 |
| 6 | 2.5Y5/2 | 暗灰黄色土。5層より軽石を多く含む。 |
| 7 | 7.5Y R4/2 | 灰褐色土。粘質。16号溝覆土。 |
| 8 | 10Y R5/2 | 灰黄褐色土。As-Aと思われる軽石を含む。軽石は下部に多い。 |
| 9 | 10Y R4/4 | 褐色土。As-Bと思われる軽石を含む。 |
| 10 | 10Y R4/1 | 褐色土。 |
| 11 | 2.5Y4/1 | 黄灰色土。As-A、As-Cと思われる軽石を含む。 |

A区6号井戸



A区7号井戸



第96図 A区4～7号井戸

A区6号井戸 (第96・154図、PL46・60)

位置 X=39200、Y=-57145グリッドに位置する。

規模 短軸1.02m、長軸1.12mを測る楕円形を呈し、底面までの深さは3.02mを測る。

概要 覆土は暗褐色から黒褐色でロームブロックを多量に含む。上部から底面までほぼまっすぐな掘方を呈する。暗色帯下部付近に湧水層がある。

遺物 桶の側板、礫が出土する。

A区7号井戸 (第96・154・155図、PL46・60)

位置 X=39200、Y=-57150グリッド付近に位置する。

規模 短軸0.93m、長軸0.96mを測る不整な円形を呈し、底面までの深さは2.92mを測る。

概要 上部から底面までほぼまっすぐな掘方を呈する。暗色帯付近に湧水層がある。

遺物 陶器皿、鏝、板材などの木製品が出土する。

A区8号井戸 (第97・155図、PL46・60)

位置 X=39215、Y=-57140グリッド付近に位置する。

規模 短軸0.77m、長軸0.83mを測る不整な楕円形を呈し、底面までの深さは2.44mを測る。

概要 上部から底面までほぼまっすぐな掘方を呈する。暗色帯下部に湧水層がある。29号溝と重複するが、新旧関係は明らかでない。

遺物 礫石が出土する。

A区9号井戸 (第97・155図、PL46・60)

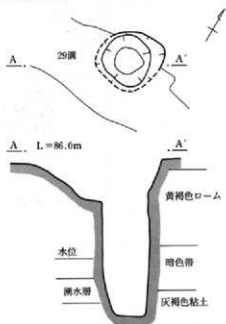
位置 X=39215、Y=-57140グリッド付近に位置する。

規模 短軸1.10m、長軸1.12mを測り、ほぼ円形を呈する。底面までの深さは1.92mを測る。

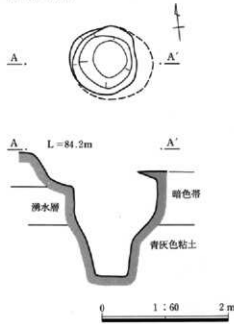
概要 暗色帯下部に湧水層がある。湧水層付近が袋状に膨らむ。

遺物 柳、磨石が出土する。

A区8号井戸



A区9号井戸



第97図 A区8・9号井戸

C区井戸

C区1号井戸 (第98・155・156図、P.L51・60・61)

位置 X=39220、Y=-56995グリッドに位置する。

規模 短軸1.20m、長軸1.33mを測り、ほぼ円形を呈する。底面までの深さは2.10mを測る。

概要 上部がわずかにラッパ状に開き、その下位は底面までほぼまっすぐな掘方を呈する。底面に礫を敷き詰める。水位の上昇は早く、底面から0.8~0.9m程上がる。覆土上位に再堆積のAs-Aを含む。

遺物 磁器碗・鉢、陶器碗・灯明受皿・乗燭、土鍋、砥石等が出土する。

C区2号井戸 (第98・156図、P.L51・61)

位置 X=39225、Y=-57040グリッド付近に位置する。

規模 短軸1.67m、長軸1.89mを測り、楕円形を呈する。底面までの深さは4.30mを測る。

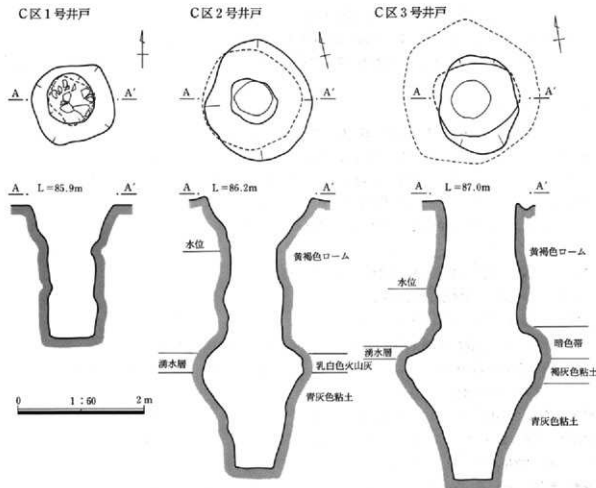
概要 上部がラッパ状に開き、確認面から3m程下のところが袋状の掘方を呈する。湧水層は上から3m付近の乳白色火山灰層で、水位は底面より3.4m程上がる。

遺物 凹石が出土する。

C区3号井戸 (第98・156図、P.L52・61)

位置 X=39225、Y=-57020グリッド付近に位置する。

規模 短軸1.20m、長軸1.60mを測り、楕円形を呈する。底面までの深さは4.38mを測る。



第98図 C区1~3号井戸

概要 確認面から2.5m程下のところが袋状の掘方を呈する。湧水層は袋状になる暗色帯付近で、水位は底面より3.1m程上がる。覆土上位に再堆積のAs-Aを含む。

遺物 桶の底板、磨石が出土する。

C区4号井戸（第99・158図、P.L.52・61・62）

位置 X=39230、Y=-56995グリッド付近に位置する。

規模 短軸1.99m、長軸2.22mを測り、楕円形を呈する。底面までの深さは2.40mを測る。

概要 確認面から1.7m程下のところが袋状の掘方を呈する。湧水層は袋状になる暗色帯付近で、水位は底面より1.7m程上がる。覆土上位に再堆積のAs-Aを含む。

遺物 陶器碗・皿・片口鉢・播鉢、焙烙、砥石、板碑が出土する。

C区5号井戸（第99図、P.L.52）

位置 X=39255、Y=-57020グリッドに位置する。

規模 短軸1.10m、長軸1.20mを測り、楕円形を呈する。底面までの深さは2.16mを測る。

概要 上部から底面までほぼまっすぐな掘方を呈する。湧水層は基底部直上の暗色帯付近で、水位は底面より1.2m程上がる。

遺物 礫が出土する。

C区6号井戸（第99図、P.L.52）

位置 X=39235、Y=-57005グリッドに位置する。

規模 短軸1.16m、長軸1.26mを測り、楕円形を呈する。底面までの深さは2.08mを測る。

概要 上部から底面までほぼまっすぐな掘方を呈する。湧水層は暗色帯付近で、水位は底面より1.4m程上がる。

遺物 礫が出土する。

C区7号井戸（第99・157・158図、P.L.52・62・63）

位置 X=39240、Y=-57010グリッドに位置する。

規模 短軸0.75m、長軸0.90mを測り、楕円形を呈する。底面までの深さは3.50mを測る。

概要 確認面から2.5m下のところが袋状の掘方を呈する。湧水層は暗色帯付近で、水位は底面より2.6m程上がる。26号溝と重複する。新旧関係は不明であるが、26号溝の北西隅に位置することから、同時期のものとする。

遺物 陶器碗、焙烙、土鍋、漆器、曲物、柄杓、刀鞘等が出土する。

C区8号井戸（第99・158図、P.L.52・63）

位置 X=39240、Y=-57015グリッド付近に位置する。

規模 短軸1.28m、長軸1.45mを測り、楕円形を呈する。底面までの深さは3.96mを測る。

概要 確認面から2.5m下のところが袋状の掘方を呈する。湧水層は暗色帯付近で、水位は底面より3.1m程上がる。1号建物より古い。

遺物 磨石、桶の把手と思われる木製品が出土する。

C区9号井戸（第99・158・159図、P.L.52・63・64）

位置 X=39240、Y=-57015グリッドに位置する。

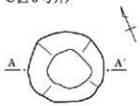
規模 短軸1.47m、長軸1.66mを測り、楕円形を呈する。底面までの深さは2.38mを測る。

概要 上部がラッパ状に開き、底面までほぼまっすぐな掘方を呈する。湧水層は暗色帯付近で、水位は底面

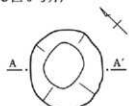
C区4号井戸



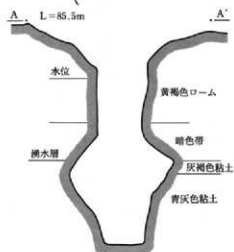
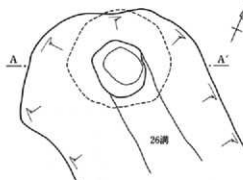
C区5号井戸



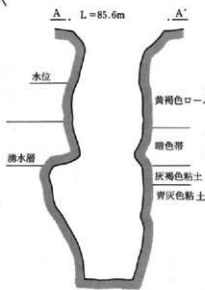
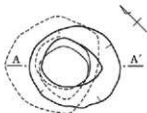
C区6号井戸



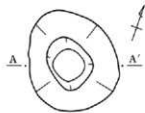
C区7号井戸



C区8号井戸



C区9号井戸



0 1:60 2m

第99图 C区4~9号井戸

より1.4m程上がる。覆土上位に再堆積のAs-Aを含む。

遺物 磁器皿、陶器碗・擂鉢、石臼、桶の底板が出土する。

C区10号井戸 (第100図、P L 52)

位置 X=39245、Y=-57005グリッド付近に位置する。

規模 短軸1.16m、長軸1.2mを測り、ほぼ円形を呈する。底面までの深さは1.28mを測る。

概要 上部は削平されているため、残存部分での検出状況である。湧水層は暗色帯付近で、水位は底面より1.1m程上がる。

遺物 礎が出土する。

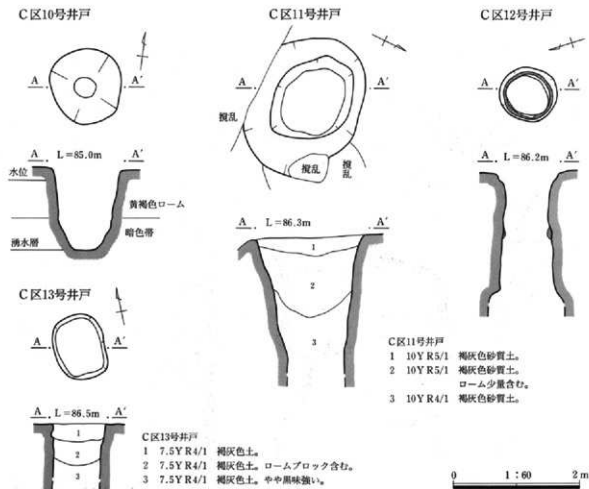
C区11号井戸 (第100図)

位置 X=39245、Y=-57040グリッド付近に位置する。

規模 短軸1.66m、長軸2.25mを測り、楕円形を呈する。底面までの深さは完掘することができなかったで、不明である。

概要 上部は削平されているため、残存部分での検出状況である。未完掘なので湧水層等は確認することができなかった。

遺物 出土遺物無し。



第100図 C区10～13号井戸

C区12号井戸 (第100図)

位置 X=39240、Y=-57050グリッドに位置する。

規模 径0.90mを測り、ほぼ円形を呈する。上部より2.10m付近まで掘削したが、危険を伴うため未完掘。
底面までの深さは確認することができなかった。

概要 上部は削平されているため、残存部分での検出状況。壁に粘土を5~10cm程度貼り付けている。

遺物 少数の陶磁器破片、礫が出土。

C区13号井戸 (第100図)

位置 X=39230、Y=-57050グリッドに位置する。

規模 短軸0.8m、長軸1.02mを測り、隅円方形を呈する。底面まで完掘することができなかったため、深さは確認することができなかった。

概要 上部は一部削平されているため、残存部分での検出状況である。ほぼまっすぐな掘方を呈する。

遺物 礫が出土する。

D区井戸

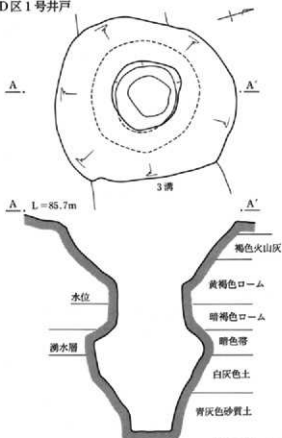
D区1号井戸 (第101・159~162図、P.L56・64~67)

位置 X=39225、Y=-56975グリッド付近に位置する。

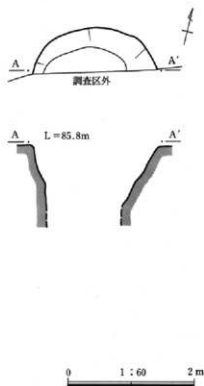
規模 短軸2.58m、長軸2.88mを測り、楕円形を呈する。底面まで深さは3.34mを測る。

概要 上部はラッパ状に開く。確認面から1.7m付近から袋状の掘方を呈する。湧水層は暗色帯付近で、水位は底面より2m程度上がる。

D区1号井戸



D区2号井戸



第101図 D区1・2号井戸

遺物 磁器碗・皿・鉢・木滴、碗や灯明皿などの各種陶器、焙烙、火鉢、五輪塔、漆器等が出土する。

D区2号井戸（第101図）

位置 X=39215、Y=-56970グリッド付近に位置する。

規模 調査区域外にかかるため、全てを検出することができなかった。検出部分で1.93mを測り、楕円形と思われる。完掘することができなかったため、深さは未確認である。

概要 上部はラッパ状に開く。上部から1.0m付近から下は、ほぼまっすぐな掘方を呈する。

遺物 出土遺物無し。

（4）土坑

A区土坑

A区68号土坑（第102図）

位置 X=39205、Y=-57110グリッドに位置する。

規模 短軸85cm、長軸96cmを測る楕円形を呈し、長軸は東西方向にもつ。底面までの深さは22cmを測る。

概要 覆土は褐灰色土にロームを含み、砂質である。覆土中より陶磁器片が出土。291号土坑と重複するが、新旧関係は不明。

遺物 陶磁器片が2点出土する。

A区82号土坑（第102図）

位置 X=39195、Y=-57100グリッドに位置する。

規模 短軸121cm、長軸137cmを測る楕円形を呈し、長軸は南北方向にもつ。底面までの深さは35cm。

概要 覆土は褐灰色砂質土である。壁の周りに粘土を貼り、固めている。底面にはくぼみがあり、桶状のものが埋められていた痕跡と思われる。

遺物 出土遺物無し。

A区83号土坑（第102図）

位置 X=39195、Y=-57100グリッド付近に位置する。

規模 短軸126cm、長軸135cmを測る楕円形を呈する。底面までの深さは33cmを測る。82号土坑と重複し、西端を一部切られる。

概要 覆土は褐灰色砂質土。壁の周りに粘土を貼り、固めている。底面にはくぼみがあり、桶状のものが埋められていた痕跡と思われる。

遺物 出土遺物無し。

A区85号土坑（第102図）

位置 X=39205、Y=-57105グリッド付近に位置する。

規模 短軸155cm、長軸163cmを測る楕円形を呈し、長軸は南北方向。底面までの深さは23cmを測る。

概要 覆土は黄灰色土で、黒色味強い。

遺物 出土遺物無し。

A区86号土坑（第102図）

位置 X=39200、Y=-57110グリッドに位置する。

規模 短軸50cm、長軸81cmを測る楕円形を呈し、長軸は東西方向にもつ。底面までの深さは52cm。

概要 覆土は黒褐色土で、下位は粘性持つ。

遺物 出土遺物無し。

A区112号土坑 (第103図)

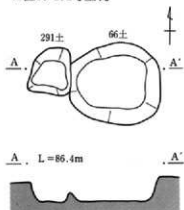
位置 X=39200、Y=-57105グリッド付近に位置する。

規模 短軸80cm、長軸84cmを測る楕円形を呈し、長軸は南北方向にもつ。底面までの深さは11cmを測る。

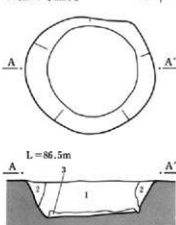
概要 覆土は灰色土で、底面に楕円状のくぼみがある。

遺物 出土遺物無し。

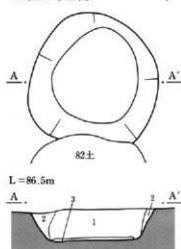
A区66・291号土坑



A区82号土坑



A区83号土坑



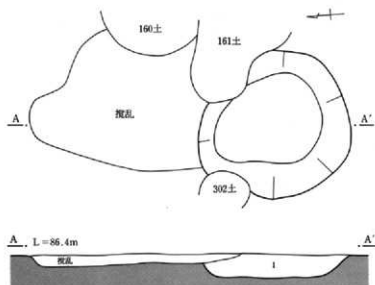
A区82号土坑

- 1 10Y R4/1 褐灰色土。砂質。
- 2 N 8 灰白色土。粘土ブロック含む。
- 3 10Y R4/4 褐色土。ロームブロック含む。

A区83号土坑

- 1 10Y R4/1 褐灰色土。砂質。
- 2 N 8 灰白色土。粘土ブロック含む。
- 3 10Y R4/4 褐色土。ロームブロック含む。

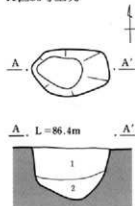
A区85号土坑



A区85号土坑

- 1 2.5Y4/1 黄灰色土。黒色味強い。

A区86号土坑



A区86号土坑

- 1 10Y R3/1 黒褐色土。
- 2 10Y R3/1 黒褐色土。1層よりも粘質。

第102図 A区66・82・83・85・86・291号土坑

0 1 : 40 1m

A区113号土坑（第103図）

位置 X=39200、Y=-57100グリッド付近に位置する。

規模 短軸136cm、長軸210cmを測る不整楕円形。長軸は南北方向にもつ。底面までの深さは20cmを測る。

概要 覆土は灰色土で、ロームブロックを含む。112号土坑と並んで位置する。

遺物 出土遺物無し。

A区114号土坑（第103図）

位置 X=39200、Y=-57100グリッドに位置する。

規模 短軸142cm、長軸178cmを測る不整な楕円形を呈する。長軸は東西方向。底面までの深さは22cmを測る。

概要 覆土は灰黄褐色土で、ロームブロックを含む。

遺物 出土遺物無し。

A区160号土坑（第103図）

位置 X=39205、Y=-57100グリッドに位置する。

規模 径100cmで、ほぼ円形を呈する。底面までの深さは29cmを測る。

概要 覆土は黒褐色土で、As-Aと思われる軽石を含む。下位にはロームブロック混入。161号土坑と重複するが、新旧関係は不明。

遺物 出土遺物無し。

A区161号土坑（第103図）

位置 X=39205、Y=-57100グリッドに位置する。

規模 短軸116cm、長軸160cmを測る不整な瓢箪形を呈する。長軸は東西方向。底面までの深さは30cmを測る。

概要 覆土はAs-Aと思われる軽石を含む黒褐色土。160・162号土坑と重複する。新旧関係は不明である。

遺物 出土遺物無し。

A区182号土坑（第103図）

位置 X=39205、Y=-57100グリッドに位置する。

規模 短軸32cm、長軸34cmを測る楕円形を呈する。底面までの深さは8cmを測る。

概要 161号土坑と重複する。新旧関係は不明である。

遺物 出土遺物無し。

A区274号土坑（第103図）

位置 X=39210、Y=-57125グリッドに位置する。

規模 短軸18cm、長軸23cmを測る。ほぼ円形を呈する。底面までの深さは8cmを測る。

概要 覆土は黒褐色砂質土である。

遺物 出土遺物無し。

A区275号土坑（第103図）

位置 X=39210、Y=-57125グリッドに位置する。

規模 短軸17cm、長軸19cmを測る。ほぼ円形を呈する。底面までの深さは6cmを測る。

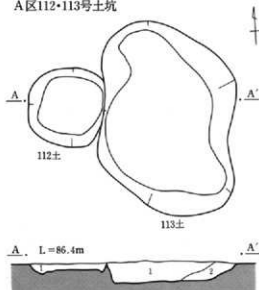
概要 覆土は黒褐色砂質土である。

遺物 出土遺物無し。

A区277号土坑（第103図）

位置 X=39210、Y=-57120グリッドに位置する。

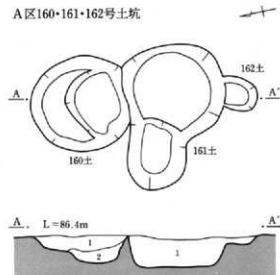
A区112・113号土坑



A区112・113号土坑

- 1 7.5Y4/1 灰色土。
- 2 7.5Y4/1 灰色土。ロームブロックを含む。

A区160・161・162号土坑

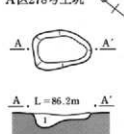


A区277号土坑



- A区277号土坑
1 10Y R3/1 黒褐色土。砂質。

A区278号土坑

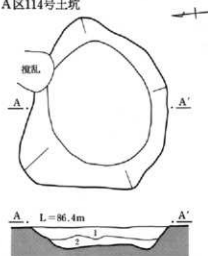


- A区278号土坑
1 10Y4/1 灰色土。黒褐色土を含む。

A区279号土坑

- 1 10Y4/1 灰色土。黒褐色土を含む。
- 2 10Y4/1 灰色土。ロームブロックを含む。

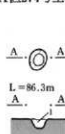
A区114号土坑



A区114号土坑

- 1 10Y R5/2 灰黄褐色土。ローム土を含む。
- 2 10Y R8/6 黄褐色土。ロームブロックを多く含む。

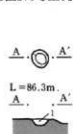
A区274号土坑



A区274号土坑

- 1 10Y R4/1 黒褐色土。砂質。

A区275号土坑



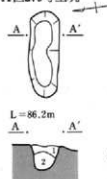
A区275号土坑

- 1 10Y R4/1 黒褐色土。砂質。

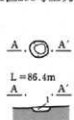
A区160・161・162号土坑

- 1 10Y R3/2 黒褐色土。As-Aと思われる軽石を含む。
- 2 2.5Y5/1 黄灰色土。ロームブロック含む。

A区279号土坑



A区298号土坑



A区298号土坑

- 1 10Y4/1 灰色土。黒褐色土を含む。

0 1 : 40 1m

第103図 A区112~114・160~162・274・275・277~279・298号土坑

規模 短軸32cm、長軸38cmの不整楕円形。床面までの深さは14cmを測る。

概要 覆土は黒褐色砂質土である。

遺物 出土遺物無し。

A区278号土坑（第103図）

位置 X=39210、Y=-57120グリッド付近に位置する。

規模 短軸40cm、長軸64cmを測る。不整な楕円形を呈する。底面までの深さは13cmを測る。

概要 覆土は黒褐色砂質土を含む灰色土である。

遺物 出土遺物無し。

A区279号土坑（第103図）

位置 X=39210、Y=-57120グリッド付近に位置する。

規模 短軸33cm、長軸89cmを測る。長楕円形を呈する。底面までの深さは26cmを測る。

概要 覆土は黒褐色砂質土とロームブロックを含む灰色土である。

遺物 出土遺物無し。

A区291号土坑（第102図）

位置 X=39205、Y=-57110グリッド付近に位置する。

規模 短軸39cm、長軸48cmを測る。不整な長方形を呈する。底面までの深さは20cmを測る。

概要 66号土坑と重複。新旧関係は不明。

遺物 出土遺物無し。

A区298号土坑（第103図）

位置 X=39200、Y=-57105グリッドに位置する。

規模 径20cmを測る。ほぼ円形を呈する。底面までの深さは5cmを測る。

概要 覆土は黒褐色砂質土を含む灰色土である。

遺物 出土遺物無し。

A区302号土坑（第104図）

位置 X=39205、Y=-57105グリッドに位置する。

規模 短軸49cm、長軸56cmを測り、楕円形を呈する。底面までの深さは33cmを測る。

概要 覆土は褐色土・黒色土である。

遺物 出土遺物無し。

A区304号土坑（第104図）

位置 X=39200、Y=-57120グリッドに位置する。

規模 短軸34cm、長軸36cmを測り、不整な方形を呈する。底面までの深さは25cmを測る。

概要 覆土はロームを含む暗灰黄色土である。

遺物 出土遺物無し。

A区361号土坑（第104図）

位置 X=39180、Y=-57160グリッドに位置する。

規模 短軸75cm、長軸94cmを測り、やや隅円の方形を呈する。底面までの深さは30cmを測る。

概要 覆土はAs-Aと思われる軽石を含む灰黄褐色土である。

遺物 出土遺物無し。

A区363号土坑 (第104図)

位置 X=39180、Y=-57140グリッド付近に位置する。

規模 短軸65cm、長軸325cmの長方形を呈する。底面までの深さは45cmを測る。

概要 覆土はAs-Aと思われる軽石を含むふい黄褐色土。

遺物 少量の土器、鏃が出土。

A区364号土坑 (第104図)

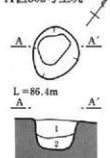
位置 X=39175、Y=-57155グリッド付近に位置する。

規模 短軸59cm(残存部分で計測)、長軸140cmを測る。掘り込み面から底面までの深さは40cmを測る。

概要 15号溝と重複するため、土坑の全てを確認することはできなかった。溝との新旧関係は不明。

遺物 焙烙片、土器片、鏃が出土する。

A区302号土坑



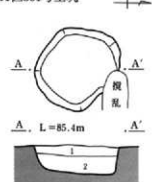
A区302号土坑

- 1 10Y R4/4 褐色土。
- 2 10Y R2/1 黒色土。

A区304号土坑

- 1 2.5Y5/2 暗灰黄色土。ローム土を含む。

A区361号土坑



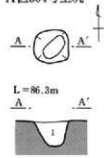
A区361号土坑

- 1 10Y R5/2 灰黄褐色土。As-Aと思われる軽石を含む。
- 2 10Y R5/2 灰黄褐色土。1層より軽石を多く含む。

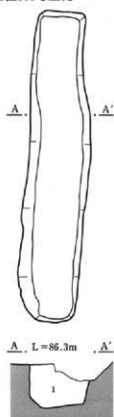
A区363号土坑

- 1 10Y R4/3 ぶい黄褐色土。As-Aと思われる軽石含む。

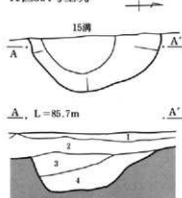
A区304号土坑



A区363号土坑



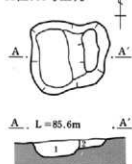
A区364号土坑



A区364号土坑

- 1 2.5Y6/2 灰黄色土。As-A、ローム土含む。
- 2 2.5Y4/1 黄灰色土。As-A、As-Cと思われる軽石を含む。砂質感強い。
- 3 10Y R4/1 褐色土。粘質土で黒色味が強い。
- 4 10Y R4/1 褐色土。粘質土で褐色味が強い。

A区365号土坑



A区365号土坑

- 1 10Y R3/3 暗褐色土。粘性無く、しまり弱い。
- 2 10Y R3/3 暗褐色土。ローム粒を含む。

0 1:40 1m

第104図 A区302・304・361・363～365号土坑

A区365号土坑（第104図）

位置 X=39185、Y=-57150グリッド付近に位置する。

規模 短軸76cm、長軸83cmを測り、不整な方形を呈する。底面までの深さは16cmを測る。

概要 覆土は暗褐色土でローム粒を含み、しまり弱い。

遺物 出土遺物無し。

A区366号土坑（第105図、P.L.46）

位置 X=39190、Y=-57150グリッド付近に位置する。

規模 短軸63cm、長軸130cmを測り、隅円長方形を呈する。底面までの深さは22cmを測る。

概要 覆土は暗褐色土でローム粒を含み、しまり弱い。

遺物 出土遺物無し。

A区368号土坑（第105図）

位置 X=39190、Y=-57145グリッド付近に位置する。

規模 短軸66cm、長軸138cmを測り、長方形を呈する。底面までの深さは52cmを測る。

概要 覆土は暗褐色土でロームブロックを含む。壁はほぼまっすぐ立ち上がる。上部を一部攪乱によって壊されていた。424号土坑と重複し、これより新しい。

遺物 出土遺物無し。

A区369号土坑（第105図）

位置 X=39190、Y=-57145グリッドに位置する。

規模 短軸58cm、長軸100cm(残存部分で計測)を測り、隅円長方形と思われる。底面までの深さは28cmを測る。

概要 覆土は暗褐色土でロームブロックを含む。375・395号土坑と重複するため、土坑の全てを確認することができなかった。新旧関係は、375号土坑より新しい。395号土坑との新旧は不明。

遺物 施釉陶器片、瓦片、摺鉢片、土器片が出土する。

A区371号土坑（第105図）

位置 X=39215、Y=-57155グリッド付近に位置する。

規模 短軸66cm、長軸78cmを測り、隅円長方形を呈する。底面までの深さは43cmを測る。

概要 覆土は黒褐色～にぶい黄褐色土でロームブロックを含む。

遺物 土器片が出土する。

A区372号土坑（第105図）

位置 X=39200、Y=-57145グリッド付近に位置する。

規模 短軸66cm、長軸590cmを測り、隅円長方形を呈する。底面までの深さは22cmを測る。

概要 覆土は暗褐色土でロームブロックを含む。412・416号土坑と重複し、隅土坑よりも新しい。細長い長方形土坑である。

遺物 陶磁器片が出土する。

A区373号土坑（第105図）

位置 X=39200、Y=-57145グリッド付近に位置する。

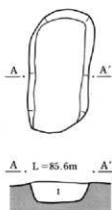
規模 短軸60cm、長軸265cmを測り、隅円長方形と思われる。底面までの深さは17cmを測る。

概要 覆土は暗褐色土でロームブロックを含む。374・401・403号土坑と重複する。374号土坑より古く、他

の2基の土坑よりも新しい。

遺物 土器片が出土する。

A区366号土坑



A区368号土坑



A区366号土坑

1 10Y R3/3 暗褐色土。粘性無く、しまり弱い。ローム粒を含む。

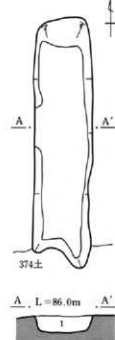
A区368号土坑

1 10Y R3/3 暗褐色土。ロームブロックを多く含む。しまり弱い。
2 10Y R3/3 暗褐色土。ロームブロックをほとんど含まない。
3 10Y R3/3 暗褐色土。1層よりロームブロックを多く含む。

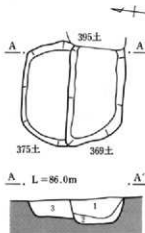
A区372号土坑



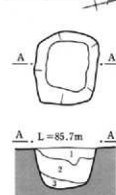
A区373号土坑



A区369・375号土坑



A区371号土坑



A区369・375号土坑

1 10Y R3/3 暗褐色土。ロームブロックを多く含む。しまり弱い。
2 10Y R3/3 暗褐色土。1層よりロームブロックの割合少ない。
3 10Y R3/3 暗褐色土。ロームブロックを含む。しまりややあり。

A区371号土坑

1 10Y R3/2 黒褐色土。ロームブロック、黒色土ブロックを含む。
2 10Y R4/3 におい黄褐色土。ロームブロックを含む。
3 10Y R4/4 褐色土。ロームブロックを多く含む。

A区372号土坑

1 10Y R3/3 暗褐色土。ロームブロック、黒色土ブロックを含む。

A区373号土坑

1 10Y R3/3 暗褐色土。ロームブロック、黒色土ブロックを含む。

0 1 : 40 1m

A区374号土坑（第106図、P.L.47）

位置 X=39195、Y=-57145グリッド付近に位置する。

規模 短軸60cm、長軸246cmを測り、隅円長方形を呈する。底面までの深さは8cmを測る。

概要 覆土は暗褐色の砂質土でしまり弱い。373号土坑と重複する。373号土坑よりも新しい。

遺物 出土遺物無し。

A区375号土坑（第105図）

位置 X=39190、Y=-57145グリッドに位置する。

規模 短軸50cm、長軸107cmを測り、隅円長方形と思われる。底面までの深さは16cmを測る。

概要 覆土はロームブロックを含む暗褐色土。369・386号土坑と重複する。369号土坑よりも古い。386号土坑との新旧は不明。

遺物 出土遺物無し。

A区376号土坑（第108図）

位置 X=39200、Y=-57140グリッドに位置する。

規模 短軸65cm(残存部分で計測)、長軸276cmを測り、隅円長方形と思われる。底面までの深さは18cm。

概要 覆土はAs-Aとロームブロックを含む暗褐色土。377号土坑と重複するので、土坑の全てを確認することはできなかった。377号土坑よりも新しい。

遺物 出土遺物無し。

A区377号土坑（第106図）

位置 X=39200、Y=-57140グリッドに位置する。

規模 短軸82cm、長軸294cmを測り、隅円長方形と思われる。底面までの深さは26cmを測る。

概要 覆土はロームブロックを含む暗褐色土。376・416号土坑と重複する。376号土坑より古く、416号土坑より新しい。

遺物 出土遺物無し。

A区378号土坑（第106図）

位置 X=39195、Y=-57150グリッド付近に位置する。

規模 短軸70cm、長軸99cmを測り、隅円長方形を呈する。底面までの深さは15cmを測る。

概要 379号土坑と重複する。新旧関係は不明である。

遺物 出土遺物無し。

A区379号土坑（第106図）

位置 X=39195、Y=-57145グリッドに位置する。

規模 短軸68cm、長軸150cm(残存部分で計測)を測り、隅円長方形を呈する。底面までの深さは27cm。

概要 378号土坑と重複する。新旧関係は不明である。

遺物 焙烙片、土器片が出土する。

A区381号土坑（第106図）

位置 X=39220、Y=-57155グリッド付近に位置する。

規模 短軸70cm、長軸72cmを測り、長楕円形を呈する。底面までの深さは31cmを測る。

概要 覆土は黒褐色土でロームブロックを多く含む。

遺物 出土遺物無し。

A区382号土坑 (第106図)

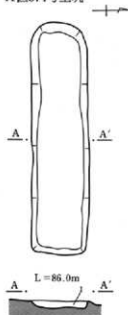
位置 X=39220、Y=-57155グリッド付近に位置する。

規模 短軸42cm、長軸78cmを測り、隅円長方形を呈する。底面までの深さは42cmを測る。

概要 覆土は黒色土で白色のパミスを含む。

遺物 出土遺物無し。

A区374号土坑



A区374号土坑

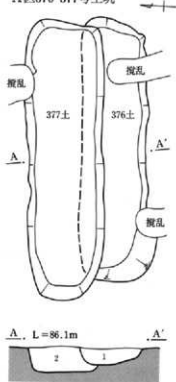
1 10Y R3/3 暗褐色土。砂質。褐色土ブロック含む。

A区376・377号土坑

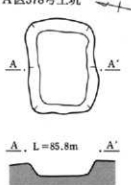
1 10Y R3/3 暗褐色土。As-A、ロームブロックを含む。

2 10Y R3/3 暗褐色土。1層よりロームブロックの割合少ない。

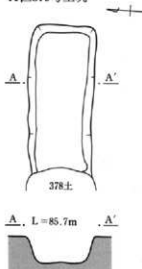
A区376・377号土坑



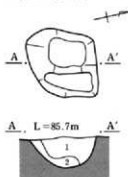
A区378号土坑



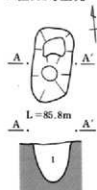
A区379号土坑



A区381号土坑



A区382号土坑



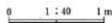
A区381号土坑

1 10Y R3/2 黒褐色土。ロームブロック、黒色土ブロック、白色パミスを含む。

2 10Y R3/2 黒褐色土。ロームブロックを多く含む。

A区382号土坑

1 10Y R2/1 黒色土。ロームブロック、白色パミスを含む。



第106図 A区374・376～379・381・382号土坑

A区383号土坑（第107図）

位置 X=39190、Y=-57145グリッド付近に位置する。

規模 短軸70cm、長軸566cmを測り、隅円長方形を呈する。底面までの深さは29cmを測る。

概要 細長い長方形土坑である。392・393・399・400号土坑と重複する。393号土坑よりも古く、392・399・400号土坑よりも新しい。

遺物 施釉陶器片、染付磁器片、焙烙片、土器片が出土する。

A区386号土坑（第107・162図、PL67）

位置 X=39190、Y=-57145グリッド付近に位置する。

規模 短軸75cm、長軸330cm（残存部分で計測）を測り、隅円長方形と思われる。底面までの深さは29cmを測る。

概要 細長い長方形土坑である。375・395・408号土坑と重複する。355号土坑よりも古い。375・408号土坑との新旧関係は不明である。

遺物 陶器灯明皿、砥石、土器片などが出土する。

A区388号土坑（第107図）

位置 X=39200、Y=-57140グリッドに位置する。

規模 短軸72cm、長軸285cmを測り、隅円長方形を呈する。底面までの深さは14cmを測る。

概要 細長い長方形土坑である。389号土坑と重複する。389号土坑よりも新しい。

遺物 出土遺物無し。

A区389号土坑（第107・162図、PL67）

位置 X=39200、Y=-57140グリッドに位置する。

規模 短軸55cm、長軸280cmを測り、隅円長方形を呈する。底面までの深さは14cmを測る。

概要 細長い長方形土坑である。388号土坑と重複する。388号土坑よりも古い。

遺物 陶器碗の破片が出土する。

A区392号土坑（第107図）

位置 X=39195、Y=-57145グリッドに位置する。

規模 重複する他の土坑に壊されているため残存状況は悪い。残存部分での短軸は40cm、長軸260cm。隅円長方形を呈すると思われる。底面までの深さは4cmを測る。

概要 383・393・399・400号土坑と重複する。383号土坑より古く、399・400号土坑より新しいが、393号土坑との新旧関係は不明である。

遺物 出土遺物無し。

A区393号土坑（第107図）

位置 X=39195、Y=-57145グリッド付近に位置する。

規模 短軸72cm、長軸280cmを測り、隅円長方形を呈する。底面までの深さは40cmを測る。

概要 383・392号土坑と重複する。383号土坑より新しいが、392号土坑との新旧は不明。

遺物 出土遺物無し。

A区394号土坑（第107図）

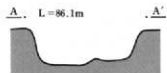
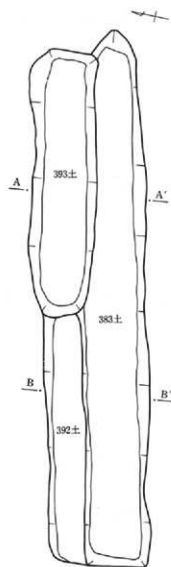
位置 X=39190、Y=-57145グリッド付近に位置する。

規模 短軸94cm、長軸280cmを測り、隅円長方形を呈すると思われる。底面までの深さは20cmを測る。

概要 408・438号土坑と重複。調査時の所見から両土坑よりも新しいと考える。覆土にAs-Aを含む。

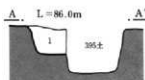
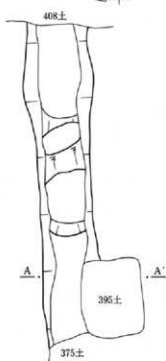
遺物 焙烙などの土器片が少量出土。

A区383・392・393号土坑



0 1 : 40 1m

A区386号土坑



A区386号土坑

1 10Y R3/3 暗褐色土。As-C混土ブロック、ロームブロックを含む。

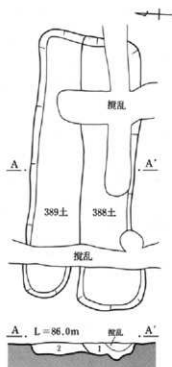
A区388・389号土坑

1 10Y R3/3 暗褐色土。ロームブロックを少し含む。388号土坑覆土。
2 10Y R3/3 暗褐色土。2層よりもロームブロック少ない。389号土坑覆土。

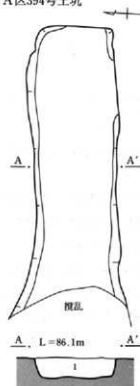
A区394号土坑

1 10Y R3/3 暗褐色土。As-A、ローム粒含む。

A区388・389号土坑



A区394号土坑



第107図 A区383・386・388・389・392~394号土坑

A区395号土坑 (第108図)

位置 X=39190、Y=-57145グリッドに位置する。

規模 短軸66cm、長軸83cmを測り、隅円長方形を呈する。底面までの深さは46cmを測る。

概要 369号土坑、386号土坑と重複する。386号土坑よりも新しい。369号土坑との新旧関係は不明である。覆土中にはAs-Aを含む。

遺物 出土遺物無し。

A区396号土坑 (第108図)

位置 X=39185、Y=-57145グリッド付近に位置する。

規模 短軸53cm、長軸178cm(残存部分で計測)を測り、隅円長方形を呈すると思われる。底面までの深さは20cmを測る。

概要 429号土坑と重複する。土層断面から新旧関係を確認することはできなかったが、調査時の所見から429号土坑よりも古いと考える。覆土中にはAs-Aを含む。

遺物 施釉陶器片が出土する。

A区397号土坑 (第108図)

位置 X=39185、Y=-57145グリッド付近に位置する。

規模 短軸54cm、長軸144cm(残存部分で計測)を測り、隅円長方形を呈すると思われる。底面までの深さは20cmを測る。

概要 422号土坑と重複する。土層断面より422号土坑よりも新しいことが確認できた。覆土中にはAs-Aを含む。

遺物 出土遺物無し。

A区398号土坑 (第108図)

位置 X=39185、Y=-57145グリッド付近に位置する。

規模 短軸54cm、長軸186cm(残存部分で計測)を測り、隅円長方形を呈すると思われる。底面までの深さは22cmを測る。

概要 427号土坑と重複する。調査時の所見から427号土坑よりも古いと考える。覆土中にはAs-Aを含む。

遺物 出土遺物無し。

A区399号土坑 (第108図)

位置 X=39190、Y=-57145グリッド付近に位置する。

規模 短軸58cm、長軸315cmを測り、隅円長方形を呈する。底面までの深さは19cmを測る。

概要 383号土坑、392号土坑と重複する。調査時の所見から383号土坑、392号土坑よりも古いと考える。

遺物 出土遺物無し。

A区400号土坑 (第108図)

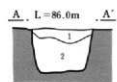
位置 X=39190、Y=-57145グリッド付近に位置する。

規模 短軸60cm、長軸270cmを測り、隅円長方形を呈する。底面までの深さは17cmを測る。

概要 383・392号土坑と重複する。調査時の所見から両土坑よりも古いものと推測される。

遺物 土器片が出土する。

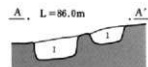
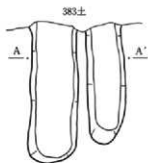
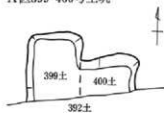
A区395号土坑



A区395号土坑

- 1 10Y R3/3 暗褐色土。ローム粒を含む。
- 2 10Y R3/3 暗褐色土。ロームブロックを含む。

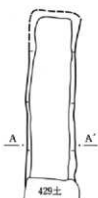
A区399・400号土坑



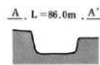
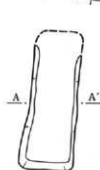
A区399・400号土坑

- 1 10Y R3/3 暗褐色土。ロームブロックを含む。

A区396号土坑



A区397号土坑



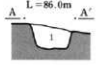
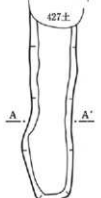
A区396号土坑

- 1 10Y R3/3 暗褐色土。As-A、ロームブロック、黒色土ブロックを含む。

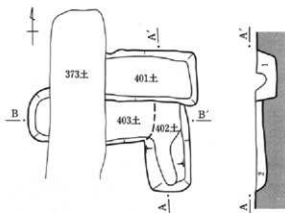
A区398号土坑

- 1 10Y R3/3 暗褐色土。As-A、ロームブロック、黒色土ブロックを含む。

A区398号土坑



A区401・402・403号土坑



A区401・402号土坑

- 1 10Y R3/3 暗褐色土。As-A、ロームブロック含む。401号土坑覆土。
- 2 10Y R3/3 暗褐色土。ロームブロックを含む。402号土坑覆土。

0 1 : 40 1 m

A区401号土坑 (第108図)

位置 X=39200、Y=-57145グリッド付近に位置する。

規模 短軸58cm、長軸98cm(残存部分で計測)を測り、隅円長方形を呈すると思われる。底面までの深さは25cmを測る。

概要 373・402・403号土坑と重複する。402・403号土坑よりも新しく、373号土坑より古いものと推測される。

遺物 土器片が出土する。

A区402号土坑 (第108図)

位置 X=39200、Y=-57145グリッド付近に位置する。

規模 短軸47cm、長軸94cm(残存部分で計測)を測り、隅円長方形を呈すると思われる。底面までの深さは11cmを測る。

概要 401・403号土坑と重複する。両土坑よりも古いと考える。

遺物 出土遺物無し。

A区403号土坑 (第108図)

位置 X=39200、Y=-57145グリッドに位置する。

規模 短軸55cm、長軸は推定で130cm程度。隅円長方形を呈すると推測される。底面までの深さは15cmを測る。

概要 373・401・402号土坑と重複する。402号土坑よりも新しく、373・401号土坑より古いと考える。

遺物 土器片が出土する。

A区405号土坑 (第109・162図、P L 47・67)

位置 X=39190、Y=-57140グリッド付近に位置する。

規模 短軸70cm、長軸740cmを測り、隅円長方形を呈する。底面までの深さは40cmを測る。

概要 406・417・423・425・431・433・436・438号土坑と重複する。土層断面から406号土坑より新しいことが確認できた。また、調査時の所見から417・423・425・431・433・436・438号土坑よりも新しいと考える。

遺物 砥石、施釉陶器片が出土する。

A区406号土坑 (第109図、P L 47)

位置 X=39190、Y=-57140グリッド付近に位置する。

規模 短軸64cm、長軸650cmを測り、隅円長方形を呈する。底面までの深さは31cmを測る。

概要 405・407・415・433・436・438号土坑と重複する。土層断面から407号土坑より新しく、405号土坑より古いことが確認できた。また、調査時の所見から436・438号土坑よりも新しいと考える。415・433号土坑との新旧は不明。

遺物 土器片が出土する。

A区407号土坑 (第109図、P L 47)

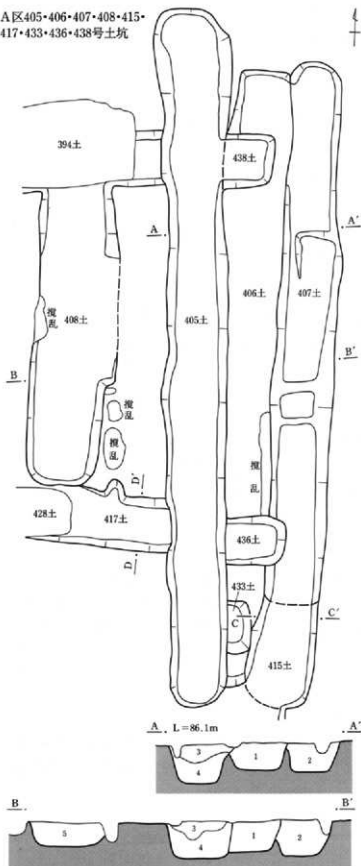
位置 X=39190、Y=-57140グリッド付近に位置する。

規模 短軸68cm、長軸574cmを測り、隅円長方形を呈する。底面までの深さは36cmを測る。

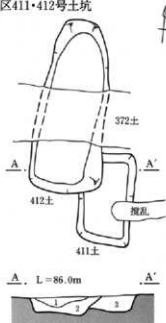
概要 406・415・436号土坑と重複する。土層断面から406号土坑より古いことが確認できた。また、調査時の所見から415・436号土坑より新しいと考える。

遺物 施釉陶器片、焼締陶器片、土器片が出土する。

A区405・406・407・408・415・
417・433・436・438号土坑

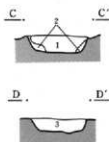


A区411・412号土坑



A区411・412号土坑

- 10Y R3/3 暗褐色土。As-A、ロームブロックを含む。412号土坑覆土。
- 10Y R3/3 暗褐色土。As-Aを含む。412号土坑覆土。
- 10Y R3/2 黒褐色土。As-Aを含む。しまり弱い。411号土坑覆土。



A区405・406・407・408・415・417号土坑

- 10Y R3/2 黒褐色土。As-Aと思われる軽石、ローム粒を含む。
- 10Y R3/2 黒褐色土。ロームブロックを多く含む。
- 10Y R3/3 暗褐色土。ロームブロック、黒色土ブロックを含む。
- 10Y R3/2 黒褐色土。ロームブロック多量を含む。
- 10Y R3/2 黒褐色土。黒色土ブロックを多く含む。

0 1:40 1m

第109図 A区405~408・411・412・415・417・433・436・438号土坑

A区408号土坑 (第109図、P.L.47)

位置 X=39190、Y=-57140グリッド付近に位置する。

規模 短軸81cm、長軸316cmを測り、隅円長方形を呈する。底面までの深さは24cmを測る。

概要 386・394・423号土坑と重複する。調査時の所見から、394号土坑よりも古いと考える。386・423号土坑との新旧は不明。

遺物 施釉陶器片が出土する。

A区411号土坑 (第109図)

位置 X=39200、Y=-57145グリッド付近に位置する。

規模 短軸57cm、長軸97cmを測り、隅円長方形を呈する。底面までの深さは20cmを測る。

概要 412号土坑と重複する。土層断面から412号土坑より古いことが確認できた。

遺物 出土遺物無し。

A区412号土坑 (第109図)

位置 X=39200、Y=-57145グリッド付近に位置する。

規模 短軸75cm、長軸185cmを測り、隅円長方形を呈する。底面までの深さは21cm。

概要 372号土坑、411号土坑、414号土坑と重複する。土層断面から411号土坑より新しく、372号土坑より古いことが確認できた。また、調査時の所見から414号土坑より新しいと考える。

遺物 出土遺物無し。

A区413号土坑 (第110図)

位置 X=39195、Y=-57140グリッド付近に位置する。

規模 短軸80cm、長軸291cmを測り、隅円長方形を呈する。底面までの深さは16cmを測る。

概要 上部からの耕作痕により一部削平されている。

遺物 出土遺物無し。

A区414号土坑 (第110図)

位置 X=39200、Y=-57145グリッド付近に位置する。

規模 短軸50cm、長軸220cmを測り、隅円長方形を呈する。底面までの深さは8cmを測る。

概要 6号井戸、412号土坑と重複する。土層断面から6号井戸より新しいことが確認できたが、調査時に一括して掘削したため、重複部分の詳細については不明である。調査時の所見から412号土坑より古いと考える。

遺物 出土遺物無し。

A区415号土坑 (第109図)

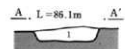
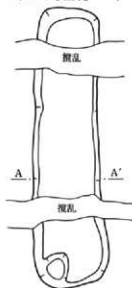
位置 X=39185、Y=-57140グリッドに位置する。

規模 短軸70cm、長軸110cm(残存部分で計測)を測り、隅円長方形と思われる。底面までの深さは18cmを測る。

概要 406・407号土坑と重複する。平面の形状から407号土坑より古いと考える。406号土坑との新旧関係は不明である。

遺物 出土遺物無し。

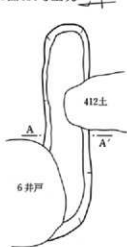
A区413号土坑



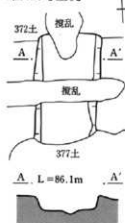
A区413号土坑

1 10Y R3/3 暗褐色土。As-A、ロームブロック、黒褐色土ブロックを含む。

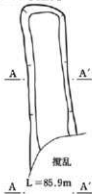
A区414号土坑



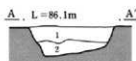
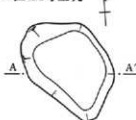
A区416号土坑



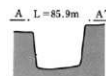
A区420号土坑



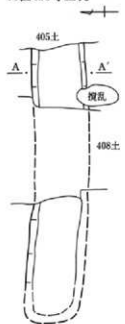
A区421号土坑



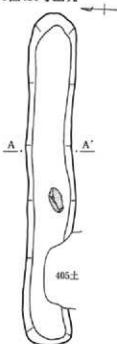
A区422号土坑



A区423号土坑



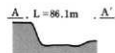
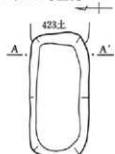
A区425号土坑



A区421号土坑

1 10Y R3/2 黒褐色土。ロームブロックを含む。
2 10Y R5/4 におい黄褐色土。ロームブロックを多く含む。

A区424号土坑



A区425号土坑

1 10Y R3/3 暗褐色土。砂質。As-C混土ブロック含む。



A区416号土坑（第110図）

位置 X=39200、Y=-57140グリッドに位置する。

規模 短軸70cm、長軸115cm（残存部分で計測）を測り、隅円長方形と思われる。底面までの深さは18cm。

概要 372・377号土坑と重複する。調査時の所見から両土坑より古いと考える。

遺物 出土遺物無し。

A区417号土坑（第109図）

位置 X=39185、Y=-57140グリッドに位置する。

規模 短軸56cm、長軸105cmを測り、隅円長方形と思われる。底面までの深さは13cmを測る。

概要 405・428号土坑と重複する。調査時の所見から両土坑より古いと考える。

遺物 土器片が出土する。

A区420号土坑（第110図）

位置 X=39190、Y=-57145グリッド付近に位置する。

規模 東端を壊されているため正確な規模は不明。現状で短軸44cm、長軸145cmで、隅円長方形と思われる。
底面までの深さは6cm。

概要 上部から攪乱を受けているため、土坑の半分程を削平される。

遺物 出土遺物無し。

A区421号土坑（第110図）

位置 X=39200、Y=-57130グリッド付近に位置する。

規模 短軸82cm、長軸113cmを測り、不整な楕円形を呈する。底面までの深さは29cmを測る。

概要 37号溝と重複する。調査時の所見から37号溝より新しいと考える。

遺物 陶磁器片が出土する。

A区422号土坑（第110図、P.L.47）

位置 X=39185、Y=-57145グリッドに位置する。

規模 短軸55cm、長軸98cmを測り、隅円長方形と思われる。底面までの深さは42cmを測る。

概要 397号土坑と重複する。397号土坑よりも古い。

遺物 出土遺物無し。

A区423号土坑（第110図）

位置 X=39190、Y=-57145グリッド付近に位置する。

規模 両端を他の土坑によって切られているため、正確な規模は不明。確認状況で短軸57cm、長軸は推定で290cm程度。隅円長方形と思われる。底面までの深さは13cmを測る。

概要 405・408・424号土坑と重複する。405号土坑より古く、424号土坑より新しい。408号土坑との新旧は不明である。

遺物 土器片が出土する。

A区424号土坑（第110図）

位置 X=39190、Y=-57145グリッドに位置する。

規模 短軸63cm、長軸130cmを測り、隅円長方形と思われる。底面までの深さは21cmを測る。

概要 368・423号土坑と重複する。これらの土坑より古い。

遺物 施釉陶器片が出土する。

A区425号土坑（第110図、PL47）

位置 X=39190、Y=-57140グリッド付近に位置する。

規模 短軸50cm、長軸350cmを測り、隅円長方形を呈する。底面までの深さは11cmを測る。

概要 405号土坑と重複する。調査時の所見から405号土坑より古いと考える。

遺物 礫が出土する。

A区426号土坑（第111図）

位置 X=39190、Y=-57140グリッド付近に位置する。

規模 東端を壊されているため正確な規模は不明。現状で短軸65cm、長軸450cm。隅円長方形と思われる。底面までの深さは20cmを測る。

概要 土坑の一部を上部からの攪乱により大きく削平される。

遺物 出土遺物無し。

A区427号土坑（第111図）

位置 X=39185、Y=-57140グリッドに位置する。

規模 短軸65cm、長軸92cmを測り、隅円長方形を呈する。底面までの深さは28cmを測る。

概要 398・440・441号土坑と重複する。調査時の所見からこれらの土坑より新しいと推測される。

遺物 出土遺物無し。

A区428号土坑（第111図）

位置 X=39185、Y=-57140グリッドに位置する。

規模 短軸51cm、長軸110cmを測り、隅円長方形を呈する。底面までの深さは21cmを測る。

概要 417号土坑と重複する。調査時の所見から、417号土坑より新しいと推定される。

遺物 出土遺物無し。

A区429号土坑（第111図、PL47）

位置 X=39185、Y=-57145グリッドに位置する。

規模 短軸57cm、長軸75cmを測り、長方形を呈する。底面までの深さは28cmを測る。

概要 396号土坑と重複する。土層断面から新旧関係を確認することはできなかったが、調査時の所見より396号土坑より新しいと考える。

遺物 出土遺物無し。

A区430号土坑（第111図）

位置 X=39185、Y=-57140グリッドに位置する。

規模 短軸74cm(残存部分で計測)、長軸128cm(残存部分で計測)を測り、長方形と思われる。底面までの深さは25cmを測る。

概要 431号土坑と重複する。土層断面から431号土坑より古いことが確認できた。

遺物 出土遺物無し。

A区431号土坑（第111図）

位置 X=39185、Y=-57140グリッドに位置する。

規模 短軸70cm、長軸90cmの長方形。底面までの深さは32cmを測る。

概要 405・430号土坑と重複する。土層断面から430号土坑より新しいことが確認できた。また、調査時の所見から405号土坑より古いと考える。

遺物 出土遺物無し。

A区433号土坑（第109図）

位置 X=39185、Y=-57140グリッドに位置する。

規模 遺構の西半を405号土坑に切られているため正確な規模は不明。現状で短軸24cm、長軸56cm。長方形と思われる。底面までの深さは19cmを測る。

概要 405・406号土坑と重複。調査時の所見から405号土坑より古いと考える。406号土坑との新旧は不明。

遺物 出土遺物無し。

A区435号土坑（第111図）

位置 X=39195、Y=-57135グリッドに位置する。

規模 短軸52cm、166cmを測り、長楕円形と思われる。底面までの深さは14cmを測る。

概要 覆土はロームブロックを含む暗褐色土。他の土坑との重複は無し。

遺物 出土遺物無し。

A区436号土坑（第109図）

位置 X=39185、Y=-57140グリッドに位置する。

規模 西端を405号土坑に切られており、正確な規模は不明。現状で短軸51cm、長軸65cm。隅円長方形と思われる。底面までの深さは40cm。

概要 405・406・407号土坑と重複する。調査時の所見からこれら3基の土坑より古いと考える。

遺物 出土遺物無し。

A区438号土坑（第109図）

位置 X=39190、Y=-57140グリッド付近に位置する。

規模 西端を他の遺構によって切られているため正確な規模は不明。現状で短軸58cm、長軸148cm。長方形と思われる。底面までの深さは23cmを測る。

概要 394・405・406号土坑と重複する。調査時の所見から、これら3基の土坑より古いと推測される。

遺物 出土遺物無し。

A区440号土坑（第111図）

位置 X=39185、Y=-57140グリッドに位置する。

規模 西端を427号土坑に切られる。現状で短軸57cm、長軸61cm。長方形と思われる。底面までの深さは6cmを測る。

概要 427・441号土坑と重複。調査時の所見から427号土坑より古く、441号土坑より新しいと推測される。

遺物 出土遺物無し。

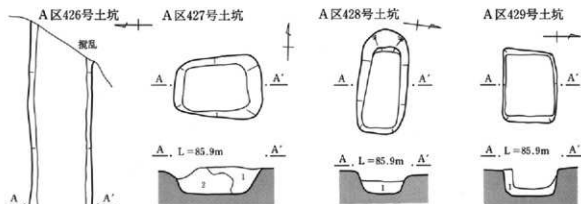
A区441号土坑（第111図）

位置 X=39185、Y=-57140グリッドに位置する。

規模 北端を427・440号土坑に切られる。現状で短軸81cm、長軸200cm。隅円長方形と思われる。底面までの深さは18cmを測る。

概要 427・440号土坑と重複。調査時の所見から両土坑より古いと考える。

遺物 出土遺物無し。



A区426号土坑

- 1 10Y R3/3 暗褐色土。As-Aと思われる軽石を含む。
- 2 10Y R3/3 暗褐色土。褐色砂質土ブロックを含む。

A区427号土坑

- 1 10Y R3/3 暗褐色土。As-Aと思われる軽石、ロームブロックを含む。
- 2 10Y R3/3 暗褐色土。As-Aと思われる軽石、ローム粒を含む。軽石は1層よりも多く含む。

A区428号土坑

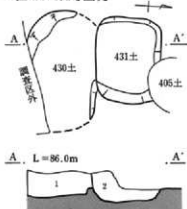
- 1 10Y R3/3 暗褐色土。As-Aと思われる軽石、ロームブロックを多く含む。

A区429号土坑

- 1 10Y R3/3 暗褐色土。ロームブロックを少量含む。



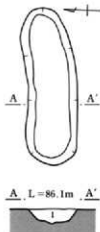
A区430・431号土坑



A区430・431号土坑

- 1 10Y R3/3 暗褐色土。砂質でしまり悪い。細粒・均質。430号土坑覆土。
- 2 10Y R3/3 暗褐色土。砂質でしまり悪い。ローム土を少量含む。431号土坑覆土。

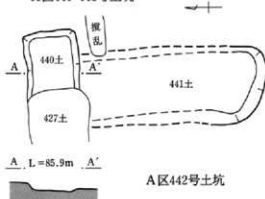
A区435号土坑



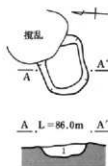
A区435号土坑

- 1 10Y R3/3 暗褐色土。ロームブロックを含む。

A区440・441号土坑



A区442号土坑



A区442号土坑

- 1 10Y R3/3 暗褐色土。しまり悪い。ロームブロックを含む。



第111図 A区426～431・435・440～442号土坑

A区442号土坑（第111図）

位置 X=39190、Y=-57140グリッドに位置する。

規模 短軸52cm、長軸62cm(残存部分で計測)。不整な楕円形を呈する。底面までの深さは14cmを測る。

概要 覆土はロームブロックを含む暗褐色土である。

遺物 出土遺物無し。

A区443号土坑（第112図）

位置 X=39185、Y=-57145グリッドに位置する。

規模 短軸65cm(残存部分で計測)、長軸65cmを測り、不整な楕円形と思われる。底面までの深さは7cm。

概要 覆土中にAs-A、ロームブロックを含む。

遺物 出土遺物無し。

A区448号土坑（第112図）

位置 X=39195、Y=-57140グリッドに位置する。

規模 短軸160cm、長軸198cmを測り、不整な楕円形と思われる。底面までの深さは51cmを測る。

概要 上部から攪乱を受ける。覆土はロームブロックを含む黒褐色土。

遺物 出土遺物無し。

A区452号土坑（第112図）

位置 X=39190、Y=-57115グリッドに位置する。

規模 短軸78cm、長軸307cmを測り、長方形を呈する。底面までの深さは14cmを測る。

概要 覆土は灰色土である。細長い長方形土坑で重複等は無い。

遺物 出土遺物無し。

A区453号土坑（第112図）

位置 X=39195、Y=-57120グリッド付近に位置する。

規模 短軸68cm、長軸280cmを測り、隅丸長方形を呈する。底面までの深さは14cmを測る。

概要 454号土坑と重複する。新旧関係は不明である。

遺物 出土遺物無し。

A区454号土坑（第112図）

位置 X=39195、Y=-57115グリッド付近に位置する。

規模 短軸53cm、長軸200cm(残存部分で計測)を測り、長方形を呈する。底面までの深さは27cmを測る。

概要 453号土坑と重複する。新旧関係は不明である。

遺物 出土遺物無し。

A区456号土坑（第112図）

位置 X=39200、Y=-57090グリッド付近に位置する。

規模 短軸97cm、長軸800cmを測り、長方形を呈する。底面までの深さは10cmを測る。

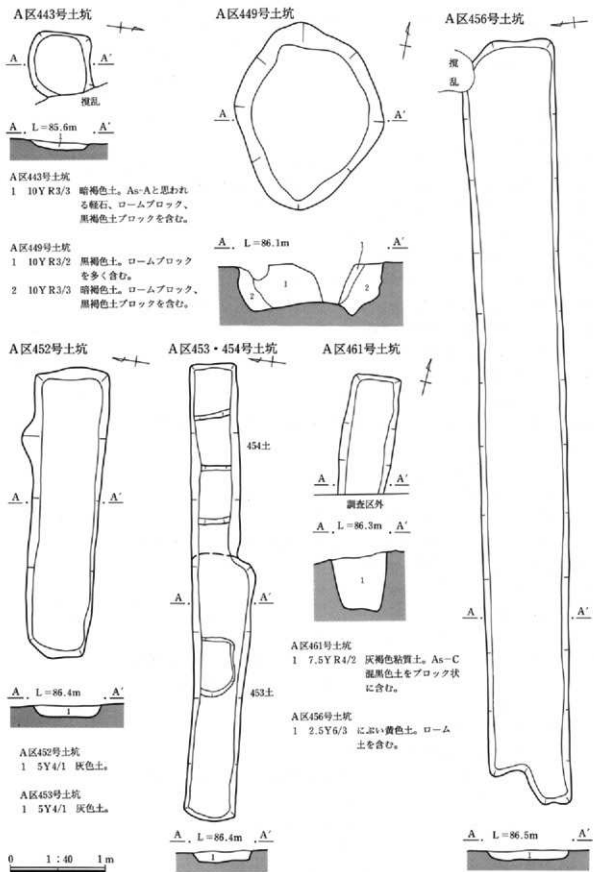
概要 覆土はにぶい黄色土である。細長い長方形土坑で重複等は無い。

遺物 陶磁器片が出土する。

A区461号土坑（第112図）

位置 X=39180、Y=-57140グリッドに位置する。

規模 短軸56cm、長軸128cm(検出部分)を測り、長方形を呈する。底面までの深さは57cmを測る。



第112図 A区443・449・452～454・456・461号土坑

概要 覆土は灰褐色の粘質土でAs-C混黒色土をブロック状に含む。細長い長方形土坑で重複等はない。調査区域外にかかるため、全てを確認することはできなかった。

遺物 出土遺物無し。

B区土坑

B区31号土坑（第113図）

位置 X=39245、Y=-57070グリッド付近に位置する。

規模 短軸78cm、長軸135cmを測り、長方形を呈する。底面までの深さは30cmを測る。

概要 掘方は上部へ向かってやや開く。

遺物 出土遺物無し。

B区35号土坑（第113図）

位置 X=39245、Y=-57070グリッド付近に位置する。

規模 短軸58cm、長軸74cmを測り、楕円形を呈する。底面までの深さは46cmを測る。

概要 1号溝と重複する。新旧関係は明らかでない。

遺物 土師器片が出土するが、この遺構に伴わないと考える。

B区42号土坑（第113図）

位置 X=39245、Y=-57095グリッドに位置する。

規模 短軸64cm、長軸67cmを測り、楕円形を呈する。底面までの深さは27cmを測る。

概要 重複せず、単独に占地する。

遺物 染付磁器片が出土する。

B区43号土坑（第113図）

位置 X=39245、Y=-57095グリッド付近に位置する。

規模 短軸87cm、長軸96cmを測り、楕円形を呈する。底面までの深さは26cmを測る。

概要 古墳時代住居（9号住居）と重複する。住居より新しい遺構である。

遺物 出土遺物無し。

B区44号土坑（第113図）

位置 X=39240、Y=-57095グリッドに位置する。

規模 短軸78cm、長軸98cmを測り、楕円形を呈する。底面までの深さは26cmを測る。

概要 古墳時代住居（9号住居）と重複する。住居より新しい遺構である。

遺物 出土遺物無し。

B区45号土坑（第113図）

位置 X=39235、Y=-57095グリッドに位置する。

規模 短軸62cm、長軸69cmを測り、楕円形を呈する。底面までの深さは26cmを測る。

概要 上部からの耕作痕によって一部削平される。

遺物 土師器片が出土するが、この遺構に伴わないと考える。

B区46号土坑（第113図）

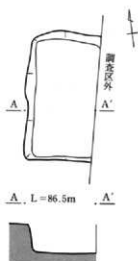
位置 X=39235、Y=-57095グリッド付近に位置する。

規模 短軸109cm、長軸149cmを測り、不整な楕円形を呈する。底面までの深さは61cmを測る。

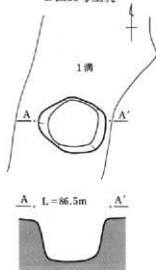
概要 古墳時代住居（9号住居）と重複する。住居より新しい遺構である。

遺物 出土遺物無し。

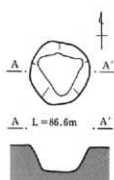
B区31号土坑



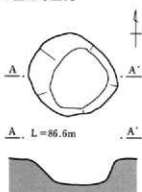
B区35号土坑



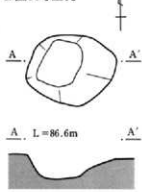
B区42号土坑



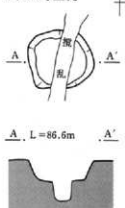
B区43号土坑



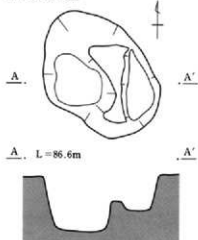
B区44号土坑



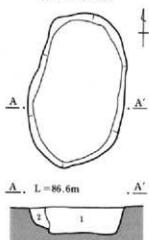
B区45号土坑



B区46号土坑



B区47号土坑



B区47号土坑

- 1 10Y R5/1 褐色土。ローム少量含む。
- 2 10Y R7/4 におい黄棕色土。ロームブロックを含む。

0 1 : 40 1 m

第113図 B区31・35・42~47号土坑

日区47号土坑 (第113図)

位置 X=39235、Y=-57095グリッドに位置する。

規模 短軸102cm、長軸165cmを測り、不整な楕円形を呈する。底面までの深さは27cmを測る。

概要 古墳時代住居(3号住居)と重複する。住居より新しい遺構である。

遺物 出土遺物無し。

日区48号土坑 (第114図)

位置 X=39240、Y=-57085グリッドに位置する。

規模 短軸90cm、長軸157cmを測り、不整な楕円形を呈する。底面までの深さは20cmを測る。

概要 上部からの耕作痕によって一部削平される。覆土中にAs-Bの再堆積したと思われる層が確認できた。

遺物 出土遺物無し。

日区49号土坑 (第114図)

位置 X=39235、Y=-57090グリッド付近に位置する。

規模 短軸154cm、長軸375cmを測り、不整な長方形を呈する。底面までの深さは17cmを測る。

概要 上部からの耕作痕によって一部削平される。覆土中にAs-Bの再堆積したと思われる層が確認できた。

遺物 出土遺物無し。

日区54号土坑 (第114図)

位置 X=39245、Y=-57090グリッド付近に位置する。

規模 短軸122cm(残存部分で計測)、長軸130cmを測り、楕円形と思われる。底面までの深さは30cm。

概要 58・59号土坑と重複。58・59号土坑より古い。

遺物 出土遺物無し。

日区56号土坑 (第114図)

位置 X=39240、Y=-57085グリッドに位置する。

規模 短軸93cm、長軸95cmを測り、楕円形を呈する。底面までの深さは31cmを測る。

概要 60号土坑と重複。新旧は不明。

遺物 出土遺物無し。

日区57号土坑 (第115・162図、P.L.67)

位置 X=39235、Y=-57100グリッド付近に位置する。

規模 短軸130cm、長軸182cmを測り、不整な方形を呈する。底面までの深さは62cmを測る。

概要 4号住居付近に位置し、土師器が出土するが、遺構の形状から判断すると、中近世と考える。

遺物 頁岩製の碁石が出土する。また、土師器が出土するが、この遺構に伴わないと考える。

日区58号土坑 (第114図)

位置 X=39240、Y=-57085グリッド付近に位置する。

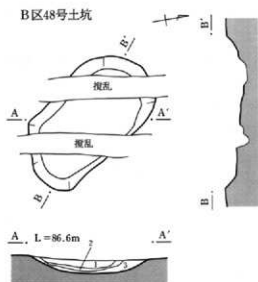
規模 短軸48cm(残存部分で計測)、長軸110cmを測り、楕円形と思われる。底面までの深さは31cmを測る。

概要 54・59・61号土坑と重複。土層断面から54号土坑より新しく、61号土坑より古いことが確認できた。59号土坑との新旧関係は不明。

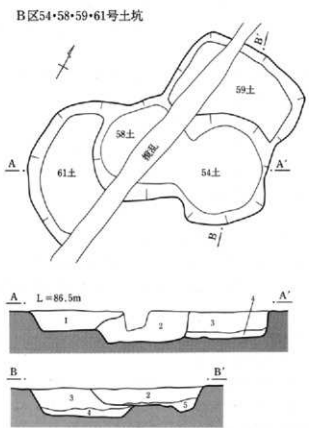
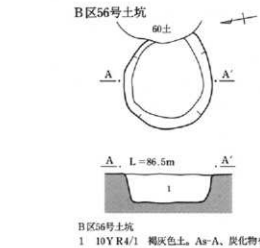
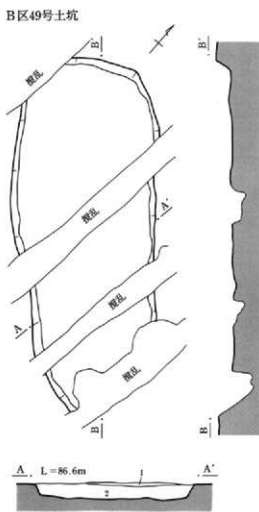
遺物 出土遺物無し。

日区59号土坑 (第114図)

位置 X=39245、Y=-57090グリッド付近に位置する。



- B区48号土坑**
- 10Y R4/1 褐色土。As-Bの再堆積層と思われる。
 - 10Y R4/1 褐色土。粘質土。
 - 10Y R4/2 灰黄褐色土。ローム土を含む。



- B区54・58・59・61号土坑**
- 10Y R7/2 ぶい黄褐色土。As-Aを含む。61号土坑覆土。
 - 10Y R4/1 褐色土。58・59号土坑覆土。
 - 10Y R5/2 灰黄褐色土。ロームブロックを含む。54号土坑覆土。
 - 10Y R3/1 黒褐色土。粘質土。54号土坑覆土。
 - 10Y R6/3 ぶい黄褐色土。ロームブロック含む。59号土坑覆土。
- B区49号土坑**
- 10Y R4/1 褐色土。As-Bの再堆積層と思われる。
 - 10Y R3/2 黒褐色土。炭化物層。



第114図 B区48・49・54・56・58・59・61号土坑

規模 他遺構に切られ正確な規模は不明。現状で短軸90cm、長軸136cm。長方形と思われる。底面までの深さは27cmを測る。

概要 54・58号土坑と重複。土層断面から54号土坑より新しいことが確認できた。58号土坑との新旧は不明。上部からの耕作痕によって、一部削平される。

遺物 出土遺物無し。

B区60号土坑 (第115図)

位置 X=39245、Y=-57085グリッド付近に位置する。

規模 短軸113cm、長軸121cmを測り、楕円形を呈する。底面までの深さは51cmを測る。

概要 56号土坑と重複する。新旧は不明。

遺物 出土遺物無し。

B区61号土坑 (第114図)

位置 X=39245、Y=-57090グリッド付近に位置する。

規模 他遺構に壊され正確な規模は不明。現状で短軸70cm、長軸155cm。楕円形と思われる。底面までの深さは21cmを測る。

概要 58号土坑と重複。土層断面より58号土坑よりも新しいことが確認できた。

遺物 出土遺物無し。

B区62号土坑 (第115図)

位置 X=39245、Y=-57100グリッド付近に位置する。

規模 短軸52cm、長軸70cmを測り、不整な長方形と思われる。底面までの深さは15cmを測る。

概要 重複はなく、単独に占地する。

遺物 出土遺物無し。

B区63号土坑 (第115図)

位置 X=39245、Y=-57100グリッド付近に位置する。

規模 短軸45cm、長軸71cmを測り、不整な長方形と思われる。底面までの深さは16cmを測る。

概要 重複はなく、単独に占地する。

遺物 出土遺物無し。

B区66号土坑 (第115図)

位置 X=39245、Y=-57100グリッドに位置する。

規模 短軸101cm、長軸111cmを測り、円形を呈する。底面までの深さは34cmを測る。

概要 重複はなく、単独に占地する。

遺物 出土遺物無し。

B区79号土坑 (第115図)

位置 X=39245、Y=-57105グリッド付近に位置する。

規模 短軸65cm、長軸105cmを測り、隅門長方形を呈する。底面までの深さは19cmを測る。

概要 重複はなく、単独に占地する。覆土中にロームブロックを含む。

遺物 出土遺物無し。

B区80号土坑 (第115図)

位置 X=39245、Y=-57105グリッド付近に位置する。

規模 短軸70cm、長軸90cm(残存部分で計測)を測り、長方形と思われる。底面までの深さは36cmを測る。

概要 上位を一部攪乱によって削平される。

遺物 土師器片が出土するが、この遺構に伴わないと考える。

B区90号土坑 (第116・162図、P.L67)

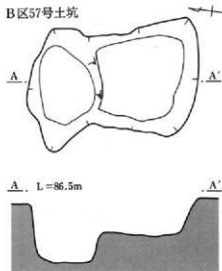
位置 X=39235、Y=-57120グリッド付近に位置する。

規模 短軸60cm、長軸320cmを測り、長方形を呈する。底面までの深さは37cmを測る。

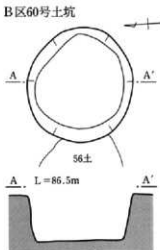
概要 土坑中央部を上部からの攪乱により削平される。

遺物 砾石が出土した。

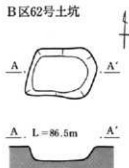
B区57号土坑



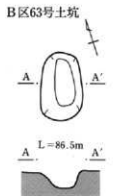
B区60号土坑



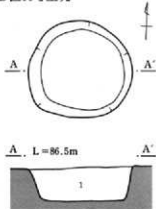
B区62号土坑



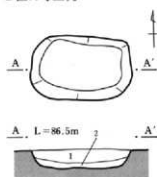
B区63号土坑



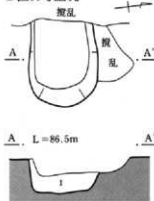
B区66号土坑



B区79号土坑



B区80号土坑



B区66号土坑

1 10Y R6/1 褐灰色土。As-Aを多く含む。

B区79号土坑

1 2.5Y5/2 暗灰黄色土。ローム土を含む。
2 10Y R6/4 におい黄褐色土。粘質土。鉄分を含む。

B区80号土坑

1 10Y R4/1 褐灰色土。ローム土を含む。

0 1:40 1m

第115図 B区57・60・62・63・66・79・80号土坑

B区91号土坑（第116図）

位置 X=39235、Y=-57120グリッドに位置する。

規模 短軸79cm、長軸350cmを測り、隅円長方形を呈する。底面までの深さは28cmを測る。

概要 92号土坑と隣接する。

遺物 出土遺物無し。

B区92号土坑（第116図）

位置 X=39240、Y=-57120グリッド付近に位置する。

規模 短軸78cm、長軸は現状で360cmを測り、隅円長方形と思われる。底面までの深さは30cmを測る。

概要 91号土坑と隣接する。土坑の一部を上部からの擾乱により削平される。

遺物 出土遺物無し。

B区93号土坑（第116図）

位置 X=39235、Y=-57115グリッドに位置する。

規模 短軸60cm、長軸208cmを測り、隅円長方形を呈する。底面までの深さは44cmを測る。

概要 重複はなく、単独に占地する。

遺物 出土遺物無し。

B区97号土坑（第116図）

位置 X=39240、Y=-57115グリッドに位置する。

規模 短軸62cm、長軸140cmを測り、隅円長方形を呈する。底面までの深さは31cmを測る。

概要 重複はなく、単独に占地する。

遺物 土師器片が出土するが、この遺構に伴わないと考える。

B区117号土坑（第116図）

位置 X=39230、Y=-57110グリッド付近に位置する。

規模 短軸56cm、長軸224cmを測り、長方形を呈する。底面までの深さは42cmを測る。

概要 古墳時代住居（8号住居）と重複する。住居より新しい遺構である。覆土中にAs-Aを含む。

遺物 土師器片が出土するが、この遺構に伴わないと考える。

B区118号土坑（第116図）

位置 X=39225、Y=-57110グリッドに位置する。

規模 短軸73cm、長軸220cmを測り、長方形を呈する。底面までの深さは30cmを測る。

概要 古墳時代住居（8号住居）と重複する。住居より新しい遺構である。

遺物 土師器片が出土するが、この遺構に伴わないと考える。

B区119号土坑（第117図）

位置 X=39235、Y=-57125グリッド付近に位置する。

規模 短軸62cm、長軸250cmを測り、長方形を呈する。底面までの深さは45cmを測る。

概要 古墳時代住居（5号住居）と重複する。住居より新しい遺構である。

遺物 施釉陶器片が出土する。土師器片も出土するが、この遺構に伴わないと考える。

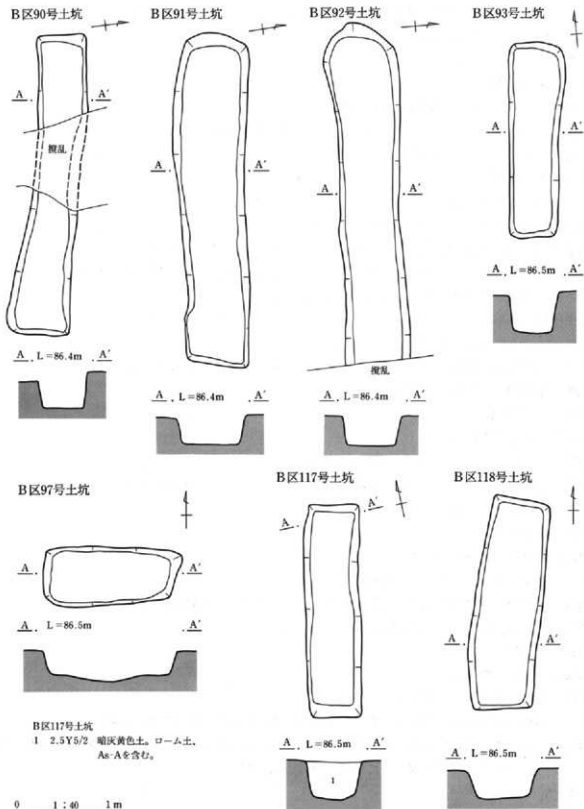
B区124号土坑（第117図）

位置 X=39235、Y=-57115グリッド付近に位置する。

規模 短軸74cm、長軸218cmを測り、長方形を呈する。底面までの深さは40cmを測る。

概要 重複はなく、単独に占地する。

遺物 土師器片が出土するが、土坑の形状から判断すると、この遺構には伴わないと考える。



第116图 B区90~93・97・117・118号土坑

B区127号土坑（第117図）

位置 X=39225、Y=-57120グリッドに位置する。

規模 短軸130cm、長軸137cmを測り、楕円形を呈する。底面までの深さは20cmを測る。

概要 重複はなく、単独に占地する。

遺物 染付磁器片が出土する。

B区133号土坑（第117図）

位置 X=39245、Y=-57100グリッドに位置する。

規模 径115cmを測り、ほぼ円形を呈する。底面までの深さは40cmを測る。

概要 古墳時代住居（6号住居）と重複する。住居より新しい遺構である。覆土中にAs-Aを含む。

遺物 出土遺物無し。

B区148号土坑（第117図）

位置 X=39245、Y=-57095グリッド付近に位置する。

規模 短軸44cm、長軸63cmを測り、楕円形を呈する。底面までの深さは22cmを測る。

概要 古墳時代住居（9号住居）と重複する。住居より新しい。覆土中に焼土ブロックを含む。

遺物 土師器片が出土するが、この遺構に伴わないと考える。

B区153号土坑（第117図）

位置 X=39235、Y=-57115グリッドに位置する。

規模 短軸48cm、長軸210cmを測り、長方形を呈する。底面までの深さは42cmを測る。

概要 重複はなく、単独に占地する。

遺物 出土遺物無し。

B区154号土坑（第117図）

位置 X=39240、Y=-57120グリッド付近に位置する。

規模 短軸76cm、長軸188cmを測り、長方形を呈する。底面までの深さは45cmを測る。

概要 重複はなく、単独に占地する。

遺物 出土遺物無し。

B区156号土坑（第117図）

位置 X=39230、Y=-57125グリッドに位置する。

規模 短軸68cm、長軸630cmを測り、長方形を呈する。底面までの深さは18cmを測る。

概要 土坑の中央部ほとんどが上部から大きく削平される。

遺物 出土遺物無し。

B区167号土坑（第118図）

位置 X=39250、Y=-57095グリッドに位置する。

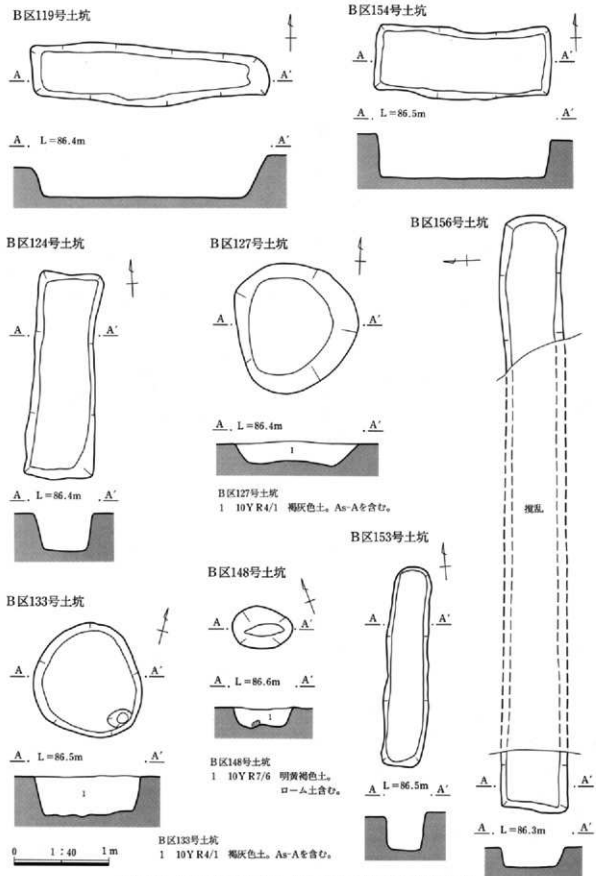
規模 短軸72cm、長軸99cmを測り、不整な楕円形を呈する。底面までの深さは25cmを測る。

概要 本来はより上位からの掘り込みを持つと思われるが、確認段階ですでに壁の大半は失われていた。覆土中に焼土、炭化物を含み、土坑上部にて硬化面を確認した。

遺物 出土遺物無し。

B区208号土坑（第118図）

位置 X=39250、Y=-57075グリッドに位置する。



第117图 B区119·124·127·133·148·153·154·156号土坑

規模 短軸57cm、長軸70cmを測り、楕円形を呈する。底面までの深さは24cmを測る。

概要 重複はなく、単独に占地する。

遺物 出土遺物無し。

B区221号土坑（第118図）

位置 X=39215、Y=-57105グリッドに位置する。

規模 短軸75cm、長軸104cm（残存部分で計測）を測り、長方形と思われる。底面までの深さは28cmを測る。

概要 単独に占地。一部調査区域外にかかるため、全てを確認できなかった。覆土中にAs-Aを含む。

遺物 土師器片が出土するが、この遺構には伴わないと考える。

C区土坑

C区39号土坑（第118図）

位置 X=39240、Y=-57055グリッド付近に位置する。

規模 短軸72cm、長軸234cm（残存部分で計測）、不整な長方形を呈する。底面までの深さは21cmを測る。

概要 覆土は褐灰色土で、細長い長方形土坑である。西端を一部後世の攪乱によって壊される。

遺物 出土遺物無し。

C区49号土坑（第118・162図、P.L.53・67）

位置 X=39245、Y=-57055グリッド付近に位置する。

規模 短軸167cm、長軸298cmを測り、不整な楕円形を呈する。確認面から底面までの深さは28cmを測る。

概要 本来はより深い土坑であるが、上位を削平されている。完形に近い陶器碗・皿がまとめて出土した。

遺物 陶器碗・皿が出土。いずれも土坑底面より10cm程度上位で見つかっている。

C区74号土坑（第118図）

位置 X=39245、Y=-57040グリッドに位置する。

規模 短軸152cm、長軸165cmを測り、楕円形を呈する。底面までの深さは79cmを測る。

概要 上部は楕円形だが、中程から底部にかけては長方形の掘方を呈する。土壌墓と推定される。

遺物 出土遺物無し。

C区79号土坑（第118図）

位置 X=39250、Y=-57040グリッドに位置する。

規模 短軸81cm、長軸210cmを測り、長方形を呈する。底面までの深さは13cmを測る。

概要 上部からの耕作痕により、一部削平される。上端から下端までゆるやかな掘方を呈する。

遺物 出土遺物無し。

C区99号土坑（第118図）

位置 X=39260、Y=-57055グリッド付近に位置する。

規模 短軸60cm、長軸105cmを測り、長方形を呈する。底面までの深さは63cmを測る。

概要 古墳時代住居（2号住居）と重複する。土層断面から住居より新しいことが確認できた。

遺物 出土遺物無し。

C区120号土坑（第118図）

位置 X=39230、Y=-57045グリッド付近に位置する。

規模 短軸90cm、長軸194cmを測り、長方形を呈する。底面までの深さは50cmを測る。

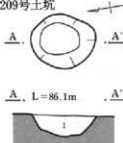
B区167号土坑



B区167号土坑

- 1 2.5Y R7/8 褐色土。焼土。
2 10Y R6/2 灰黄褐色土。炭化物、ローム土含む。

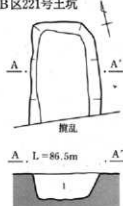
B区209号土坑



B区209号土坑

- 1 10Y R4/1 褐灰色土。As-Aを含む。

B区221号土坑

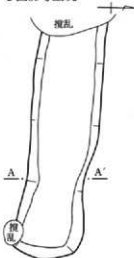


B区221号土坑

B区221号土坑

- 1 2.5Y5/1 黄灰色土。As-A多く含む。

C区39号土坑

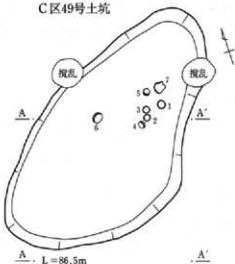


C区39号土坑

C区39号土坑



C区49号土坑



C区49号土坑

C区49号土坑

C区49号土坑

C区49号土坑

C区49号土坑

C区49号土坑

C区49号土坑

C区49号土坑

C区49号土坑

C区49号土坑

C区49号土坑

C区49号土坑

C区49号土坑

C区49号土坑

C区49号土坑

C区49号土坑

C区49号土坑

C区49号土坑

C区49号土坑

C区49号土坑

C区49号土坑

C区49号土坑

C区49号土坑

C区49号土坑

C区49号土坑

C区49号土坑

C区49号土坑

C区49号土坑

C区49号土坑

C区49号土坑

C区49号土坑

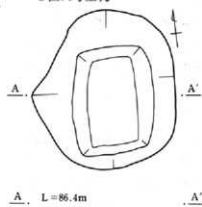
C区49号土坑

C区49号土坑

B区221号土坑

- 1 2.5Y5/1 黄灰色土。As-A多く含む。

C区74号土坑



C区74号土坑

C区74号土坑

C区74号土坑

C区74号土坑

C区74号土坑

C区74号土坑

C区74号土坑

C区74号土坑

C区74号土坑

C区74号土坑

C区74号土坑

C区74号土坑

C区74号土坑

C区74号土坑

C区74号土坑

C区74号土坑

C区74号土坑

C区74号土坑

C区74号土坑

C区74号土坑

C区74号土坑

C区74号土坑

C区74号土坑

C区74号土坑

C区74号土坑

C区74号土坑

C区74号土坑

C区74号土坑

C区74号土坑

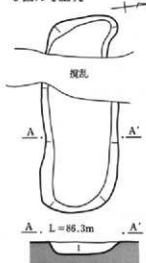
C区74号土坑

C区74号土坑

C区74号土坑

C区74号土坑

C区79号土坑

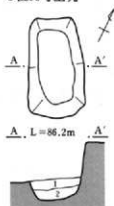


C区79号土坑

C区79号土坑

C区79号土坑

C区99号土坑



C区99号土坑

C区99号土坑

C区99号土坑

C区99号土坑

C区99号土坑

C区99号土坑

C区99号土坑

C区99号土坑

C区99号土坑

C区99号土坑

C区99号土坑

C区99号土坑

C区99号土坑

C区99号土坑

C区99号土坑

C区99号土坑

C区99号土坑

C区74号土坑

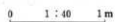
- 1 10Y R6/3 におい黄褐色土。ロームブロックを含む。
2 10Y R4/4 褐色土。ロームブロックを含む。
3 10Y R5/6 黄褐色土。ロームブロックを含む。

C区79号土坑

- 1 10Y R5/2 灰黄褐色土。ローム土を含む。

C区99号土坑

- 1 10Y R7/4 におい黄褐色土。ローム土を含む。
2 10Y R7/4 におい黄褐色土。炭化物を含む。



第118図 B区167・209・221、C区39・49・74・79・99号土坑

概要 壁はほぼ直立。覆土中に多量のロームブロック含む。

遺物 陶磁器片が出土する。

C区146号土坑 (第119図)

位置 X=39230、Y=-57050グリッドに位置する。

規模 北側の一部を壊され、現状で短軸60cm、長軸130cm。不整な長方形。底面までの深さは16cm。

概要 1120号土坑と重複する。新旧関係は不明である。

遺物 陶磁器片が出土する。

C区228号土坑 (第119図)

位置 X=39220、Y=-57040グリッドに位置する。

規模 短軸110cm、長軸260cmを測り、長方形を呈する。底面までの深さは84cmを測る。

概要 壁は上部がやや開くものの、ほぼまっすぐに立ち上がる。覆土中にロームブロックを多く含む。

遺物 染付磁器片が出土する。

C区256号土坑 (第119図)

位置 X=39230、Y=-57050グリッドに位置する。

規模 短軸44cm、長軸164cmを測り、長方形を呈する。底面までの深さは17cmを測る。

概要 覆土中にAs-Aと思われる軽石を含む。

遺物 出土遺物無し。

C区284号土坑 (第119・162図、P.L.67)

位置 X=39235、Y=-57050グリッド付近に位置する。

規模 短軸54cm、長軸204cmを測り、長方形を呈する。底面までの深さは25cmを測る。

概要 土坑の半分程が上部より削平される。

遺物 施軸陶器片、染付磁器片、焙烙片、砥石が出土する。

C区297号土坑 (第119図)

位置 X=39220、Y=-57060グリッドに位置する。

規模 短軸85cm、長軸90cmを測り、不整な方形を呈する。底面までの深さは68cmを測る。

概要 壁はほぼまっすぐに立ち上がる。覆土中にはロームブロックを含む。

遺物 砥石が出土する。

C区405号土坑 (第120図)

位置 X=39230、Y=-57065グリッド付近に位置する。

規模 短軸134cm、長軸380cmを測り、不整な長方形を呈する。底面までの深さは36cmを測る。

概要 上部からの攪乱により一部削平される。

遺物 土瓶の破片が出土する。

C区739号土坑 (第120図)

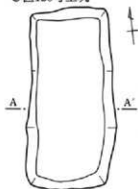
位置 X=39260、Y=-57040グリッドに位置する。

規模 短軸98cm、長軸145cmを測り、不整な長方形を呈する。底面までの深さは66cmを測る。

概要 上部からの攪乱により一部削平される。壁はほぼまっすぐに立ち上がる。覆土中にはロームブロックを含む。土壌層と推測される。

遺物 出土遺物無し。

C区120号土坑



A, L=86.4m A'



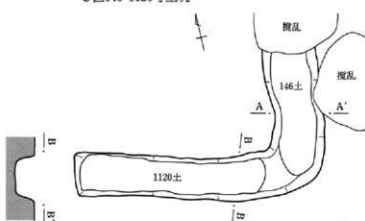
C区120号土坑

1 10Y R7/4 濃い黄褐色土。ロームブロックを多く含む。

C区146号土坑

1 10Y R5/1 褐灰色土。

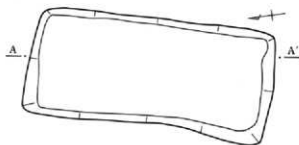
C区146・1120号土坑



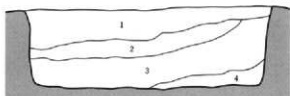
A, L=86.5m A'



C区228号土坑



A, L=86.9m A'



C区228号土坑

- 1 10Y R8/8 黄褐色土。ロームブロック主体。
- 2 10Y R3/1 黒褐色土。灰を含む。
- 3 10Y R8/8 黄褐色土。ロームブロック多量に含む。
- 4 10Y R3/1 黒褐色土。

C区256号土坑

1 7.5Y R5/1 褐灰色土。As-Aを含む。

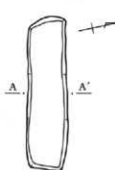
C区284号土坑

- 1 7.5Y R4/1 褐灰色土。As-Aを含む。
- 2 10Y R6/2 灰黄褐色土。ローム土を含む。

C区297号土坑

1 2.5Y 4/1 黄灰色土。ロームブロックを少量含む。

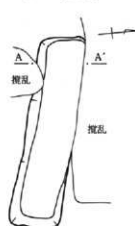
C区256号土坑



A, L=86.5m A'



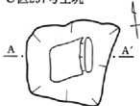
C区284号土坑



A, L=86.5m A'



C区297号土坑



A, L=86.6m A'



0 1:40 1m

第119図 C区120・146・228・256・284・297・1120号土坑

C区751号土坑 (第120図)

位置 X=39255、Y=-57045グリッドに位置する。

規模 短軸104cm、長軸152cmを測り、楕円形を呈する。底面までの深さは53cmを測る。

概要 壁は上部がやや広がる。底面は長方形。覆土中にはロームブロックを含む。形状と古銭の出土から、土墳墓と推測される。

遺物 覆土中より古銭が出土する。

C区779号土坑 (第120図)

位置 X=39235、Y=-57040グリッドに位置する。

規模 径55cmを測り、ほぼ円形を呈する。底面までの深さは44cmを測る。

概要 重複はなく、単独に占地する。柱穴のような掘方を呈する。

遺物 出土遺物無し。

C区785号土坑 (第120図)

位置 X=39225、Y=-57045グリッド付近に位置する。

規模 短軸20cm、長軸25cmを測り、不整な長方形を呈する。底面までの深さは22cmを測る。

概要 重複はなく、単独に占地する。柱穴のような掘方を呈する。

遺物 出土遺物無し。

C区817号土坑 (第120図)

位置 X=39225、Y=-57055グリッドに位置する。

規模 径38cmを測り、ほぼ円形を呈する。底面までの深さは44cmを測る。

概要 重複はなく、単独に占地する。柱穴のような掘方を呈する。

遺物 出土遺物無し。

C区833号土坑 (第120図)

位置 X=39225、Y=-57065グリッドに位置する。

規模 短軸108cm、長軸118cmを測り、不整な楕円形を呈する。底面までの深さは34cmを測る。

概要 重複はなく、単独に占地する。土坑中心部が深くなる掘方を呈する。

遺物 出土遺物無し。

C区921号土坑 (第120図)

位置 X=39255、Y=-57050グリッドに位置する。

規模 短軸127cm、長軸148cmを測り、不整な楕円形を呈する。底面までの深さは65cmを測る。

概要 上部からの攪乱により一部削平される。壁はほぼまっすぐに立ち上がる。覆土中にはロームブロックを含む。土墳墓と推測される。

遺物 出土遺物無し。

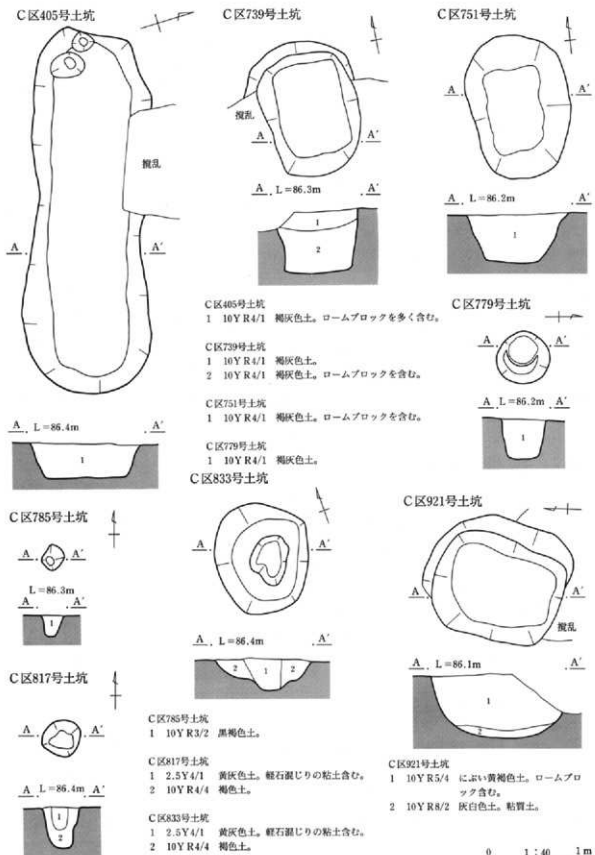
C区927号土坑 (第121・162図、P.L53・67)

位置 X=39210、Y=-57015グリッドに位置する。

規模 短軸70cm、長軸186cmを測り、長方形を呈する。底面までの深さは32cmを測る。

概要 壁はほぼまっすぐに立ち上がる。

遺物 底面から10cm上の覆土中より、土器の皿が出土。



第120図 C区405・739・751・785・817・833・921号土坑

C区952号土坑 (第121図、PL53)

位置 X=39220、Y=-57030グリッド付近に位置する。

規模 短軸90cm、長軸785cmを測り、長方形を呈する。底面までの深さは54cmを測る。

概要 上部からの擾乱により一部削平される。壁はほぼまっすぐに立ち上がる。953・954号土坑と重複する。土層断面から両土坑より新しいことが確認できた。

遺物 染付磁器片、土器片が出土する。

C区953号土坑 (第121図、PL53)

位置 X=39220、Y=-57030グリッド付近に位置する。

規模 東半を952・954号土坑に切られ正確な規模は不明。現状で短軸150cm、長軸162cm。長方形と思われる。底面までの深さは20cmを測る。

概要 952・954号土坑と重複。土層断面から両土坑より古いことが確認できた。

遺物 出土遺物無し。

C区954号土坑 (第121図、PL53)

位置 X=39220、Y=-57030グリッド付近に位置する。

規模 東側を952号土坑によって切られる。現状で短軸66cm、長軸480cm。長方形を呈する。底面までの深さは50cmを測る。

概要 952・953号土坑と重複する。土層断面から953号土坑より新しく、952号土坑より古いことが確認できた。

遺物 出土遺物無し。

C区998号土坑 (第121図、PL53)

位置 X=39225、Y=-57025グリッド付近に位置する。

規模 短軸50cm、長軸280cmを測り、長方形を呈する。底面までの深さは20cmを測る。

概要 重複はなく、単独に占地する。覆土中にAs-Aと思われる軽石を含む。

遺物 施釉陶器片、施釉磁器片、磁石が数点出土する。

C区991号土坑 (第121図)

位置 X=39225、Y=-57020グリッドに位置する。

規模 短軸56cm、長軸275cmを測り、長方形を呈する。底面までの深さは25cmを測る。

概要 992・1096号土坑と重複する。土層断面および調査時の所見から両土坑より新しいことが確認できた。覆土中にAs-Aと思われる軽石を含む。

遺物 焙烙片が出土する。

C区992号土坑 (第121図)

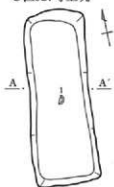
位置 X=39225、Y=-57020グリッド付近に位置する。

規模 北側を991号土坑に切られるため正確な規模は不明。現状で短軸24cm、長軸155cm。長方形を呈する。底面までの深さは22cmを測る。

概要 991号土坑と重複する。土層断面から991号土坑より古いことが確認できた。覆土中にAs-Aと思われる軽石を含む。

遺物 出土遺物無し。

C区927号土坑



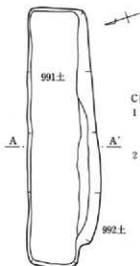
A, L=86.4m A'



C区927号土坑

- 1 10Y R3/1 暗褐色土。ローム粒少量含む。
- 2 10Y R4/4 褐色土。ロームブロック多く含む。
- 3 10Y R4/3 によい黄褐色土。ロームブロック含む。

C区991・992号土坑



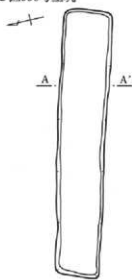
A, L=86.3m A'



A, L=86.3m A'



C区990号土坑



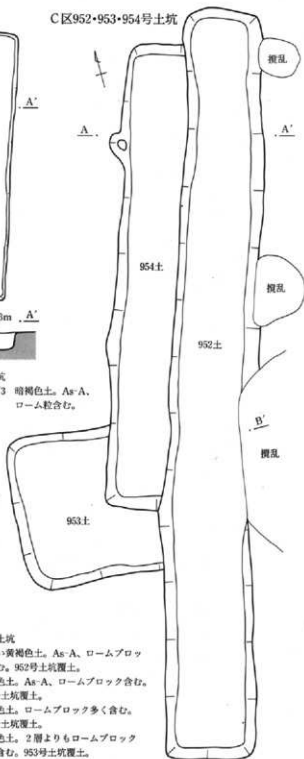
A, L=86.3m A'



C区990号土坑

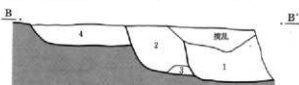
- 1 10Y R3/3 暗褐色土。As-A、ローム粒含む。

C区952・953・954号土坑



C区952・953・954号土坑

- 1 10Y R4/3 によい黄褐色土。As-A、ロームブロック含む。952号土坑覆土。
- 2 10Y R3/3 暗褐色土。As-A、ロームブロック含む。954号土坑覆土。
- 3 10Y R3/4 暗褐色土。ロームブロック多く含む。954号土坑覆土。
- 4 10Y R3/3 暗褐色土。2層よりもロームブロック多く含む。953号土坑覆土。



0 1:40 1m

第121図 C区927・952～954・990～992号土坑

C区995号土坑（第122図）

位置 X=39225、Y=-57020グリッド付近に位置する。

規模 短軸42cm、長軸200cmを測り、長方形を呈する。底面までの深さは19cmを測る。

概要 1096号土坑と重複。同土坑より新しい。覆土中にAs-Aと思われる軽石を含む。

遺物 出土遺物無し。

C区996号土坑（第122図、P L 53）

位置 X=39225、Y=-57020グリッド付近に位置する。

規模 短軸56cm、長軸282cmを測り、長方形を呈する。底面までの深さは17cmを測る。

概要 覆土中にAs-Aと思われる軽石を含む。

遺物 焙烙片が出土する。

C区1000号土坑（第122図）

位置 X=39230、Y=-57040グリッド付近に位置する。

規模 短軸115cm、長軸154cmを測り、不整な楕円形を呈する。底面までの深さは31cmを測る。

概要 覆土中にAs-Aと思われる軽石を含む。

遺物 香炉の破片、施軸陶器片、施軸磁器片、土器片が出土する。

C区1005号土坑（第122図、P L 53）

位置 X=39225、Y=-57015グリッド付近に位置する。

規模 短軸58cm、長軸271cmを測り、長方形を呈する。底面までの深さは24cmを測る。

概要 18号溝をわずかに切る。一部後世の擾乱によって壊されていた。

遺物 出土遺物無し。

C区1011号土坑（第122図、P L 53）

位置 X=39230、Y=-57005グリッドに位置する。

規模 短軸89cm、長軸103cmを測り、楕円形を呈する。底面までの深さは35cmを測る。

概要 壁の周囲に粘土を貼り付け、粘土の内側に桶状のものを埋め込んで使用したと思われる。

遺物 焙烙の破片、施軸磁器片が出土する。

C区1012号土坑（第122図、P L 53）

位置 X=39230、Y=-57005グリッドに位置する。

規模 短軸93cm、長軸102cmを測り、楕円形を呈する。底面までの深さは38cmを測る。

概要 壁の周囲に粘土を貼り付けている。粘土の内側に桶状のものを埋め込んだ痕跡は確認できなかったが、1011号土坑と類似する。

遺物 出土遺物無し。

C区1013号土坑（第123図）

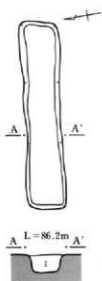
位置 X=39225、Y=-57005グリッドに位置する。

規模 短軸128cm、長軸156cmを測り、楕円形を呈する。底面までの深さは41cmを測る。

概要 壁の周囲に粘土を貼り付けている。粘土の内側に桶状のものを埋め込んだ痕跡は確認できないが、掘方ではわずかな窪みが認められるので、桶状のものを埋め込んだものと思われる。1016・1056号土坑と重複。土層断面より、1016号土坑より古く、1056号土坑より新しいことが確認できた。

遺物 出土遺物無し。

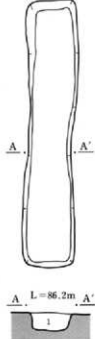
C区995号土坑



C区995号土坑

1 10Y R3/3 暗褐色土。As-A、ローム粒を含む。

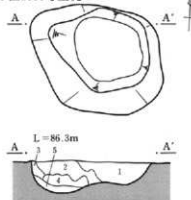
C区996号土坑



C区996号土坑

1 10Y R3/3 暗褐色土。As-A、ローム粒を含む。

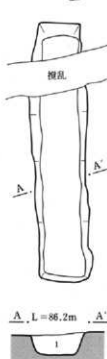
C区1000号土坑



C区1000号土坑

- 1 10Y R3/3 暗褐色土。As-A、ローム粒含む。
- 2 10Y R3/2 黒褐色土。ローム粒、小礫含む。
- 3 10Y R3/3 暗褐色土。ロームブロック少量含む。
- 4 10Y R3/3 暗褐色土。ロームブロック多く含む。
- 5 10Y R6/8 明黄褐色土。ロームブロック多く含む。

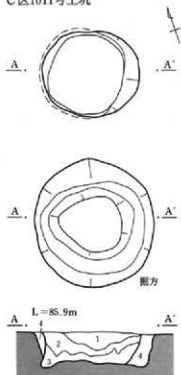
C区1005号土坑



C区1005号土坑

1 10Y R3/3 暗褐色土。ローム粒含む。

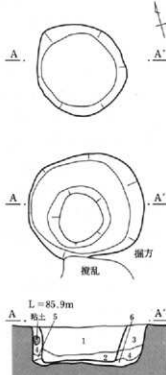
C区1011号土坑



C区1011号土坑

- 1 10Y R2/2 黒褐色土。炭化物、灰白色粘土含む。
- 2 10Y R3/2 黒褐色土。1層より粘土の混入少ない含む。
- 3 10Y R3/2 黒褐色土。多量の炭化物含む。
- 4 10Y R3/2 黒褐色土。灰白色粘土多量に含む。掘方覆土。

C区1012号土坑



C区1012号土坑

- 1 10Y R3/2 黒褐色土。炭化物、ロームブロック少量含む。
- 2 10Y R3/2 黒褐色土。多量のロームブロック、少量の粘土含む。
- 3 10Y R3/3 暗褐色土。粘土ブロック、ロームブロック多く含む。
- 4 10Y R3/3 暗褐色土。粘土ブロック、ロームブロック含む。
- 5 10Y R4/4 褐色土。ロームブロック多く含む。
- 6 10Y R3/3 暗褐色土。灰白色粘土多く含む。

0 1 : 40 1 m

第122図 C区995-996-1000-1005-1011-1012号土坑

C区1014号土坑（第123図、P L 53）

位置 X=39225、Y=-57005グリッドに位置する。

規模 短軸115cm、長軸130cmを測り、楕円形を呈する。底面までの深さは33cmを測る。

概要 底部付近、壁の周囲に粘土を貼り付ける。掘方でわずかな窪みが認められるので、桶状のものを埋め込んだものと思われる。1015・1016号土坑と重複。1016号土坑より古く、1015号土坑より新しい。

遺物 出土遺物無し。

C区1015号土坑（第123図、P L 53）

位置 X=39225、Y=-57005グリッドに位置する。

規模 径90cmを測り、ほぼ円形を呈する。底面までの深さは33cmを測る。

概要 底面、壁の周囲に粘土を貼り付けている。粘土の内側に桶状のものを埋め込んで使用したものと思われる。1014号土坑と重複。調査時の所見から1014号土坑より古いと推定される。

遺物 出土遺物無し。

C区1016号土坑（第123図）

位置 X=39225、Y=-57005グリッドに位置する。

規模 短軸79cm、長軸102cmを測り、隅円長方形を呈する。底面までの深さは16cmを測る。

概要 1013・1014・1056号土坑と重複する。土層断面からこれらの土坑より新しいことが確認できた。

遺物 出土遺物無し。

C区1017号土坑（第123・162図、P L 54・68）

位置 X=39235、Y=-57005グリッドに位置する。

規模 直径100cmの円形を呈する。底面までの深さは27cmを測る。

概要 底面、壁の周囲に粘土を貼り付けている。底面から桶の底板が検出された。土層断面からも桶の痕跡が確認できた。埋没土が黒ずんだような色をしていることから、桶を埋め込み、肥桶のようなものを使用したものと考えられる。

遺物 釜輪？の破片、土器片、不明石製品が出土する。

C区1018号土坑（第124・163図、P L 54・68）

位置 X=39235、Y=-57000グリッドに位置する。

規模 直径100cmの円形を呈する。底面までの深さは30cmを測る。

概要 底面、壁の周囲に粘土を貼り付けている。掘方で桶の痕跡と思われる窪みが確認できた。桶を埋め込み使用したものと思われる。

遺物 磨石が出土する。

C区1019号土坑（第124・163図、P L 54・68）

位置 X=39255、Y=-57040グリッドに位置する。

規模 短軸88cm、長軸145cmを測り、隅円長方形を呈する。底面までの深さは23cmを測る。

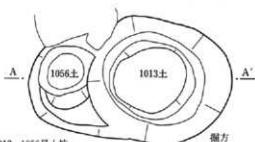
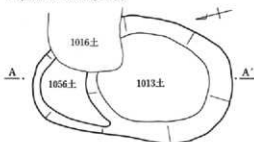
概要 重複はなく、単独に占地する。土層断面より、人為的に埋められたことが確認できた。このような覆土の状況と形状、古銭の出土から土壇墓と思われる。

遺物 古銭、土器片が出土する。

C区1021号土坑（第124図）

位置 X=39235、Y=-57020グリッドに位置する。

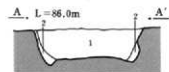
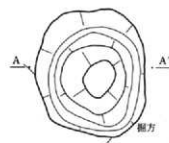
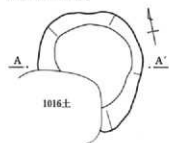
C区1013・1056号土坑



C区1013・1056号土坑

- 掘方
- 10Y R4/4 褐色土。黒色土ブロック、白色粘土、ロームブロック含む。
 - 10Y R5/6 黄褐色土。ロームブロック含む。掘方覆土。
 - 10Y R3/3 暗褐色土。ロームブロック含む。掘方覆土。
 - 10Y R3/2 黒褐色土。白色粘土ブロック混入。掘方覆土。
 - 10Y R3/1 黒褐色土。白色粘土ブロック、ロームブロック含む。1056号土坑覆土。

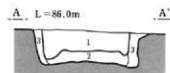
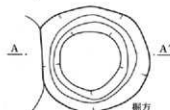
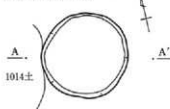
C区1014号土坑



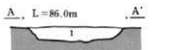
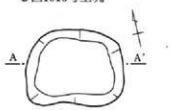
C区1014号土坑

- 10Y R3/2 黒褐色土。黒色土ブロック、白色粘土ブロック、ロームブロックを含む。
- 白色粘土ブロック層。

C区1015号土坑



C区1016号土坑



L=86.0m

C区1017号土坑



L=85.7m

C区1015号土坑

- 10Y R3/2 黒褐色土。As-A、白色粘土ブロック、ロームブロックを含む。
- 白色粘土ブロック層。掘方覆土。
- 10Y R4/4 褐色土。黒褐色土、ロームブロックを多く含む。壁に貼っている。

C区1016号土坑

- 10Y R3/2 黒褐色土。As-A、白色粘土ブロック、ロームブロックを含む。

C区1017号土坑

- 5Y R4/4 におい赤褐色土。鉄分多く含む。
- 7.5Y 3/1 オリーブ黒色土。上部に小礫含む。
- 10Y R4/3 におい黄褐色土。ローム粒含む。
- 10Y R4/1 褐灰色土。ロームブロック含む。
- 桶の痕跡

0 1 : 40 1m

第123図 C区1013~1017・1056号土坑

規模 短軸59cm、長軸188cmを測り、長方形を呈する。底面までの深さは33cmを測る。

概要 1号建物の柱穴に上位を削平される。

遺物 出土遺物無し。

C区1039号土坑（第124・163図、P L 68）

位置 X=39230、Y=-57005グリッドに位置する。

規模 一部攪乱により壊され正確な規模は不明。直径100cm程の円形と思われる。底面までの深さは40cm。

概要 土坑の半分ほどを上部からの攪乱により削平される。底面にわずかな凹みがあり、桶状のものを埋め込んだものと思われる

遺物 磁器小杯、器種不明土器、施釉陶器片、焙烙底部の破片、挿鉢片が出土する。

C区1056号土坑（第123図）

位置 X=39225、Y=-57005グリッドに位置する。

規模 短軸59cm、長軸75cm（残存部分で計測）を測り、楕円形と思われる。底面までの深さは27cmを測る。

概要 1013・1016号土坑と重複する。土層断面から両土坑より古いことが確認できた。

遺物 出土遺物無し。

C区1059号土坑（第124図、P L 54）

位置 X=39235、Y=-57040グリッドに位置する。

規模 直径105cm程の円形を呈する。底面までの深さは41cmを測る。

概要 壁の周囲に粘土を貼り付けている。掘方で窪みを確認したので、桶状のものを埋め込んだものと思われる。

遺物 染付湯呑底部の破片、かわらけ底部の破片、施釉磁器片、焙烙片、磁石が出土する。

C区1065号土坑（第125図、P L 54）

位置 X=39245、Y=-57035グリッドに位置する。

規模 短軸139cm、長軸152cmを測り、ほぼ円形を呈する。底面までの深さは60cmを測る。

概要 上部がラッパ状に開く掘方を呈する。土層断面より人為的埋没であることが確認できた。

遺物 出土遺物無し。

C区1067号土坑（第125・163図、P L 54・68）

位置 X=39245、Y=-57035グリッドに位置する。

規模 直径115cm程の円形を呈する。底面までの深さは30cmを測る。

概要 底面に粘性の強い粘土を貼り付けている。掘方で窪みを確認したので、桶状のものを埋め込んだと思われる。

遺物 染付磁器片、焙烙片、土鍋片、石臼破片、磨石が出土する。

C区1076号土坑（第125・163図、P L 54・68）

位置 X=39235、Y=-57035グリッドに位置する。

規模 短軸124cm、長軸172cmを測り、隅隅長方形を呈する。底面までの深さは65cmを測る。

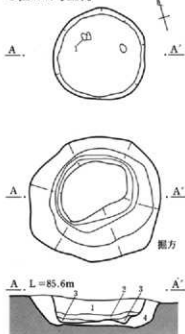
概要 上部を削平される。古銭を伴うことから土墳墓と判断した。

遺物 覆土中より古銭が出土。

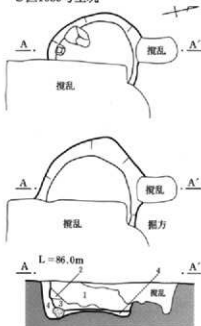
C区1081号土坑（第125図、P L 54）

位置 X=39225、Y=-57010グリッドに位置する。

C区1018号土坑



C区1039号土坑

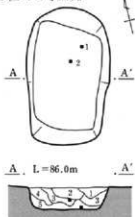


C区1039号土坑

- 1 10Y R3/3 暗褐色土。As-A、炭化物、ロームブロックを少量含む。
- 2 10Y R3/3 暗褐色土。ロームブロックを少量含む。
- 3 10Y R3/3 暗褐色土。炭化物、ローム粒を含む。
- 4 10Y R3/3 暗褐色土。ロームブロックを多く含む。掘方覆土。

0 1 : 40 1m

C区1019号土坑



C区1021号土坑

- 1 10Y R3/3 暗褐色土。ローム粒を含む。
- 2 10Y R4/4 褐色土。ロームブロックを含む。

C区1018号土坑

- 1 2.5Y3/3 暗オリーブ褐色土。炭化物、ローム粒を少量含む。
- 2 2.5Y3/3 暗オリーブ褐色土。細粒の炭化物を多く含む。
- 2.5Y3/2 黒褐色土。やや砂質。ローム粒を少量含む。
- 4 10Y R3/3 暗褐色土。ロームブロック多く含む。掘方覆土。

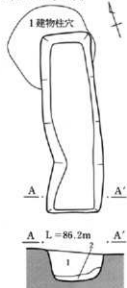
C区1019号土坑

- 1 10Y R3/4 暗褐色土。砂質でしまりやや弱い。ローム粒を含む。
- 2 10Y R3/3 暗褐色土。1層よりも黒色味強い。炭化物を含む。
- 3 10Y R4/3 ぶい黄褐色土。炭化物、ロームブロックを含む。
- 4 10Y R5/4 ぶい黄褐色土。ロームブロックを多く含む。
- 5 2.5Y7/4 浅黄色土。わずかに粘質。

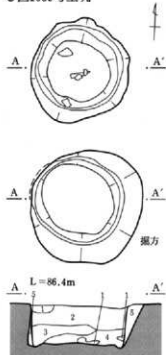
C区1059号土坑

- 1 10Y R4/6 褐色土。ロームブロック含む。
- 2 10Y R3/3 暗褐色土。やや砂質。ロームブロック含む。
- 3 10Y R3/2 黒褐色土。ロームブロック含む。
- 4 10Y R3/3 暗褐色土。ロームブロック含む。
- 5 10Y R3/1 黒褐色土。ロームブロック、白色粘土を含む。

C区1021号土坑



C区1059号土坑



第124図 C区1018・1019・1021・1039・1059号土坑

規模 短軸62cm、長軸306cmを測り、長方形を呈する。底面までの深さは32cmを測る。

概要 壁はほぼ垂直に立ち上がる。上部を攪乱により削平される。

遺物 出土遺物無し。

C区1087号土坑（第125図、P L 55）

位置 X=39250、Y=-57035グリッドに位置する。

規模 直径160cm程の不整形円形を呈する。底面までの深さは62cmを測る。

概要 重複はなく、単独に占地する。底面中心がわずかに窪む掘方を呈する。

遺物 出土遺物無し。

C区1094号土坑（第125図、P L 55）

位置 X=39260、Y=-57025グリッドに位置する。

規模 短軸104cm、長軸162cmを測り、隅円長方形を呈する。底面までの深さは123cmを測る。

概要 壁はほぼ垂直に立ち上がる。土墳墓と推測される。

遺物 出土遺物無し。

C区1096号土坑（第126・163図、P L 68）

位置 X=39225、Y=-57020グリッドに位置する。

規模 短軸60cm、長軸は残存部分で148cm、隅円長方形と思われる。底面までの深さは20cmを測る。

概要 攪乱により削平される。古墳時代住居（4号住居）、991・995号土坑と重複する。土層断面から住居より新しいことが確認できた。調査時の所見より、991・995号土坑より古いと思われる。

遺物 板破片、磁石が出土する。

C区1109号土坑（第126・164図、P L 55・68）

位置 X=39240、Y=-57035グリッドに位置する。

規模 大きさは、推定で短軸71cm、長軸110cmを測り、長方形と思われる。

概要 古墳時代住居（1号住居）と重複する。住居床面付近で検出したので、深さは確認することができなかった。住居より新しい遺構である。形状と古銭の出土から土墳墓と思われる。

遺物 古銭が出土する。

C区1115号土坑（第126図、P L 55）

位置 X=39255、Y=-57030グリッド付近に位置する。

規模 短軸92cm、長軸131cmを測り、長方形を呈する。底面までの深さは97cmを測る。

概要 重複はなく、単独に占地する。土墳墓と推測される。

遺物 出土遺物無し。

C区1116号土坑（第126図、P L 55）

位置 X=39260、Y=-57030グリッドに位置する。

規模 短軸64cm、長軸108cm（残存部分で計測）を測り、隅円長方形と思われる。底面までの深さは42cmを測る。

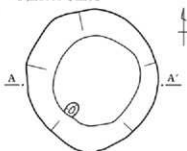
概要 重複はなく、単独に占地する。土墳墓と推測される。

遺物 出土遺物無し。

C区1119号土坑（第126図）

位置 X=39210、Y=-57005グリッドに位置する。

C区1065号土坑



A, L = 86.3m A'



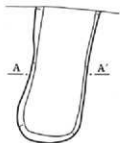
C区1065号土坑

- 1 10Y R4/3 におい黄褐色土。ロームブロックを含む。
- 2 10Y R3/2 黒褐色土。ロームブロックを少量含む。
- 3 10Y R3/3 暗褐色土。しまり弱い。
- 4 10Y R5/4 におい黄褐色土。しまり強い。
- 5 10Y R4/3 におい黄褐色土。ロームブロックを少量含む。

C区1081号土坑



覆瓦



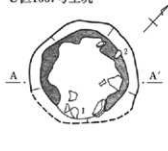
A, L = 86.1m A'



C区1081号土坑

- 1 10Y R4/4 褐色土。ロームブロック多く含む。

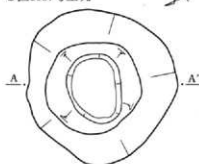
C区1067号土坑



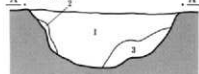
A, L = 86.2m A'



C区1087号土坑



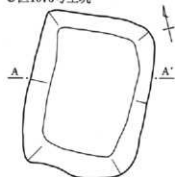
A, L = 86.2m A'



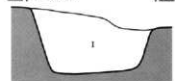
C区1087号土坑

- 1 10Y R3/3 暗褐色土。ローム・灰色粘土・黒色土ブロック雑多に含む。
- 2 10Y R3/3 暗褐色土。灰色粘土ブロック多量に含む。
- 3 10Y R3/3 暗褐色土。灰色粘土・ロームブロック多量に含む。

C区1076号土坑



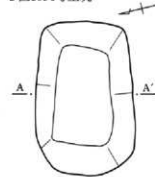
A, L = 86.2m A'



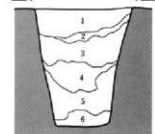
C区1076号土坑

- 1 10Y R4/4 褐色土。黒褐色土。ロームブロックを含む。

C区1094号土坑



A, L = 86.4m A'



C区1094号土坑

- 1 10Y R3/3 暗褐色土。ローム、炭化物を含む。
- 2 10Y R3/3 暗褐色土。ロームわずかに含む。
- 3 10Y R4/3 におい黄褐色土。ロームブロック少量含む。
- 4 10Y R3/3 暗褐色土。ロームブロック若干含む。
- 5 10Y R4/3 におい黄褐色土。ロームブロック少量含む。
- 6 10Y R4/3 におい黄褐色土。ロームわずかに含む。

0 1 : 40 1m

規模 短軸120cm、長軸136cm(残存部分で計測)を測り、隅円長方形と思われる。底面までの深さは19cmを測る。

概要 重複はなく、単独に占地する。

遺物 出土遺物無し。

C区1120号土坑(第119図)

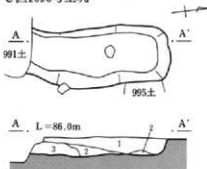
位置 X=39230、Y=-57050グリッド付近に位置する。

規模 短軸44cm、長軸212cm(残存部分で計測)を測り、不整な長方形を呈する。底面までの深さは21cmを測る。

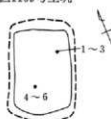
概要 146号土坑と重複する。新旧関係は不明である。

遺物 陶磁器片が出土する。

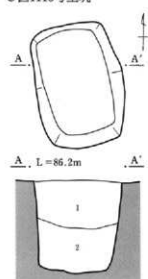
C区1096号土坑



C区1109号土坑



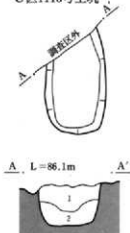
C区1115号土坑



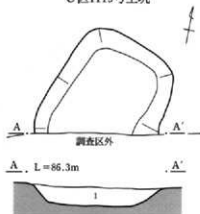
C区1096号土坑

- 1 10Y R3/2 黒褐色土。灰色粘土、ロームブロックを少量含む。
- 2 10Y R3/2 黒褐色土。黒色土ブロック、ロームブロックを含む。
- 3 10Y R3/3 暗褐色土。ローム粒を含む。

C区1116号土坑



C区1119号土坑



C区1115号土坑

- 1 10Y R4/6 褐色土。黒色土ブロック、ロームブロック多く含む。
- 2 10Y R4/3 におい黄褐色土。黒色土ブロック、褐灰色土ブロック、ロームブロックを含む。

C区1116号土坑

- 1 10Y R4/3 におい黄褐色土。黒色土ブロック、ローム粒を含む。
- 2 10Y R4/2 灰黄褐色土。やや砂質。ロームブロックを含む。

C区1119号土坑

- 1 10Y R3/2 黒褐色土。ロームブロックを少量含む。

0 1:40 1m

第126図 C区1096・1109・1115・1116・1119号土坑

D区土坑

D区1号土坑 (第127・164図、PL69)

位置 X=39220、Y=-56960グリッド付近に位置する。

規模 短軸60cm(残存部分で計測)、長軸120cmを測る。楕円形と思われる。底面までの深さは38cmを測る。

概要 水道管の埋設溝により、土坑の半分ほどが削平される。

遺物 磁器碗、陶器碗の破片が出土する。

D区2号土坑 (第127・164図、PL69)

位置 X=39220、Y=-56970グリッド付近に位置する。

規模 短軸180cm、長軸232cmを測る。隅円長方形を呈する。底面までの深さは73cmを測る。

概要 3号溝と重複する。土層断面から3号溝より新しいことが確認できた。

遺物 磁器鉢、陶器碗、石臼片が出土する。

(5) 溝

A区溝

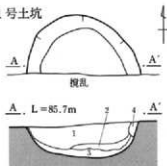
A区15号溝 (第128・164図、PL69)

位置 X=39175~39200、Y=-57155グリッドに位置する。

規模 長さ28.90m(検出部分で計測)、幅は最大で1.40mを測る。底面までの深さは0.82mを測る。

概要 走行方向は、南北で、364号土坑、23・25号溝と重複する。各遺構との新旧関係は土層断面からは確認できなかった。覆土中にAs-Aを含む。地境を区画する溝と思われる。

D区1号土坑



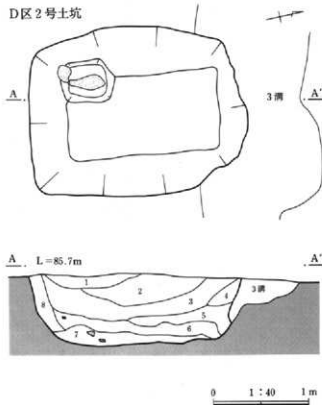
D区1号土坑

- 1 10Y R3/2 黒褐色土。砂質。しまり弱い。
- 2 10Y R2/1 黒色土。砂質。黒褐色土を含む。
- 3 10Y R2/1 黒色土。ロームブロックを含む。
- 4 10Y R7/6 明黄褐色土。ロームブロック。

D区2号土坑

- 1 10Y R6/4 におい黄褐色土。しまり弱い。ローム粒を含む。
- 2 10Y R6/4 におい黄褐色土。ロームブロック多く含む。
- 3 10Y R4/3 におい黄褐色土。ローム粒少量含む。
- 4 10Y R4/3 におい黄褐色土。ローム粒多く含む。
- 5 10Y R5/6 黄褐色土。ロームブロック多く含む。
- 6 10Y R4/1 褐色土。ロームブロック少量含む。
- 7 10Y R3/3 暗褐色土。粘質。しまり強い。
- 8 10Y R5/6 黄褐色土。ロームブロック多く含む。

D区2号土坑



第127図 D区1・2号土坑

遺物 陶器碗・皿、染付磁器片、砥石が出土する。

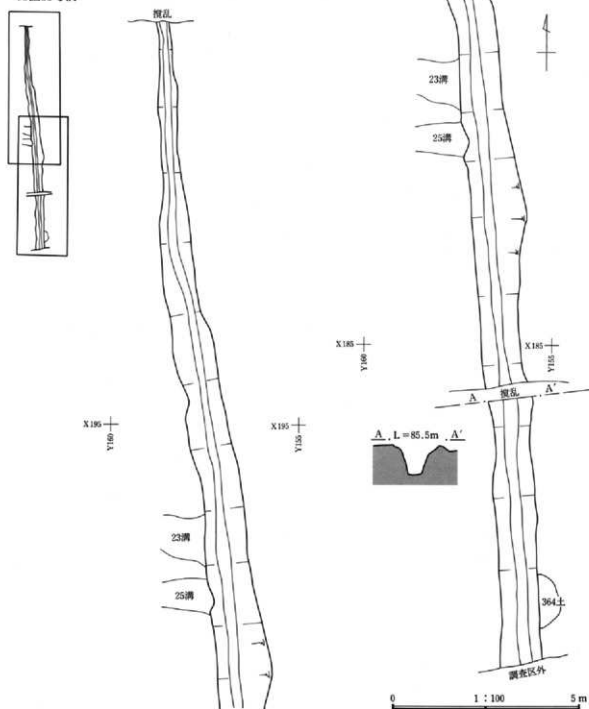
A区16号溝 (第128図)

位置 X=39175~39200、Y=-57140~57150グリッドに位置する。

規模 長さ22.08m(検出部分で計測)、幅は最大で0.90mを測る。底面までの深さは0.30mを測る。

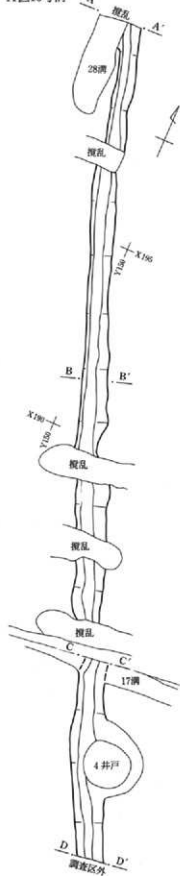
概要 走行方向は、南北方向で、17・28号溝・4号井戸と重複する。土層断面から17・28号溝、4号井戸より古いことが確認できた。覆土中にAs-Aと思われる軽石を含む。地境を区画する溝と思われる。

A区15号溝



第128図 A区15号溝

A区16号溝



A区16号溝

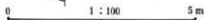
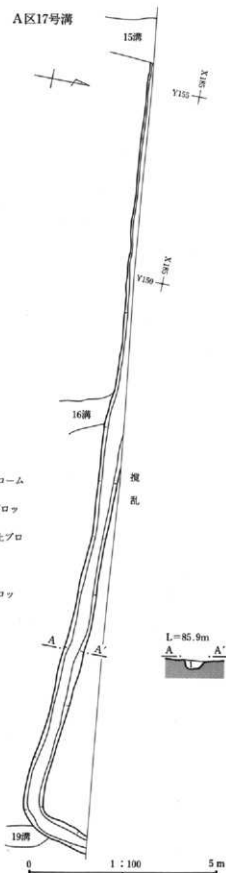
- 1 10Y R3/3 暗褐色土。As-A、ロームブロックを含む。
- 2 10Y R3/3 暗褐色土。ロームブロックを含む。
- 3 7.5Y R4/2 灰褐色土。As-C混土ブロック含む。

A区17号溝

- 1 10Y R3/3 暗褐色土。ロームブロックを含む。



A区17号溝



第129図 A区16・17号溝

遺物 施釉陶器片、土器片が出土する。

A区17号溝 (第129図)

位置 X=39180、Y=-57135～-57150グリッドに位置する。

規模 長さ21.20m(検出部分で計測)、幅0.54mを測る。底面までの深さは0.20mを測る。

概要 走行方向は、東西方向で、15・16・19号溝と重複する。土層断面からは新旧関係を確認できなかったが、調査時の所見より15・16・19溝と同時期と考える。覆土中にAs-Aを含む。地境を区画する溝と思われる。また覆土の状況と位置関係から、39号溝と同一の可能性が高い。

遺物 施釉陶器片、摺鉢片が出土する。

A区18号溝 (第130図)

位置 X=39180～39185、Y=-57130グリッドに位置する。

規模 長さ3.98m(検出部分で計測)、幅は最大で0.60mを測る。底面までの深さは0.25mを測る。

概要 走行方向は南北で、19・20号溝と並行して走る。北側は搬路のため未調査。

遺物 陶磁器片が出土する。

A区19号溝 (第130図)

位置 X=39180、Y=-57130～-57135グリッドに位置する。

規模 長さ3.24m(検出部分で計測)、幅は最大で0.52mを測る。底面までの深さは0.34mを測る。

概要 走行方向は、南北方向で、18・20号溝と並行して走る。17号溝と重複する。土層断面からの新旧関係は確認できなかったが、調査時の所見より17号溝と同時期のものとする。

遺物 施釉陶器片、焼締陶器片、青磁器片、摺鉢片、焙烙片が出土する。

A区20号溝 (第130図)

位置 X=39180～39185、Y=-57130グリッドに位置する。

規模 長さ3.90m(検出部分で計測)、幅は最大で0.52mを測る。底面までの深さは0.24mを測る。

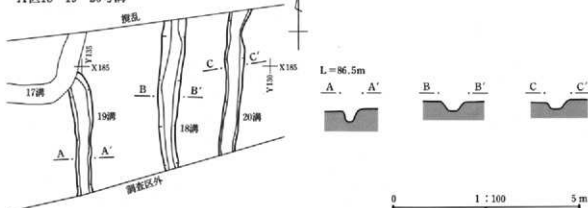
概要 走行方向は、南北方向で、18・19号溝と並行して走る。北側は搬路のため未調査であり、全てを検出することはできなかった。

遺物 出土遺物無し。

A区21号溝 (第131図)

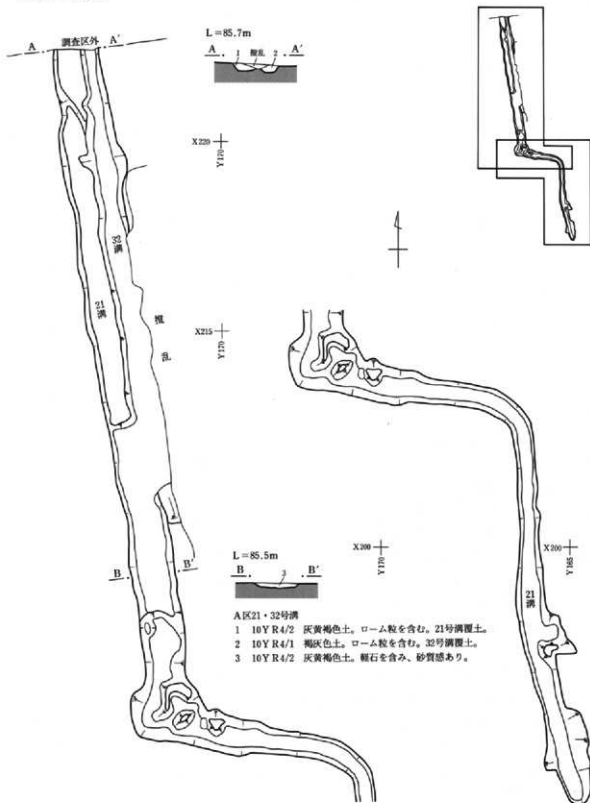
位置 X=39190～39220、Y=-57160～-57170グリッドに位置する。

A区18・19・20号溝



第130図 A区18～20号溝

A区21・32号溝



0 1 : 100 5 m

第131図 A区21・32号溝

規模 長さ34.00m(検出部分で計測)、幅は最大で1.20mを測る。底面までの深さは0.20mを測る。

概要 走行方向は、南北方向で、途中、クランク状になり東西方向に走る。上部からの攪乱により一部大きく削平される。北半部で32号溝と重複する。調査時の所見より32号溝と同時期のものと考えられる。

遺物 焙烙片、土器片が出土する。

A区23号溝(第132・164図、P.L.69)

位置 X=39190~39205、Y=-57155~-57160グリッド付近に位置する。

規模 縦14m、横5mの逆「コ」の字状に廻る。最大幅で1.10m。深さは最も残りのよい部分で0.52m。

概要 南北に長い逆「コ」の字状。南の辺は東側を走る15号溝に取り付く。北側は攪乱に切られているため不明。15・25号溝と重複するが、新旧関係は不明。

遺物 陶器碗が出土した。

A区25号溝(第132図)

位置 X=39190~39200、Y=-57155~-57160グリッドに位置する。

規模 長さ13.50m(検出部分で計測)、最大幅0.90mを測る。底面までの深さは0.33mを測る。

概要 走行方向は南北で、南側で「L」字状に曲がって15溝にぶつかる。23号溝とも重複するが、それぞれの新旧関係は不明。

遺物 出土遺物無し。

A区26号溝(第132図)

位置 X=39215~39220、Y=-57160グリッドに位置する。

規模 長さ3.52m(検出部分で計測)、幅0.75mを測る。底面までの深さは0.29mを測る。

概要 走行方向は、南北。南端を上部からの攪乱によって大きく破壊されているため、詳細は不明。

遺物 出土遺物無し。

A区27号溝(第132図)

位置 X=39215~39220、Y=-57155グリッド付近に位置する。

規模 長さ3.46m(検出部分で計測)、幅0.80mを測る。底面までの深さは0.45mを測る。

概要 走行方向は、南北。南端を上部からの攪乱によって大きく破壊されているため、詳細は不明。位置関係から、15号溝につながる可能性がある。

遺物 出土遺物無し。

A区28号溝(第132図)

位置 X=39195~39220、Y=-57150グリッドに位置する。

規模 中央部を攪乱によって大きく破壊されている。第132図には、攪乱部分を省略して示した。長さは推定で24.50m、幅は最大で1.20mを測る。底面までの深さは0.33mを測る。

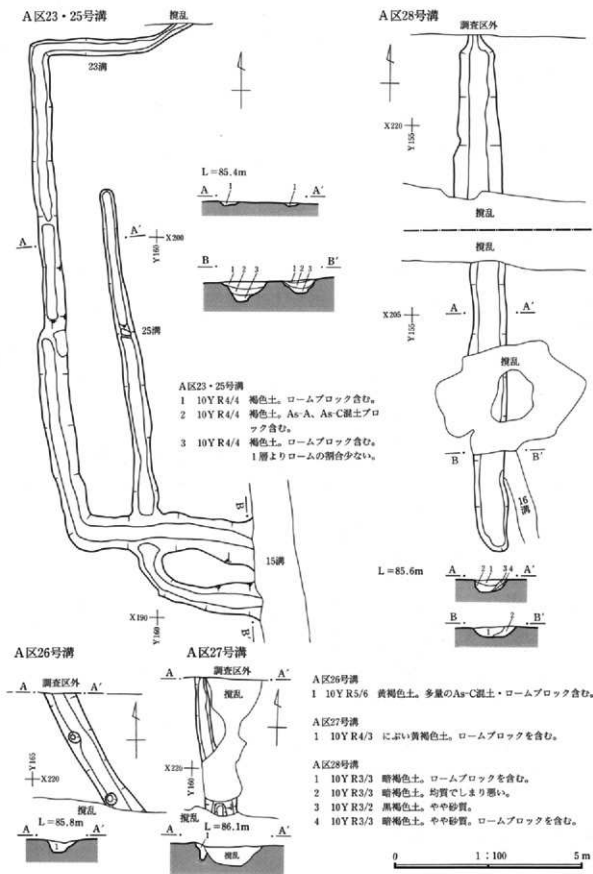
概要 走行方向は、南北方向で、途中、上部からの攪乱により一部大きく削平されるため、残存は良好でない。16・29号溝と重複する。土層断面から16号溝より新しいことが確認できた。29号溝との新旧関係は土層断面から確認できなかったが、調査時の所見により29号溝より新しいと考える。

遺物 土器片が出土する。

A区29号溝(第133・164・165図、P.L.47・69・70)

位置 X=39215、Y=-57135~-57150グリッドに位置する。

規模 長さ19.90m(検出部分で計測)、幅1.20mを測る。底面までの深さは0.61mを測る。



第132図 A区23・25～28号溝

概要 東西両端で「L」字状に曲がり、方形に区画をするものと思われるが、南側を上部からの攪乱により大きく削平されるため、確認することができなかった。28号溝と重複する。新旧関係は土層断面からは確認できなかったが、調査時の所見により28号溝より古いと考える。

遺物 磁器碗、陶器碗・灯明皿、土鍋、焙烙、瓦片、キセル、磨石が出土する。

A区32号溝 (第131図)

位置 X=39210~39220、Y=-57170グリッドに位置する。

規模 長さ12.7m(検出部分で計測)、幅0.90mを測る。底面までの深さは0.20mを測る。

概要 21号溝と重複する。上部が攪乱されるため、土層断面から新旧関係は確認できなかったが、検出時の形状及び調査時の所見より21号溝と同時期のものとする。

遺物 出土遺物無し。

A区36号溝 (第134・135・165図、P.L47・70)

位置 X=39190~39200、Y=-57130グリッドに位置する。

規模 長さ10.60m(残存部分で計測)、最大幅1.70mを測る。底面までの深さは0.35mを測る。

概要 走行方向は、南北。北側が上部からの攪乱により一部大きく削平されるため、残存は良好でない。壁の立ち上がりも周辺からの攪乱により不明瞭な部分が多い。38号溝と重複する。土層断面から38号溝より新しいことが確認できた。

遺物 陶器碗、にぎりバサミ、施釉陶器片、焼締陶器片、染付磁器片、土器片が出土する。

A区37号溝 (第134・135・165・166図、P.L47・70)

位置 X=39190~39215、Y=-57125~-57130グリッドに位置する。

規模 長さ28.50m(検出部分で計測)、最大幅1.15mを測る。底面までの深さは0.30mを測る。

概要 走行方向は、南北方向で、上部からの攪乱により一部削平される。39号溝と重複する。土層断面から39号溝より新しいことが確認できた。

遺物 磁器碗・猪口、陶器碗・皿・徳利、十能、瓦片、砥石が出土する。

A区38号溝 (第134・135・166図、P.L47・70)

位置 X=39185~39220、Y=-57130~-57135グリッドに位置する。

規模 長さ35.50m(検出部分で計測)、最大幅2.00mを測る。底面までの深さは0.40mを測る。

概要 走行方向は、南北方向で、上部からの攪乱により一部削平される。36・42号溝と重複する。土層断面から36・42号溝より古いことが確認できた。

遺物 陶器碗・灯明受皿・搦鉢、施釉陶器片、染付磁器片、焙烙片、土器片、砥石、磨石が出土する。

A区39号溝 (第134・135・166図、P.L47・70)

位置 X=39185~39200、Y=-57130グリッドに位置する。

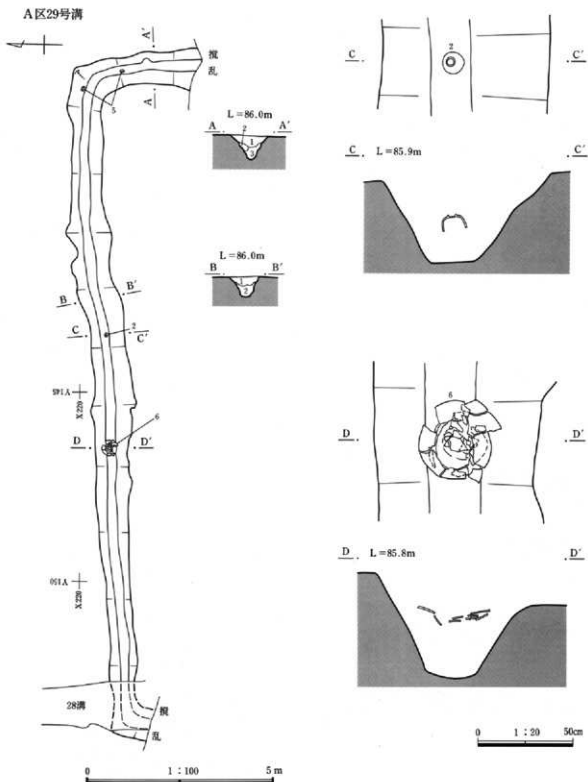
規模 長さ15.80m(検出部分で計測)、最大幅0.70mを測る。底面までの深さは0.30mを測る。

概要 走行方向は、南北方向で、上部からの攪乱により一部削平される。37号溝と重複する。土層断面から37号溝より古いことが確認できた。覆土中にAs-Aを含む。覆土と位置から、17号溝と同一の可能性が高い。

遺物 陶器片口鉢・皿・香炉・乗燵、施釉陶器片、染付磁器片、砥石が出土する。

A区42号溝 (第134・135図、P.L47)

位置 X=39195~39210、Y=-57130グリッドに位置する。

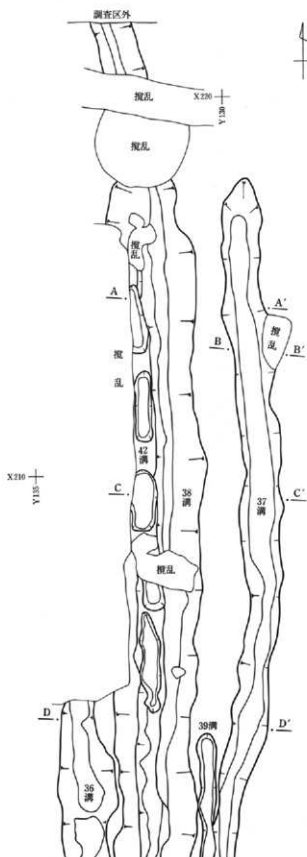


A区29号溝

- 1 10Y R3/2 黒褐色土。As-Aと思われる軽石、ロームブロックを含む。
- 2 10Y R3/2 黒褐色土。ロームブロックを含む。
- 3 10Y R4/3 濃い黄褐色土。ロームブロックを含む。

第133図 A区29号溝

A区36·37·38·39·42号沟

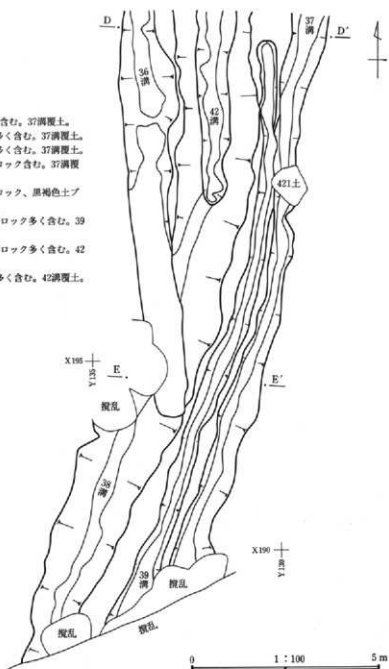


第134图 A区36~39·42号沟(1)

A区36・37・38・39・42号溝

A区36～39・42号溝

- 1 10Y R3/2 黒褐色土。As-A、ローム粒含む。37溝覆土。
- 2 10Y R3/3 暗褐色土。ロームブロック多く含む。37溝覆土。
- 3 10Y R3/2 黒褐色土。ロームブロック多く含む。37溝覆土。
- 4 10Y R4/3 にぶい黄褐色土。ロームブロック含む。37溝覆土。
- 5 10Y R4/3 にぶい黄褐色土。ロームブロック、黒褐色土ブロック多く含む。38溝覆土。
- 6 10Y R3/3 暗褐色土。As-A、ロームブロック多く含む。39溝覆土。
- 7 10Y R3/1 黒褐色土。As-A、ロームブロック多く含む。42溝覆土。
- 8 10Y R3/2 黒褐色土。ロームブロック多く含む。42溝覆土。



第135図 A区36～39・42号溝(2)

規模 長さ18.80m(検出部分で計測)、最大幅1.00mを測る。底面までの深さは0.50mを測る。

概要 走行方向は、南北方向で、上部からの攪乱により一部削平される。38号溝と重複する。土層断面から38号溝より新しいことが確認できた。覆土中にAs-Aを含む。

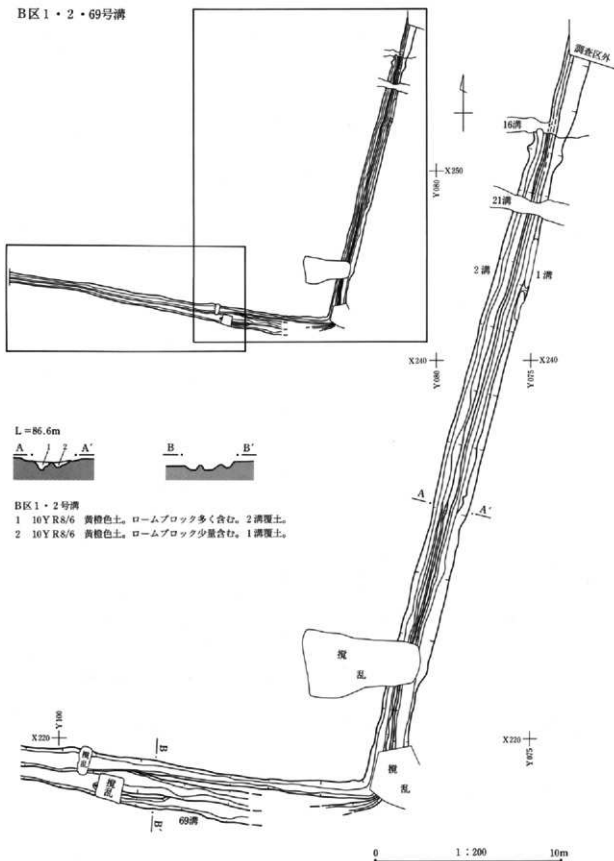
遺物 出土遺物無し。

B区溝

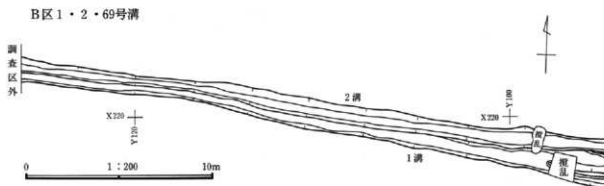
B区1号溝(第136・137・166図、P.L.49・70)

位置 X=39215～39255、Y=-57070～-57125グリッドに位置する。

B区1・2・69号溝



第136図 B区1・2・69号溝(1)



第137図 B区1・2・69号溝(2)

規模 長さ84.00m(検出部分で計測)、最大幅1.40mを測る。底面までの深さは0.38mを測る。

概要 走行方向は、南北・東西方向で、2号溝と並行して走る。覆土中にはAs-B混土を含む。2・16・21・69号溝と重複する。土層断面から2号溝より新しいことが確認できた。16・21・69号溝土層断面からの新旧関係は確認できなかったが、調査時の所見より21号溝より新しく、16号溝より古く、69号溝と同時期のものと考えられる。地境を区画する溝と思われる。

遺物 施釉陶器片、染付磁器片、土器片、砥石が出土する。

B区2号溝(第136・137図、PL49)

位置 X=39215~39250、Y=-57070~-57125グリッドに位置する。

規模 長さ78.00m(検出部分で計測)、幅1.10mを測る。底面までの深さは0.52mを測る。

概要 走行方向は、南北・東西方向で、1号溝と並行して走る。覆土中にはAs-B混土を含む。1・16・21号溝と重複。土層断面の観察から1号溝より古いことが確認できた。また、調査時の所見より、16号溝より古く、21号溝と同時期と推定される。地境を区画する溝と思われる。

遺物 出土遺物無し。

B区16号溝(第138図)

位置 X=39250、Y=-57070~-57085グリッドに位置する。

規模 長さ17.30m(検出部分で計測)、最大幅1.00mを測る。底面までの深さは0.38mを測る。

概要 走行方向は、東西方向で、1・2号溝と重複する。土層断面からの新旧関係は確認できなかったが、調査時の所見より1・2号溝より新しいものと考えられる。

遺物 磁器片が出土する。土師器片も出土するが、この遺構には伴わないと考えられる。

B区17号溝(第136・166・167図、PL70・71)

位置 X=39220~39250、Y=-57090~-57095グリッドに位置する。

規模 長さ28.30m(検出部分で計測)、最大幅1.20mを測る。底面までの深さは0.38mを測る。

概要 走行方向は、南北方向で、21号溝と重複する。土層断面からの新旧関係は確認できなかったが、調査時の所見より21号溝より新しいものと考えられる。

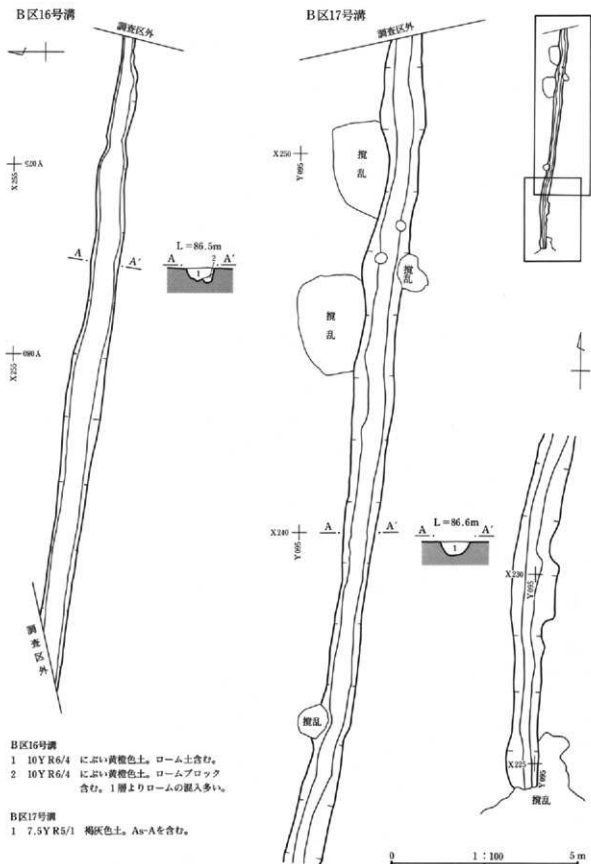
遺物 陶器碗・鉢・皿のほか、施釉陶器片、染付磁器片、土鍋片、焙烙片、土器片、不明石製品が出土する。

B区21号溝(第139・167図、PL71)

位置 X=39245~39250、Y=-57070~-57095グリッドに位置する。

規模 長さ24.50m(検出部分で計測)、最大幅1.50mを測る。底面までの深さは0.75mを測る。

概要 走行方向は、東西方向で、1・2・17号溝と重複する。C区では検出されていない。掘方は薬研を呈



第138図 B区16・17号溝

B区69号溝 (第136・137図)

位置 X=39215、Y=-57090~-57095グリッドに位置する。

規模 長さ8.50m(検出部分で計測)、最大幅1.10mを測る。底面までの深さは0.24mを測る。

概要 走行方向は、東西方向で、1号溝と重複する。土層断面からの新旧関係は確認できなかったが、調査時の所見より1号溝と同時期のものと考えられる。

遺物 出土遺物無し。

C区溝

C区10号溝 (第141図)

位置 X=39210~39215、Y=-57040~-57070グリッドに位置する。

規模 長さ24.00m(検出部分で計測)、最大幅0.80mを測る。底面までの深さは0.24mを測る。

概要 走行方向は、東西方向である。覆土中にはAs-Aと思われる軽石を含む。15号溝と並行して走る。土層断面から15号溝より古いことが確認できた。

遺物 出土遺物無し。

C区12号溝 (第140図、P L 55)

位置 X=39205~39215、Y=-57035グリッドに位置する。

規模 長さ7.00m(残存部分で計測)、最大幅0.80mを測る。底面までの深さは0.15mを測る。

概要 走行方向は、地形が南から北へ向かう傾斜のため、南から北への走行と考えられる。上部からの攪乱により削平されるため、残存状態は良好でない。覆土中にはAs-Aと思われる軽石を含む。13号溝と並行して走る。

遺物 磁石が出土する。

C区13号溝 (第140図、P L 55)

位置 X=39205~39215、Y=-57030~-57035グリッドに位置する。

規模 長さ8.44m(残存部分で計測)、最大幅0.70mを測る。底面までの深さは0.20mを測る。

概要 走行方向は、地形が南から北へ向かう傾斜のため、南から北への走行と考えられる。上部からの攪乱により削平されるため、残存状態は良好でない。覆土中にはAs-Aと思われる軽石を含む。12号溝と並行して走る。

遺物 出土遺物無し。

C区14号溝 (第140図、P L 55)

位置 X=39200~39210、Y=-57030グリッドに位置する。

規模 長さ6.50m(残存部分で計測)、最大幅0.90mを測る。底面までの深さは0.15mを測る。

概要 走行方向は、地形が南から北へ向かう傾斜のため、南から北への走行と考えられる。上部からの攪乱により大きく削平されるため、残存状態は良好でない。覆土中にはAs-Aと思われる軽石を含む。15号溝と並行して走る。

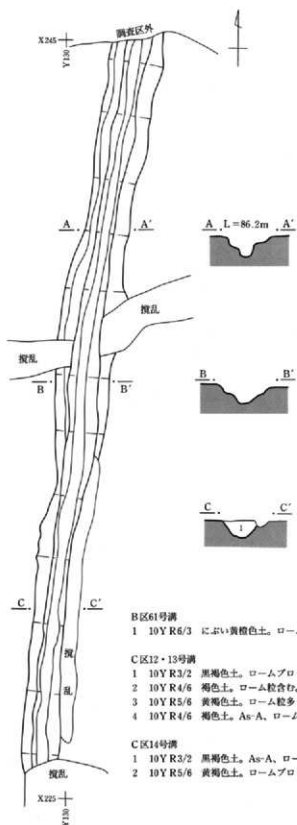
遺物 出土遺物無し。

C区15号溝 (第141図、P L 55)

位置 X=39205~39220、Y=-57030~-57070グリッドに位置する。

規模 長さ54.00(検出部分で計測)、最大幅1.50mを測る。底面までの深さは0.49mを測る。

B区61号溝



B区61号溝

1 10Y R6/3 ぶい黄褐色土。ロームブロック含む。

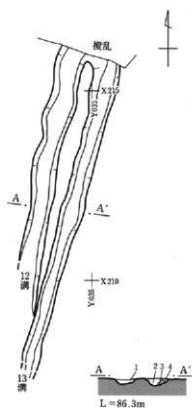
C区12・13号溝

- 1 10Y R3/2 黒褐色土。ロームブロック含む。
- 2 10Y R4/6 褐色土。ローム粒含む。
- 3 10Y R5/6 黄褐色土。ローム粒多く含む。
- 4 10Y R4/6 褐色土。As-A、ローム粒含む。

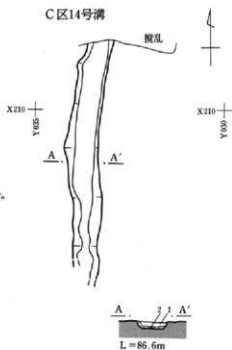
C区14号溝

- 1 10Y R3/2 黒褐色土。As-A、ローム粒含む。
- 2 10Y R5/6 黄褐色土。ロームブロック多く含む。

C区12・13号溝

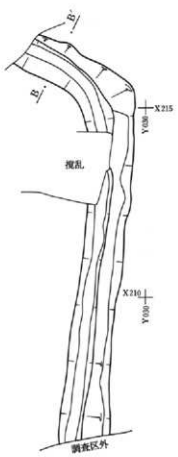
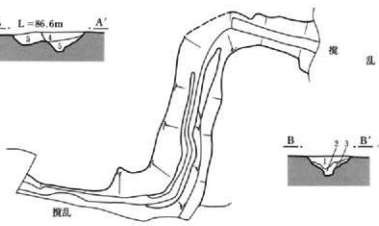
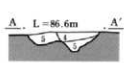
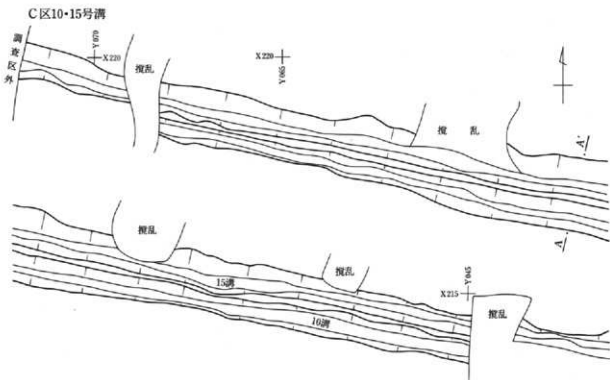


C区14号溝

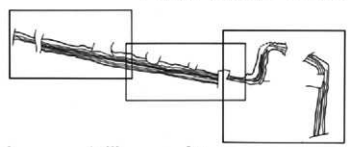


0 1 : 100 5m

第140図 B区61、C区12～14号溝

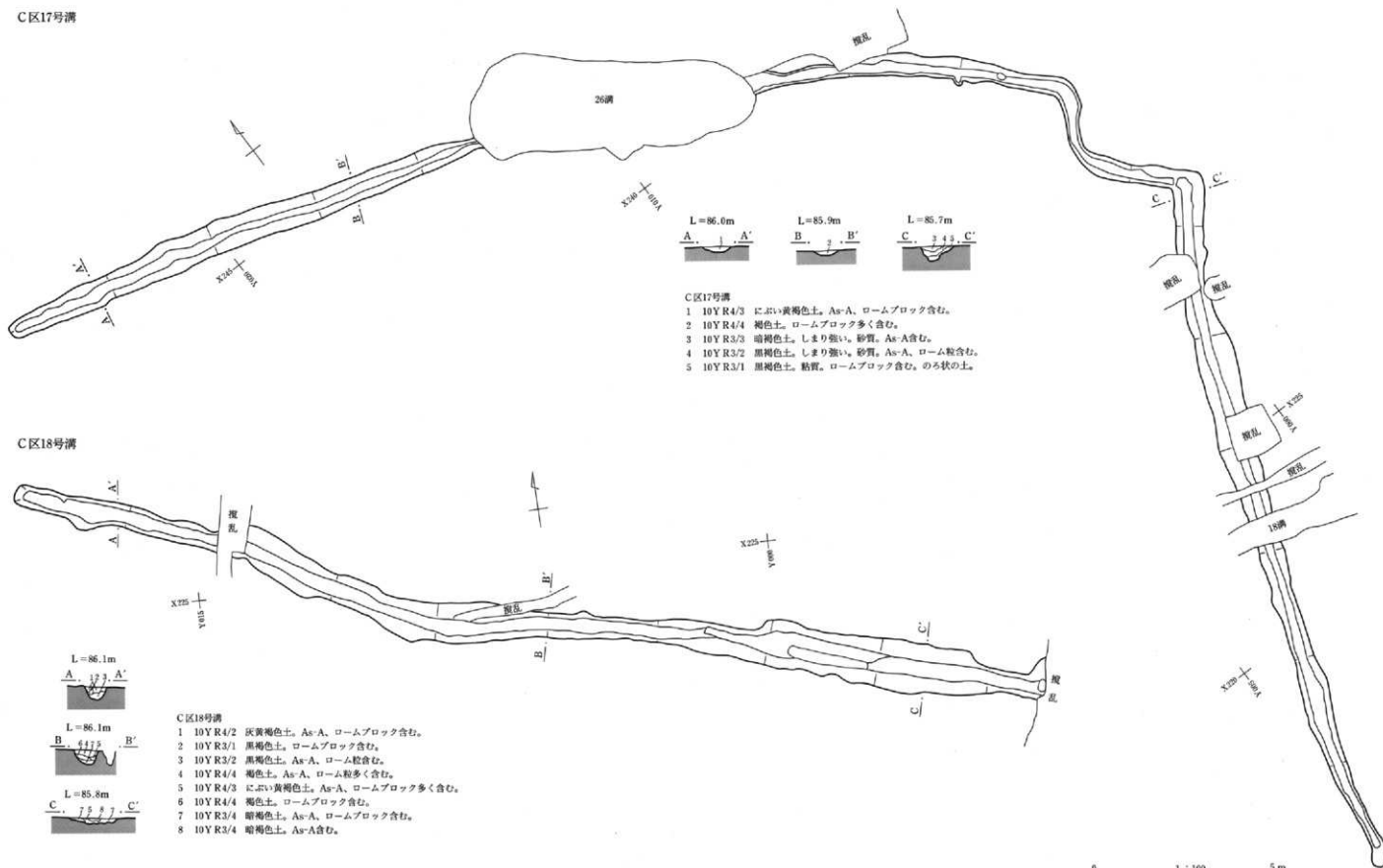


- C区10・15号溝
- 1 10Y R3/3 暗褐色土。As-A, ローム粒含む。
 - 2 10Y R3/4 暗褐色土。ロームブロック少量含む。
 - 3 10Y R3/4 暗褐色土。ロームブロック多く含む。
 - 4 10Y R4/2 灰黄褐色土。ロームブロック少量含む。
 - 5 10Y R4/2 灰黄褐色土。ロームブロック多く含む。



第141図 C区10・15号溝

C区17号溝



概要 走行方向は、南から北へ向かい、西へ向きを変える走行と考える。上部からの攪乱により大きく削平されるため、残存状態は良好でないが、掘方は葉研のような形状を呈する。覆土中にはAs-Aと思われる軽石を含む。南端部では12・13・14号溝と並行して走り、重複すると思われるが、攪乱のため新旧関係は不明である。西端では10号溝と並行、10号溝より新しい。

遺物 出土遺物無し。

C区17号溝（第142・167図、P.L71）

位置 X=39210～39245、Y=-56995～-57025グリッドに位置する。

規模 長さ55.00m（残存部分で計測）、最大幅1.10mを測る。底面までの深さは0.40mを測る。

概要 走行方向は、南から北へ向かい西へ向きを変える。上部からの攪乱により大きく削平され、残存状態は良好でない。覆土中にはAs-Aと思われる軽石を含む。18・26・27号溝と重複、土層断面より18号溝より古く27号溝より新しいことが確認できた。26号溝との新旧関係は、覆土の状況から26号溝より新しいものと思われるが、調査の段階では確認できず、重複部分の詳細は不明。地境の区画溝か。

遺物 竈、砥石が出土する。

C区18号溝（第142・167図、P.L55・71）

位置 X=39220～39225、Y=-56990～-57015グリッドに位置する。

規模 長さ28.50m（残存部分で計測）、最大幅1.40mを測る。底面までの深さは0.40mを測る。

概要 走行方向は、東西方向である。上部からの攪乱により一部削平されるため、残存状態は良好でない。覆土中にはAs-Aと思われる軽石を含む。17号溝と重複する。土層断面より17号溝より新しいことが確認できた。地境の区画をする溝と思われる。

遺物 砥石が出土する。

C区23号溝（第144図）

位置 X=39230～39240、Y=-57020～-57025グリッドに位置する。

規模 長さ10.6m（残存部分で計測）、最大幅1.10mを測る。底面までの深さは0.40mを測る。

概要 走行方向は、地形は南から北へ向かう傾斜のため、南から北への走行と考える。上部からの攪乱により一部削平されるため、残存状態は良好でない。27・35・37・38号溝と重複する。土層断面よりこれらの溝より古いことが確認できた。

遺物 出土遺物無し。

C区26号溝（第143・167～172図、P.L55・71～74）

位置 X=39240、Y=-57005～-57010グリッドに位置する。

規模 長さ7.80m、最大幅2.85mを測る。底面までの深さは1.50mを測る。

概要 掘方は葉研を呈する。溝の全長が7.80mと短いので、水が流れたとは考えにくい。溝の西側隅には7号井戸が重複する。溝の底面での検出であったため、上部からの新旧関係は不明であるが、溝と井戸の出土遺物から判断する限り、同時期のものと考えられる。覆土上位にAs-Aの堆積が認められる。

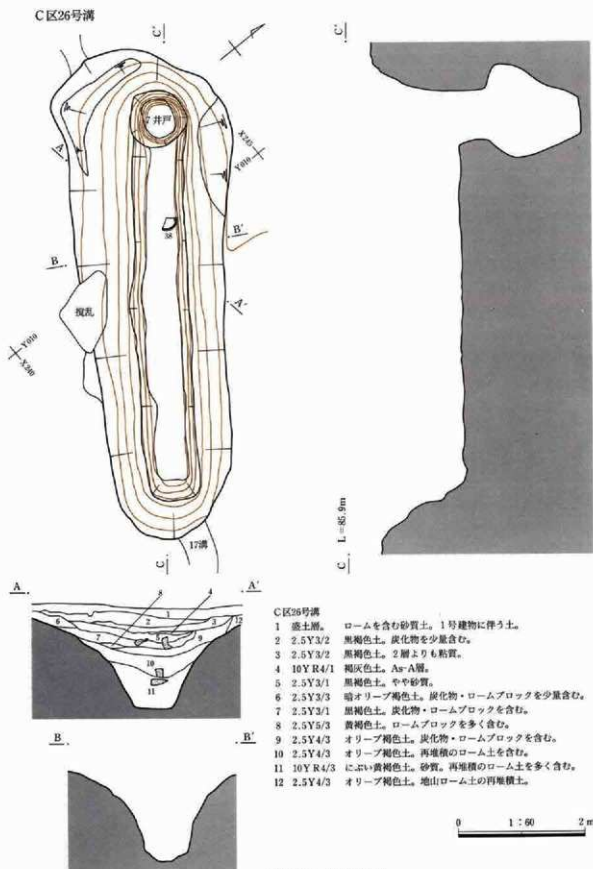
遺物 磁器碗・猪口・皿、各種陶器、土人形、焙烙、土鍋、石製品、砥石などが出土する。

C区27号溝（第144・172図、P.L74）

位置 X=39230～39240、Y=-56995～-57025グリッドに位置する。

規模 長さ29.50m、最大幅1.10mを測る。底面までの深さは0.37mを測る。

概要 走行方向は、東西方向で、東端で南に曲がる。覆土中にはAs-Aと思われる軽石を含む。1号建物、17・



第143図 C区26号溝

23・30・37・38号溝と重複。土層断面より23・30・38号溝より新しく、1号建物、17・37号溝より古いことが確認できた。

遺物 磁器皿、陶器灯明受皿、焙烙片が出土する。

C区30号溝 (第144図)

位置 X=39230~39235、Y=-57000~-57005グリッドに位置する。

規模 長さ8.40m、最大幅0.90mを測る。底面までの深さは0.34mを測る。

概要 北西から南東に向かって走る。上部からの攪乱により削平されるため、残存状況はよくない。覆土中にはAs-Aと思われる軽石を含む。27号溝と重複。土層断面より27号溝より古いことが確認できた。

遺物 出土遺物無し。

C区33号溝 (第145・172図、P L 58・74・75)

位置 X=39240~39250、Y=-57000~-57030グリッドに位置する。

規模 長さ38.20m(残存部分で計測)、最大幅3.00mを測る。底面までの深さは0.63mを測る。

概要 走行方向は東西で、西端で南に折れる。上面からの攪乱によって削平され、残存状況は悪い。隣接する波志江中宿遺跡A区方向へ向かうが、そちらでは検出されていない。地境を区画する溝と思われる、南側の1号建物の桁行方向にほぼ一致。覆土の状況から、複数回掘り直された痕跡が認められる。遺物は昭和のものもあり、江戸時代から継続して使用されていたものと考え。42号溝を切る。

遺物 磁器碗・猪口・皿、陶器甕、鎌、砥石などが出土。磁器には統制番号を有するものが含まれる。

C区35号溝 (第146図)

位置 X=39240、Y=-57010~-57025グリッドに位置する。

規模 長さ17.00m(残存部分で計測)、最大幅0.75mを測る。底面までの深さは0.28mを測る。

概要 走行方向は東西。上部からの攪乱により削平され、残存状況は悪い。覆土中にはAs-Aと思われる軽石を含む。9号井戸、23・37号溝と重複。土層断面より9号井戸より古く、23・37号溝より新しいことが確認できた。

遺物 出土遺物無し。

C区37号溝 (第146図)

位置 X=39240、Y=-57015~-57020グリッドに位置する。

規模 長さ10.50m(残存部分で計測)、最大幅0.76mを測る。底面までの深さは0.29mを測る。

概要 走行方向は東西で、東端で北に曲がって35号溝にぶつかる。上部からの攪乱により削平されるため、残存状況は悪い。覆土中にはAs-Aと思われる軽石を含む。23・27・35・38号溝と重複する。土層断面より23・27・38号溝より新しく、35号溝より古いことが確認できた。

遺物 出土遺物無し。

C区38号溝 (第146図)

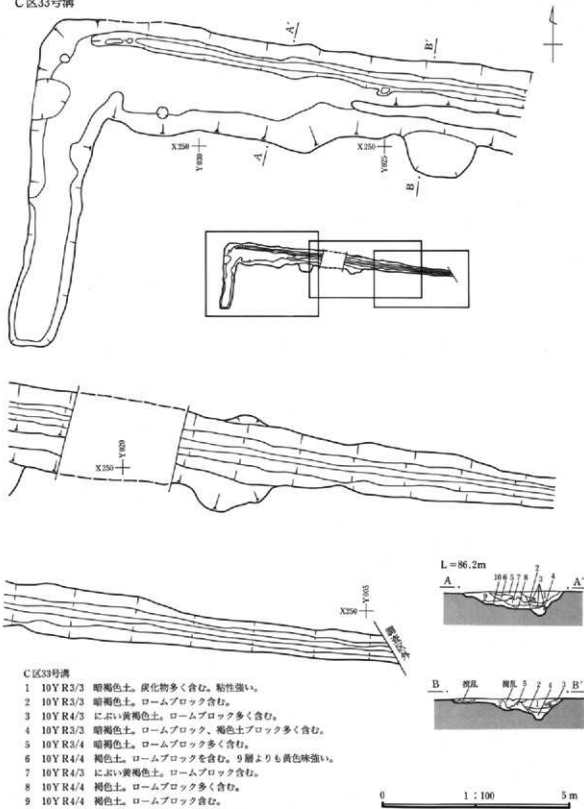
位置 X=39235~39240、Y=-57015~-57025グリッドに位置する。

規模 長さ7.30m(残存部分で計測)、幅0.48mを測る。底面までの深さは0.24mを測る。

概要 走行方向は、東西方向である。上部からの攪乱により削平されるため、明瞭でない。覆土中にはAs-Aと思われる軽石を含む。1号建物、23・27・37号溝と重複する。土層断面より23号溝より新しく、1号建物、27・37号溝より古いことが確認できた。

遺物 出土遺物無し。

C区33号溝



第145図 C区33号溝

C区42号溝 (第146図、P.L56)

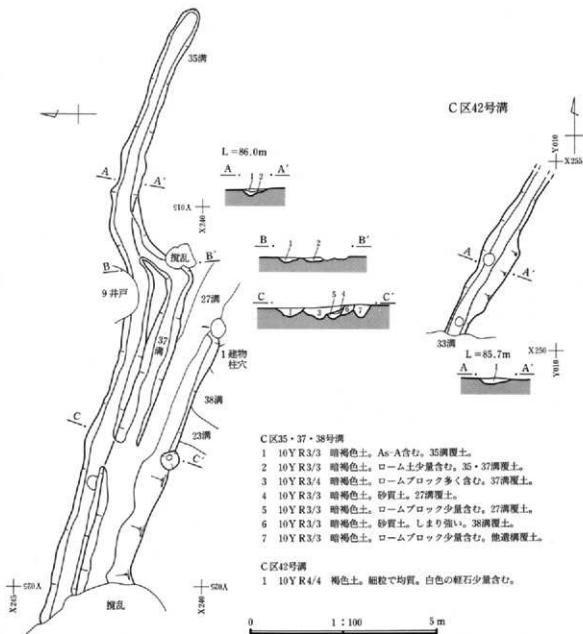
位置 X=39250、Y=-57010グリッドに位置する。

規模 長さ4.90m(残存部分で計測)、最大幅0.97mを測る。底面までの深さは0.16mを測る。

概要 走行方向は、南北方向である。上部からの攪乱により削平されるため、明瞭でない。溝の底面より古墳時代のピットが検出された。33号溝と重複する。新旧関係は不明であるが、土層の所見から33号溝より古いと思われる。

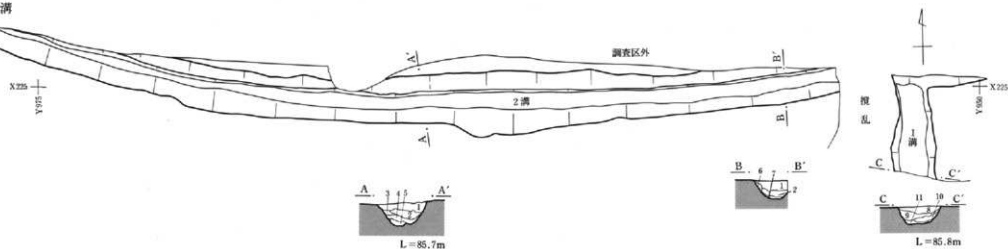
遺物 出土遺物無し。

C区35・37・38号溝



第146図 C区35・37・38・42号溝

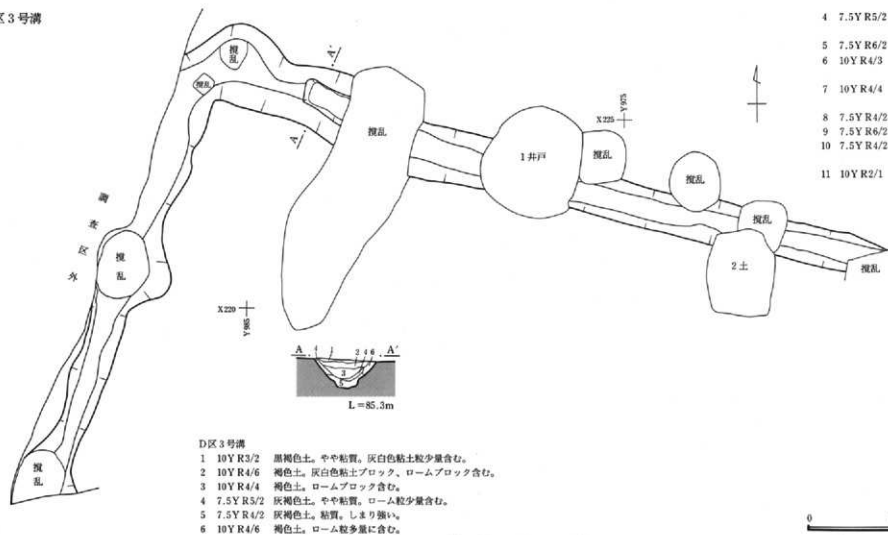
D区1・2号溝



D区1・2号溝

- 1 7.5Y R5/2 灰褐色土。砂質。
- 2 7.5Y R5/2 灰褐色土。ローム粒含む。2溝覆土。
- 3 10Y R4/6 褐色土。ロームブロック含む。2溝覆土。
- 4 7.5Y R5/2 灰褐色土。しまり強い。ロームブロック含む。2溝覆土。
- 5 7.5Y R6/2 灰褐色土。粘性有り。2溝覆土。
- 6 10Y R4/3 濃い黄褐色土。灰褐色土含む。2溝覆土。
- 7 10Y R4/4 褐色土。灰褐色土。ロームブロック含む。2溝覆土。
- 8 7.5Y R4/2 灰褐色土。砂質。1溝覆土。
- 9 7.5Y R6/2 灰褐色土。砂質。1溝覆土。
- 10 7.5Y R4/2 灰褐色土。ロームブロック含む。1溝覆土。
- 11 10Y R2/1 黒色土。粘質。1溝覆土。

D区3号溝



D区3号溝

- 1 10Y R5/2 黒褐色土。やや粘質。灰白色粘土粒少量含む。
- 2 10Y R4/6 褐色土。灰白色粘土ブロック、ロームブロック含む。
- 3 10Y R4/4 褐色土。ロームブロック含む。
- 4 7.5Y R5/2 灰褐色土。やや粘質。ローム粒少量含む。
- 5 7.5Y R4/2 灰褐色土。粘質。しまり強い。
- 6 10Y R4/6 褐色土。ローム粒多量に含む。

0 1:100 5m

第147図 D区1～3号溝

D区溝

D区1号溝 (第147図)

位置 X=39220~39225、Y=-56950グリッドに位置する。

規模 長さ2.60m(残存部分で計測)、最大幅1.20mを測る。底面までの深さは0.45mを測る。

概要 南北に走行。調査範囲が狭いうえ、水道管の埋設溝により削平され、ごく一部分の確認にとどまる。
2号溝と重複。土層断面による新旧関係は確認することができなかったが、同時期の遺構と考える。

遺物 出土遺物無し。

D区2号溝 (第147・172~177図、PL56・75~79)

位置 X=39220~39225、Y=-56950~56975グリッドに位置する。

規模 長さ26.50m(検出部分で計測)、最大幅1.70mを測る。底面までの深さは0.60mを測る。

概要 東西方向に走行する。調査区域外にかかるため、溝の全てを確認することができなかった。

遺物 多種多量の遺物が出土した。磁器碗・皿・猪口・鉢・杯・蓋、陶器碗・皿・徳利・土瓶蓋・灯明受皿・香炉・乗燭・急須・摺鉢、甕、火鉢、火もらい、焙烙、土鍋、砥石、板碑破片などがある。

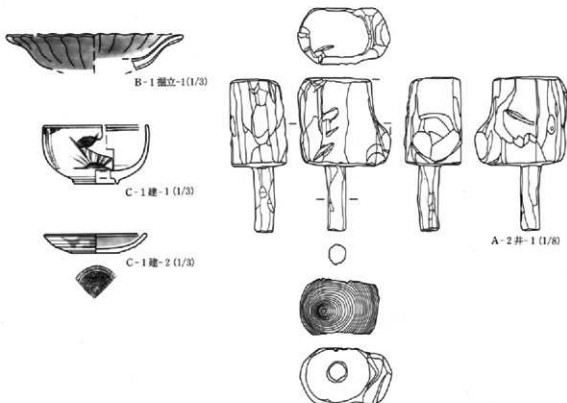
D区3号溝 (第147図、PL56)

位置 X=39215~39225、Y=-56965~56990グリッドに位置する。

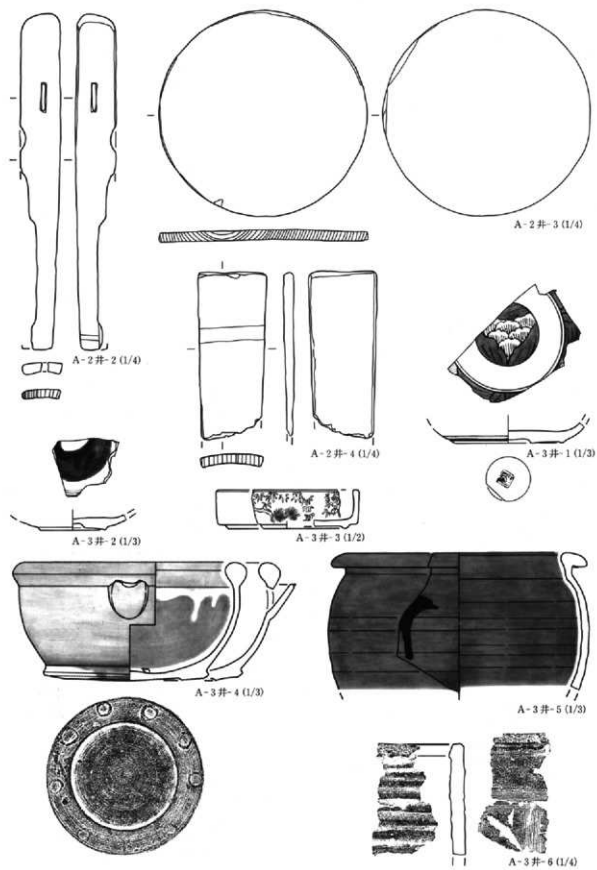
規模 長さ30.30m(検出部分で計測)、最大幅2.10mを測る。底面までの深さは0.75mを測る。

概要 南北に走り、「L」字状に東に曲がる。調査区域外にかかるため、溝の全てを確認することができなかった。上部からの攪乱も激しく、一部大きく削平される。1号井戸、2号土坑と重複。調査時の所見より、両者よりも古いと考える。

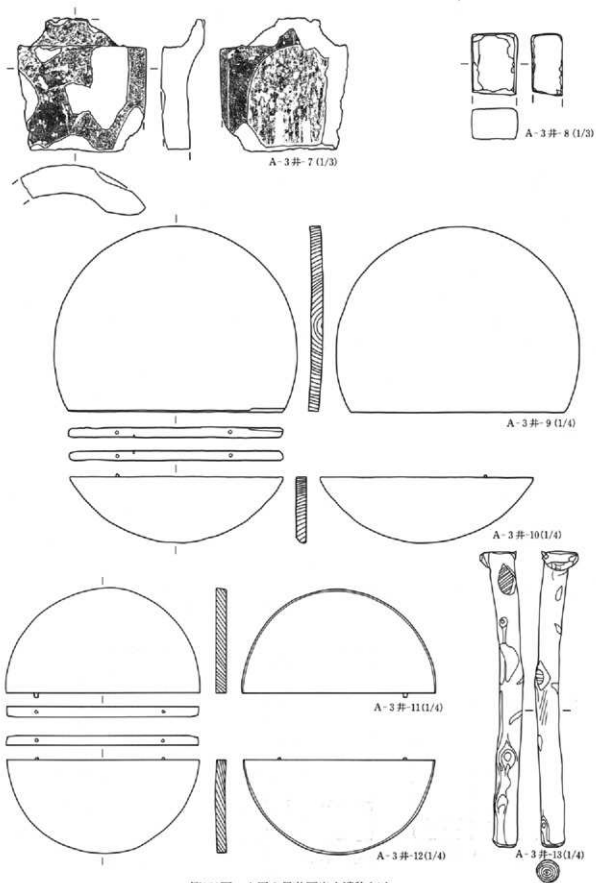
遺物 出土遺物無し。



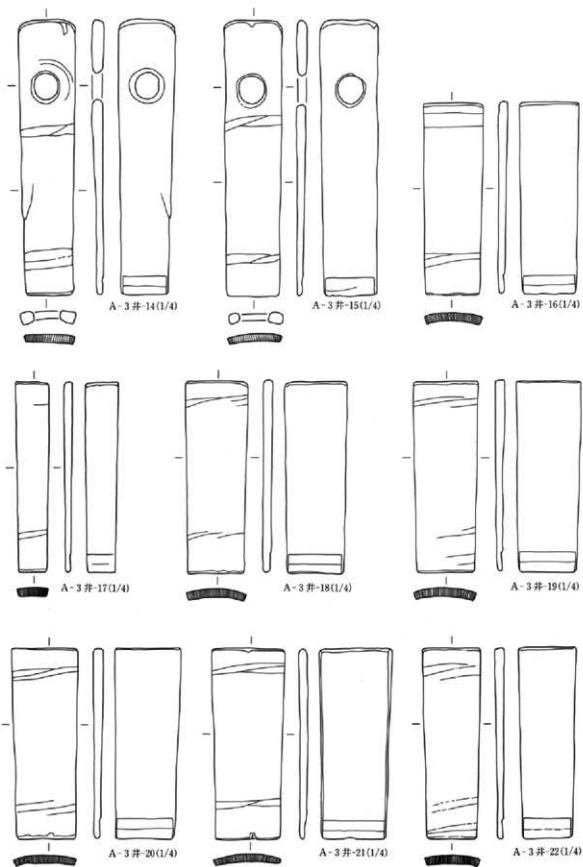
第148図 B区1号掘立柱建物、C区1号建物、A区2号井戸出土遺物



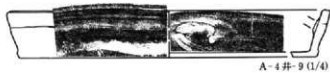
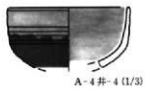
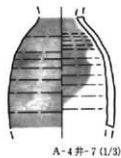
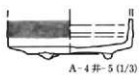
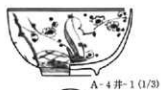
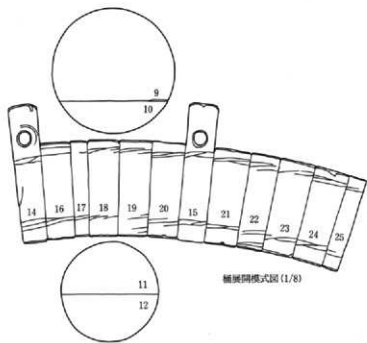
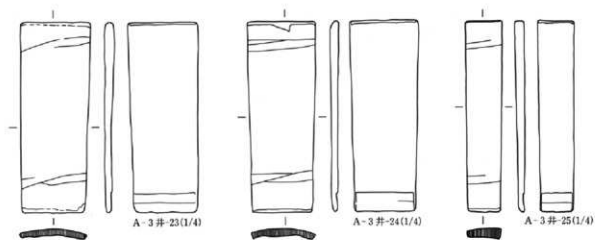
第149图 A区2·3号井尸出土遗物



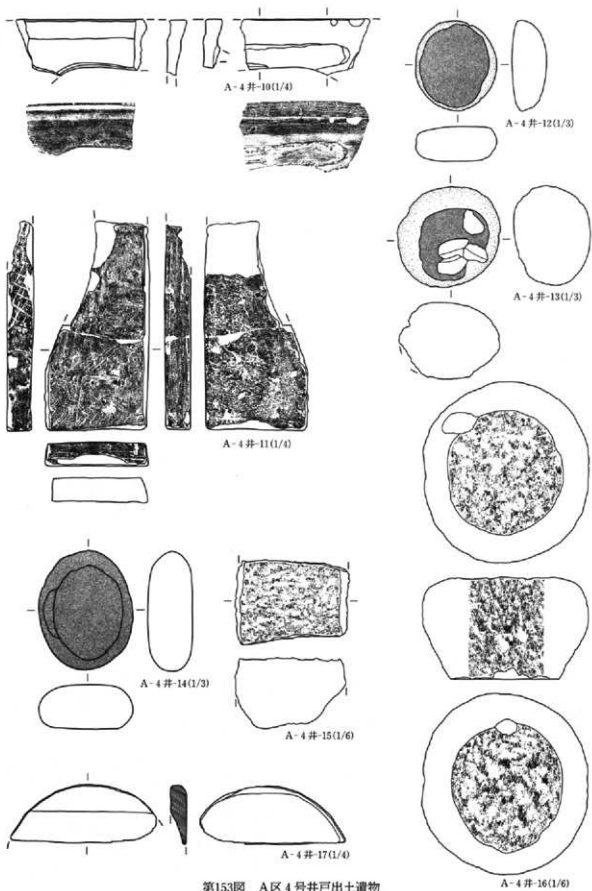
第150图 A区3号井尸出土遗物(1)



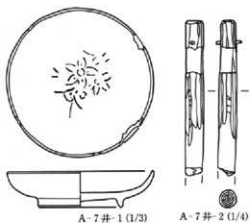
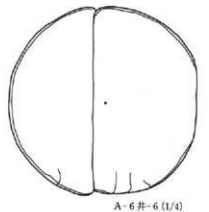
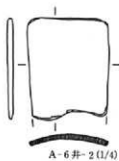
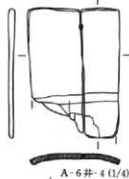
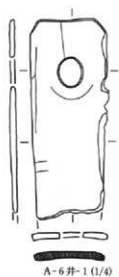
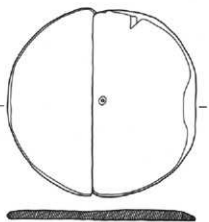
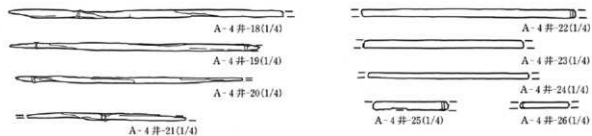
第151图 A区3号井戸出土遺物(2)



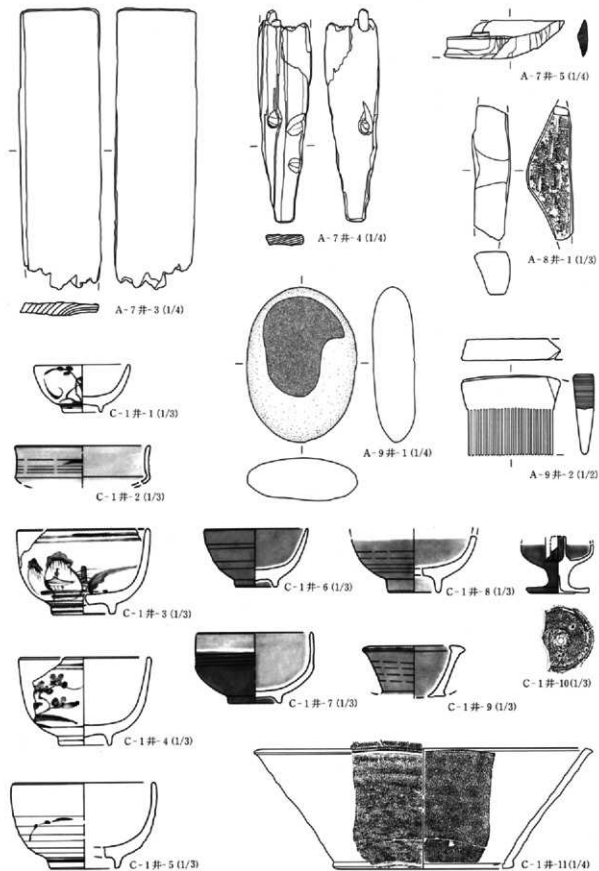
第152图 A区3·4号井尸出土物



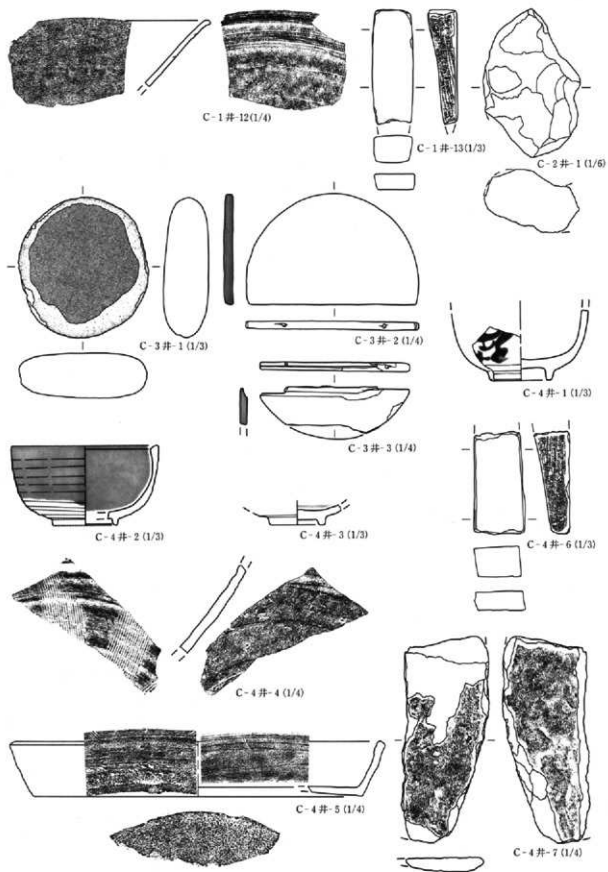
第153图 A区4号井尸出土遗物



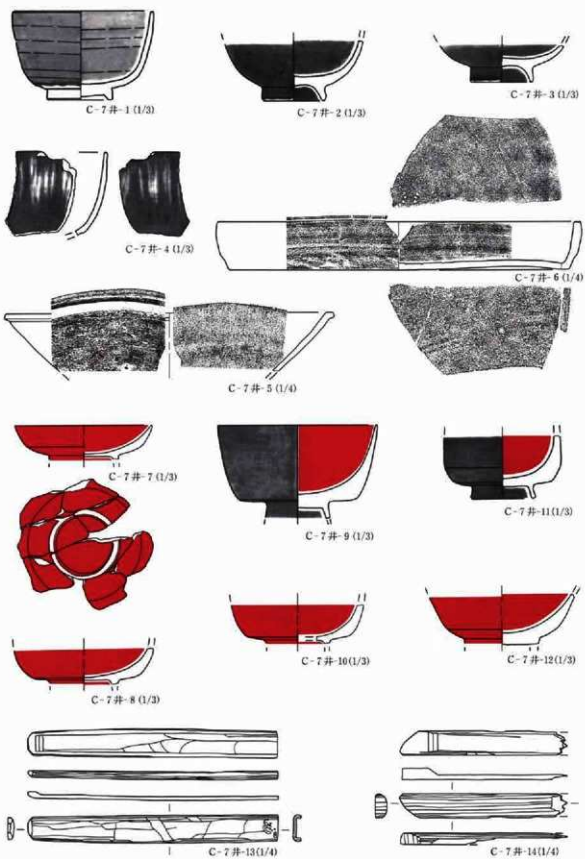
第154图 A区4~7号井尸出土遗物



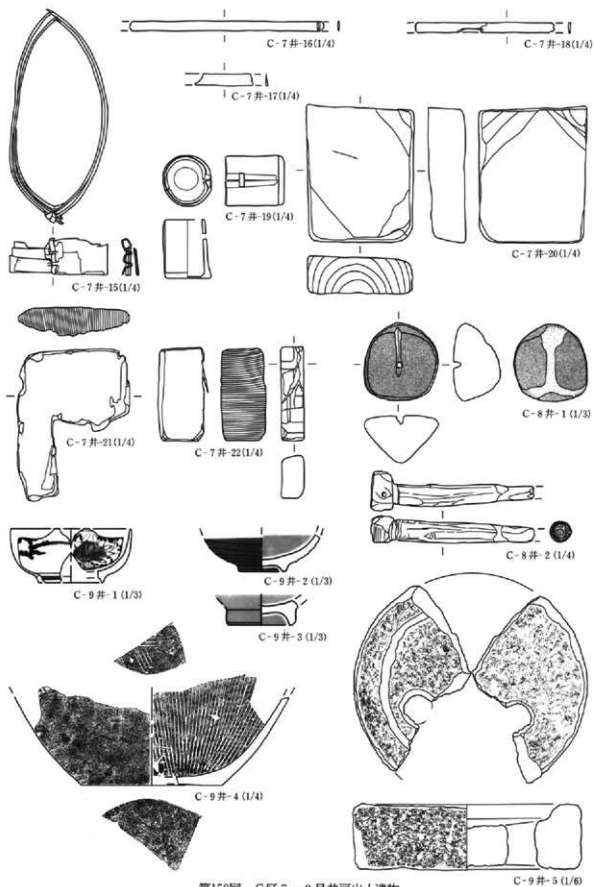
第155图 A区7~9、C区1号井尸出土遗物



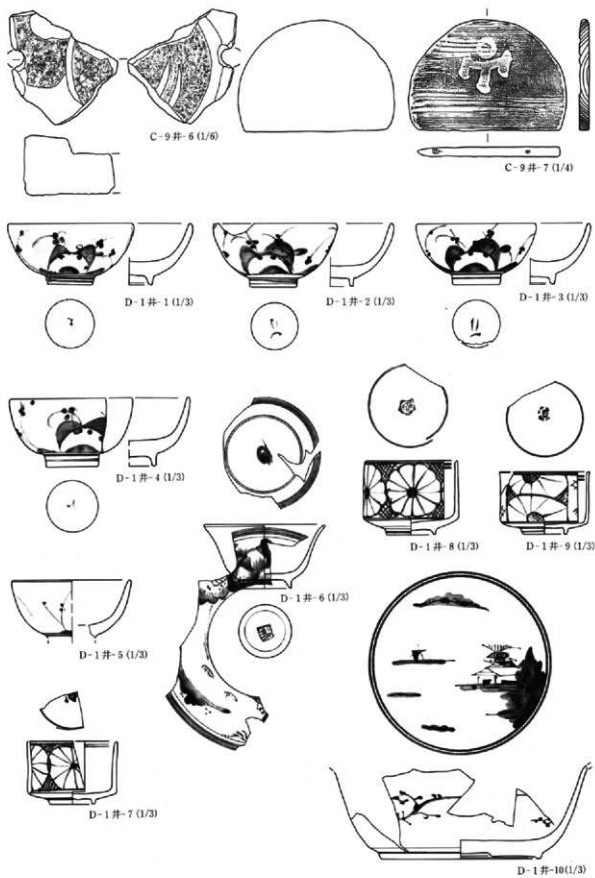
第156图 C区1~4号井戸出土遺物



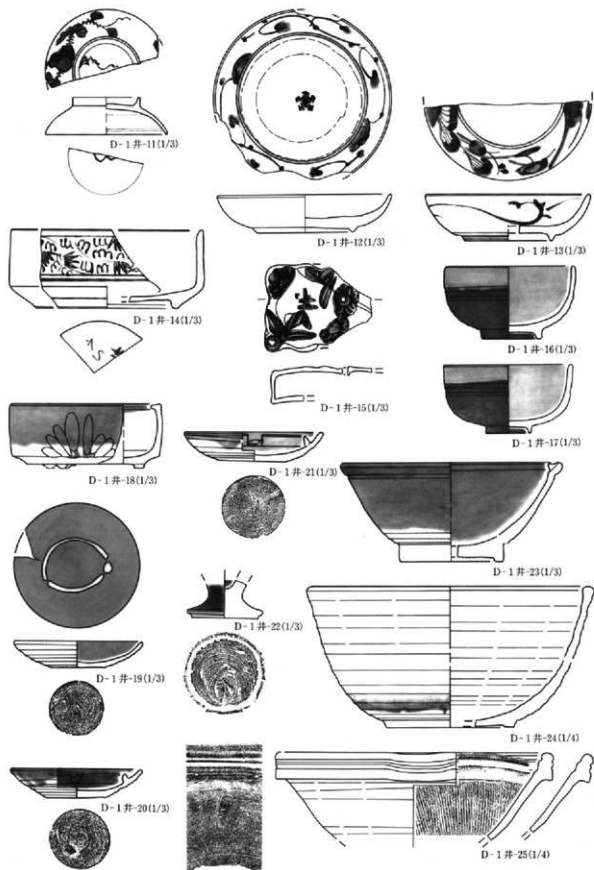
第157图 C区7号井戸出土遺物



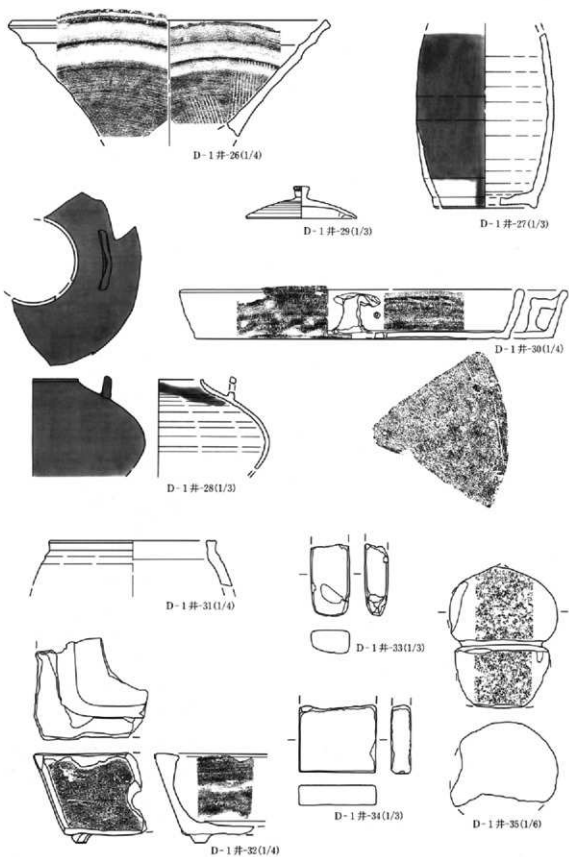
第158图 C区7~9号井尸出土遗物



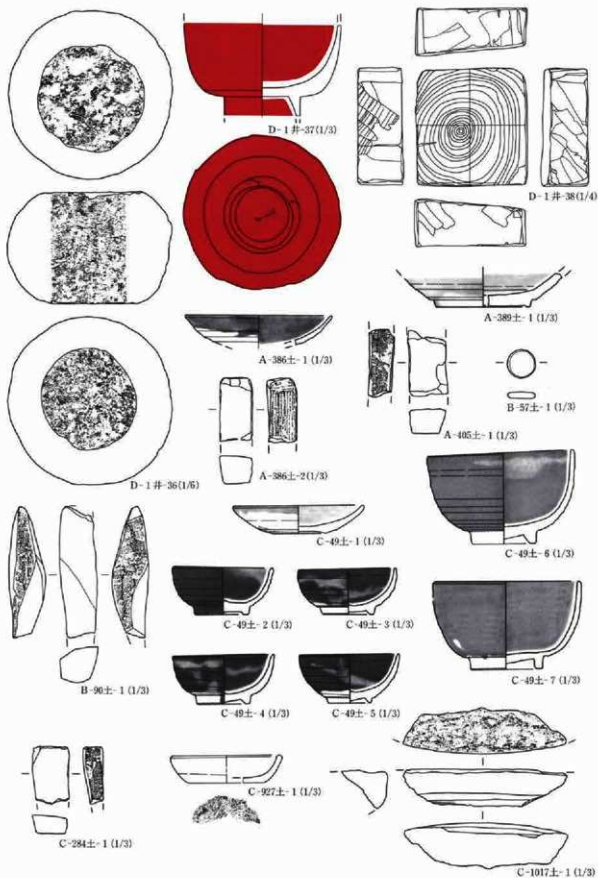
第159图 C区9、D区1号井出土文物



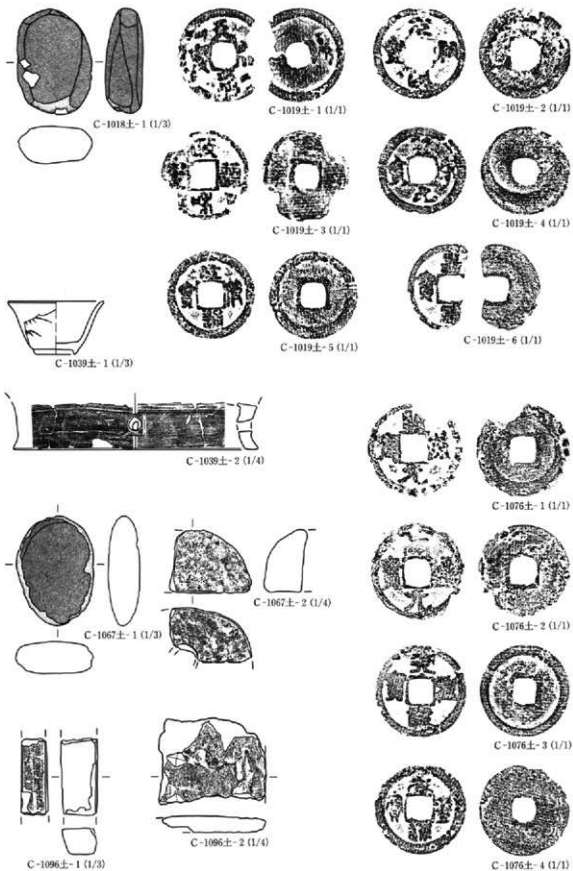
第160图 D区1号井尸出土物(1)



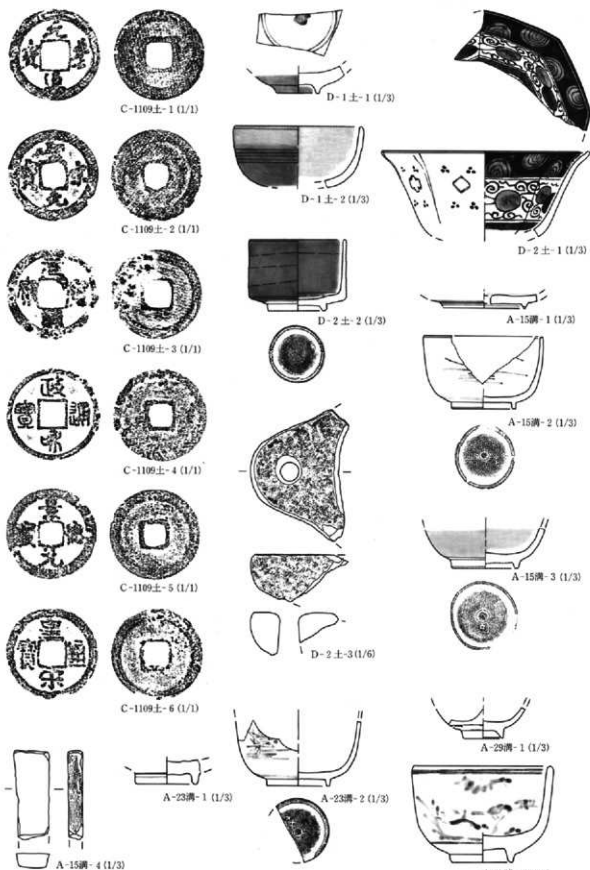
第161图 D区1号井出土文物(2)



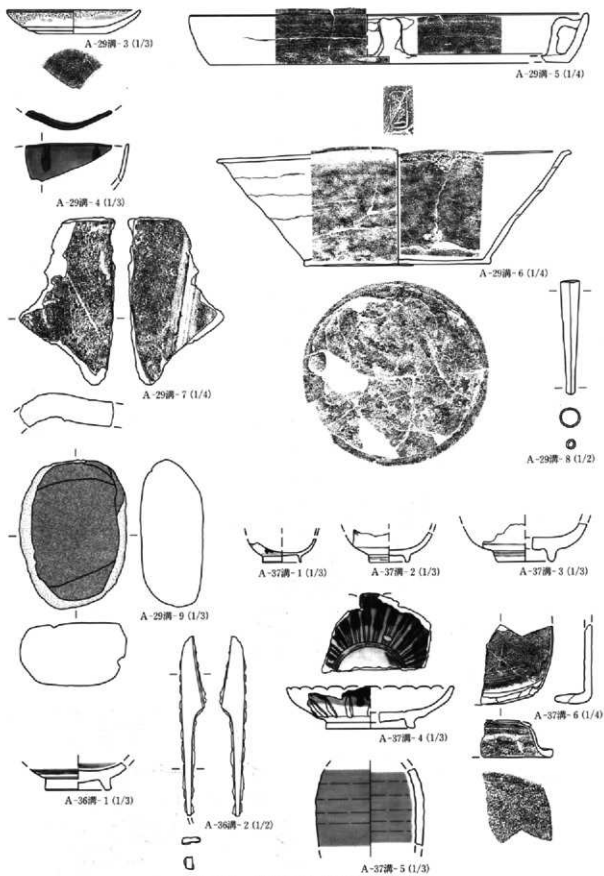
第162图 D区1号井尸, A区386·389·405, B区57·90, C区49·284·927·1017号土坑出土文物



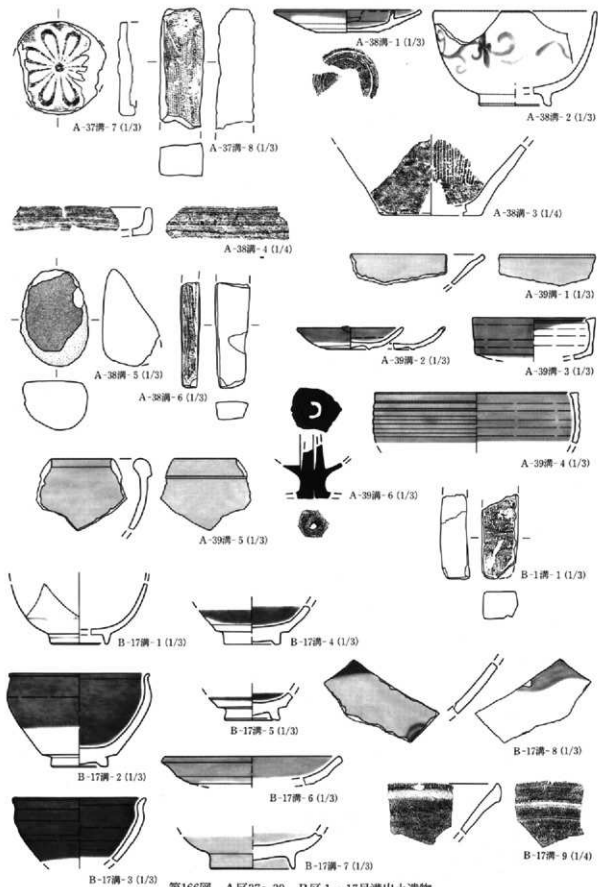
第163图 C区1018·1019·1039·1067·1076·1096号土坑出土文物



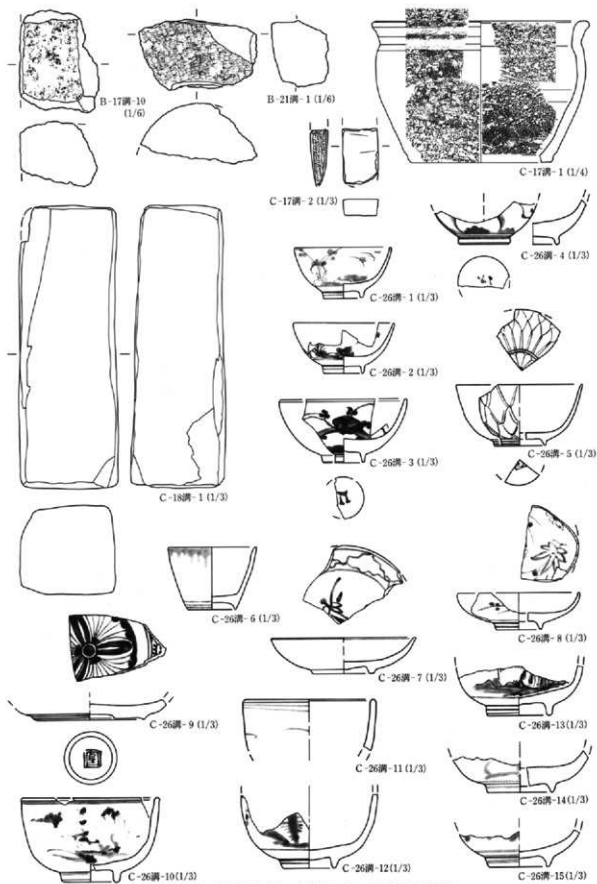
第164图 C区1109、D区1·2号土坑、A区15·23·29号调出土文物



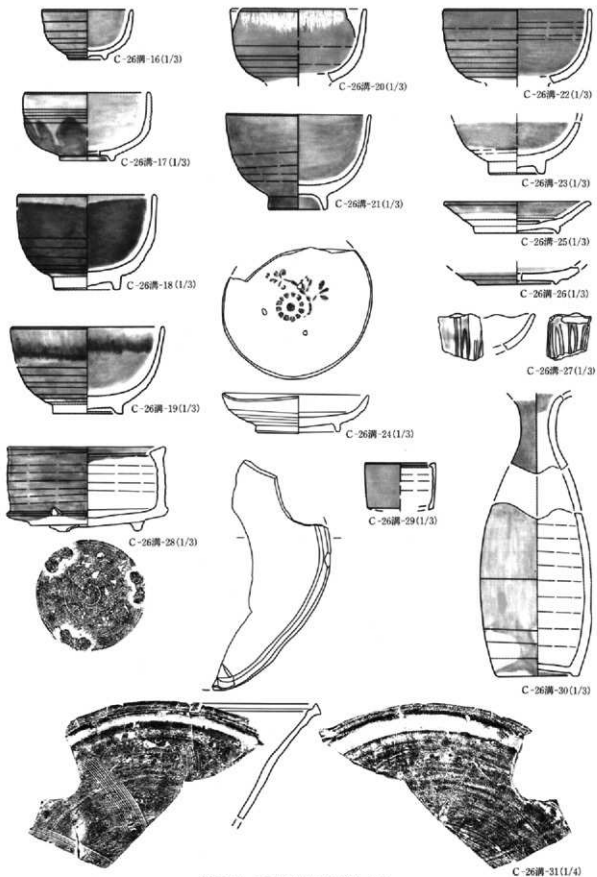
第165图 A区29·36·37号坑出土器物



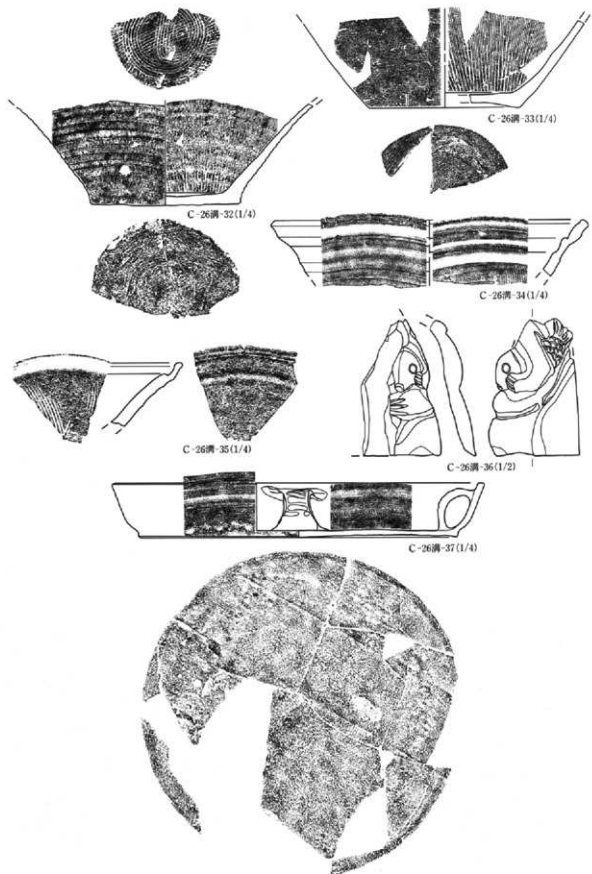
第166图 A区37~39、B区1·17号清出土文物



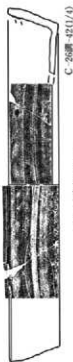
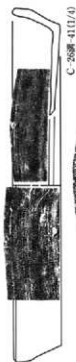
第167图 B区17·21、C区17·18·26号罍出土器物



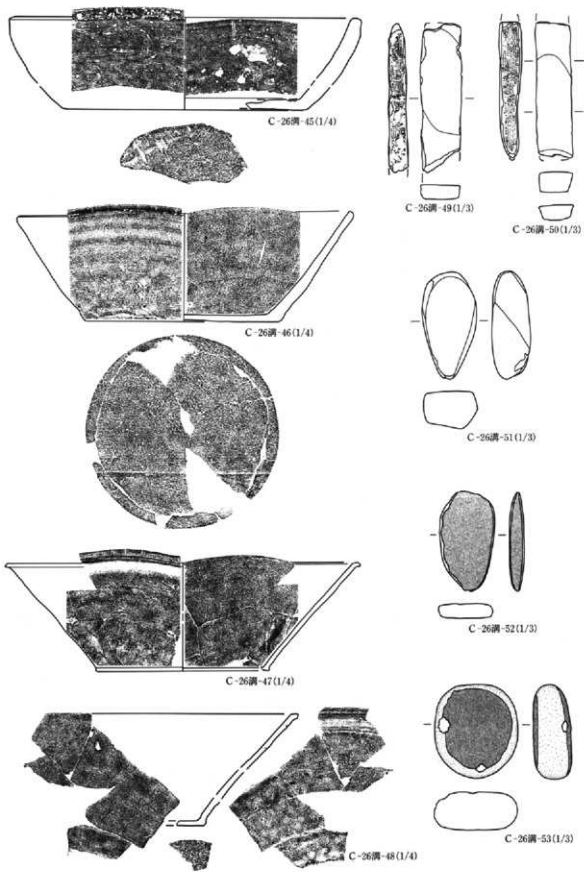
第168图 C区26号坑出土遗物(1)



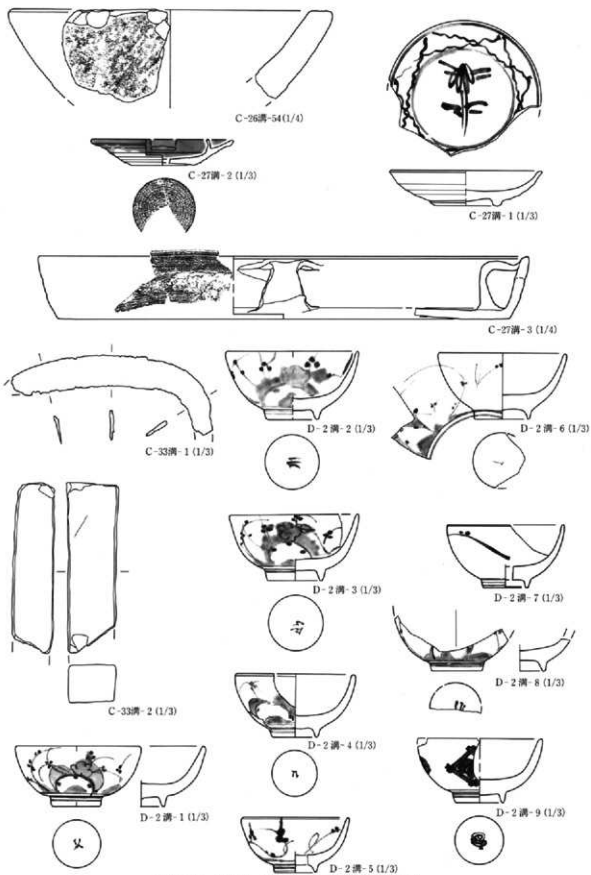
第169图 C区26号清出土遗物(2)



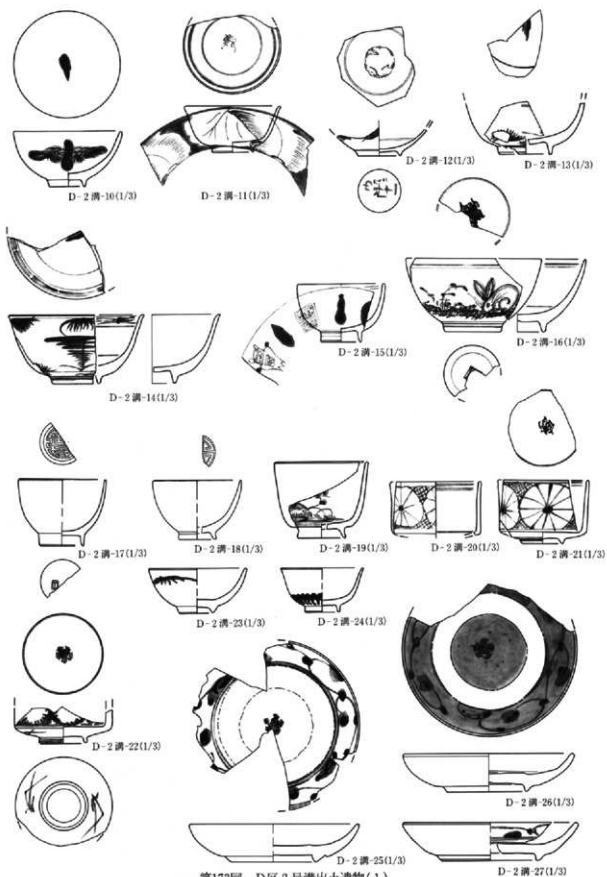
第170圖 C区26号溝出土遺物(3)



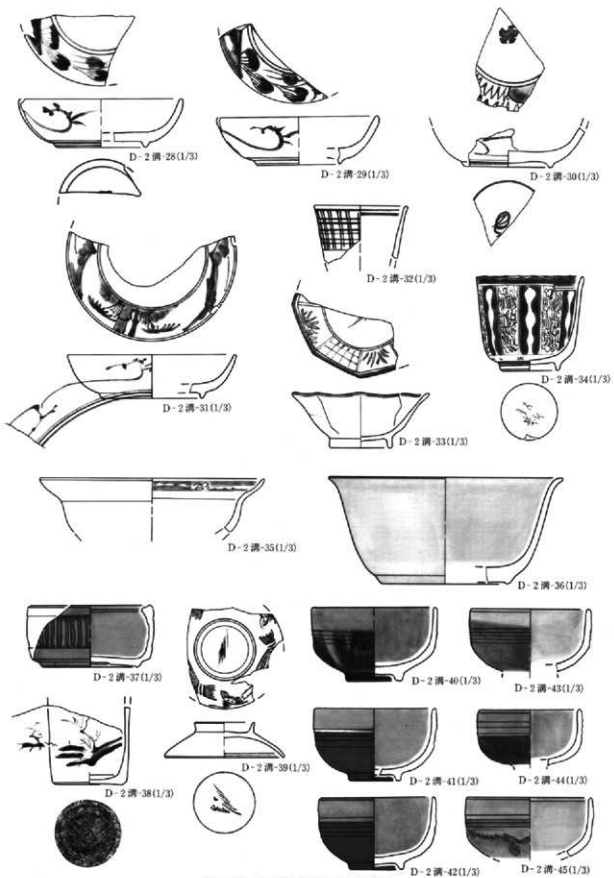
第171图 C区26号清出土物(4)



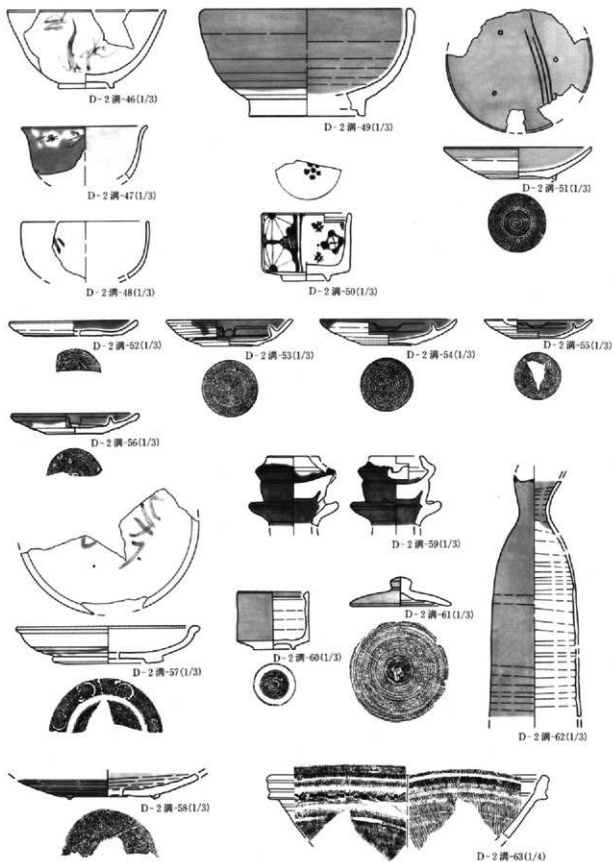
第172图 C区26·27·33、D区2号清出土遗物



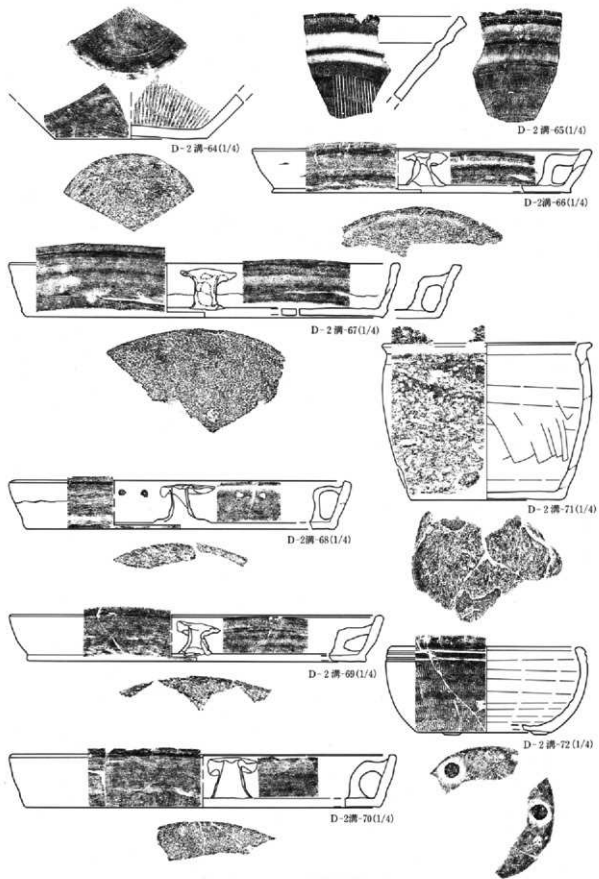
第173图 D区2号清出土物(1)



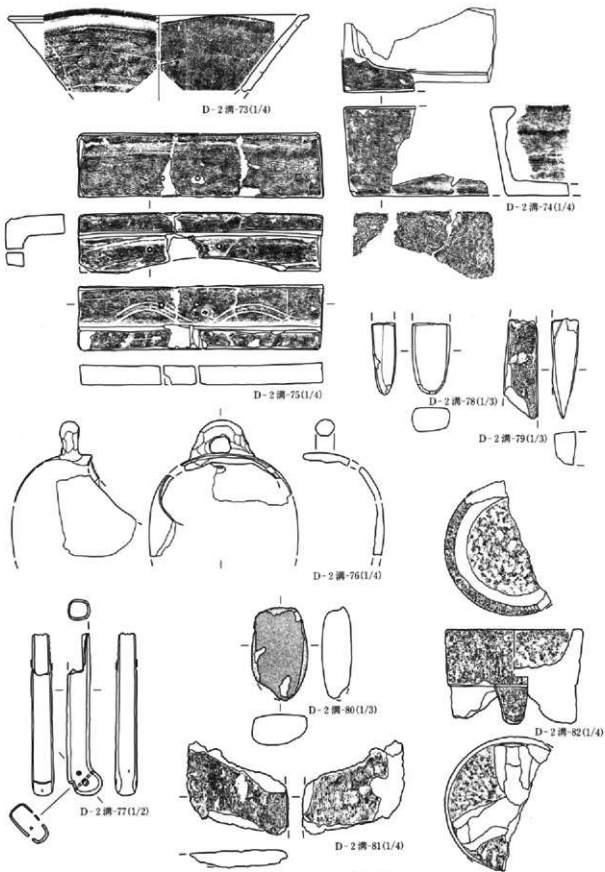
第174图 D区2号清出土物(2)



第175图 D区2号调出土物(3)



第176图 D区2号溝出土遺物(4)



第177图 D区2号调出土遗物(5)

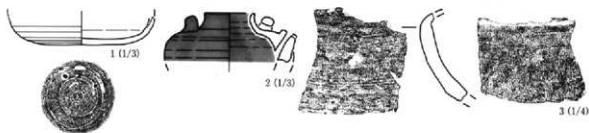
(6) 遺構外出土遺物

本遺跡は、近年まで宅地、もしくは畑地として利用されていたため、近代以降の土坑や溝、近年の掘乱などが多数あり、その中からも中近世に属する遺物が大量に出土している。これらの中から、残存状況の良いもの、特徴的な器種のものなどを取り上げた(第178～185図、P.L.79～85)。また、近代以降の遺物も大量に出土しているが、当時の庶民の生活を推測する上で非常に興味深い資料であり、ここで取り上げた。

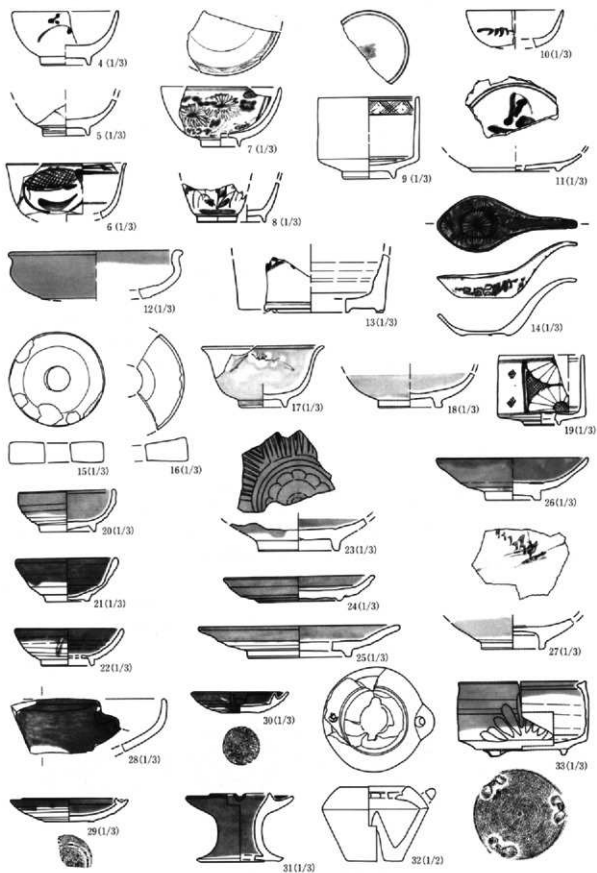
出土遺物全体のうち、中世以前の遺物はごくわずかである。土器・陶器ではD区で出土した8世紀代の須恵器環(1)、C区で出土した中世の耳付水注(2)、壺破片(3)のみである。この他に中世の渡来銭が出土している(90～104)。これらの古銭には、2枚から4枚程度まとまって出土したものがあり、本来は墓に副葬されていたものと考えられる。15枚出土したうち、12枚は中世の土壌墓が集中していたC区からの出土である。他大多数の遺物は近世以降のものである。

近世の遺物は18世紀から19世紀にかけてのものが主体で、磁器、陶器、土器、古銭、金属製品、石器類が出土している。磁器は碗や皿、香炉、戸車などが出土した(4～16)。産地は肥前が大半を占め、瀬戸・美濃が若干含まれる。陶器は碗や皿、灯明皿、乗燭、香炉、片口鉢、播鉢など、多様な器種が含まれる(17～43)。産地は圧倒的に瀬戸・美濃が多いが、肥前産のものもわずかに含まれる。播鉢には堺・明石産のものも見られる。土器は皿や焙烙、土鍋、火鉢、植木鉢、十能などが出土した(44～62)。多くは在地系の土器であるが、一部に搬入系土器も認められた。古銭は寛永通寶と文久永寶、天保通寶が出土(105～112)。寛永通寶は、うち1枚が最も古い段階のいわゆる古寛永であるが(105)、その他は全て1697年以降に鋳造されたいわゆる新寛永である。金属製品では鉄鋌玉とキセルが(114～117)、石器類では砥石と石製品、石臼が出土している(118～124)。

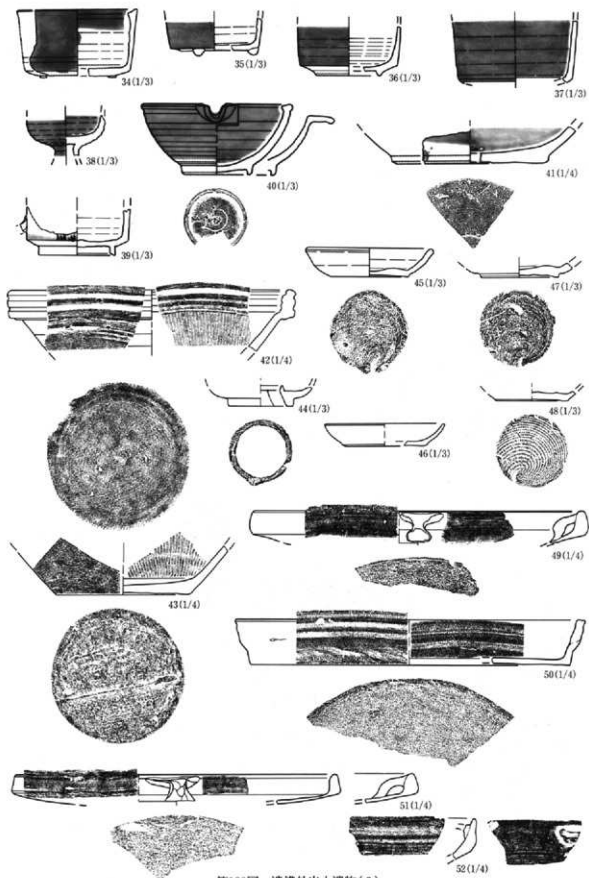
近代以降の遺物には磁器、陶器、土器、古銭がある(63～89、113)。磁器は碗や皿、杯などで、近世の遺物と異なり、大半が瀬戸・美濃産のものである。中でも特筆すべきものとして統制番号付きの磁器碗があげられる(67～72)。C区33号溝からも出土しているが、遺構外出土遺物も全てC区からの出土である。これらは高台内に染付や型押しによって統制番号を記す。産地を示す漢字、もしくはカタカナ1文字と、生産者を表す3桁の数字からなる。岐阜県産を表す「岐」の印のあるものが5点、瀬戸産を表す「セ」の印のあるものが1点含まれる。この他には除隊記念と思われる杯なども興味深い(75・76)。ちなみに75の杯の裏にある「細井」という姓は、戦前の地勢図で本遺跡のC・D区の地主として記載がある。陶器は碗、急須、壺が出土し、笠間・益子産のものが含まれている(77～79)。土器は徳利や釜、風炉、コンロ、練炭起こしなど、近年では全く見かけなくなった生活用具が見つかっている(80～89)。



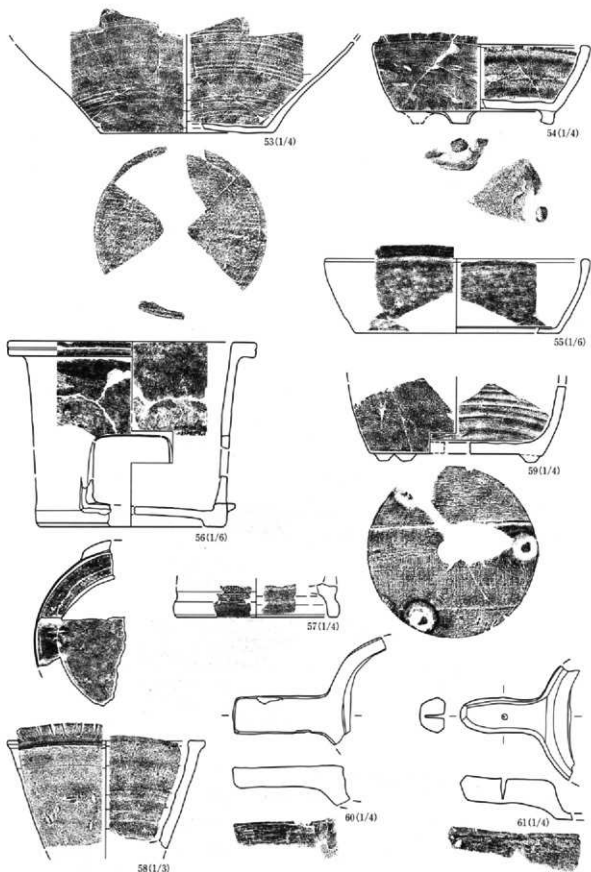
第178図 遺構外出土遺物(1)



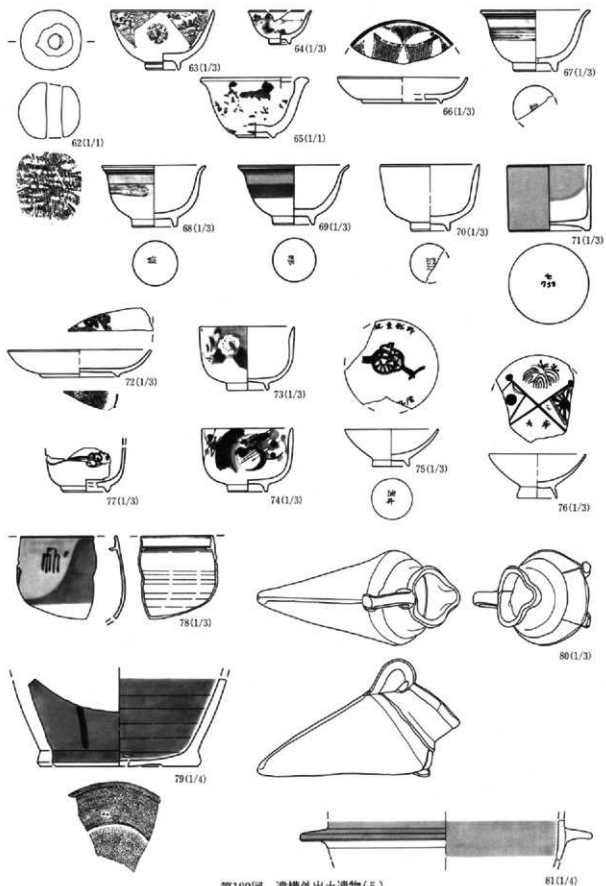
第179図 遺構外出土遺物(2)



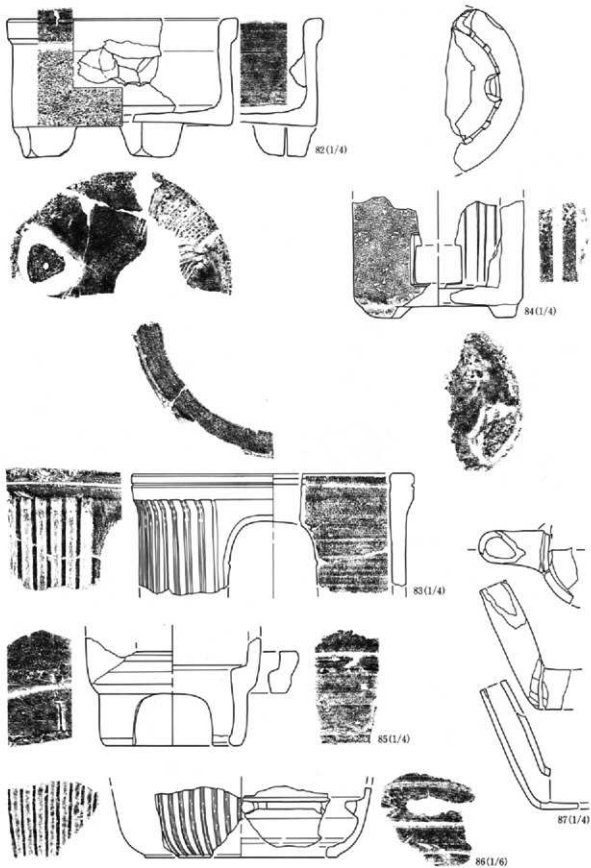
第180圖 遺構外出土遺物(3)



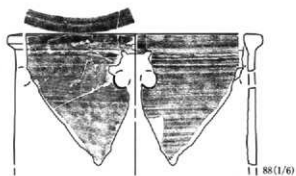
第181圖 遺構外出土遺物(4)



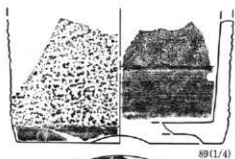
第182図 遺構外出土遺物(5)



第183图 遺構外出土遺物(6)



11 88(1/6)



89(1/4)



90(1/1)



91(1/1)



92(1/1)



93(1/1)



94(1/1)



95(1/1)



96(1/1)



97(1/1)



98(1/1)



99(1/1)



100(1/1)



102(1/1)



103(1/1)



104(1/1)



105(1/1)

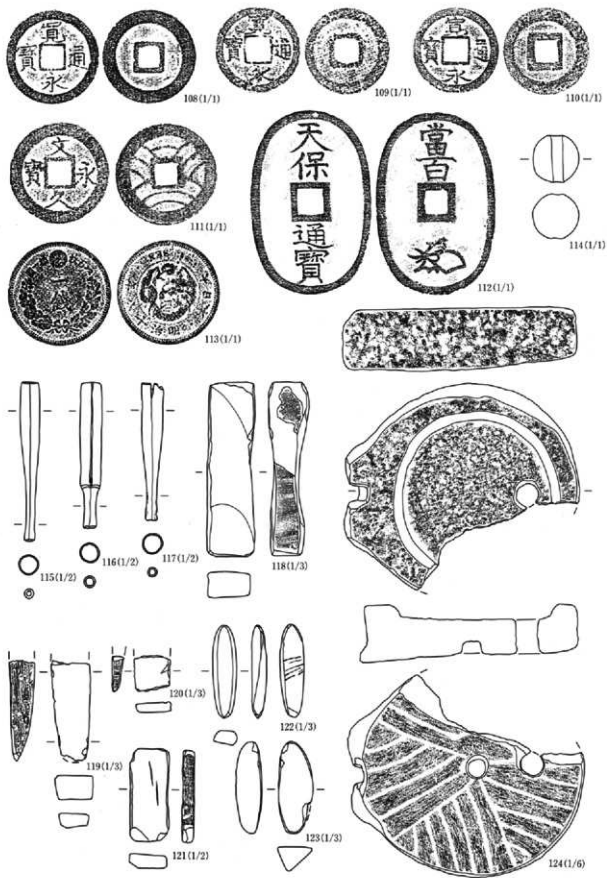


106(1/1)



107(1/1)

第184図 遺構外出土遺物(7)



第185图 道槽外出土遺物(8)

第3章 伊勢山遺跡

1 調査の経過と方法

調査の経過 伊勢山遺跡は北に波志江沼をのぞみ、伊勢崎台地の波志江中屋敷東遺跡とそれよりも一段高い赤城火山斜面台地上の波志江西宿遺跡との間に位置する。遺跡の所在地は台地から低地へ向かう傾斜の変換点にあたり、北東側から南西に向かって落ちる緩やかな傾斜地となっており、北東隅と南西隅の比高差は約3mである。

調査対象地は墓地であったため、墓地移転がすべて終了した後の平成11年12月13日より調査を開始した。表土掘削は、ローム層上面まで掘り下げるようにした。墓地の基礎や木の根を除きながらのため、表土掘削は難航した。また、近世の墓が数多く検出されたため、調査は思うようには進まなかった。土坑・溝・土墳墓の調査を行った後に、ローム下層の調査を行った。

調査は先行引き渡し部分のA区から開始した。木の根が張っていたため、遺構確認にやや難があったが、近現代の墓以外の遺構は検出されなかった。平成11年12月16日にローム上面の全景写真を撮影。その後旧石器時代遺物確認のため、ローム下層の試掘調査を行った。A区は調査面積が小さかったため、2×5mの試掘のトレンチを2ヶ所設定したが、石器は検出されなかった。平成11年12月21日に全景写真を撮影し、年内に調査を終了した。

年が明けて平成12年1月24日より、B区の調査となった。B区も上部が墓地であったため、墓地の基礎によってひどく攪乱されていた。加えて近世の土墳墓が多く検出されたため、ローム上面の調査は時間を要した。近現代の墓からは多くの人骨が出土したが、遺物として持ち帰らずに移転した墓地へ埋葬した。また、この時期は晴天が続くものの、赤城山を吹き下ろす北風が強く、強風や埃による調査への影響が少なからずあった。B区北側の現道に接する部分3mが先行引き渡しのために調査を優先させ、2月2日に調査を終了し、2月3日に引き渡しを行った。ローム上面の調査は3月上旬に終了し、3月10日に空撮を行った。それ以降は旧石器の試掘調査に入った。調査区内は大小の攪乱によってローム深くまで削平されており、攪乱の及んでいない範囲を中心に試掘トレンチを7ヶ所設定した。その結果、波志江西宿遺跡と接する東側現道付近のGトレンチより石器が2点出土した。調査終了間際の検出のため、周囲の拡張や下部の掘削は行えなかった。平成12年3月22日に発掘現場での調査を終了し、埋め戻しを3月23日～28日まで行い、3月29日に引き渡した。その後発掘調査事務所のプレハブを撤去して全調査を終了した。

調査の方法 調査においては、調査方法、排土方法、安全対策等に配慮しながら進めた。以下は調査に伴った主な留意点である。

1) 調査区の設定

発掘調査区は、伊勢崎市波志江町に所在し、東西50m・南北80m程の範囲である。遺跡中央部よりやや北側を現道が東西に走っており、それより北側をA区、南側をB区とした(第186図)。

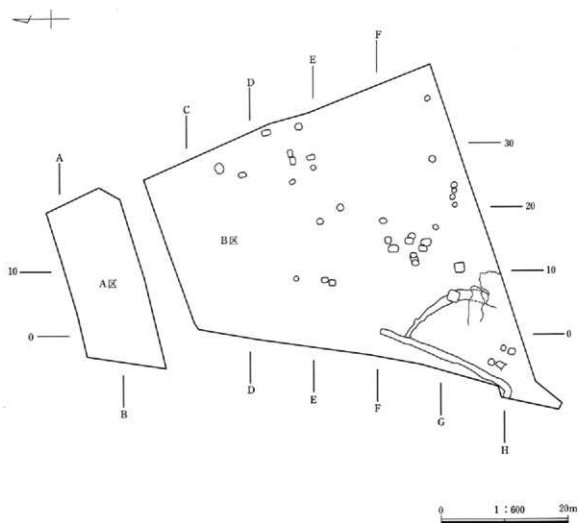
2) グリッドの設定

グリッドの設定は、日本平面直角座標(国家座標)を基準に10m方眼を設定し、遺構・遺物の図化を行った。調査区北端のX=39230ラインをAとし、以下南に下るにつれてB、Cと続き、南端のX=39160ラインをHとした。また、調査区西端のY=-57210ラインを0とし、以下東へ向かうにつれて10、20と続き、東端のY=-57180ラインを30とする。グリッドの名称は、北西隅基準点の座標名を使用した。グリッド杭・水準点杭

の測量・打設は測量会社へ委託した。基準点は、2002年4月改正以前の日本測地系を用いている。

3) 調査手順

表土の除去は、調査の効率を図るため大型掘削機で行い、排土の運搬についてはダンプを使用した。遺構名称は遺構の種類ごとに通し番号を付した。遺物の取り上げは、遺構単位、グリッド単位を基本とした。遺物の注記は、遺跡名、遺構名またはグリッド名を記入した。測量については、発掘作業員にセクション・平面図作成を指示し、一部を業者に委託した。写真撮影には、35mm版カメラのモノクロとカラーを使用した。遺跡の全景写真撮影は空中写真撮影を実施した。撮影したフィルムは現像処理し、モノクロ・カラーともにL版サイズに焼き、撮影対象・撮影方向・撮影日を記入し、ファイルした。



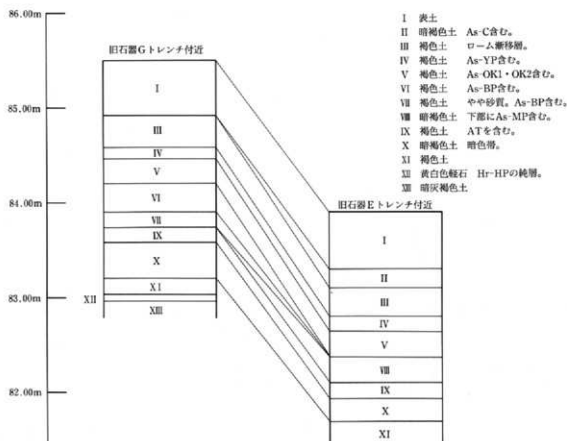
第186図 伊勢山遺跡調査区全体図

2 遺跡の基本土層

伊勢山遺跡は、東側に位置する波志江西宿遺跡から続くローム台地が、低地へ向かって傾斜していく緩やかな斜面地形となっている。そのため、遺跡の北東側と南西側では土層の堆積状況が異なる（第187図）。

北東側の、より台地中央に近い地点では、隣接する波志江西宿遺跡の堆積状況と基本的に同一である。ただ、近世以降の墓地の造営とその後の移転作業によって激しく攪乱されたため、As-Cを含む黒色土は確認できなかった。テフラ分析の結果、IV層からAs-YP（浅間板鼻黄色軽石）、V層からAs-Ok1とOk2（浅間大窪沢第1・第2軽石）、VI・VII層からAs-BP（浅間板鼻褐色軽石）の中・上位グループ、IX層からAT（始良Tn火山灰）が検出されている。軽石や火山灰は二次的に混入したものが多いが、VI層とVII層中のAs-BPは、一部ブロック状に堆積していた。また、表土から約2.5m下位には、厚さ7cm程の一次堆積のHr-HP（榛名八崎軽石）が確認できた。暗色帯はX層にあたる。

一方南西側低地よりの部分では、As-Cを含む黒色土の堆積が確認できた（II層）。下位はHr-HPに由来すると思われる風化した軽石混じりの粘土層で、一次堆積のHr-HPは確認できなかった。また、As-BPグループのうち、最下層にあたるAs-MP（室田軽石）が確認されただけで、中・上位の軽石は堆積していなかった。その上位のAs-Ok1・Ok2は堆積していたため、As-MP降灰後As-Ok1・Ok2の降灰までの間に、水流による浸食とその後の埋没が起こったものと考えられる。IX、X層は、水による影響のためか、台地部とは異なる色調を呈していた。



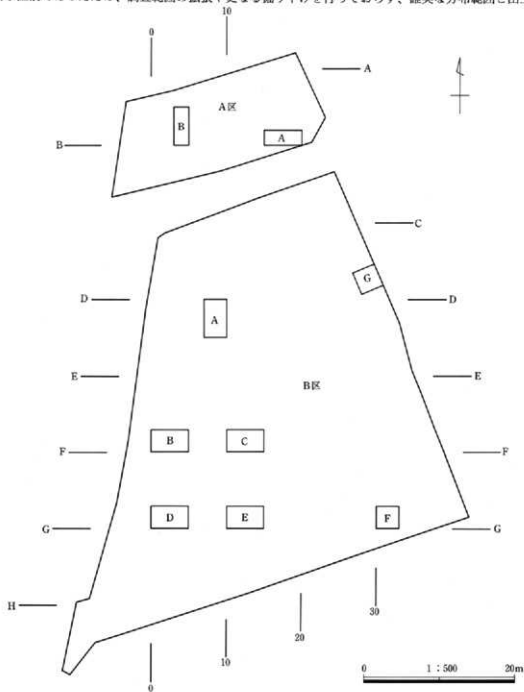
第187図 伊勢山遺跡基本土層

3 検出された遺構と遺物

I 旧石器時代

(1) 概要

B区の東端から旧石器時代の石器が2点出土した。現道を挟んで東側の波志江西宿遺跡でも出土しており、一連の石器分布に含まれる可能性が考えられる。ただし、現道下の確認調査の際には遺物の出土はなかった。石器の出土地点は低地に向かう傾斜変換点付近で、ローム層は安定した堆積状況を呈していた(第189図)。石器の出土層位はAs-BP下位の褐色ローム層から暗色帯上位(基本土層のIX~X層)である。石器の出土が調査終了直前であったため、調査範囲の拡張や更なる掘り下げを行っておらず、確実な分布範囲と出土層位



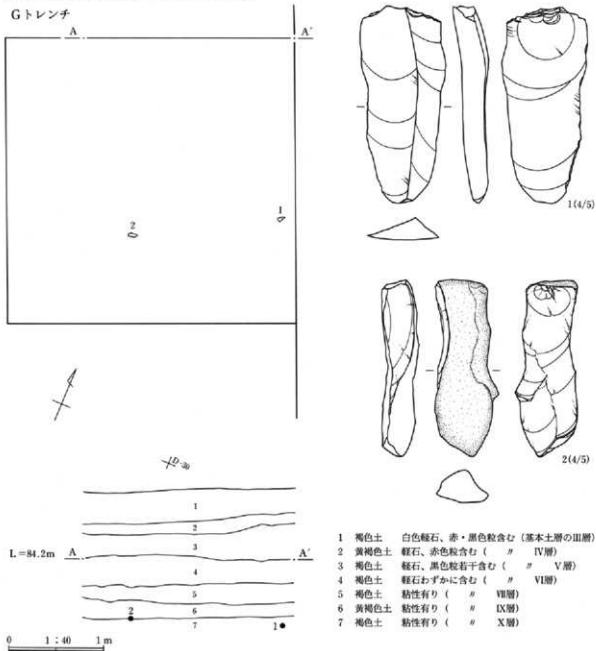
第188図 旧石器試掘トレンチ位置図

を確認することはできなかった。

(2) 出土した石器

石器は2点出土(第189図、PL-88・89)。1は石刃状の縦長剥片で、両側がほぼ並行、背面には腹面と同一方向からの剝離面が2面見られる。打面は調整打面。石材は黒色頁岩。重量16.60g。2も縦長剥片で、打面から背面にかけて自然面を残す。石材は黒色頁岩で、風化が激しく器表面がひどく剥落する。重量19.86g。

非常に断片的な資料であり、この石器2点のみから年代的な位置付けをすることは困難である。ただし、出土層位や石材の特徴が、東側に隣接する波志江西宿遺跡の第II文化層とほぼ一致することから、同一の文化層に属する可能性は高いものと考えられる。



第189図 旧石器分布状況、出土遺物

II 中近世の遺構と遺物

(1) 概要

発見された遺構は、近世の土墳墓が中心である。本遺跡は近世以降墓地として利用されていたため、それ以前の時代の遺構は確認されなかった。

当該期の遺構は、B区で土坑8基、土墳墓28基、溝2条が見つかっている(付図4)。調査開始以前に当該墓地の基石の調査を行ったところ、江戸時代の年号が記されているものが多数あり、本来はより多くの近世墓があった。ただし、近年の合祀や、その後の墓地の移転に伴って破壊・削平されてしまったため、調査で確認できた墓は上記の数だけである。土坑と土墳墓の区分には明確な基準はないが、副葬品と思われる古銭の出土があるか、埋葬に十分な深さがあるかなどの点を考慮して判断した。土墳墓には、円形～楕円形、長方形、正方形の3つの形態のものが認められた。長方形のものは長軸が100～160cm程度で、長軸方向が南北、もしくは東西に一致するものが大半を占める。正方形のものは、一辺の長さが90cm内外とやや小型のもの、一辺の長さが150～170cmと大型で、底部中央に円形に掘りくぼめた跡があるものの2種類がある。円形のもの、直径が70cm程度のもの、110cm程度のものがある。土坑は円形～楕円形状のものが大半であるが、長方形、隅円の正方形形状のものが各1基ある。溝は調査区南西側から2条発見された。うち1本はしっかりした葎研状の掘方を持ち、土地の傾斜に沿って走る。墓域を区画する溝であろうか。

これらの遺構は攪乱がひどく、遺構を確認した際にすでに上位が削平されているものが多い。そのため、規模や形状を厳密に捉えられたものは少ない。本文中の遺構の大きさや深さは確認した段階での数値で、実際に遺構が構築された時点での規模とは異なっている。特に土墳墓の深さについては22～150cmとばらつきがあるが、これは削平の程度による違いで、墓という性格上、本来は同程度の深さまで掘り込まれていたものと推測される。その傍証として、隣接して構築されている土墳墓底面の標高値に大きな差は見られない。

(2) 土墳墓

1号土墳墓(第190・196図、PL-89)

位置 C-20グリッドに位置する。

規模 短軸138cm、長軸163cm、底面までの深さは98cmを測る。

概要 東西方向がわずかに長い楕円形状を呈する。

遺物 覆土中より寛永通寶9枚出土。うち8枚はいわゆる「古寛永」、残り1枚は付着のため不明。

2号土墳墓(第190・196図、PL-89)

位置 C-20グリッドに位置する。

規模 短軸74cm、長軸124cm、底面までの深さは36cmを測る。

概要 長軸が南北方向に向く長方形形状を呈する。遺構上位を大きく削平されている。

遺物 覆土中より寛永通寶6枚出土。全て「古寛永」。

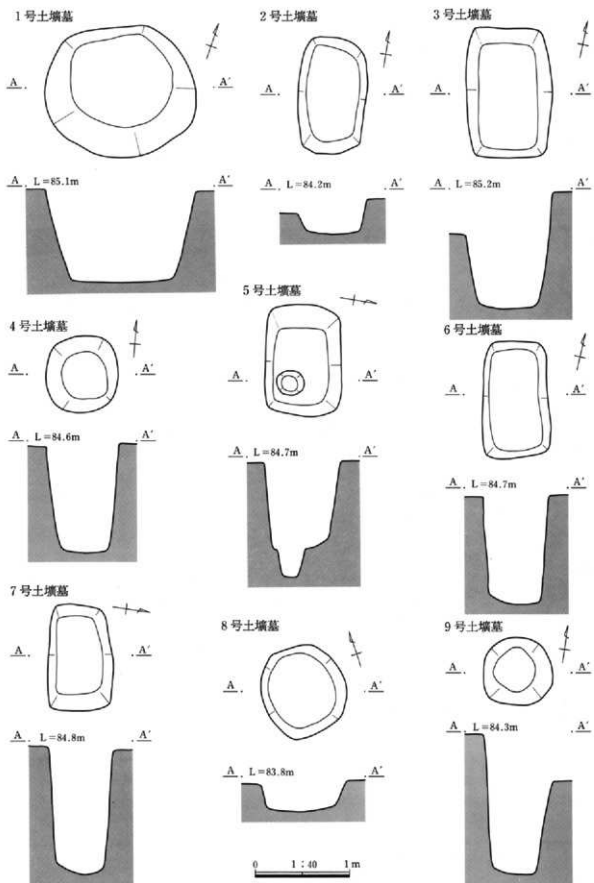
3号土墳墓(第190・196・197図、PL-89・90)

位置 D-30グリッドに位置する。

規模 短軸91cm、長軸138cm、底面までの深さは122cmを測る。

概要 長軸が南北方向に向く長方形形状を呈する。遺構上位を大きく削平されている。

遺物 覆土中より寛永通寶11枚出土。うち6枚は「古寛永」、残り5枚は背面上部に「文」の文字が鋳出される、いわゆる「文銭」。



第190图 1~9号土墳墓

4号土墳墓（第190・197図、PL-90）

位置 D～E-20グリッドに位置する。

規模 短軸75cm、長軸79cm、底面までの深さは113cmを測る。

概要 円形状を呈するが、若干南北方向が長い。四隅がわずかに角張っている。

遺物 覆土中より銭貨が6枚出土。うち何枚かは鉄銭であるが、錆による劣化激しく銭種は不明。

5号土墳墓（第190・197図、PL-90）

位置 D-20グリッドに位置する。

規模 短軸82cm、長軸118cm、底面までの深さは92cmを測る。

概要 長軸が東西方向に向く長方形形状を呈する。底面に直径30cm、深さ29cmのピットを伴う。

遺物 覆土中より寛永通寶5枚、文久永寶1枚出土。寛永通寶は2枚が「文銭」、1枚は「新寛永」、2枚は真鍮四文銭。

6号土墳墓（第190・197図、PL-91）

位置 D-20グリッドに位置する。

規模 短軸70cm、長軸124cm、底面までの深さは117cmを測る。

概要 長軸が南北方向に向く長方形形状を呈する。

遺物 覆土中より銭貨11枚出土。錆により付着するもの多く、銭種が判明したものは6枚のみ。全て寛永通寶で、「古寛永」1枚、「文銭」1枚、その他は「新寛永」である。

7号土墳墓（第190図、PL-88）

位置 D-20グリッドに位置する。

規模 短軸70cm、長軸113cm、底面までの深さは132cmを測る。

概要 長軸が東西方向に向く長方形形状を呈する。

遺物 出土遺物無し。

8号土墳墓（第190・198図、PL-88・91）

位置 E-10グリッドに位置する。

規模 短軸90cm、長軸96cm、底面までの深さは32cmを測る。

概要 南北方向がわずかに長い楕円形状を呈する。上位を削平されているため定かではないが、掘り込み面での形状は正方形に近いものと思われる。

遺物 覆土中より銭貨5枚出土。うち1枚は大正年間の1銭銅貨。残りは鉄銭を含む有孔の銭貨であるが、錆により付着し銭種不明。

9号土墳墓（第190・198図、PL-91）

位置 D-0グリッドに位置する。

規模 直径72cmの円形で、底面までの深さは147cmを測る。

概要 ほぼ円形状で、深い掘り込みを持つ。

遺物 覆土中より銭貨12枚出土。うち寛永通寶が9枚、残りは銭種不明。寛永通寶は1枚のみ「古寛永」で他は「新寛永」。

10号土墳墓（第191・198図、PL-87・91・92）

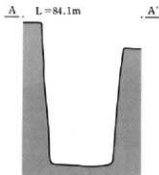
位置 E-0グリッドに位置する。

規模 短軸73cm、長軸101cm、底面までの深さは22cmを測る。

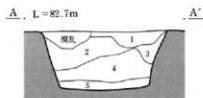
10号土墳墓



11号土墳墓



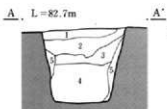
12号土墳墓



12号土墳墓

- 1 褐色土 若干のローム含む。
- 2 褐色土 多量のローム含む。
- 3 淡褐色土
- 4 暗褐色土 少量のローム含む。
- 5 暗褐色土 多量のローム含む。

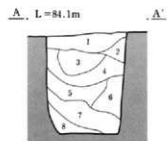
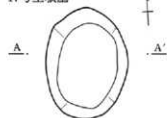
13号土墳墓



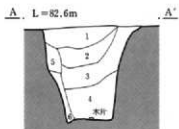
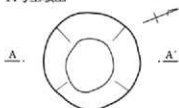
13号土墳墓

- 1 褐色土 若干のローム粒含む。
- 2 褐色土 若干のローム粒、ロームブロック含む。
- 3 淡褐色土 多量のローム粒含む。
- 4 褐色土 若干のローム粒含む。
- 5 淡褐色土 壁の崩落土か。

17号土墳墓



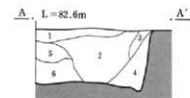
14号土墳墓



14号土墳墓

- 1 淡褐色土 ローム粒、ロームブロック、黒色土多量に含む。
- 2 褐色土 多量のロームブロック含む。
- 3 褐色土 若干のロームブロック含む。
- 4 褐色土
- 5 褐色土 若干のローム粒含む。
- 6 褐色土 多量のローム粒、ロームブロック含む。

15号土墳墓



15号土墳墓

- 1 暗褐色土
- 2 褐色土 少量のローム含む。
- 3 褐色土 多量のローム含む。
- 4 褐色土 多量のローム粒含む。
- 5 淡褐色土 多量のローム含む。
- 6 淡褐色土 多量のローム粒、ロームブロック含む。

17号土墳墓

- 1 褐色土 若干のローム粒含む。
- 2 褐色土 径10cm程度のロームブロック含む。
- 3 褐色土 多量のローム粒、若干のロームブロック含む。
- 4 褐色土 若干のローム粒、ロームブロック含む。
- 5 褐色土 少量のローム粒、ロームブロック、焼土含む。
- 6 淡褐色土 多量のローム粒、ロームブロック含む。
- 7 褐色土 若干のローム粒含む。
- 8 褐色土 多量のロームブロック含む。

0 1:40 1m

第191図 10~15・17号土墳墓

概要 長軸が南北方向に向く長方形を呈する。上位を削平されている。

遺物 覆土中より土器皿、銭貨9枚出土。銭貨は寛永通寶が5枚のうち4枚は「新寛永」、1枚は鉄一文銭。他は錆により付着して銭種不明であるが、鉄銭を含む。

11号土墳墓 (第191図)

位置 E-0グリッドに位置する。

規模 短軸87cm、長軸93cm、底面までの深さは150cmを測る。

概要 南北方向がわずかに長い、ほぼ正方形を呈する。軸の方向は南北にほぼ一致する。

遺物 出土遺物無し。

12号土墳墓 (第191・199図、PL-92)

位置 H-10グリッドに位置する。

規模 短軸93cm、長軸114cm、底面までの深さは62cmを測る。

概要 長軸が南北方向に向く長方形を呈する。覆土は、地山ロームを多量に含む淡褐色～暗褐色土である。

遺物 覆土中より銭貨12枚出土。うち1枚は寛永通寶(新寛永)。他は錆によって付着しているため銭種不明であるが、鉄銭を含む。

13号土墳墓 (第191・199図、PL-92)

位置 G-10グリッドに位置する。

規模 短軸76cm、長軸95cm、底面までの深さは80cmを測る。

概要 長軸が東西方向に向く楕円形状を呈する。覆土は地山ロームを含む淡褐色～褐色土である。

遺物 覆土中より土器皿、銭貨11枚出土。銭貨は8枚が寛永通寶(新寛永)。他は錆による付着で銭種不明であるが、鉄銭を含む。

14号土墳墓 (第191図)

位置 G-10グリッドに位置する。

規模 直径102cmの円形で、底面までの深さは103cmを測る。

概要 覆土は地山ロームを含む淡褐色～褐色土である。

遺物 出土遺物無し。

15号土墳墓 (第191・199図、PL-92)

位置 G~H-10グリッドに位置する。

規模 南端を近年の擾乱によって壊されているため、正確な規模は不明。現状で短軸93cm、長軸143cm、底面までの深さは65cmを測る。

概要 形状は隅円の長方形を呈する。長軸の方向は、南北から若干東に振れる。覆土は地山ロームを含む淡褐色～暗褐色土。

遺物 覆土中より銭貨16枚出土。「古寛永」と「新寛永」を各1枚含むが、他は錆による付着激しく銭種不明。

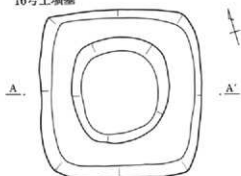
16号土墳墓 (第192・199・200図、PL-87・92)

位置 G-0グリッドに位置する。

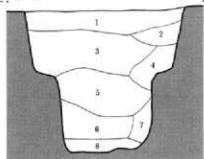
規模 上面は一辺が約170cmの正方形を呈する。底面に直径約105cmの円形の掘り込みを持つ。底面までの深さは149cmを測る。

概要 上面から正方形にまっすぐ65cm程掘削した後、底部に一回り小さく円形に掘り込む。覆土は地山ロ

16号土墳墓



A. L=83.2m A'



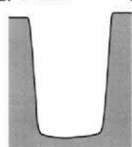
16号土墳墓

- 1 褐色土 多量のローム粒、若干のロームブロック含む。
- 2 褐色土 多量のロームブロック、若干の黒色土ブロック含む。
- 3 褐色土 多量のロームブロック、黒色土ブロック、焼土ブロック含む。
- 4 褐色土 多量のロームブロック、黒色土ブロック含む。
- 5 褐色土 若干のロームブロック、ローム粒含む。
- 6 淡褐色土 若干のローム粒含む。
- 7 黄褐色土 多量のロームブロック含む。
- 8 黄褐色粘質土

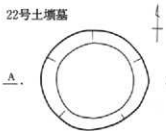
20号土墳墓



A. L=83.8m A'



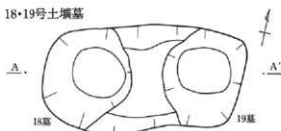
22号土墳墓



A. L=84.3m A'



18・19号土墳墓



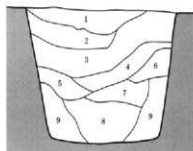
A. L=83.7m A'



21号土墳墓



A. L=83.9m A'



21号土墳墓

- 1 褐色土 若干のローム粒、ロームブロック、黒色土含む。
- 2 淡褐色土 多量のローム粒、ロームブロック含む。
- 3 褐色土 多量のローム粒含む。
- 4 褐色土 若干のローム粒含む。
- 5 褐色土 多量のソフトローム含む。
- 6 暗褐色土 若干のローム粒含む。
- 7 褐色土
- 8 淡褐色土 多量のローム粒含む。
- 9 淡褐色土 多量のロームブロック含む。

0 1:40 1m

第192図 16・18~22号土墳墓

ームや黒色土のブロックを雑多に含む淡褐色～黄褐色土で、一部焼土も含まれる。

遺物 覆土中より銭貨11枚出土。元祐通寶1枚、寛永通寶5枚（うち「古寛永」1枚、「文銭」1枚、「新寛永」3枚）含むが、他は錆により付着し銭種不明。

17号土壌墓（第191・200図、PL-87・93）

位置 F-10グリッドに位置する。

規模 短軸87cm、長軸116cm、底面までの深さは107cmを測る。

概要 楕円形状を呈する。長軸の方向は南北から若干東側に振れる。覆土は地山ロームを含む淡褐色～褐色土で、一部焼土を含む。

遺物 覆土中より銭貨8枚出土。うち3枚は寛永通寶（古寛永）、他は錆による付着のため銭種不明。

18号土壌墓（第192・200図、PL-87・93）

位置 F-10グリッドに位置する。

規模 現状で短軸93cm、長軸110cm、底面までの深さは113cmを測る。

概要 19号土坑墓と隣接して構築されているため、単独での規模は不明。本来は直径110cm程の円形状と思われる。

遺物 覆土中より銭貨9枚出土。うち3枚は寛永通寶（新寛永）、他は錆による付着のため銭種不明。

19号土壌墓（第192図、PL-87）

位置 F-10グリッドに位置する。

規模 現状で短軸90cm、長軸102cm、底面までの深さは115cmを測る。

概要 18号土坑墓と隣接して構築されているため、単独での規模は不明。本来は直径100cmほどの円形状と思われる。

遺物 出土遺物無し。

20号土壌墓（第192・200図、PL-93）

位置 F-10グリッドに位置する。

規模 短軸95cm、長軸138cm、底面までの深さは130cmを測る。

概要 長軸が南北方向に向く長方形形状を呈する。

遺物 覆土中より銭貨11枚出土。うち5枚は寛永通寶（新寛永）、他は錆による付着のため銭種不明。

21号土壌墓（第192・200図、PL-93）

位置 F-10グリッドに位置する。

規模 短軸113cm、長軸160cm、底面までの深さは138cmを測る。

概要 長軸が南北方向に向く長方形形状を呈する。覆土は地山ロームを含む淡褐色～暗褐色土。

遺物 覆土中より銭貨6枚出土。うち2枚は寛永通寶（新寛永）、他は錆による付着のため銭種不明。

22号土壌墓（第192図）

位置 E-10～20グリッドに位置する。

規模 直径110cm程度の円形状で、底面までの深さは66cmを測る。

概要 円形状を呈する。壁はほぼ直立する。

遺物 出土遺物無し。

23号土壌墓（第193・200・201図、PL-87・93）

位置 G-10グリッドに位置する。

規模 上面は一辺が約150cmの正方形状で、底面に直径80cm程の円形の掘り込みを持つ。底面までの深さは149cmを測る。

概要 上面から正方形状に65cm程掘り下げた後、底面に一回り小さく円形に掘り込む。

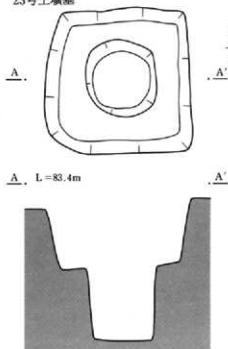
遺物 覆土中より銭貨10枚出土。うち8枚は寛永通寶（「古寛永」3枚、「新寛永」4枚、不明1枚）、他は破片のため銭種不明。

24号土墳墓（第193・201図、PL-87・93）

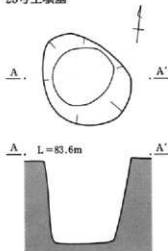
位置 F-10グリッドに位置する。

規模 短軸98cm、長軸132cm、底面までの深さは121cmを測る。

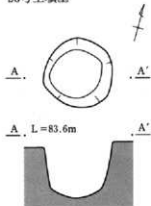
23号土墳墓



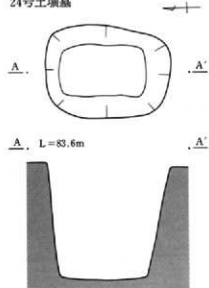
25号土墳墓



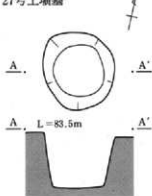
26号土墳墓



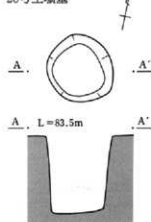
24号土墳墓



27号土墳墓



28号土墳墓



0 1 : 40 1 m

第193図 23~28号土墳墓

概要 長軸が南北方向に向く長方形を呈する。

遺物 覆土中より銭貨5枚出土。うち3枚は寛永通寶（「古寛永」1枚、「新寛永」2枚）、他は錆による付着のため銭種不明。

25号土墳墓（第193図）

位置 G-20グリッドに位置する。

規模 短軸85cm、長軸107cm、底面までの深さは90cmを測る。

概要 長軸が北西方向に向く楕円形状を呈する。26～28号土墳墓と隣接して作られており、大きさや深さなども類似している。

遺物 出土遺物無し。

26号土墳墓（第193・201図、PL-94）

位置 G-20グリッドに位置する。

規模 直径75cm程度の円形で、底面までの深さは58cmを測る。

概要 円形状でほぼまっすぐ掘り込まれる。

遺物 覆土中より銭貨11枚出土。うち1枚は寛永通寶（新寛永）。他は錆による付着のため銭種不明であるが、鉄銭を含む。

27号土墳墓（第193・201図、PL-94）

位置 G-20グリッドに位置する。

規模 短軸74cm、長軸87cm、底面までの深さは87cmを測る。

概要 長軸が北東方向に向く楕円形状を呈する。

遺物 覆土中より寛永通寶2枚出土。内訳は「古寛永」、「新寛永」各1枚。

28号土墳墓（第193図）

位置 G-20グリッドに位置する。

規模 直径70cm程度の円形で、底面までの深さは101cmを測る。

概要 円形状で、ほぼまっすぐ掘り込まれる。

遺物 出土遺物無し。

（3）土坑

1号土坑（第194図、PL-87）

位置 D-30グリッドに位置する。

規模 直径約110cmの円形で、底面までの深さは22cmを測る。

概要 壁はほぼ垂直に立ち上がる。覆土はAs-C軽石やソフトロームを含む黒色土である。

遺物 出土遺物無し。

2号土坑（第194図）

位置 D-20グリッドに位置する。

規模 短軸51cm、長軸62cm、底面までの深さは4cmを測る。

概要 長軸方向は、南北から若干西に振れる。形状は長方形。

遺物 出土遺物無し。

3号土坑 (第194図、PL-87)

位置 F-10グリッドに位置する。

規模 短軸102cm、長軸112cm、底面までの深さは29cmを測る。

概要 東西方向がわずかに長い隅円の正方形形状を呈する。覆土は、As-Cと思われる軽石や地山ロームを含む
黒色～淡褐色土である。

遺物 出土遺物無し。

4号土坑 (第194図、PL-88)

位置 F-30グリッドに位置する。

規模 短軸80cm、長軸94cm、底面までの深さは15cmを測る。

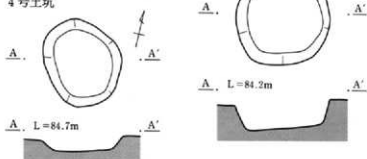


1号土坑

1 黒色土 As-C、ソフトロームを含む。

5号土坑

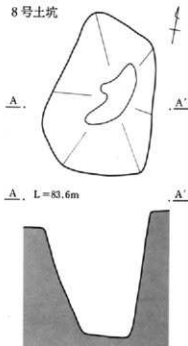
4号土坑



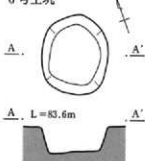
3号土坑

- 1 黒色土 軽石 (As-Cか) 多量に含む。
- 2 褐色土 若干の軽石、多量のローム粒含む。
- 3 褐色土 ソフトローム若干含む。
- 4 淡褐色土 多量のソフトローム、若干の褐色土ブロック含む。

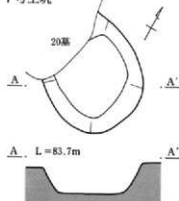
8号土坑



6号土坑



7号土坑



第194図 1～8号土坑

概要 長軸が北西方向に向く楕円形状を呈する。

遺物 出土遺物無し。

5号土坑（第194図、PL-88）

位置 F-20グリッドに位置する。

規模 直径100cm程度の円形で、底面までの深さは30cmを測る。

概要 円形状で、ほぼまっすぐ掘り込まれる。

遺物 出土遺物無し。

6号土坑（第194図、PL-88）

位置 F-10グリッドに位置する。

規模 短軸70cm、長軸84cm、底面までの深さは26cmを測る。

概要 楕円形状を呈する。長軸は南東方向に向く。

遺物 出土遺物無し。

7号土坑（第194図）

位置 F-10グリッドに位置する。

規模 現状で短軸105cm、長軸114cm、底面までの深さは36cmを測る。

概要 20号土墳墓に壊され正確な規模・形状は不明だが、楕円形状を呈するものと推測される。

遺物 出土遺物無し。

8号土坑（第194図、PL-88）

位置 F-10グリッドに位置する。

規模 短軸120cm、長軸164cm、底面までの深さは134cmを測る。

概要 長軸が南北方向に向く楕円形状。

遺物 出土遺物無し。

(4) 溝

1号溝（第195・201図、PL-88・94）

位置 F~H-10グリッド付近に位置する。

規模 長さ約24m、最大幅1.2m、底面までの深さは86cmを測る。

概要 北東から南西方向に向かって走り、南端で西側に「L」字状に曲がる。北端部は浅くなって途切れているが、端部から2m程の所で、急に中心が深く藁研状に掘り込まれる。この深くなった部分での北端と南端の比高差は約80cmで、南側が低い。北側部分に2号溝が取り付くが、両者の新旧は不明。

遺物 土器皿が出土。

2号溝（第195図、PL-88）

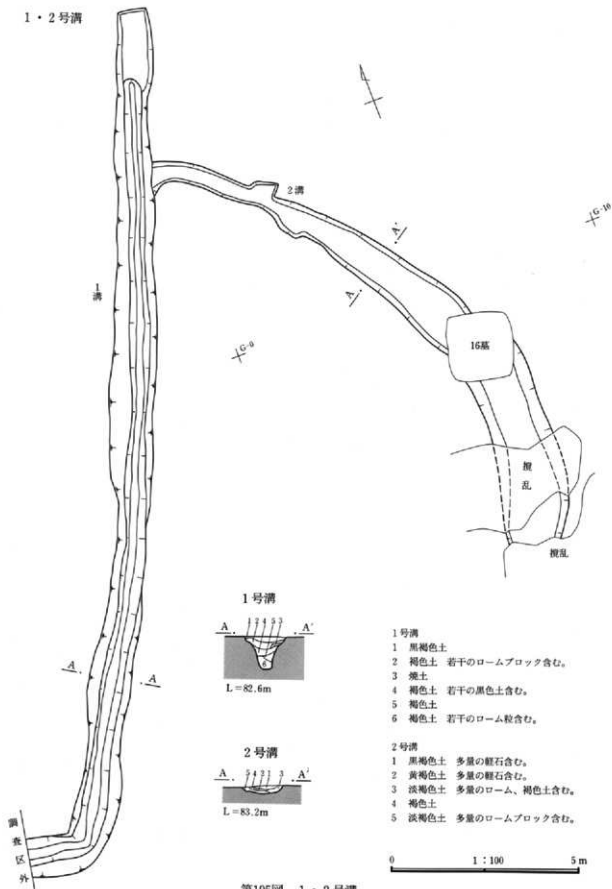
位置 F~G-0グリッドに位置する。

規模 長さ約15m、最大幅1.6m、底面までの深さは23cmを測る。

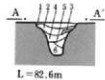
概要 北西から南東方向に向かって緩く弧を描くように構築される。北西隅と南東隅での比高差は18cm程で、南東側が低い。16号土墳墓と重複。調査時の所見から、16号土墳墓より古いものと判断した。北東端は1号溝に取り付くが、新旧関係は不明。

遺物 出土遺物無し。

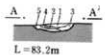
1・2号溝



1号溝



2号溝



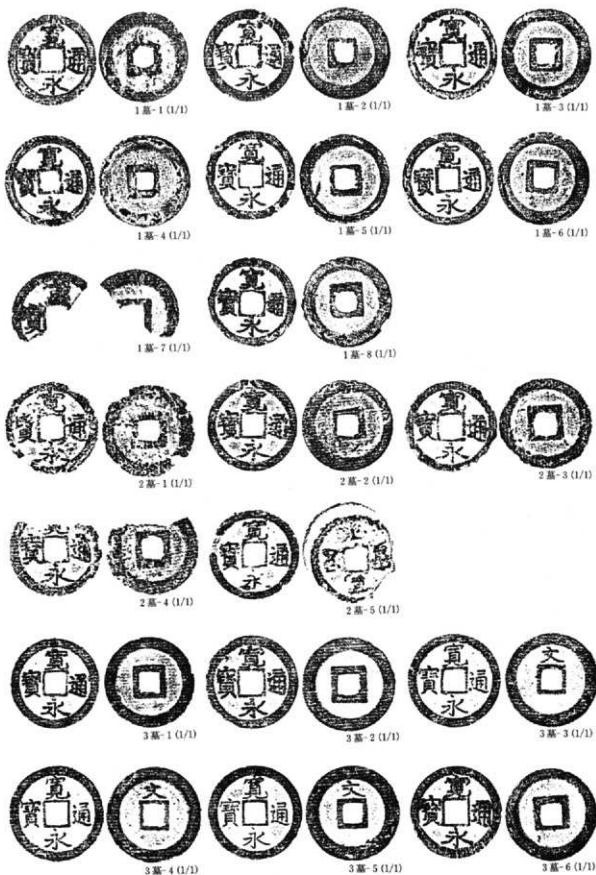
1号溝

- 1 黒褐色土
- 2 褐色土 若干のロームブロック含む。
- 3 焼土
- 4 褐色土 若干の黒色土含む。
- 5 褐色土
- 6 褐色土 若干のローム粒含む。

2号溝

- 1 黒褐色土 多量の軽石含む。
- 2 黄褐色土 多量の軽石含む。
- 3 淡褐色土 多量のローム、褐色土含む。
- 4 褐色土
- 5 淡褐色土 多量のロームブロック含む。

第195図 1・2号溝



第196图 1~3号土坑墓出土遗物



3基-7 (1/1)

3基-8 (1/1)

3基-9 (1/1)



3基-10 (1/1)

3基-11 (1/1)



4基-1 (1/1)

4基-2 (1/1)

4基-3 (1/1)



5基-1 (1/1)

5基-2 (1/1)

5基-3 (1/1)



5基-4 (1/1)

5基-5 (1/1)



5基-6 (1/1)

6基-1 (1/1)



6基-2 (1/1)

6基-3 (1/1)

6基-4 (1/1)

第197图 3~6号土墩墓出土遗物